高砂市高齢者福祉計画及び高砂市介護保険事業計画（第 10 期）策定のためのアンケート調査結果報告書

令和８年３月

目次

Ⅰ　調査概要 1

１．調査の目的 1
２．調査の方法 1
３．回収の状況 1
４．報告書の見方 1

Ⅱ　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果 3

１．基本情報とあなたの家族や生活状況について（問１） 3
２．からだを動かすことについて（問２） 14
３．食べることについて（問３） 33
４．毎日の生活について（問４） 43
５．地域での活動について（問５） 64
６．就労について（問６） 76
７．たすけあいについて（問７） 79
８．健康について（問８） 93
９．相談窓口・支援について（問９） 103
10．お住まいの地域について（問 10） 114
11．介護保険について（問 11） 121
12．将来について（問 12） 128
13．リスク判定 136
14．調査結果にみる現状と課題 145

Ⅲ　在宅介護実態調査の結果 149

１．属性項目 149
２．基本事項について 152
３．主な介護者の方について 167
４．調査結果と認定データを使用した個別クロスについて 170
５．調査結果にみる現状と課題 204

Ⅳ　ケアマネジャー調査の結果 206

１．回答者について 206
２．業務・利用者の状況について 211
３．高砂市のサービスについて 215
４．周囲との連携について 227
５．ケアマネジャーとして感じること 233

Ⅴ　事業所調査の結果 235
１．事業所の概要について 235
２．高砂市のサービスについて 239
３．事業所の運営課題について 242
４．介護人材について 244
５．周囲との連携について 254
６．その他 261

Ⅰ　調査概要

1．調査の目的

市内在住の 65 歳以上の人の健康状態や生活、介護の状況、介護保険に対するご意見やご要望等をお聞きするとともに、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定と効果評価を目的にアンケート調査を実施しました。

2．調査の方法

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	ケアマネジャー調査	事業所調査
対象	市内在住の 65 歳以上で要介護認定を受けていない人 3,800 人（無作為抽出）	市内で在宅生活をしている要介護認定者 1,000 人（過去に要支援、要介護認定の更新、区分　変更申請をされた人を無作為に抽出）	市内に所在する居宅介護支援事業者のケアマネジャー77 人（悉皆）	市内で介護保険サービスを提供している事業所、高砂市の指定を受けている事業所 196 件（悉皆）
調査期間	令和７年 11 月 28 日から令和８年１月８日			
調査方法	郵送による配布、郵送または Web フォームによる回収		郵送による配布、Web フォームによる回収	

3．回収の状況

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	ケアマネジャー調査	事業所調査
配布数	3,800 部	1,000 部	77 部	196 部
回収数	3,195 部	771 部	64 部	115 部
回収率	84.1%	77.1%	83.1%	58.7%
有効回収数	3,135 部	759 部	64 部	112 部
有効回収率	82.5%	75.9%	83.1%	57.1%

4．報告書の見方

■図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。

■単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第２位以下を四捨五入し、小数点第１位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。

■複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer ＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝３つまで）等記載しています。回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が 100%を超えます。

■無記入、回答の読み取りが著しく困難な場合、１つまでの回答を求めている設問に対し２つ以上回答していた場合は「無回答」として処理しています。また、「無回答」はグラフ・表から除いている場合があります。

■【全体】のコメントは単純集計の結果によるものです。【年齢】や【日常生活圏域】などのコメントはクロス集計結果によるものです（例：【年齢】は、その設問を年代別にクロス集計した結果です）。

■グラフ中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は%です。

■クロス集計内の網掛けは、クロス項目（表側の項目）ごとの上位３項目を示しており、数値が大きくなるに従って網掛けの色が濃くなります。

■クロス集計については、基本的に、各クロス項目で、統計的有意差（有意水準 5%、$p<0.05$）が確認できた項目について表とコメントを記載しています。ただし、各クロス項目の回答者数が 10 以下の場合は参考値としています。

※　統計的に明らかな差異（統計的有意差）については、主にχ(カイ)二乗検定により確認しました。

■在宅介護実態調査の「４．調査結果と認定データを使用した個別クロスについて」については、厚労省が推奨する在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト（三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング株式会社作成）を用いて、回答結果と認定データを突合・集計しています。なお、認定データが欠けている場合や無回答の場合を除いた集計となっています。

■本文、表、グラフの問のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合があります。

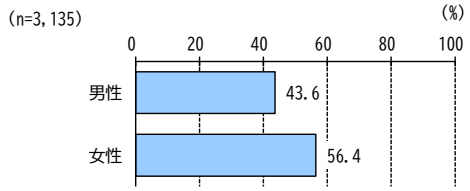
Ⅱ　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果

１．基本情報とあなたの家族や生活状況について（問１）

性別

【全体】
○　「男性」が 43.6%、「女性」が 56.4%となっています。

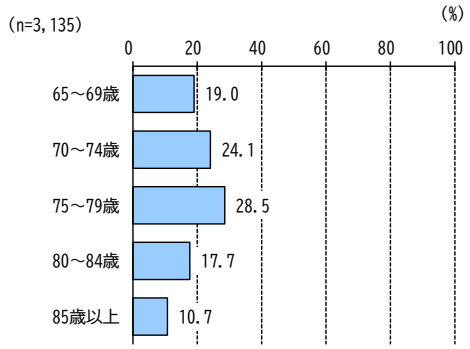
【性別】



年齢

【全体】
○　「75～79 歳」が 28.5%で最も多く、次いで「70～74 歳」が 24.1%、「65～69 歳」が 19.0%となっています。

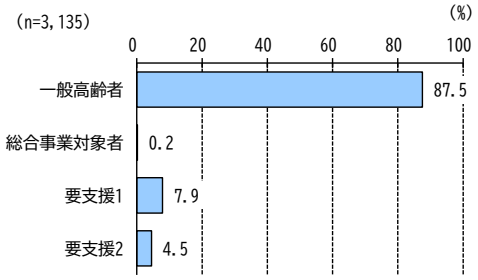
【年齢】



認定該当状況

【全体】
○　「一般高齢者」が 87.5%で最も多く、次いで「要支援１」が 7.9%、「要支援２」が 4.5%となっています。

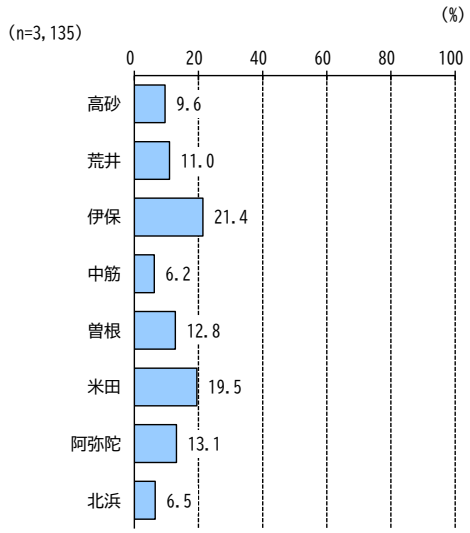
【認定該当状況】



日常生活圏域

【全体】
○　「伊保」が 21.4%で最も多く、次いで「米田」が 19.5%、「阿弥陀」が 13.1%となっています。

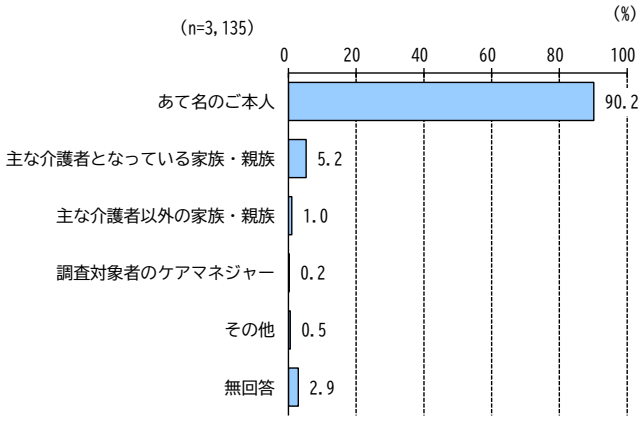
【日常生活圏域】



調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

【全体】
○　「あて名のご本人」が 90.2%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 5.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が 1.0%となっています。

【記入者】



1 家族構成を教えてください。（１つだけ）

【全体】
○ 「夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）」が42.4%で最も多く、次いで「１人暮らし」が21.4%、「その他」が16.1%となっています。

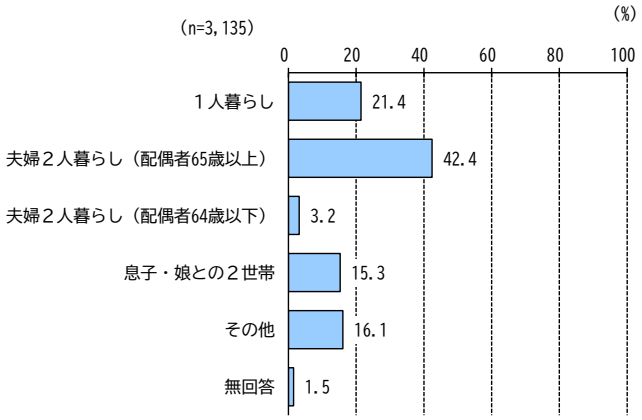
【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」、女性-後期高齢者は「１人暮らし」が最も多くなっています。

【年齢】
○ 65～74歳・75～84歳は「夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）」、85歳以上は「１人暮らし」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】
○ どの日常生活圏域でも「夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」、総合事業対象者、要支援１・２は「１人暮らし」が最も多くなっています。

【家族構成】



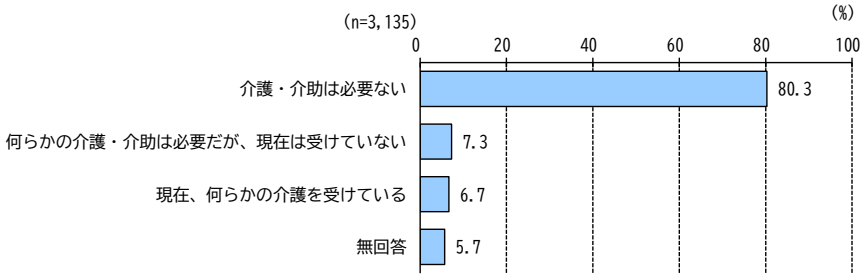
単位：%

		母数(n)	問1.1 家族構成を教えてください。					
			１人暮らし	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との２世帯	その他	無回答
全体		3,135	21.4	42.4	3.2	15.3	16.1	1.5
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	13.9	44.2	10.4	12.9	17.9	0.7
	後期高齢者	769	14.0	55.9	2.2	11.2	14.7	2.0
	女性 前期高齢者	754	17.4	43.4	1.3	17.6	19.1	1.2
	後期高齢者	1,015	34.4	30.3	1.2	18.2	14.0	1.9
年齢	65～74歳	1,351	15.8	43.7	5.3	15.5	18.6	1.0
	75～84歳	1,449	23.5	44.7	1.6	14.4	14.2	1.5
	85歳以上	335	34.6	26.9	1.8	18.5	14.6	3.6
日常生活圏域	高砂	301	23.9	42.9	3.0	15.9	13.3	1.0
	荒井	344	19.8	41.9	2.9	20.6	13.4	1.5
	伊保	671	22.4	40.1	4.0	13.0	18.8	1.8
	中筋	193	25.9	38.9	2.6	17.1	15.0	0.5
	曽根	400	16.8	48.0	2.5	15.3	16.0	1.5
	米田	611	25.5	40.3	2.9	13.6	16.4	1.3
	阿弥陀	412	18.7	45.1	3.4	15.5	15.5	1.7
	北浜	203	15.3	43.3	3.9	16.7	18.2	2.5
認定該当状況	一般高齢者	2,742	19.0	44.5	3.5	15.0	16.6	1.4
	総合事業対象者、要支援１・２	393	38.2	27.7	1.3	17.8	12.7	2.3

2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つだけ）

【全体】
○　「介護・介助は必要ない」が 80.3%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 7.3%、「現在、何らかの介護を受けている」が 6.7%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「介護・介助は必要ない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「介護・介助は必要ない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「介護・介助は必要ない」、総合事業対象者、要支援１・２は「現在、何らかの介護を受けている」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「介護・介助は必要ない」が最も多くなっています。

【介護・介助の必要性】



単位：%

		母数（n）	問1.2 介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体		3,135	80.3	7.3	6.7	5.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	88.9	4.4	2.5	4.2
	後期高齢者	769	77.5	10.3	7.3	4.9
	女性　前期高齢者	754	88.7	2.4	2.9	6.0
	後期高齢者	1,015	71.0	10.3	11.6	7.0
年齢	65～74歳	1,351	88.8	3.3	2.7	5.2
	75～84歳	1,449	79.0	8.0	6.6	6.3
	85歳以上	335	51.3	20.3	23.3	5.1
認定該当状況	一般高齢者	2,742	86.9	4.9	2.3	5.8
	総合事業対象者、要支援１・２	393	33.8	23.7	37.4	5.1
世帯類型	１人暮らし	671	72.9	9.1	10.9	7.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	85.3	6.0	4.7	4.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	83.2	7.9	3.0	5.9
	息子・娘との２世帯	481	79.0	7.5	7.7	5.8
	その他	506	79.6	7.3	6.1	6.9

※２で「２」又は「３」と答えた方（介護・介助が必要な方）のみ、お答えください。

２-１ 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（いくつでも）

【全体】

○ 「高齢による衰弱」が 20.3%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が 16.6%、「心臓病」「関節の病気（リウマチ等）」が 12.8%となっています。

【性別・年齢】

○ 男性-前期高齢者は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、男性-後期高齢者・女性-後期高齢者は「高齢による衰弱」、女性-前期高齢者は「関節の病気（リウマチ等）」が最も多くなっています。

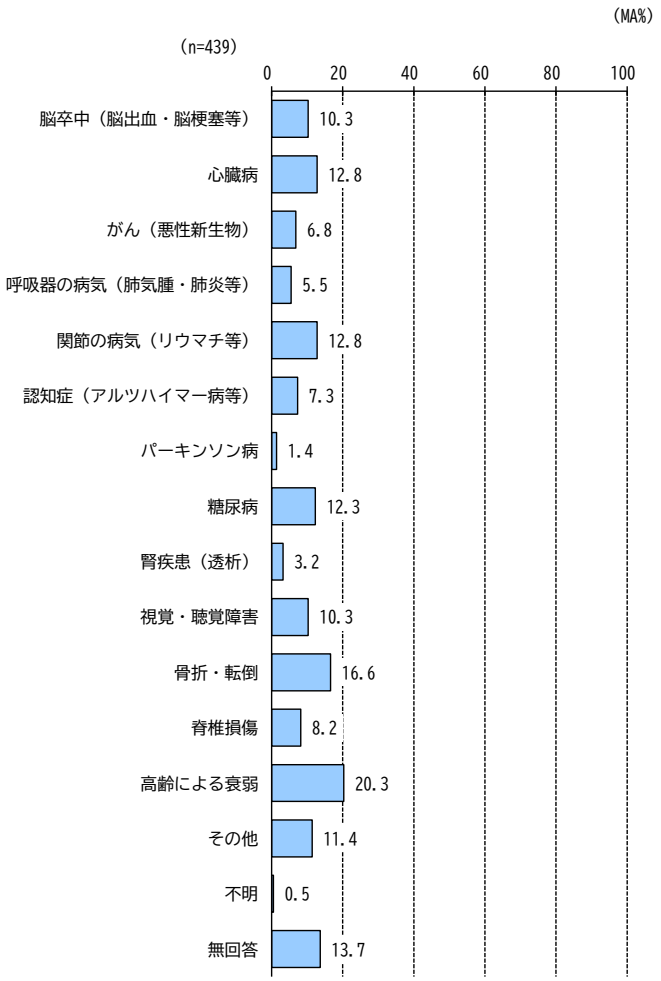
【年齢】

○ 65～74 歳は「関節の病気（リウマチ等）」、75～84 歳は「骨折・転倒」、85 歳以上は「高齢による衰弱」が最も多くなっています。

【世帯類型】

○ １人暮らし・息子・娘との２世帯は「高齢による衰弱」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）は「糖尿病」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「骨折・転倒」、その他は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「高齢による衰弱」が最も多くなっています。

【介護・介助が必要な原因】



		母数（n）	問1.2-1　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（MA）							
			脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病
全体		439	10.3	12.8	6.8	5.5	12.8	7.3	1.4	12.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	41	22.0	9.8	12.2	4.9	9.8	12.2	4.9	12.2
	後期高齢者	135	13.3	19.3	8.9	7.4	8.9	11.1	0.7	14.8
	女性　前期高齢者	40	10.0	15.0	12.5	15.0	25.0	5.0	5.0	20.0
	後期高齢者	223	6.3	9.0	3.6	2.7	13.5	4.5	0.4	9.4
年齢	65～74歳	81	16.0	12.3	12.3	9.9	17.3	8.6	4.9	16.0
	75～84歳	212	12.3	12.7	7.1	5.7	13.2	8.0	0.5	12.3
	85歳以上	146	4.1	13.0	3.4	2.7	9.6	5.5	0.7	10.3
世帯類型	１人暮らし	134	6.0	11.2	3.7	3.7	15.7	3.0	－	10.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	142	12.0	14.1	10.6	5.6	12.0	11.3	2.8	15.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	11	27.3	9.1	9.1	－	9.1	－	9.1	18.2
	息子・娘との２世帯	73	4.1	12.3	5.5	9.6	15.1	1.4	－	8.2
	その他	68	19.1	14.7	7.4	5.9	8.8	14.7	－	11.8

単位：％

		母数（n）	問1.2-1　介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（MA）							
			腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		439	3.2	10.3	16.6	8.2	20.3	11.4	0.5	13.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	41	7.3	9.8	7.3	4.9	9.8	9.8	－	7.3
	後期高齢者	135	3.0	10.4	15.6	11.9	20.7	5.9	－	15.6
	女性　前期高齢者	40	7.5	15.0	12.5	2.5	10.0	20.0	2.5	2.5
	後期高齢者	223	1.8	9.4	19.7	7.6	23.8	13.5	0.4	15.7
年齢	65～74歳	81	7.4	12.3	9.9	3.7	9.9	14.8	1.2	4.9
	75～84歳	212	3.3	9.0	17.0	10.8	14.6	12.3	－	13.2
	85歳以上	146	0.7	11.0	19.9	6.8	34.2	8.2	0.7	19.2
世帯類型	１人暮らし	134	0.7	9.7	18.7	10.4	26.1	13.4	－	17.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	142	5.6	14.1	13.4	6.3	14.1	12.7	0.7	12.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	11	9.1	9.1	27.3	－	9.1	9.1	－	9.1
	息子・娘との２世帯	73	4.1	9.6	16.4	5.5	27.4	8.2	1.4	11.0
	その他	68	1.5	5.9	16.2	11.8	19.1	7.4	－	11.8

※２で「３」と答えた方（介護・介助を受けている方）のみ、お答えください。

２-２ 主にどなたの介護・介助を受けていますか。（いくつでも）

【全体】
○ 「配偶者（夫・妻）」が 34.1%で最も多く、次いで「娘」が 28.4%、「介護サービスのヘルパー」が 25.1%となっています。

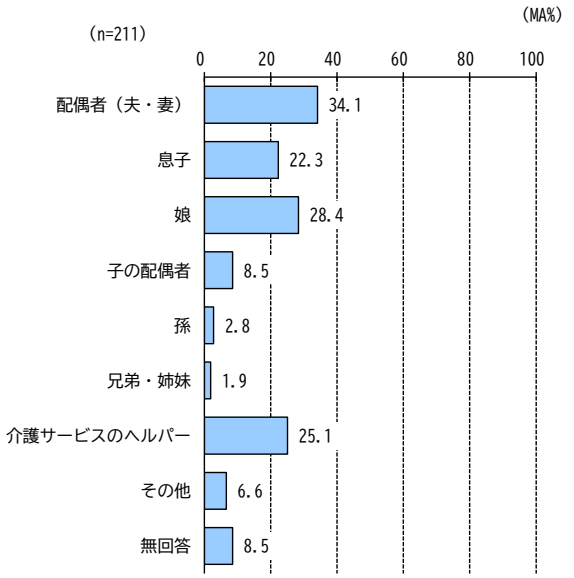
【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「配偶者（夫・妻）」、女性-後期高齢者は「娘」が最も多くなっています。

【年齢】
○ 65～74 歳・75～84 歳は「配偶者（夫・妻）」、85 歳以上は「娘」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「配偶者（夫・妻）」、総合事業対象者、要支援１・２は「介護サービスのヘルパー」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ １人暮らしは「介護サービスのヘルパー」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・その他は「配偶者（夫・妻）」、息子・娘との２世帯は「息子」が最も多くなっています。

【主な介護者】



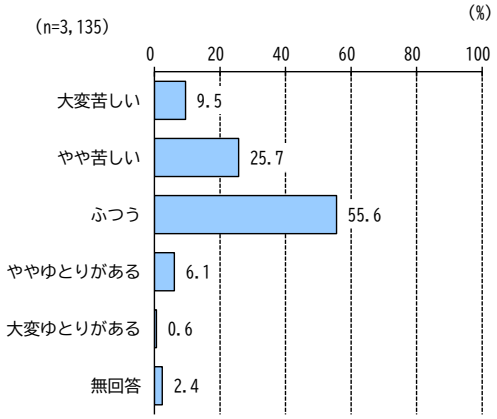
単位：％

		母数（n）	問1.2-2　主にどなたから介護、介助を受けていますか。（MA）								
			配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体		211	34.1	22.3	28.4	8.5	2.8	1.9	25.1	6.6	8.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	15	46.7	－	－	－	－	6.7	20.0	13.3	13.3
	後期高齢者	56	58.9	25.0	23.2	5.4	1.8	1.8	23.2	7.1	5.4
	女性　前期高齢者	22	45.5	13.6	18.2	9.1	－	－	31.8	13.6	13.6
	後期高齢者	118	18.6	25.4	36.4	11.0	4.2	1.7	25.4	4.2	8.5
年齢	65～74歳	37	45.9	8.1	10.8	5.4	－	2.7	27.0	13.5	13.5
	75～84歳	96	47.9	24.0	26.0	4.2	2.1	2.1	22.9	3.1	8.3
	85歳以上	78	11.5	26.9	39.7	15.4	5.1	1.3	26.9	7.7	6.4
認定状況	一般高齢者	64	60.9	18.8	21.9	3.1	1.6	3.1	7.8	4.7	7.8
	総合事業対象者、要支援１・２	147	22.4	23.8	31.3	10.9	3.4	1.4	32.7	7.5	8.8
世帯類型	１人暮らし	73	－	23.3	39.7	13.7	5.5	4.1	41.1	11.0	11.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	62	75.8	6.5	11.3	－	－	1.6	17.7	3.2	9.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	3	100.0	33.3	－	－	－	－	－	33.3	－
	息子・娘との２世帯	37	24.3	40.5	37.8	13.5	2.7	－	8.1	5.4	5.4
	その他	31	35.5	29.0	29.0	6.5	3.2	－	29.0	3.2	6.5

3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「ふつう」が 55.6%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 25.7%、「大変苦しい」が 9.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「ふつう」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「ふつう」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「ふつう」が最も多くなっています。

【経済的な暮らし向き】



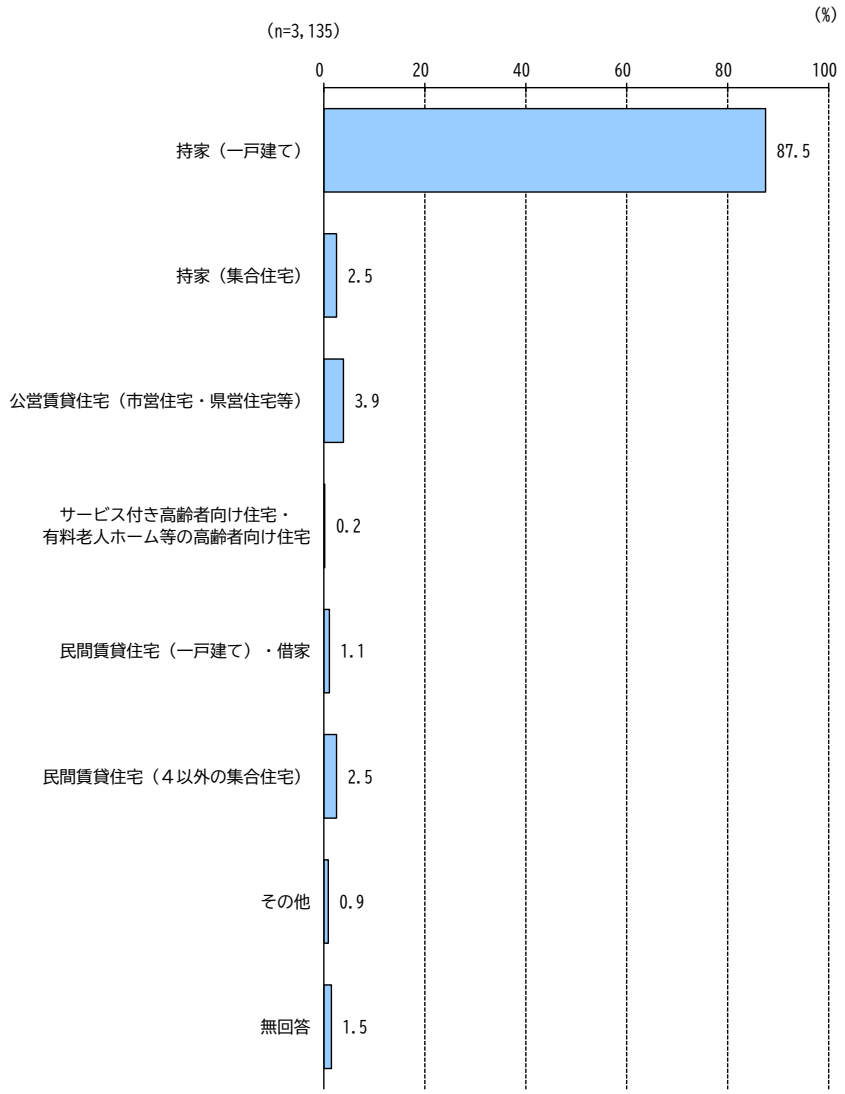
単位：%

		母数(n)	問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。 大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体		3,135	9.5	25.7	55.6	6.1	0.6	2.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	10.7	25.1	54.9	7.0	0.8	1.3
	後期高齢者	769	9.0	28.7	54.6	4.9	0.4	2.3
	女性　前期高齢者	754	10.3	26.8	52.1	8.1	0.5	2.1
	後期高齢者	1,015	8.7	23.1	59.2	5.0	0.8	3.3
年齢	65～74歳	1,351	10.5	26.1	53.4	7.6	0.7	1.8
	75～84歳	1,449	9.2	26.4	56.3	4.9	0.6	2.6
	85歳以上	335	7.2	21.5	61.2	5.4	0.9	3.9
認定該当状況	一般高齢者	2,742	9.4	24.9	56.1	6.7	0.7	2.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	10.4	31.6	52.2	2.0	0.5	3.3

４ お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。（１つだけ）

【全体】
○　「持家（一戸建て）」が 87.5%で最も多く、次いで「公営賃貸住宅（市営住宅・県営住宅等）」が 3.9%、「持家（集合住宅）」「民間賃貸住宅（４以外の集合住宅）」が 2.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「持家（一戸建て）」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「持家（一戸建て）」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「持家（一戸建て）」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「持家（一戸建て）」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「持家（一戸建て）」が最も多くなっています。

【現在の住居形態】



単位：%

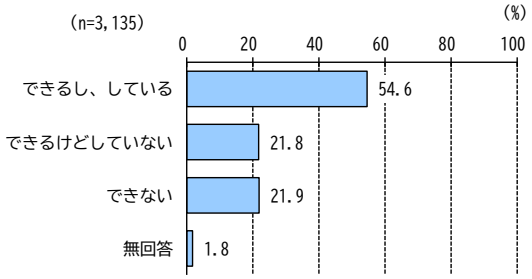
		母数（n）	問1.4　お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。							
			持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅（市営住宅・県営住宅等）	サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム等の高齢者向け住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）・借家	民間賃貸住宅（４以外の集合住宅）	その他	無回答
全体		3,135	87.5	2.5	3.9	0.2	1.1	2.5	0.9	1.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	86.8	3.0	2.3	－	2.0	3.9	0.8	1.2
	後期高齢者	769	91.7	1.7	3.3	0.1	0.3	1.3	0.3	1.4
	女性　前期高齢者	754	85.8	3.3	4.0	0.3	1.1	3.1	1.3	1.2
	後期高齢者	1,015	86.0	2.3	5.1	0.2	1.2	2.3	1.0	2.0
年齢	65～74歳	1,351	86.2	3.2	3.3	0.1	1.5	3.4	1.1	1.2
	75～84歳	1,449	88.6	2.1	4.3	0.1	0.8	1.7	0.6	1.7
	85歳以上	335	87.8	1.5	4.2	0.3	0.9	2.4	1.2	1.8
日常生活圏域	高砂	301	81.4	6.6	8.0	－	0.3	1.7	1.0	1.0
	荒井	344	94.2	0.3	－	－	1.5	2.0	1.2	0.9
	伊保	671	89.3	0.6	3.6	0.3	1.0	2.2	0.9	2.1
	中筋	193	76.2	0.5	16.1	－	3.1	2.6	0.5	1.0
	曽根	400	94.5	0.3	0.3	0.3	－	3.0	0.5	1.3
	米田	611	76.4	7.9	6.5	0.2	1.6	4.6	0.7	2.1
	阿弥陀	412	95.1	1.0	0.2	0.2	0.2	0.7	1.5	1.0
	北浜	203	94.1	－	－	－	2.0	2.0	0.5	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,742	88.0	2.6	3.7	0.0	1.0	2.4	0.9	1.5
	総合事業対象者、要支援１・２	393	84.2	2.3	4.8	1.0	1.8	3.6	0.8	1.5
世帯類型	１人暮らし	671	73.2	4.5	9.1	0.4	1.8	7.5	1.2	2.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	92.6	1.8	2.8	－	0.7	0.8	0.3	1.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	90.1	1.0	2.0	－	1.0	4.0	2.0	－
	息子・娘との２世帯	481	93.3	1.9	1.5	－	0.8	0.8	0.8	0.8
	その他	506	86.8	3.0	2.8	0.4	1.6	2.2	1.8	1.6

2．からだを動かすことについて（問２）

１ 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（１つだけ）

【全体】
○ 「できるし、している」が 54.6%で最も多く、次いで「できない」が 21.9%、「できるけどしていない」が 21.8%となっています。
【性別・年齢】
○ どの性別・年齢でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【年齢】
○ 65～74 歳・75～84 歳は「できるし、している」、85 歳以上は「できない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「できるし、している」、総合事業対象者、要支援１・２は「できない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○ どの世帯類型でも「できるし、している」が最も多くなっています。

【階段昇降の能力】



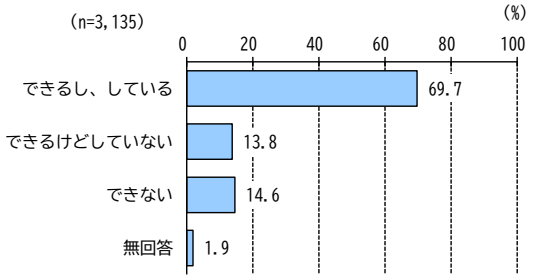
単位：%

		母数(n)	問2.1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		3,135	54.6	21.8	21.9	1.8
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	70.2	21.3	7.5	1.0
	後期高齢者	769	52.7	23.4	22.2	1.7
	女性 前期高齢者	754	65.9	20.2	12.7	1.2
	後期高齢者	1,015	38.4	22.0	36.7	2.9
年齢	65～74歳	1,351	67.8	20.7	10.4	1.1
	75～84歳	1,449	48.6	23.8	25.5	2.1
	85歳以上	335	27.2	17.3	52.2	3.3
認定該当状況	一般高齢者	2,742	59.8	23.2	15.1	1.8
	総合事業対象者、要支援１・２	393	18.1	11.5	68.7	1.8
世帯類型	１人暮らし	671	47.7	20.7	28.5	3.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	57.1	24.0	17.5	1.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	68.3	18.8	12.9	-
	息子・娘との２世帯	481	54.5	20.6	24.1	0.8
	その他	506	54.7	19.6	23.9	1.8

2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「できるし、している」が 69.7%で最も多く、次いで「できない」が 14.6%、「できるけどしていない」が 13.8%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「できるし、している」、総合事業対象者、要支援１・２は「できない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「できるし、している」が最も多くなっています。

【椅子からの立ち上がり】



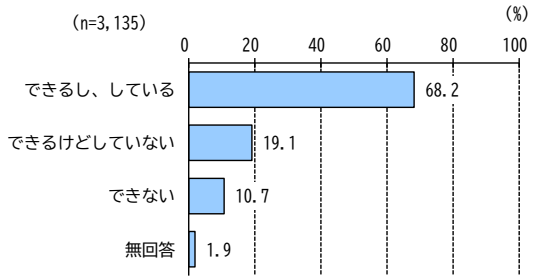
単位：%

		母数(n)	問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		3,135	69.7	13.8	14.6	1.9
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	81.1	12.4	5.0	1.5
	後期高齢者	769	66.4	16.9	15.1	1.6
	女性　前期高齢者	754	78.8	11.7	8.4	1.2
	後期高齢者	1,015	58.7	13.8	24.4	3.1
年齢	65～74歳	1,351	79.8	12.0	6.9	1.3
	75～84歳	1,449	66.7	15.0	15.9	2.4
	85歳以上	335	42.1	15.8	39.7	2.4
認定該当状況	一般高齢者	2,742	75.4	13.6	9.0	2.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	29.8	14.8	53.7	1.8
世帯類型	１人暮らし	671	63.9	13.4	19.2	3.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	72.5	14.3	11.9	1.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	79.2	10.9	9.9	－
	息子・娘との２世帯	481	65.9	16.4	16.4	1.2
	その他	506	72.1	11.3	14.4	2.2

3 15分位続けて歩いていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「できるし、している」が 68.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 19.1%、「できない」が 10.7%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「できるし、している」、総合事業対象者、要支援１・２は「できない」が最も多くなっています。

【15 分間の歩行継続】



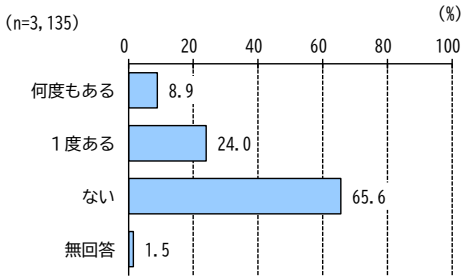
単位：%

		母数(n)	問2.3 15分位続けて歩いていますか。 できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		3,135	68.2	19.1	10.7	1.9
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	72.7	20.8	5.4	1.2
	後期高齢者	769	64.9	22.8	11.1	1.3
	女性　前期高齢者	754	74.5	18.6	5.3	1.6
	後期高齢者	1,015	63.4	15.8	17.6	3.2
年齢	65～74歳	1,351	73.7	19.5	5.3	1.4
	75～84歳	1,449	67.8	18.6	11.2	2.4
	85歳以上	335	48.1	19.4	30.4	2.1
認定該当状況	一般高齢者	2,742	72.4	19.2	6.6	1.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	39.4	18.6	39.7	2.3

４ 過去１年間に転んだ経験がありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「ない」が 65.6%で最も多く、次いで「１度ある」が 24.0%、「何度もある」が 8.9%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「ない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「ない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「ない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「ない」が最も多くなっています。

【転倒経験】



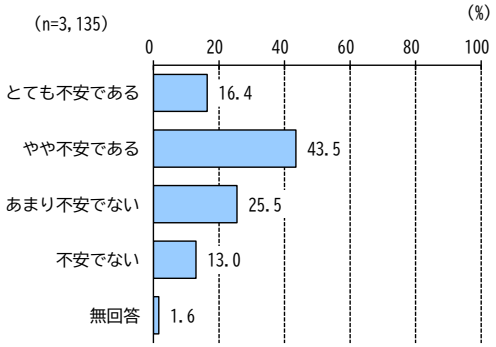
単位：%

		母数(n)	問2.4 過去１年間に転んだ経験がありますか。 何度もある	1度ある	ない	無回答
全体		3,135	8.9	24.0	65.6	1.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	8.4	18.6	71.9	1.2
	後期高齢者	769	10.5	26.0	62.0	1.4
	女性　前期高齢者	754	4.9	21.6	72.4	1.1
	後期高齢者	1,015	10.9	27.5	59.4	2.2
年齢	65～74歳	1,351	6.4	20.3	72.2	1.1
	75～84歳	1,449	8.8	26.2	63.1	1.9
	85歳以上	335	19.4	29.6	49.3	1.8
認定該当状況	一般高齢者	2,742	7.0	23.0	68.6	1.5
	総合事業対象者、要支援１・２	393	22.4	31.3	44.5	1.8
世帯類型	１人暮らし	671	10.0	28.0	59.2	2.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	8.2	22.8	67.9	1.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	9.9	17.8	70.3	2.0
	息子・娘との２世帯	481	8.1	21.8	69.4	0.6
	その他	506	9.5	25.3	64.0	1.2

5 転倒に対する不安は大きいですか。（１つだけ）

【全体】
○　「やや不安である」が 43.5%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が 25.5%、「とても不安である」が 16.4%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「やや不安である」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「やや不安である」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「やや不安である」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「やや不安である」が最も多くなっています。

【転倒への不安感】



単位：%

		母数(n)	問2.5 転倒に対する不安は大きいですか。 とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体		3,135	16.4	43.5	25.5	13.0	1.6
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	8.7	34.7	31.8	23.5	1.3
	後期高齢者	769	13.1	43.4	28.7	13.4	1.3
	女性　前期高齢者	754	12.2	47.1	26.8	13.0	0.9
	後期高齢者	1,015	26.5	46.2	18.4	6.4	2.5
年齢	65～74歳	1,351	10.7	41.6	29.0	17.6	1.1
	75～84歳	1,449	18.0	44.7	24.9	10.5	1.9
	85歳以上	335	32.5	46.3	14.0	4.8	2.4
当認状定況該	一般高齢者	2,742	12.5	43.3	27.9	14.6	1.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	43.8	45.0	8.7	1.3	1.3
世帯類型	１人暮らし	671	22.2	45.8	19.1	10.1	2.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	13.9	42.1	28.9	13.8	1.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	14.9	36.6	23.8	23.8	1.0
	息子・娘との２世帯	481	15.2	47.0	24.1	12.7	1.0
	その他	506	16.0	42.9	26.9	13.0	1.2

6 週に１回以上は外出していますか。（１つだけ）

【全体】
○　「週２～４回」が 42.8%で最も多く、次いで「週５回以上」が 38.8%、「週１回」が 11.7%となっています。

【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者は「週５回以上」、男性-後期高齢者・女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「週２～４回」が最も多くなっています。

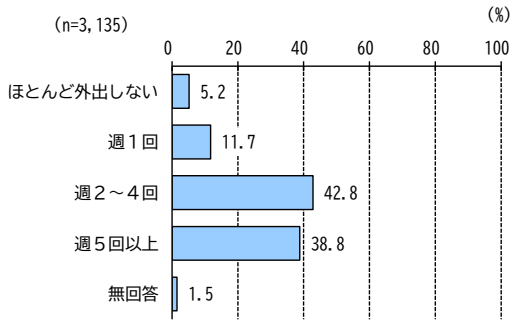
【年齢】
○　65～74 歳は「週５回以上」、75～84 歳・85 歳以上は「週２～４回」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】
○　高砂・荒井・中筋・曽根・米田・阿弥陀・北浜は「週２～４回」、伊保は「週５回以上」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○　一般高齢者は「週５回以上」、総合事業対象者、要支援１・２は「週２～４回」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○　１人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・息子・娘との２世帯は「週２～４回」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・その他は「週５回以上」が最も多くなっています。

【週１回以上の外出】



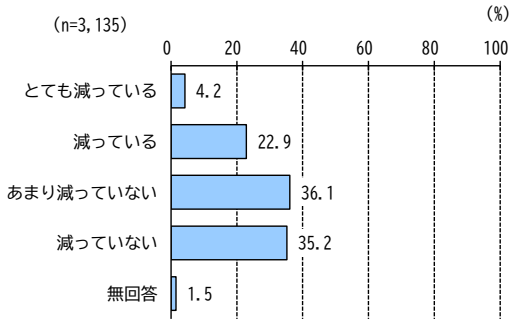
単位：%

		母数（n）	問2.6 週に１回以上は外出していますか。 ほとんど外出しない	週１回	週２～４回	週５回以上	無回答
全体		3,135	5.2	11.7	42.8	38.8	1.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	2.3	9.5	32.8	54.1	1.2
	後期高齢者	769	6.4	12.0	42.3	38.2	1.2
	女性　前期高齢者	754	2.3	7.3	45.4	43.9	1.2
	後期高齢者	1,015	8.1	16.0	47.3	26.4	2.3
年齢	65～74歳	1,351	2.3	8.3	39.8	48.4	1.2
	75～84歳	1,449	6.2	12.1	45.8	34.2	1.7
	85歳以上	335	12.2	23.3	42.4	19.7	2.4
日常生活圏域	高砂	301	4.3	16.6	43.9	33.9	1.3
	荒井	344	3.5	9.0	50.0	36.9	0.6
	伊保	671	5.8	11.5	39.9	40.8	1.9
	中筋	193	8.8	16.6	40.4	32.6	1.6
	曽根	400	5.3	11.0	44.0	38.8	1.0
	米田	611	4.7	9.3	42.6	41.1	2.3
	阿弥陀	412	5.3	10.9	41.7	40.8	1.2
	北浜	203	4.4	14.8	41.9	37.4	1.5
認定状況	一般高齢者	2,742	3.5	9.8	42.3	42.8	1.6
当該	総合事業対象者、要支援１・２	393	16.5	24.7	46.8	10.9	1.0
世帯類型	１人暮らし	671	6.3	14.3	46.6	30.1	2.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	3.3	9.8	43.5	42.1	1.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	3.0	18.8	31.7	45.5	1.0
	息子・娘との２世帯	481	7.1	12.7	42.2	37.2	0.8
	その他	506	7.1	11.3	37.5	42.9	1.2

7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「あまり減っていない」が 36.1%で最も多く、次いで「減っていない」が 35.2%、「減っている」が 22.9%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・女性-前期高齢者は「減っていない」、男性-後期高齢者・女性-後期高齢者は「あまり減っていない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳は「減っていない」、75～84 歳は「あまり減っていない」、85 歳以上は「減っている」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「減っていない」、総合事業対象者、要支援１・２は「減っている」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）は「あまり減っていない」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・息子・娘との２世帯・その他は「減っていない」が最も多くなっています。

【外出頻度の変化】



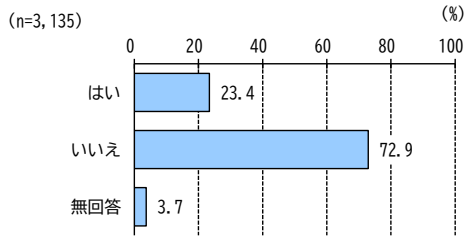
単位：%

		母数(n)	問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。				
			とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体		3,135	4.2	22.9	36.1	35.2	1.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	1.8	14.2	34.5	48.4	1.0
	後期高齢者	769	4.3	24.7	38.4	31.5	1.2
	女性　前期高齢者	754	2.7	18.4	37.5	40.1	1.3
	後期高齢者	1,015	6.8	29.9	34.4	26.8	2.2
年齢	65～74歳	1,351	2.3	16.6	36.2	43.7	1.2
	75～84歳	1,449	4.6	25.1	36.9	31.6	1.8
	85歳以上	335	10.4	38.5	32.8	16.7	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,742	2.9	19.9	36.9	38.7	1.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	13.7	43.8	30.5	10.9	1.0
世帯類型	１人暮らし	671	7.0	27.3	33.5	29.5	2.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	2.7	21.0	38.8	36.1	1.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	4.0	24.8	34.7	36.6	-
	息子・娘との２世帯	481	4.4	23.7	33.3	37.8	0.8
	その他	506	4.7	20.2	35.4	38.7	1.0

8 外出を控えていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 23.4%、「いいえ」が 72.9%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「いいえ」、85 歳以上は「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「いいえ」、総合事業対象者、要支援１・２は「はい」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「いいえ」が最も多くなっています。

【外出控えの有無】



単位：%

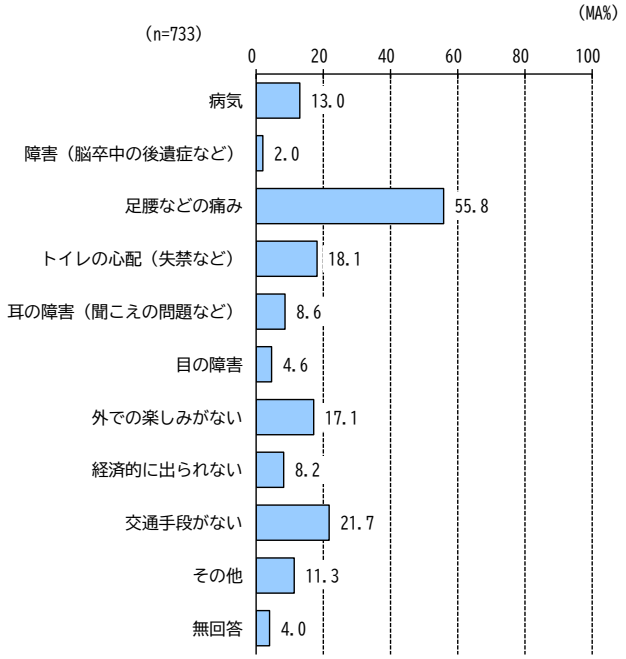
		母数（n）	問2.8 外出を控えていますか。 はい	いいえ	無回答
全体		3,135	23.4	72.9	3.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	10.2	87.1	2.7
	後期高齢者	769	26.9	69.1	4.0
	女性　前期高齢者	754	14.3	82.9	2.8
	後期高齢者	1,015	35.2	60.0	4.8
年齢	65～74歳	1,351	12.5	84.8	2.7
	75～84歳	1,449	26.8	68.6	4.6
	85歳以上	335	52.2	43.6	4.2
認定該当状況	一般高齢者	2,742	17.9	78.2	3.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	61.8	35.9	2.3
世帯類型	１人暮らし	671	29.5	65.3	5.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	19.8	77.1	3.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	22.8	75.2	2.0
	息子・娘との２世帯	481	23.9	73.6	2.5
	その他	506	23.1	72.7	4.2

※８で「１」と答えた方（外出を控えている方）のみ、お答えください。

８-１ 外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも）

【全体】
○　「足腰などの痛み」が 55.8%で最も多く、次いで「交通手段がない」が 21.7%、「トイレの心配（失禁など）」が 18.1%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「足腰などの痛み」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「足腰などの痛み」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「足腰などの痛み」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「足腰などの痛み」が最も多くなっています。

【外出を控える理由】



単位：%

		母数（n）	問2.8-1　外出を控えている理由は、次のどれですか。(MA) 病気	障害（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障害（聞こえの問題など）	目の障害
全体		733	13.0	2.0	55.8	18.1	8.6	4.6
性別・年齢	男性　前期高齢者	61	27.9	6.6	37.7	19.7	4.9	4.9
	後期高齢者	207	15.0	2.9	52.7	25.6	9.2	5.3
	女性　前期高齢者	108	18.5	1.9	51.9	13.9	3.7	2.8
	後期高齢者	357	7.6	0.8	61.9	14.8	10.4	4.8
年齢	65～74歳	169	21.9	3.6	46.7	16.0	4.1	3.6
	75～84歳	389	11.6	1.8	55.0	18.3	6.7	4.4
	85歳以上	175	7.4	1.1	66.3	20.0	17.1	6.3
認定状況該当	一般高齢者	490	11.0	1.0	49.2	17.8	7.3	4.1
	総合事業対象者、要支援１・２	243	16.9	4.1	69.1	18.9	11.1	5.8
世帯類型	１人暮らし	198	12.6	1.5	61.1	12.6	14.1	7.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	263	14.4	2.7	54.8	20.9	6.8	3.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	23	8.7	－	30.4	21.7	4.3	－
	息子・娘との２世帯	115	13.9	2.6	60.9	13.9	7.0	5.2
	その他	117	10.3	1.7	47.0	23.1	6.0	2.6

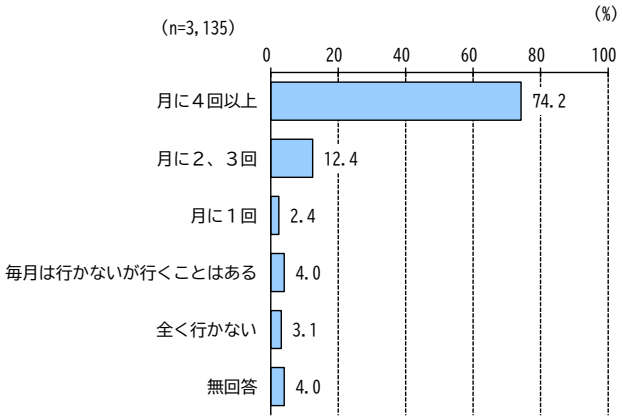
単位：%

		母数（n）	問2.8-1　外出を控えている理由は、次のどれですか。(MA) 外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体		733	17.1	8.2	21.7	11.3	4.0
性別・年齢	男性　前期高齢者	61	24.6	9.8	3.3	14.8	3.3
	後期高齢者	207	22.2	7.2	17.9	9.7	2.9
	女性　前期高齢者	108	18.5	18.5	16.7	18.5	2.8
	後期高齢者	357	12.3	5.3	28.6	9.5	5.0
年齢	65～74歳	169	20.7	15.4	11.8	17.2	3.0
	75～84歳	389	17.0	6.4	22.1	10.0	5.4
	85歳以上	175	13.7	5.1	30.3	8.6	1.7
認定状況該当	一般高齢者	490	21.4	9.4	17.3	13.1	4.5
	総合事業対象者、要支援１・２	243	8.2	5.8	30.5	7.8	2.9
世帯類型	１人暮らし	198	16.7	10.1	25.8	11.1	3.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	263	18.6	10.6	19.8	9.9	3.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	23	8.7	8.7	13.0	21.7	8.7
	息子・娘との２世帯	115	20.0	1.7	30.4	8.7	2.6
	その他	117	15.4	6.8	13.7	16.2	6.0

9 月に何回買物（食料品、日用品、衣料品など）に出かけますか。（１つだけ）

【全体】
○　「月に４回以上」が 74.2%で最も多く、次いで「月に２、３回」が 12.4%、「毎月は行かないが行くことはある」が 4.0%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「月に４回以上」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「月に４回以上」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「月に４回以上」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「月に４回以上」が最も多くなっています。

【買物の頻度】



単位：%

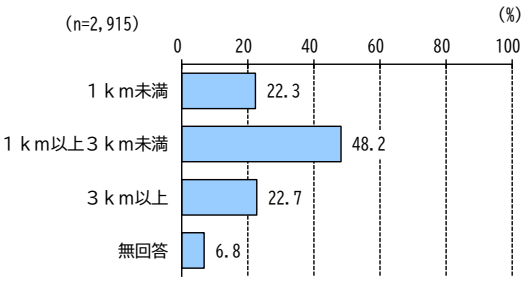
		母数(n)	問2.9 月に何回買物に出かけますか。					
			月に４回以上	月に２、３回	月に１回	毎月は行かないが行くことはある	全く行かない	無回答
全体		3,135	74.2	12.4	2.4	4.0	3.1	4.0
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	76.5	12.6	2.0	3.9	2.3	2.7
	後期高齢者	769	64.8	16.9	3.1	5.3	5.6	4.3
	女性　前期高齢者	754	87.5	7.6	0.7	1.5	0.3	2.5
	後期高齢者	1,015	70.0	12.6	3.4	4.8	3.6	5.5
年齢	65～74歳	1,351	82.7	9.8	1.3	2.5	1.2	2.6
	75～84歳	1,449	73.2	12.7	2.5	3.5	3.2	5.0
	85歳以上	335	44.2	22.1	6.9	11.9	9.9	5.1
認定該当状況	一般高齢者	2,742	78.1	11.6	1.7	3.1	1.7	3.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	46.6	18.6	7.4	10.2	12.7	4.6
世帯類型	１人暮らし	671	71.5	14.6	3.1	2.2	3.0	5.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	76.9	12.1	2.1	2.9	2.3	3.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	69.3	14.9	3.0	7.9	2.0	3.0
	息子・娘との２世帯	481	71.7	12.1	2.7	7.3	3.1	3.1
	その他	506	74.9	9.7	2.2	4.9	4.9	3.4

※９で「１」「２」「３」「４」と答えた方（買物に行く方）のみ、お答えください。

９-１ 主に買物に行っている店舗までの距離はどれくらいですか。（１つだけ）

【全体】
○ 「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が 48.2%で最も多く、次いで「３ｋｍ以上」が 22.7%、「１ｋｍ未満」が 22.3%となっています。
【性別・年齢】
○ どの性別・年齢でも「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が最も多くなっています。
【年齢】
○ どの年代でも「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○ どの日常生活圏域でも「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○ どの認定該当状況でも「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○ どの世帯類型でも「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が最も多くなっています。

【買物先までの距離】



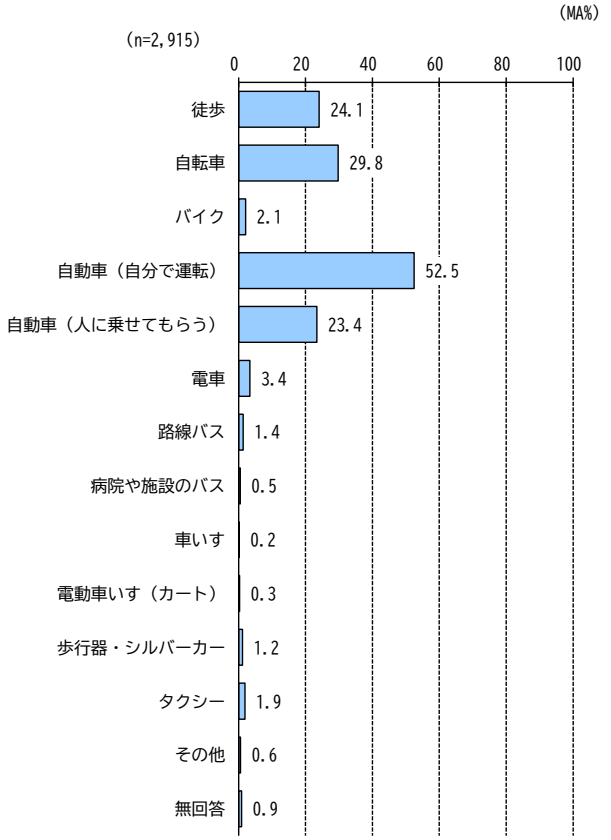
単位：%

		母数(n)	問2.9-1 主に買物に行っている店舗までの距離はどれくらいですか。			
			１ｋｍ未満	１ｋｍ以上３ｋｍ未満	３ｋｍ以上	無回答
全体		2,915	22.3	48.2	22.7	6.8
性別・年齢	男性　前期高齢者	567	17.8	45.3	31.9	4.9
	後期高齢者	693	20.3	50.1	24.4	5.2
	女性　前期高齢者	733	21.0	51.4	22.0	5.6
	後期高齢者	922	27.7	45.9	16.3	10.2
年齢	65～74歳	1,300	19.6	48.8	26.3	5.3
	75～84歳	1,330	23.3	49.5	20.5	6.7
	85歳以上	285	30.2	39.3	16.1	14.4
日常生活圏域	高砂	281	15.3	40.9	38.4	5.3
	荒井	323	18.0	57.0	17.6	7.4
	伊保	622	30.1	44.5	19.1	6.3
	中筋	178	17.4	48.9	25.8	7.9
	曽根	372	19.9	48.9	23.9	7.3
	米田	560	30.5	51.6	10.9	7.0
	阿弥陀	386	12.4	50.0	30.6	7.0
	北浜	193	20.2	39.9	32.6	7.3
認定該当状況	一般高齢者	2,590	21.2	49.3	23.2	6.3
	総合事業対象者、要支援１・２	325	31.4	39.1	18.5	11.1
世帯類型	１人暮らし	614	26.7	46.9	17.6	8.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,250	20.8	49.3	24.2	5.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	96	18.8	40.6	29.2	11.5
	息子・娘との２世帯	451	22.4	50.6	20.8	6.2
	その他	464	21.6	45.9	26.1	6.5

9-2 主に買物に行っている店舗まではどのようにして行きますか。(いくつでも)

【全体】
○ 「自動車（自分で運転)」が 52.5%で最も多く、次いで「自転車」が 29.8%、「徒歩」が 24.1%となっています。
【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「自動車（自分で運転)」、女性-後期高齢者は「自動車（人に乗せてもらう)」が最も多くなっています。
【年齢】
○ 65～74 歳・75～84 歳は「自動車（自分で運転)」、85 歳以上は「自動車（人に乗せてもらう)」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○ どの日常生活圏域でも「自動車（自分で運転)」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「自動車（自分で運転)」、総合事業対象者、要支援１・２は「自動車（人に乗せてもらう)」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○ どの世帯類型でも「自動車（自分で運転)」が最も多くなっています。

【買物の移動手段】



単位：%

		母数(n)	問2.9-2 主に買物に行っている店舗まではどのようにして行きますか。(MA) 徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス
全体		2,915	24.1	29.8	2.1	52.5	23.4	3.4	1.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	567	22.2	20.3	3.9	80.2	6.5	1.6	0.4
	後期高齢者	693	18.6	32.6	2.5	64.6	11.7	2.3	1.4
	女性　前期高齢者	733	23.2	31.2	1.4	55.5	28.4	3.3	0.1
	後期高齢者	922	30.0	32.5	1.3	23.8	38.5	5.5	3.1
年齢	65～74歳	1,300	22.8	26.5	2.5	66.3	18.8	2.5	0.2
	75～84歳	1,330	25.0	33.5	2.0	46.8	24.1	4.0	2.3
	85歳以上	285	26.0	28.1	1.1	15.8	40.7	4.9	3.2
日常生活圏域	高砂	281	22.8	28.1	1.1	49.1	26.3	7.8	2.8
	荒井	323	22.6	32.8	1.2	52.6	26.6	3.4	0.9
	伊保	622	26.8	33.1	2.4	50.3	22.2	1.4	0.2
	中筋	178	21.3	27.5	1.7	44.9	25.8	7.3	1.1
	曽根	372	22.0	33.9	1.1	52.7	26.1	3.8	0.8
	米田	560	33.9	32.0	2.3	50.9	20.7	2.9	2.7
	阿弥陀	386	15.3	21.0	2.6	63.2	19.7	2.1	2.3
	北浜	193	15.0	22.8	4.7	53.4	24.9	3.6	0.5
認定状況	一般高齢者	2,590	24.1	31.1	2.2	57.0	20.3	3.3	1.1
	総合事業対象者、要支援１・２	325	23.7	20.0	0.9	16.0	47.4	4.3	4.3
世帯類型	１人暮らし	614	31.3	31.4	2.0	41.5	19.7	6.8	4.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,250	21.2	30.4	1.9	59.2	22.3	2.0	0.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	96	14.6	19.8	3.1	71.9	16.7	3.1	1.0
	息子・娘との２世帯	451	25.1	33.0	2.0	45.2	29.7	3.5	0.9
	その他	464	23.7	25.6	2.8	52.2	25.9	2.4	1.1

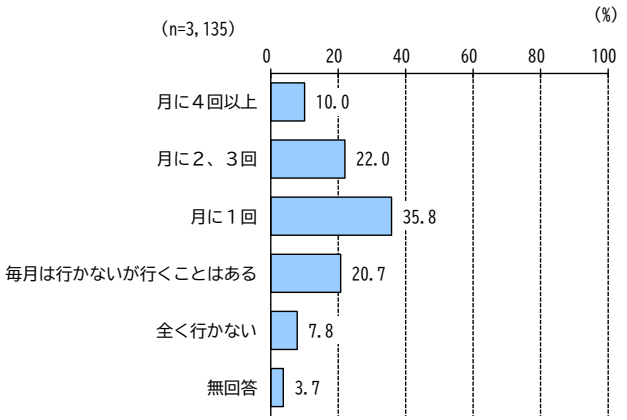
単位：%

		母数(n)	問2.9-2 主に買物に行っている店舗まではどのようにして行きますか。(MA) 病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,915	0.5	0.2	0.3	1.2	1.9	0.6	0.9
性別・年齢	男性　前期高齢者	567	0.2	0.2	0.2	－	0.2	0.5	0.7
	後期高齢者	693	0.3	－	0.3	0.6	1.6	0.3	1.3
	女性　前期高齢者	733	－	0.1	－	0.4	0.5	0.4	0.7
	後期高齢者	922	1.2	0.3	0.5	3.1	4.3	1.0	1.0
年齢	65～74歳	1,300	0.1	0.2	0.1	0.2	0.4	0.5	0.7
	75～84歳	1,330	0.5	0.1	0.3	1.3	1.8	0.7	0.9
	85歳以上	285	2.5	0.7	1.1	5.6	9.5	0.7	2.1
日常生活圏域	高砂	281	1.4	0.4	－	2.8	3.9	1.1	0.7
	荒井	323	－	－	0.3	1.2	2.8	－	0.3
	伊保	622	－	－	0.5	1.3	1.3	0.2	0.6
	中筋	178	1.1	－	0.6	1.1	1.7	1.1	1.7
	曽根	372	0.5	0.3	－	0.5	1.9	0.5	1.6
	米田	560	0.9	0.2	0.4	1.8	2.0	1.1	1.1
	阿弥陀	386	0.3	0.5	0.3	0.5	0.8	0.3	0.5
	北浜	193	－	－	－	－	2.1	1.0	1.6
認定状況	一般高齢者	2,590	0.1	0.1	－	0.4	0.7	0.5	1.0
	総合事業対象者、要支援１・２	325	3.7	0.9	2.5	8.0	12.0	0.9	0.6
世帯類型	１人暮らし	614	1.1	0.3	0.8	2.6	5.4	0.3	1.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,250	0.4	0.1	－	0.7	0.8	0.3	0.8
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	96	－	1.0	－	1.0	1.0	2.1	2.1
	息子・娘との２世帯	451	0.2	0.2	0.4	0.7	1.6	0.7	0.4
	その他	464	0.2	－	0.2	1.1	0.6	1.1	1.1

10 月に何回通院しますか。（１つだけ）

【全体】
○　「月に１回」が 35.8%で最も多く、次いで「月に２、３回」が 22.0%、「毎月は行かないが行くことはある」が 20.7%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「月に１回」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「月に１回」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「月に１回」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「月に１回」が最も多くなっています。

【通院の頻度】



単位：%

		母数(n)	問2.10 月に何回通院しますか。					
			月に4回以上	月に2、3回	月に1回	毎月は行かないが行くことはある	全く行かない	無回答
全体		3,135	10.0	22.0	35.8	20.7	7.8	3.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	8.5	16.2	38.2	24.3	9.2	3.5
	後期高齢者	769	10.1	28.0	36.5	16.9	5.1	3.4
	女性　前期高齢者	754	9.3	16.2	32.6	27.5	12.2	2.3
	後期高齢者	1,015	11.1	25.3	36.3	16.4	5.8	5.1
年齢	65～74歳	1,351	9.0	16.2	35.1	26.1	10.9	2.8
	75～84歳	1,449	10.6	26.5	35.9	17.3	5.5	4.1
	85歳以上	335	11.0	26.3	38.5	13.4	5.4	5.4
日常生活圏域	高砂	301	4.7	25.6	36.5	22.3	7.3	3.7
	荒井	344	9.0	21.8	35.5	23.5	5.5	4.7
	伊保	671	11.8	24.4	35.8	15.5	8.2	4.3
	中筋	193	7.8	16.6	41.5	23.8	7.3	3.1
	曽根	400	10.0	20.8	38.8	21.5	6.0	3.0
	米田	611	10.5	21.8	36.2	18.8	8.7	4.1
	阿弥陀	412	10.4	21.4	33.7	24.3	7.8	2.4
	北浜	203	12.8	19.2	27.6	24.1	12.8	3.4
認定該当状況	一般高齢者	2,742	9.2	20.6	35.8	22.0	8.7	3.7
	総合事業対象者、要支援１・２	393	15.3	32.1	36.1	11.2	1.5	3.8

※10で「１」「２」「３」「４」と答えた方（通院している方）のみ、お答えください。

10-１ 主に通っている病院までの距離はどれくらいですか。（１つだけ）

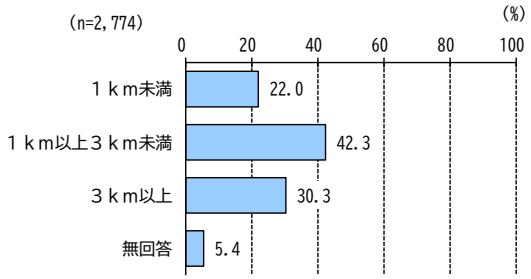
【全体】
○ 「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が 42.3%で最も多く、次いで「３ｋｍ以上」が 30.3%、「１ｋｍ未満」が 22.0%となっています。

【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者は「３ｋｍ以上」、男性-後期高齢者・女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が最も多くなっています。

【年齢】
○ どの年代でも「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】
○ 高砂・荒井・伊保・中筋・米田・北浜は「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」、曽根・阿弥陀は「３ｋｍ以上」が最も多くなっています。

【病院までの距離】



単位：%

		母数(n)	問2.10-1 主に通っている病院までの距離はどれくらいですか。			
			1km未満	1km以上3km未満	3km以上	無回答
全体		2,774	22.0	42.3	30.3	5.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	521	20.7	35.7	41.7	1.9
	後期高齢者	704	20.6	45.5	31.0	3.0
	女性 前期高齢者	645	21.1	45.3	29.5	4.2
	後期高齢者	904	24.3	41.6	23.9	10.2
年齢	65～74歳	1,166	20.9	41.0	34.9	3.2
	75～84歳	1,309	22.1	43.1	28.8	6.0
	85歳以上	299	25.4	44.1	19.1	11.4
日常生活圏域	高砂	268	28.4	41.8	23.1	6.7
	荒井	309	33.7	40.8	21.4	4.2
	伊保	587	24.7	43.4	26.9	4.9
	中筋	173	20.2	38.7	34.7	6.4
	曽根	364	10.4	41.8	42.9	4.9
	米田	533	27.4	43.7	23.1	5.8
	阿弥陀	370	12.2	39.7	41.6	6.5
	北浜	170	11.8	48.2	36.5	3.5

10-2 主に通っている病院まではどのようにして行きますか。(いくつでも)

【全体】
○ 「自動車（自分で運転)」が 45.6%で最も多く、次いで「自転車」が 25.1%、「自動車（人に乗せてもらう)」が 21.9%となっています。

【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「自動車（自分で運転)」、女性-後期高齢者は「自動車（人に乗せてもらう)」が最も多くなっています。

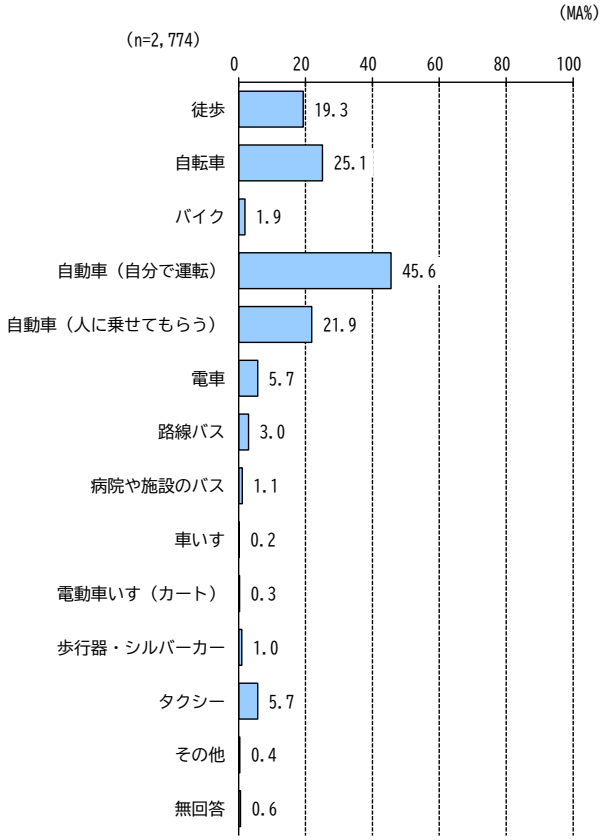
【年齢】
○ 65～74 歳・75～84 歳は「自動車（自分で運転)」、85 歳以上は「自動車（人に乗せてもらう)」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】
○ どの日常生活圏域でも「自動車（自分で運転)」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「自動車（自分で運転)」、総合事業対象者、要支援１・２は「自動車（人に乗せてもらう)」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ どの世帯類型でも「自動車（自分で運転)」が最も多くなっています。

【通院の移動手段】



単位：%

		母数(n)	問2.10-2 主に通っている病院まではどのようにして行きますか。(MA) 徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス
全体		2,774	19.3	25.1	1.9	45.6	21.9	5.7	3.0
性別・年齢	男性　前期高齢者	521	16.3	17.5	3.6	69.7	6.5	4.2	1.3
	後期高齢者	704	17.6	28.7	2.8	55.5	14.5	5.1	3.0
	女性　前期高齢者	645	17.8	25.3	0.9	50.9	21.4	3.9	1.6
	後期高齢者	904	23.5	26.4	0.8	20.4	36.9	8.2	5.1
年齢	65～74歳	1,166	17.2	21.8	2.1	59.3	14.8	4.0	1.5
	75～84歳	1,309	21.0	29.0	1.8	40.9	23.6	7.5	4.0
	85歳以上	299	20.4	20.7	1.0	13.0	42.5	4.0	5.0
日常生活圏域	高砂	268	25.0	28.7	1.1	41.0	17.9	6.7	1.9
	荒井	309	28.5	29.4	1.0	37.9	20.7	4.5	1.3
	伊保	587	18.2	28.4	2.2	45.3	22.8	3.6	3.4
	中筋	173	21.4	22.0	1.2	41.6	23.1	6.4	1.7
	曽根	364	12.4	23.6	2.2	47.8	23.6	9.3	4.1
	米田	533	25.1	25.7	1.5	42.4	21.8	5.3	4.7
	阿弥陀	370	11.1	16.5	1.4	58.1	20.3	4.6	3.2
	北浜	170	10.0	22.4	5.9	50.6	26.5	8.2	－
認定該当状況	一般高齢者	2,402	19.8	27.0	2.0	50.8	17.7	5.7	2.6
	総合事業対象者、要支援１・２	372	16.4	12.4	1.1	12.4	49.2	5.1	5.6
世帯類型	１人暮らし	585	24.1	25.3	1.2	36.9	20.2	6.7	5.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,185	17.8	25.1	2.2	51.5	19.3	5.1	1.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	89	9.0	19.1	2.2	62.9	15.7	3.4	1.1
	息子・娘との２世帯	431	19.0	25.5	1.4	39.4	27.8	6.5	3.2
	その他	442	19.0	25.6	2.3	45.0	26.2	5.7	3.6

単位：%

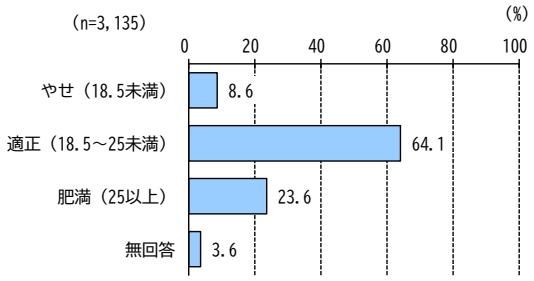
		母数(n)	問2.10-2 主に通っている病院まではどのようにして行きますか。(MA) 病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,774	1.1	0.2	0.3	1.0	5.7	0.4	0.6
性別・年齢	男性　前期高齢者	521	0.8	－	0.2	－	1.5	0.2	0.4
	後期高齢者	704	1.0	0.3	0.3	0.6	4.7	0.3	0.4
	女性　前期高齢者	645	0.9	0.2	－	－	2.2	0.3	0.3
	後期高齢者	904	1.4	0.3	0.4	2.8	11.3	0.8	1.1
年齢	65～74歳	1,166	0.9	0.1	0.1	－	1.9	0.3	0.3
	75～84歳	1,309	1.1	0.2	0.2	1.1	6.8	0.7	0.5
	85歳以上	299	1.7	0.7	1.3	4.7	15.4	－	2.0
日常生活圏域	高砂	268	2.6	0.4	－	1.9	10.1	0.4	1.1
	荒井	309	1.0	－	0.3	1.9	6.1	0.3	0.3
	伊保	587	0.9	0.2	0.3	1.0	5.6	0.2	0.2
	中筋	173	－	－	0.6	1.2	8.1	－	－
	曽根	364	0.5	0.3	－	0.5	4.9	0.5	0.5
	米田	533	1.7	0.4	0.6	1.3	3.4	0.4	1.1
	阿弥陀	370	0.5	0.3	－	0.3	4.9	0.8	0.8
	北浜	170	1.2	－	－	－	5.9	1.2	0.6
認定該当状況	一般高齢者	2,402	0.9	0.1	－	0.4	2.7	0.4	0.5
	総合事業対象者、要支援１・２	372	2.2	1.1	1.9	5.4	24.5	0.8	1.1
世帯類型	１人暮らし	585	0.9	－	0.5	2.7	12.0	0.3	1.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,185	0.8	0.3	0.1	0.4	3.1	0.4	0.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	89	2.2	－	－	1.1	4.5	－	2.2
	息子・娘との２世帯	431	1.4	0.5	0.5	0.9	6.3	0.7	0.2
	その他	442	1.6	0.2	0.2	0.5	3.6	0.5	0.2

3．食べることについて（問3）

1　身長・体重を教えてください。

【全体】
○　「適正（18.5～25 未満）」が 64.1%で最も多く、次いで「肥満（25 以上）」が 23.6%、「やせ（18.5 未満）」が 8.6%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「適正（18.5～25 未満）」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「適正（18.5～25 未満）」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「適正（18.5～25 未満）」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「適正（18.5～25 未満）」が最も多くなっています。

【身長と体重（BMI）】

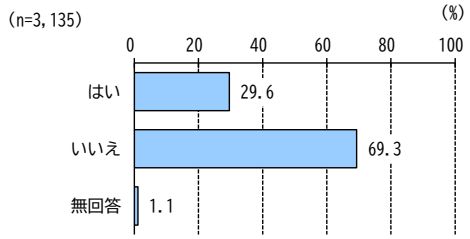


		母数（n）	問3.1　身長・体重を教えてください。（BMI）			
			やせ（18.5未満）	適正（18.5～25未満）	肥満（25以上）	無回答
全体		3,135	8.6	64.1	23.6	3.6
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	3.5	64.3	31.0	1.2
	後期高齢者	769	6.5	66.8	22.4	4.3
	女性　前期高齢者	754	11.1	61.1	25.5	2.3
	後期高齢者	1,015	11.3	64.2	18.8	5.6
年齢	65～74歳	1,351	7.8	62.5	27.9	1.8
	75～84歳	1,449	8.9	66.5	20.6	3.9
	85歳以上	335	10.7	60.3	19.1	9.9
認定該当状況	一般高齢者	2,742	8.2	65.6	23.2	3.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	11.5	53.9	26.5	8.1
世帯類型	１人暮らし	671	10.6	61.5	22.8	5.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	7.3	67.3	22.8	2.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	2.0	60.4	34.7	3.0
	息子・娘との２世帯	481	9.1	61.3	25.2	4.4
	その他	506	10.1	64.4	22.9	2.6

2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 29.6%、「いいえ」が 69.3%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「いいえ」が最も多くなっています。

【咀嚼機能の変化】



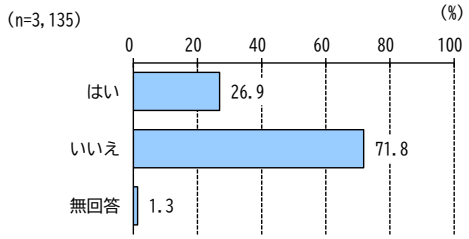
単位：%

		母数(n)	問3.2　半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	29.6	69.3	1.1
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	25.6	73.2	1.2
	後期高齢者	769	34.2	64.4	1.4
	女性　前期高齢者	754	21.2	77.9	0.9
	後期高齢者	1,015	34.7	64.2	1.1
年齢	65～74歳	1,351	23.2	75.8	1.0
	75～84歳	1,449	31.5	67.5	1.0
	85歳以上	335	47.5	50.4	2.1
当該認定状況	一般高齢者	2,742	26.8	72.1	1.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	48.9	49.1	2.0

3 お茶や汁物等でむせることがありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 26.9%、「いいえ」が 71.8%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「いいえ」が最も多くなっています。

【むせの状態】



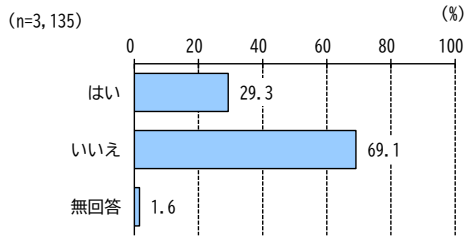
単位：%

		母数（n）	問3.3　お茶や汁物等でむせることがありますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	26.9	71.8	1.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	22.8	76.4	0.8
	後期高齢者	769	28.9	69.4	1.7
	女性　前期高齢者	754	23.6	75.6	0.8
	後期高齢者	1,015	30.2	68.0	1.8
年齢	65～74歳	1,351	23.2	75.9	0.8
	75～84歳	1,449	27.3	71.2	1.6
	85歳以上	335	40.0	57.6	2.4
認定該当状況	一般高齢者	2,742	24.6	74.1	1.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	42.7	55.5	1.8

4 口の渇きが気になりますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 29.3%、「いいえ」が 69.1%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「いいえ」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「いいえ」が最も多くなっています。

【口の渇き】



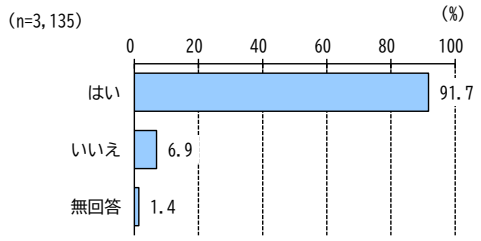
単位：%

		母数（n）	問3.4　口の渇きが気になりますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	29.3	69.1	1.6
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	26.3	72.2	1.5
	後期高齢者	769	30.8	67.4	1.8
	女性　前期高齢者	754	22.4	77.1	0.5
	後期高齢者	1,015	35.2	62.6	2.3
年齢	65～74歳	1,351	24.1	74.9	1.0
	75～84歳	1,449	31.8	66.5	1.7
	85歳以上	335	39.7	56.7	3.6
認定該当状況	一般高齢者	2,742	27.0	71.6	1.5
	総合事業対象者、要支援１・２	393	45.8	51.7	2.5
世帯類型	１人暮らし	671	35.5	62.9	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	26.6	72.2	1.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	35.6	60.4	4.0
	息子・娘との２世帯	481	28.1	69.9	2.1
	その他	506	28.1	70.2	1.8

5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 91.7%、「いいえ」が 6.9%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「はい」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「はい」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「はい」が最も多くなっています。

【歯磨き習慣】



単位：%

		母数(n)	問3.5 歯磨きを毎日していますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	91.7	6.9	1.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	91.6	7.0	1.3
	後期高齢者	769	88.0	10.3	1.7
	女性　前期高齢者	754	95.2	4.0	0.8
	後期高齢者	1,015	92.0	6.4	1.6
年齢	65～74歳	1,351	93.6	5.3	1.0
	75～84歳	1,449	92.1	6.5	1.4
	85歳以上	335	82.7	14.9	2.4
認定該当状況	一般高齢者	2,742	92.5	6.3	1.2
	総合事業対象者、要支援１・２	393	86.8	10.9	2.3
世帯類型	１人暮らし	671	90.2	8.2	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	93.8	5.0	1.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	86.1	10.9	3.0
	息子・娘との２世帯	481	91.9	7.7	0.4
	その他	506	91.5	6.9	1.6

6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。（１つだけ）（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

【全体】
○ 「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 34.8%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.3%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 15.5%となっています。

【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者・女性-前期高齢者は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」、男性-後期高齢者・女性-後期高齢者は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなっています。

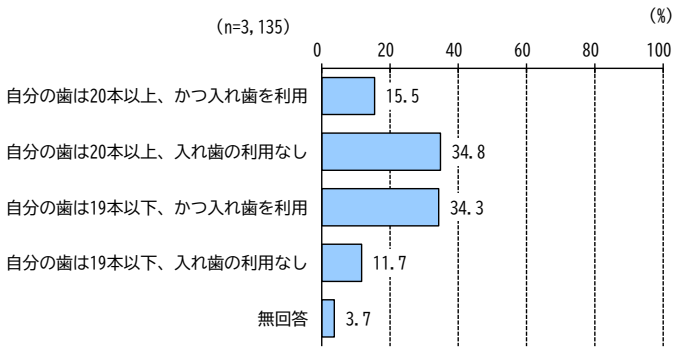
【年齢】
○ 65～74 歳は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」、75～84 歳・85 歳以上は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】
○ 高砂・荒井・曽根・阿弥陀は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」、伊保・中筋・米田・北浜は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」、総合事業対象者、要支援１・２は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ １人暮らしは「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・息子・娘との２世帯・その他は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が最も多くなっています。

【歯の数と入れ歯の利用】



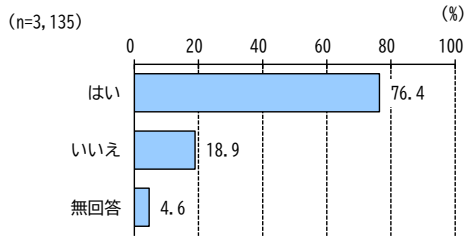
単位：％

		母数（n）	問3.6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。				
			自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答
全体		3,135	15.5	34.8	34.3	11.7	3.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	12.4	46.4	26.8	11.9	2.5
	後期高齢者	769	16.9	25.1	42.7	11.3	4.0
	女性　前期高齢者	754	14.1	47.7	22.5	13.3	2.4
	後期高齢者	1,015	17.2	25.8	41.0	10.8	5.1
年齢	65～74歳	1,351	13.3	47.2	24.4	12.7	2.4
	75～84歳	1,449	17.5	28.1	39.7	11.2	3.6
	85歳以上	335	15.5	14.3	50.4	10.4	9.3
日常生活圏域	高砂	301	15.3	43.2	31.9	6.0	3.7
	荒井	344	11.3	38.7	35.8	10.5	3.8
	伊保	671	16.4	32.6	34.9	11.5	4.6
	中筋	193	20.2	24.4	34.7	17.6	3.1
	曽根	400	15.5	38.3	29.0	13.3	4.0
	米田	611	15.2	32.7	35.7	12.4	3.9
	阿弥陀	412	17.7	34.2	33.5	12.1	2.4
	北浜	203	11.3	34.0	40.4	11.8	2.5
認定状況	一般高齢者	2,742	15.7	37.4	32.7	11.0	3.2
該当	総合事業対象者、要支援１・２	393	13.7	17.0	45.0	16.8	7.4
世帯類型	１人暮らし	671	14.6	28.0	39.3	12.1	6.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	16.1	38.1	33.4	9.9	2.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	9.9	43.6	29.7	11.9	5.0
	息子・娘との２世帯	481	16.4	33.9	32.8	14.8	2.1
	その他	506	15.6	35.2	31.6	13.2	4.3

6-1 噛み合わせは良いですか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 76.4%、「いいえ」が 18.9%となっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「はい」が最も多くなっています。

【噛み合わせの状態】



単位：%

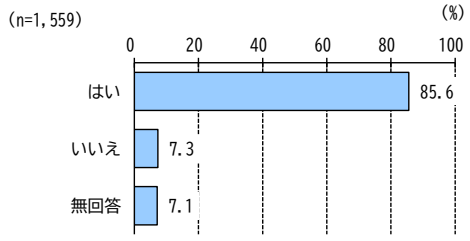
		母数（n）	問3.6-1 噛み合わせは良いですか。 はい	いいえ	無回答
全体		3,135	76.4	18.9	4.6
当認状定況該	一般高齢者	2,742	77.5	18.2	4.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	68.7	24.2	7.1

※６で「１」又は「３」と答えた方（入れ歯を利用している方）のみ、お答えください。

6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 85.6%、「いいえ」が 7.3%となっています。
【年齢】
○　どの年代でも「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「はい」が最も多くなっています。

【入れ歯の手入れ習慣】



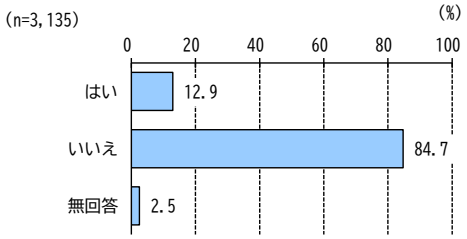
単位：%

		母数（n）	問3.6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。 はい	いいえ	無回答
全体		1,559	85.6	7.3	7.1
年齢	65～74歳	510	82.5	8.6	8.8
	75～84歳	828	88.2	5.7	6.2
	85歳以上	221	83.3	10.4	6.3
当認状定況該	一般高齢者	1,328	86.3	6.7	7.0
	総合事業対象者、要支援１・２	231	81.8	10.8	7.4

７　６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 12.9%、「いいえ」が 84.7%となっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「いいえ」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「いいえ」が最も多くなっています。

【体重減少】



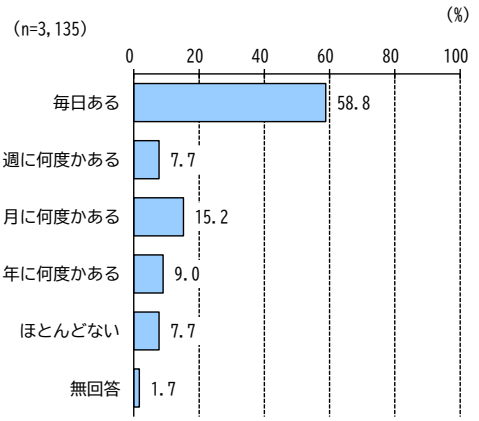
単位：%

		母数（n）	問3.7　６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	12.9	84.7	2.5
年齢	65～74歳	1,351	11.6	86.5	1.9
	75～84歳	1,449	13.0	84.8	2.1
	85歳以上	335	17.3	76.7	6.0
当該認定状況	一般高齢者	2,742	11.8	86.0	2.2
	総合事業対象者、要支援１・２	393	20.4	75.3	4.3
世帯類型	１人暮らし	671	16.4	80.0	3.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	11.3	86.8	2.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	11.9	84.2	4.0
	息子・娘との２世帯	481	11.4	86.7	1.9
	その他	506	13.6	84.0	2.4

8 どなたかと食事をともにする機会はありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「毎日ある」が 58.8%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 15.2%、「年に何度かある」が 9.0%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「毎日ある」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「毎日ある」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「毎日ある」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らしは「月に何度かある」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・息子・娘との２世帯・その他は「毎日ある」が最も多くなっています。

【共食の機会】



単位：%

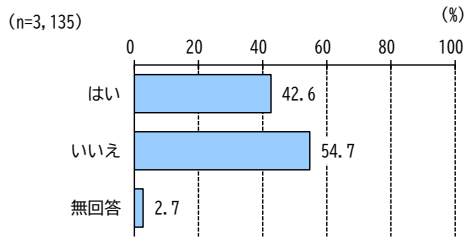
		母数(n)	問3.8 どなたかと食事をともにする機会はありますか。 毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		3,135	58.8	7.7	15.2	9.0	7.7	1.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	66.8	6.0	9.0	8.7	8.0	1.3
	後期高齢者	769	61.0	6.0	11.2	8.7	10.8	2.3
	女性　前期高齢者	754	66.4	8.0	13.1	6.9	4.8	0.8
	後期高齢者	1,015	46.6	9.8	23.3	10.8	7.4	2.2
年齢	65～74歳	1,351	66.6	7.1	11.3	7.7	6.2	1.0
	75～84歳	1,449	54.9	7.6	18.0	9.4	8.4	1.7
	85歳以上	335	43.9	10.4	18.2	12.2	10.7	4.5
認定該当状況	一般高齢者	2,742	61.6	7.4	14.1	8.7	6.6	1.5
	総合事業対象者、要支援１・２	393	39.2	9.4	22.4	10.7	15.3	3.1
世帯類型	１人暮らし	671	8.2	14.3	38.0	20.0	17.7	1.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	74.9	4.6	8.0	6.6	4.1	1.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	72.3	6.9	5.9	6.9	5.0	3.0
	息子・娘との２世帯	481	70.1	8.3	11.4	3.5	5.2	1.5
	その他	506	70.2	6.5	8.7	6.1	6.9	1.6

４．毎日の生活について（問４）

１　物忘れが多いと感じますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 42.6%、「いいえ」が 54.7%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「いいえ」、85 歳以上は「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「いいえ」、総合事業対象者、要支援１・２は「はい」が最も多くなっています。

【物忘れの自覚】



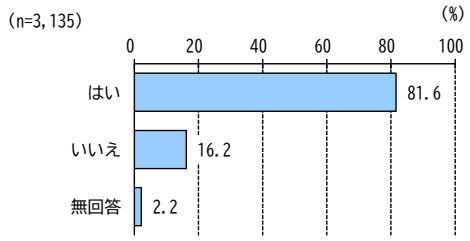
単位：%

		母数（n）	問4.1　物忘れが多いと感じますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	42.6	54.7	2.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	37.9	60.6	1.5
	後期高齢者	769	48.6	48.9	2.5
	女性　前期高齢者	754	35.9	60.6	3.4
	後期高齢者	1,015	45.7	51.1	3.2
年齢	65～74歳	1,351	36.8	60.6	2.6
	75～84歳	1,449	44.1	53.0	2.9
	85歳以上	335	59.4	37.9	2.7
認定該当状況	一般高齢者	2,742	40.5	57.0	2.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	57.3	38.7	4.1

2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 81.6%、「いいえ」が 16.2%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「はい」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「はい」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「はい」が最も多くなっています。

【電話利用】



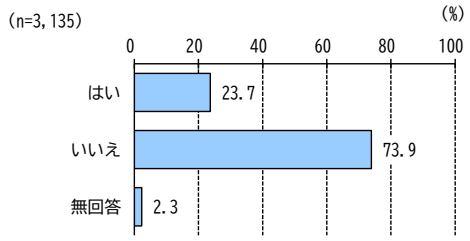
単位：%

		母数(n)	問4.2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。 はい	いいえ	無回答
全体		3,135	81.6	16.2	2.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	79.2	19.3	1.5
	後期高齢者	769	78.0	19.8	2.2
	女性　前期高齢者	754	83.8	13.4	2.8
	後期高齢者	1,015	83.9	13.9	2.2
年齢	65～74歳	1,351	81.8	16.0	2.2
	75～84歳	1,449	83.0	14.9	2.1
	85歳以上	335	74.6	23.0	2.4
認定状況該当	一般高齢者	2,742	82.7	15.3	2.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	73.3	22.9	3.8
世帯類型	１人暮らし	671	84.6	13.3	2.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	83.1	15.4	1.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	73.3	24.8	2.0
	息子・娘との２世帯	481	79.6	17.5	2.9
	その他	506	78.1	19.0	3.0

3 今日が何月何日か、わからない時がありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 23.7%、「いいえ」が 73.9%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いいえ」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「いいえ」が最も多くなっています。

【日付の見当識】



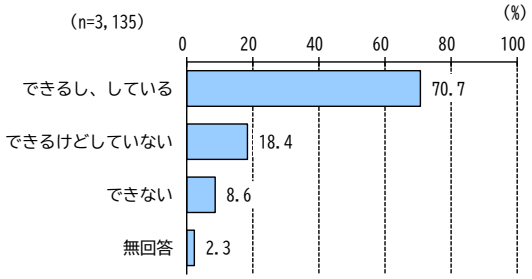
単位：%

		母数(n)	問4.3　今日が何月何日かわからない時がありますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	23.7	73.9	2.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	19.8	78.6	1.7
	後期高齢者	769	29.1	68.4	2.5
	女性　前期高齢者	754	18.0	79.3	2.7
	後期高齢者	1,015	26.2	71.4	2.4
年齢	65～74歳	1,351	18.8	79.0	2.2
	75～84歳	1,449	24.8	72.9	2.2
	85歳以上	335	38.8	57.9	3.3
日常生活圏域	高砂	301	19.6	77.1	3.3
	荒井	344	19.5	78.8	1.7
	伊保	671	22.8	75.4	1.8
	中筋	193	29.5	66.3	4.1
	曽根	400	23.3	74.3	2.5
	米田	611	25.4	72.2	2.5
	阿弥陀	412	28.4	69.4	2.2
	北浜	203	21.2	77.3	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,742	22.0	76.0	2.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	36.1	59.5	4.3

４ バスや電車を使って１人で外出していますか（自家用車でも可）。（１つだけ）

【全体】
○　「できるし、している」が 70.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 18.4%、「できない」が 8.6%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「できるし、している」、総合事業対象者、要支援１・２は「できない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「できるし、している」が最も多くなっています。

【交通機関での外出】



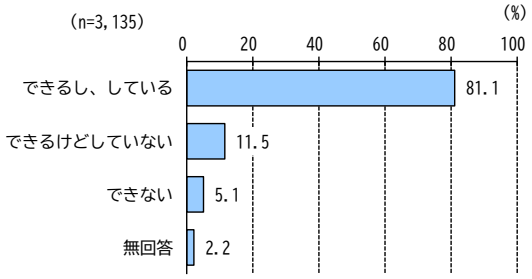
単位：%

		母数(n)	問4.4 バスや電車を使って１人で外出していますか。 できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		3,135	70.7	18.4	8.6	2.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	87.3	8.7	2.3	1.7
	後期高齢者	769	70.7	18.9	7.8	2.6
	女性　前期高齢者	754	76.9	18.3	2.4	2.4
	後期高齢者	1,015	56.3	23.8	17.5	2.4
年齢	65～74歳	1,351	81.5	14.1	2.4	2.1
	75～84歳	1,449	68.0	20.6	9.0	2.3
	85歳以上	335	38.5	26.6	31.9	3.0
認定該当状況	一般高齢者	2,742	76.1	17.5	4.4	2.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	32.8	24.9	37.9	4.3
世帯類型	１人暮らし	671	67.2	17.0	13.0	2.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	75.1	18.2	5.0	1.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	80.2	12.9	4.0	3.0
	息子・娘との２世帯	481	66.3	19.1	12.5	2.1
	その他	506	67.4	20.4	9.9	2.4

5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「できるし、している」が 81.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.5%、「できない」が 5.1%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「できるし、している」が最も多くなっています。

【買物の自立度】



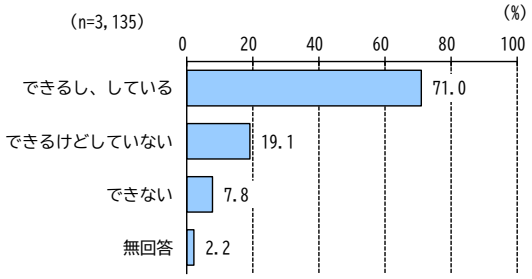
単位：%

		母数(n)	問4.5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。 できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		3,135	81.1	11.5	5.1	2.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	80.6	15.7	1.8	1.8
	後期高齢者	769	67.5	23.3	7.0	2.2
	女性　前期高齢者	754	94.0	2.1	1.5	2.4
	後期高齢者	1,015	82.2	7.2	8.3	2.4
年齢	65～74歳	1,351	88.1	8.1	1.6	2.1
	75～84歳	1,449	79.2	13.7	4.8	2.3
	85歳以上	335	61.5	15.8	20.6	2.1
当認状定況該	一般高齢者	2,742	84.6	11.1	2.4	1.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	57.0	14.5	24.2	4.3
世帯類型	１人暮らし	671	88.2	3.7	5.8	2.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	81.3	13.3	3.7	1.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	69.3	21.8	5.0	4.0
	息子・娘との２世帯	481	78.8	12.3	6.7	2.3
	その他	506	77.1	13.8	6.7	2.4

6 自分で食事の用意をしていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「できるし、している」が 71.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 19.1%、「できない」が 7.8%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「できるし、している」が最も多くなっています。

【食事準備の自立度】



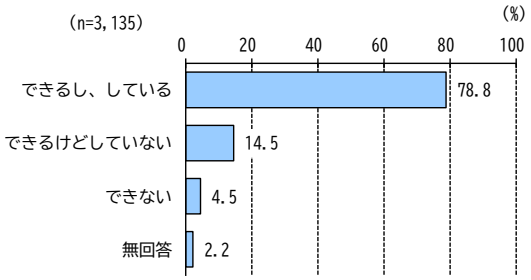
単位：%

		母数（n）	問4.6 自分で食事の用意をしていますか。 できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		3,135	71.0	19.1	7.8	2.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	48.2	40.7	9.4	1.7
	後期高齢者	769	42.7	36.7	18.2	2.5
	女性　前期高齢者	754	94.7	1.9	0.9	2.5
	後期高齢者	1,015	88.3	5.8	3.9	2.0
年齢	65～74歳	1,351	74.2	19.0	4.7	2.1
	75～84歳	1,449	69.5	19.7	8.7	2.1
	85歳以上	335	64.8	16.7	16.1	2.4
当認状定況該	一般高齢者	2,742	72.0	19.9	6.2	1.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	64.4	13.0	18.6	4.1
世帯類型	１人暮らし	671	90.6	4.5	2.7	2.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	66.1	23.3	9.0	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	49.5	36.6	10.9	3.0
	息子・娘との２世帯	481	67.6	22.5	7.5	2.5
	その他	506	66.6	20.8	10.3	2.4

7 自分で請求書の支払いをしていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「できるし、している」が 78.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 14.5%、「できない」が 4.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「できるし、している」が最も多くなっています。

【請求書支払の自立度】



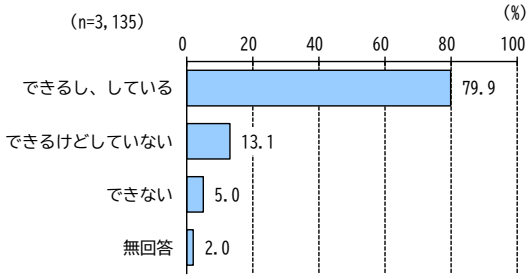
単位：%

		母数(n)	問4.7 自分で請求書の支払いをしていますか。			
			できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		3,135	78.8	14.5	4.5	2.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	70.0	23.6	4.4	2.0
	後期高齢者	769	63.2	27.7	6.9	2.2
	女性　前期高齢者	754	92.4	3.4	1.5	2.7
	後期高齢者	1,015	85.5	7.5	5.0	2.0
年齢	65～74歳	1,351	82.5	12.4	2.7	2.4
	75～84歳	1,449	78.3	15.7	3.9	2.1
	85歳以上	335	65.7	18.2	14.3	1.8
日常生活圏域	高砂	301	75.7	17.3	4.3	2.7
	荒井	344	87.5	7.8	2.9	1.7
	伊保	671	78.8	15.1	4.5	1.6
	中筋	193	72.5	18.7	6.2	2.6
	曽根	400	74.0	19.0	4.8	2.3
	米田	611	78.4	13.1	5.6	2.9
	阿弥陀	412	81.3	12.6	4.1	1.9
	北浜	203	79.3	15.8	3.0	2.0
認定該当状況	一般高齢者	2,742	80.5	14.4	3.1	2.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	66.7	15.5	14.5	3.3
世帯類型	１人暮らし	671	90.0	4.5	3.1	2.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	78.0	16.8	3.6	1.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	68.3	23.8	5.9	2.0
	息子・娘との２世帯	481	73.0	17.3	7.3	2.5
	その他	506	74.5	17.2	5.9	2.4

8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「できるし、している」が 79.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 13.1%、「できない」が 5.0%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「できるし、している」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「できるし、している」が最も多くなっています。

【預貯金管理の自立度】



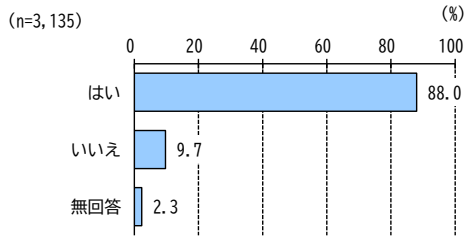
単位：%

		母数(n)	問4.8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。 できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体		3,135	79.9	13.1	5.0	2.0
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	75.4	19.3	3.5	1.8
	後期高齢者	769	63.2	24.6	9.9	2.3
	女性　前期高齢者	754	93.9	2.5	1.1	2.5
	後期高齢者	1,015	84.9	8.6	5.0	1.5
年齢	65～74歳	1,351	85.7	9.9	2.1	2.2
	75～84歳	1,449	79.4	13.7	5.0	1.9
	85歳以上	335	58.8	23.3	16.4	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,742	82.7	12.0	3.4	1.8
	総合事業対象者、要支援１・２	393	60.3	20.4	15.8	3.6
世帯類型	１人暮らし	671	89.7	6.1	2.2	1.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	78.7	14.9	4.8	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	72.3	19.8	5.9	2.0
	息子・娘との２世帯	481	76.9	13.9	7.1	2.1
	その他	506	75.7	15.6	6.5	2.2

9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 88.0%、「いいえ」が 9.7%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「はい」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「はい」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「はい」が最も多くなっています。

【書類記入の能力】



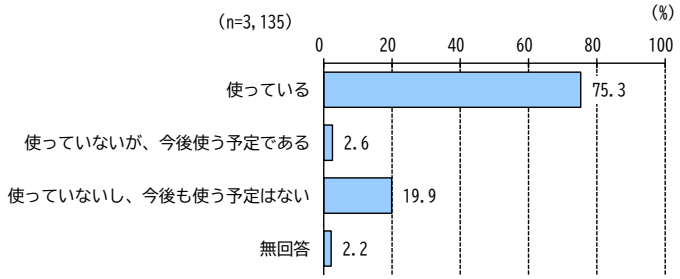
単位：%

		母数（n）	問4.9　年金などの書類が書けますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	88.0	9.7	2.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	91.5	6.7	1.8
	後期高齢者	769	83.9	13.8	2.3
	女性　前期高齢者	754	94.6	2.9	2.5
	後期高齢者	1,015	84.1	13.4	2.5
年齢	65～74歳	1,351	93.2	4.6	2.2
	75～84歳	1,449	87.8	9.9	2.3
	85歳以上	335	67.8	29.6	2.7
認定該当状況	一般高齢者	2,742	91.1	6.8	2.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	65.9	29.8	4.3
世帯類型	１人暮らし	671	86.3	10.9	2.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	91.1	7.2	1.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	86.1	10.9	3.0
	息子・娘との２世帯	481	85.2	12.5	2.3
	その他	506	86.0	11.7	2.4

10 日常的にスマートフォンやタブレットを使っていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「使っている」が 75.3%で最も多く、次いで「使っていないし、今後も使う予定はない」が 19.9%、「使っていないが、今後使う予定である」が 2.6%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「使っている」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「使っている」、85 歳以上は「使っていないし、今後も使う予定はない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「使っている」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「使っている」が最も多くなっています。

【スマートフォン等の利用状況】



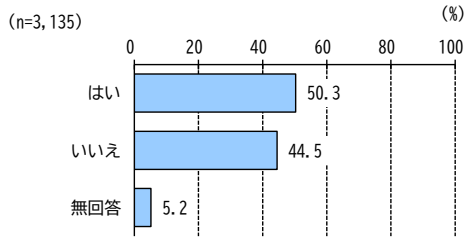
単位：%

		母数(n)	問4.10 日常的にスマートフォンやタブレットを使っていますか。			
			使っている	使っていないが、今後使う予定である	使っていないし、今後も使う予定はない	無回答
全体		3,135	75.3	2.6	19.9	2.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	89.1	1.5	7.7	1.7
	後期高齢者	769	67.0	4.2	27.0	1.8
	女性　前期高齢者	754	89.5	1.3	6.9	2.3
	後期高齢者	1,015	63.1	3.1	31.2	2.7
年齢	65～74歳	1,351	89.3	1.4	7.3	2.0
	75～84歳	1,449	70.7	3.0	23.9	2.3
	85歳以上	335	38.8	5.7	53.1	2.4
認定該当状況	一般高齢者	2,742	79.2	2.3	16.6	1.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	48.3	4.8	42.7	4.1
世帯類型	１人暮らし	671	69.7	2.8	24.9	2.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	80.8	2.4	15.4	1.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	85.1	2.0	10.9	2.0
	息子・娘との２世帯	481	71.7	2.3	23.5	2.5
	その他	506	72.3	3.0	21.9	2.8

11 SNS（LINEやInstagram 等）やアプリ等から情報収集していますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 50.3%、「いいえ」が 44.5%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・女性-前期高齢者は「はい」、男性-後期高齢者・女性-後期高齢者は「いいえ」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳は「はい」、75～84 歳・85 歳以上は「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「はい」、総合事業対象者、要支援１・２は「いいえ」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らし・息子・娘との２世帯・その他は「いいえ」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「はい」が最も多くなっています。

【SNS・アプリ等での情報収集】



単位：%

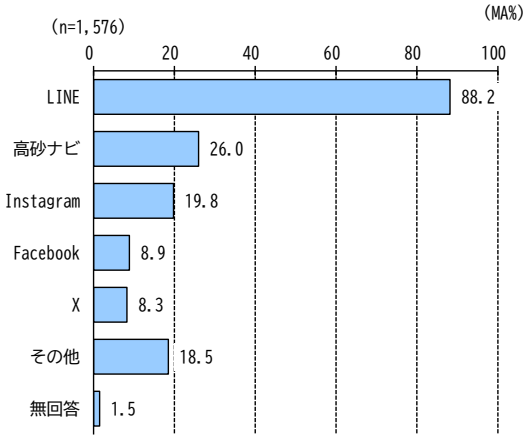
		母数（n）	問4.11　SNS等から情報収集していますか。 はい	いいえ	無回答
全体		3,135	50.3	44.5	5.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	66.3	30.7	3.0
	後期高齢者	769	36.9	57.9	5.2
	女性　前期高齢者	754	71.5	25.2	3.3
	後期高齢者	1,015	35.2	56.8	8.0
年齢	65～74歳	1,351	69.2	27.6	3.2
	75～84歳	1,449	41.0	53.6	5.5
	85歳以上	335	14.0	73.4	12.5
認定該当状況	一般高齢者	2,742	54.4	41.1	4.5
	総合事業対象者、要支援１・２	393	21.4	68.4	10.2
世帯類型	１人暮らし	671	44.1	47.4	8.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	57.0	39.7	3.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	54.5	39.6	5.9
	息子・娘との２世帯	481	46.4	48.6	5.0
	その他	506	45.8	49.4	4.7

※11で「１」と答えた方（SNSやアプリを見て情報収集している方）のみ、お答えください。

11-1 普段から情報収集に使用しているSNSやアプリは何ですか。（いくつでも）

【全体】
○　「LINE」が88.2%で最も多く、次いで「高砂ナビ」が26.0%、「Instagram」が19.8%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「LINE」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「LINE」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「LINE」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「LINE」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「LINE」が最も多くなっています。

【利用中の SNS・アプリ】



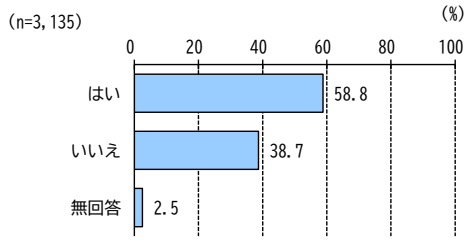
単位：%

		母数（n）	問4.11-1　普段から情報収集に使用しているSNSやアプリは何ですか。（MA）						
			LINE	高砂ナビ	Instagram	Facebook	X	その他	無回答
全体		1,576	88.2	26.0	19.8	8.9	8.3	18.5	1.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	396	83.8	26.5	22.7	11.9	11.1	23.7	1.3
	後期高齢者	284	78.5	23.6	10.2	10.6	8.8	21.8	1.8
	女性　前期高齢者	539	92.6	27.5	28.4	9.6	8.9	17.6	1.1
	後期高齢者	357	94.1	25.2	11.2	3.4	3.9	11.2	2.0
年齢	65～74歳	935	88.9	27.1	26.0	10.6	9.8	20.2	1.2
	75～84歳	594	87.2	25.8	10.9	6.2	5.9	16.0	1.7
	85歳以上	47	87.2	8.5	8.5	10.6	8.5	14.9	4.3
日常生活圏域	高砂	151	92.7	18.5	23.2	14.6	10.6	17.9	0.7
	荒井	193	89.1	31.6	23.8	7.3	8.8	17.6	2.1
	伊保	334	84.1	22.2	15.3	9.0	5.4	20.4	1.8
	中筋	87	94.3	23.0	14.9	6.9	10.3	13.8	-
	曽根	203	88.2	34.0	18.7	7.9	6.9	15.8	2.0
	米田	301	87.7	23.9	19.3	8.0	8.3	21.9	1.3
	阿弥陀	206	88.8	29.1	20.9	8.3	12.6	16.0	1.5
	北浜	101	88.1	25.7	27.7	11.9	5.9	18.8	1.0
認定状況	一般高齢者	1,492	88.1	26.5	20.5	9.2	8.4	19.1	1.2
該当	総合事業対象者、要支援１・２	84	89.3	16.7	7.1	4.8	6.0	7.1	6.0
世帯類型	１人暮らし	296	89.5	22.3	18.6	7.8	8.1	13.2	1.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	758	88.3	29.2	18.1	9.4	8.0	19.4	1.8
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	55	89.1	20.0	38.2	14.5	10.9	20.0	-
	息子・娘との２世帯	223	88.8	25.6	18.8	6.7	8.5	19.7	1.8
	その他	232	85.8	22.8	24.1	10.3	8.6	21.1	-

12 本や雑誌を読んでいますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 58.8%、「いいえ」が 38.7%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者は「いいえ」、男性-後期高齢者・女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「はい」が最も多くなっています。

【読書習慣】



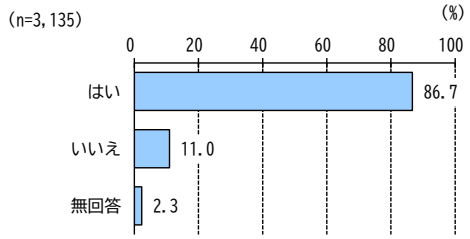
単位：%

		母数（n）	問4.12　本や雑誌を読んでいますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	58.8	38.7	2.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	47.2	50.9	1.8
	後期高齢者	769	54.4	43.2	2.5
	女性　前期高齢者	754	67.0	30.2	2.8
	後期高齢者	1,015	63.0	34.5	2.6
認定該当状況	一般高齢者	2,742	60.0	37.9	2.2
	総合事業対象者、要支援１・２	393	50.9	44.8	4.3

13 健康についての記事や番組に関心がありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 86.7%、「いいえ」が 11.0%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「はい」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「はい」が最も多くなっています。

【健康情報への関心】



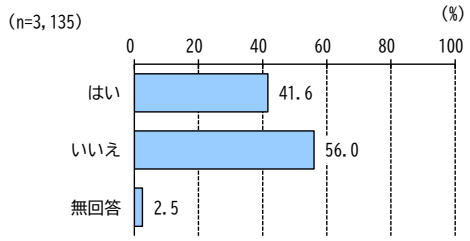
単位：%

		母数(n)	問4.13 健康についての記事や番組に関心がありますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	86.7	11.0	2.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	81.7	16.4	1.8
	後期高齢者	769	82.8	14.7	2.5
	女性　前期高齢者	754	91.0	6.5	2.5
	後期高齢者	1,015	89.4	8.4	2.3
認定該当状況	一般高齢者	2,742	87.3	10.6	2.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	82.2	13.7	4.1
世帯類型	１人暮らし	671	87.3	10.3	2.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	88.2	10.1	1.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	81.2	16.8	2.0
	息子・娘との２世帯	481	87.1	10.0	2.9
	その他	506	83.6	14.0	2.4

14 友人の家を訪ねていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 41.6%、「いいえ」が 56.0%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・男性-後期高齢者は「いいえ」、女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「はい」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「いいえ」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「いいえ」が最も多くなっています。

【友人宅への訪問】



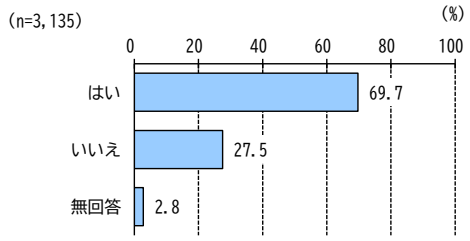
単位：%

		母数（n）	問4.14　友人の家を訪ねていますか。 はい	いいえ	無回答
全体		3,135	41.6	56.0	2.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	30.2	68.2	1.7
	後期高齢者	769	32.0	65.9	2.1
	女性　前期高齢者	754	50.4	46.4	3.2
	後期高齢者	1,015	49.0	48.4	2.7
年齢	65～74歳	1,351	41.5	56.0	2.5
	75～84歳	1,449	44.4	53.3	2.3
	85歳以上	335	29.9	67.5	2.7
認定状況該当	一般高齢者	2,742	43.5	54.2	2.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	27.7	68.7	3.6
世帯類型	１人暮らし	671	46.5	50.5	3.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	42.2	56.1	1.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	36.6	60.4	3.0
	息子・娘との２世帯	481	42.4	55.5	2.1
	その他	506	34.6	62.3	3.2

15 家族や友人の相談にのっていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 69.7%、「いいえ」が 27.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「はい」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「はい」、総合事業対象者、要支援１・２は「いいえ」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「はい」が最も多くなっています。

【家族・友人の相談に乗る頻度】



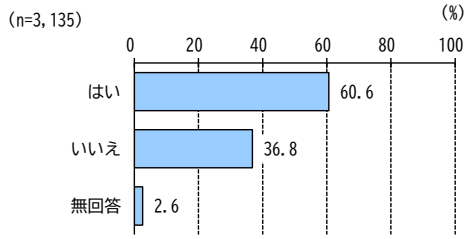
単位：%

		母数（n）	問4.15　家族や友人の相談にのっていますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	69.7	27.5	2.8
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	68.3	29.1	2.5
	後期高齢者	769	59.7	37.6	2.7
	女性　前期高齢者	754	82.9	14.3	2.8
	後期高齢者	1,015	68.3	28.8	3.0
年齢	65～74歳	1,351	76.5	20.9	2.7
	75～84歳	1,449	67.1	30.0	2.8
	85歳以上	335	53.4	43.6	3.0
認定該当状況	一般高齢者	2,742	73.3	24.2	2.5
	総合事業対象者、要支援１・２	393	44.5	50.6	4.8
世帯類型	１人暮らし	671	62.0	34.9	3.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	74.5	23.3	2.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	65.3	31.7	3.0
	息子・娘との２世帯	481	69.9	27.4	2.7
	その他	506	69.4	27.7	3.0

16 若い人に自分から話しかけることがありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 60.6%、「いいえ」が 36.8%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「はい」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「はい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「はい」が最も多くなっています。

【若者への話しかけ】



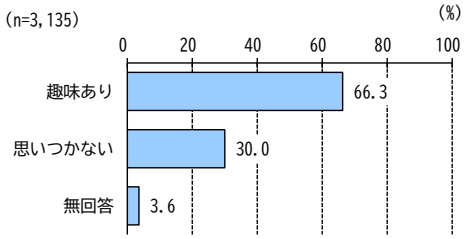
単位：%

		母数(n)	問4.16　若い人に自分から話しかけることがありますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	60.6	36.8	2.6
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	58.1	40.0	1.8
	後期高齢者	769	51.0	46.6	2.5
	女性　前期高齢者	754	66.7	30.6	2.7
	後期高齢者	1,015	64.9	32.0	3.1
年齢	65～74歳	1,351	62.9	34.8	2.3
	75～84歳	1,449	59.9	37.1	3.0
	85歳以上	335	54.6	43.3	2.1
認定該当状況	一般高齢者	2,742	62.4	35.3	2.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	48.3	47.3	4.3

17 趣味はありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「趣味あり」が 66.3%、「思いつかない」が 30.0%となっています。
【年齢】
○　どの年代でも「趣味あり」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「趣味あり」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「趣味あり」が最も多くなっています。

【趣味の有無】



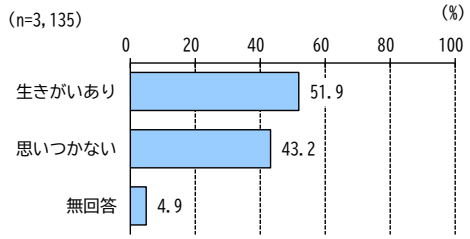
単位：%

		母数(n)	問4.17 趣味はありますか。		
			趣味あり	思いつかない	無回答
全体		3,135	66.3	30.0	3.6
年齢	65～74歳	1,351	68.5	29.2	2.2
	75～84歳	1,449	66.3	29.4	4.3
	85歳以上	335	57.9	35.8	6.3
当該認定状況	一般高齢者	2,742	69.1	27.8	3.1
	総合事業対象者、要支援１・２	393	46.8	45.5	7.6
世帯類型	１人暮らし	671	64.5	29.5	6.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	71.0	26.6	2.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	64.4	32.7	3.0
	息子・娘との２世帯	481	62.0	34.9	3.1
	その他	506	62.1	34.6	3.4

18 生きがいはありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「生きがいあり」が 51.9%、「思いつかない」が 43.2%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「生きがいあり」、男性-後期高齢者は「思いつかない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「生きがいあり」、85 歳以上は「思いつかない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「生きがいあり」、総合事業対象者、要支援１・２は「思いつかない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「生きがいあり」が最も多くなっています。

【生きがいの有無】



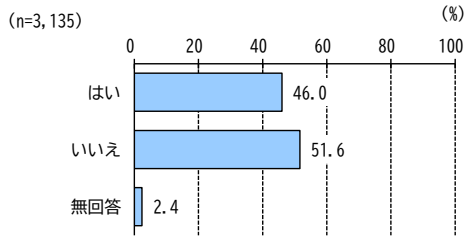
単位：%

		母数（n）	問4.18 生きがいはありますか。 生きがいあり	思いつかない	無回答
全体		3,135	51.9	43.2	4.9
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	54.9	42.7	2.3
	後期高齢者	769	46.2	48.8	5.1
	女性　前期高齢者	754	58.9	36.9	4.2
	後期高齢者	1,015	49.2	43.9	6.9
年齢	65～74歳	1,351	57.1	39.5	3.4
	75～84歳	1,449	49.3	44.7	6.0
	85歳以上	335	41.8	51.6	6.6
当認状定況該	一般高齢者	2,742	54.4	41.2	4.4
	総合事業対象者、要支援１・２	393	34.4	56.7	8.9
世帯類型	１人暮らし	671	47.8	46.1	6.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	56.0	40.8	3.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	56.4	37.6	5.9
	息子・娘との２世帯	481	49.5	44.3	6.2
	その他	506	49.0	45.7	5.3

19 地域の老人クラブの活動を知っていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 46.0%、「いいえ」が 51.6%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「いいえ」、女性-後期高齢者は「はい」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳は「いいえ」、75～84 歳・85 歳以上は「はい」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　高砂・荒井・中筋・曽根・米田は「いいえ」、伊保・阿弥陀・北浜は「はい」が最も多くなっています。

【老人クラブの認知】



単位：%

		母数（n）	問4.19　地域の老人クラブの活動を知っていますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	46.0	51.6	2.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	33.2	65.2	1.7
	後期高齢者	769	48.1	49.8	2.1
	女性　前期高齢者	754	43.6	54.0	2.4
	後期高齢者	1,015	53.7	43.3	3.1
年齢	65～74歳	1,351	39.0	58.9	2.1
	75～84歳	1,449	50.4	47.1	2.4
	85歳以上	335	54.9	41.5	3.6
日常生活圏域	高砂	301	41.5	54.5	4.0
	荒井	344	38.1	59.9	2.0
	伊保	671	49.9	48.6	1.5
	中筋	193	39.9	57.5	2.6
	曽根	400	39.5	57.0	3.5
	米田	611	44.5	53.0	2.5
	阿弥陀	412	56.1	42.0	1.9
	北浜	203	55.7	42.4	2.0

5．地域での活動について（問５）

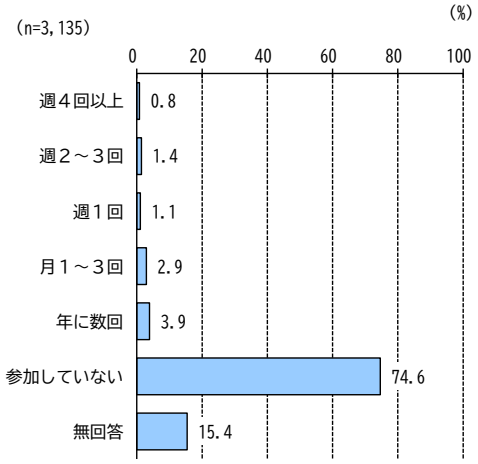
１ 以下のような会・グループ（①～⑧それぞれ１つ）等にどのくらいの頻度で参加していますか。（①～⑧それぞれ１つ）

①ボランティアのグループ

【全体】
○ 「参加していない」が 74.6%で最も多く、次いで「年に数回」が 3.9%、「月１～３回」が 2.9%となっています。

【性別・年齢】
○ どの性別・年齢でも「参加していない」が最も多くなっています。

【①ボランティアのグループ】



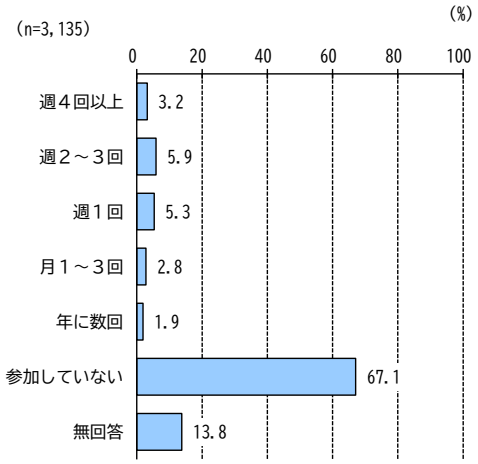
単位：%

		母数(n)	問5.1 ① ボランティアのグループ						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		3,135	0.8	1.4	1.1	2.9	3.9	74.6	15.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	0.7	0.8	1.2	2.7	6.4	80.2	8.0
	後期高齢者	769	1.4	1.2	0.7	3.8	4.2	71.3	17.6
	女性 前期高齢者	754	0.4	2.0	0.9	3.4	3.3	80.0	9.9
	後期高齢者	1,015	0.6	1.4	1.5	2.1	2.6	69.9	22.1

②スポーツ関係のグループやクラブ

【全体】
○　「参加していない」が67.1%で最も多く、次いで「週２～３回」が5.9%、「週１回」が5.3%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「参加していない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「参加していない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「参加していない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「参加していない」が最も多くなっています。

【②スポーツ関係のグループやクラブ】



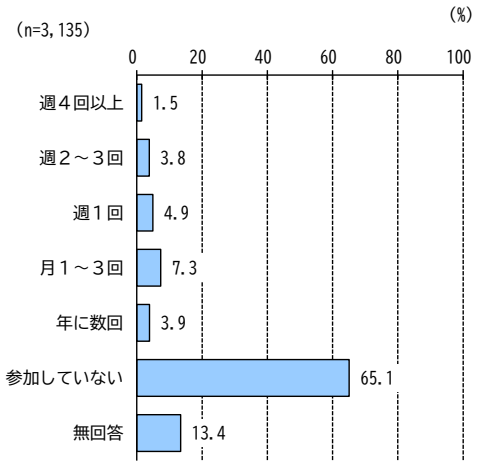
単位：%

		母数(n)	問5.1 ② スポーツ関係のグループやクラブ						
			週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答
全体		3,135	3.2	5.9	5.3	2.8	1.9	67.1	13.8
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	2.3	5.0	3.7	3.0	3.9	74.0	8.0
	後期高齢者	769	2.7	5.2	3.5	2.6	3.1	66.6	16.3
	女性　前期高齢者	754	4.5	7.7	6.9	2.4	0.8	69.1	8.6
	後期高齢者	1,015	3.2	5.6	6.5	3.1	0.5	62.0	19.2
年齢	65～74歳	1,351	3.6	6.5	5.5	2.7	2.1	71.3	8.4
	75～84歳	1,449	3.5	6.1	5.9	3.1	1.8	64.0	15.7
	85歳以上	335	0.9	2.4	2.4	1.8	0.9	63.9	27.8
認定該当状況	一般高齢者	2,742	3.6	6.5	5.5	2.9	2.0	66.8	12.7
	総合事業対象者、要支援１・２	393	0.5	2.0	3.8	2.0	1.0	69.0	21.6
世帯類型	１人暮らし	671	4.0	7.7	4.3	3.7	0.9	62.1	17.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	3.6	6.5	6.3	3.6	2.5	64.8	12.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	2.0	4.0	5.0	3.0	1.0	70.3	14.9
	息子・娘との２世帯	481	2.5	5.6	5.6	1.0	1.5	73.2	10.6
	その他	506	2.2	2.8	4.3	1.2	2.2	74.3	13.0

③趣味関係のグループ

【全体】
○　「参加していない」が65.1%で最も多く、次いで「月１～３回」が7.3%、「週１回」が4.9%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「参加していない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「参加していない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「参加していない」が最も多くなっています。

【③趣味関係のグループ】



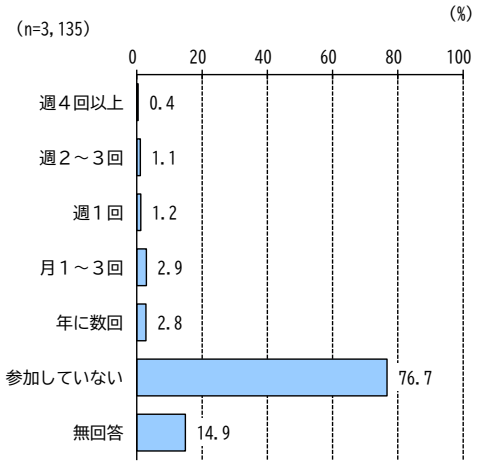
単位：%

		母数(n)	問5.1 ③ 趣味関係のグループ						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		3,135	1.5	3.8	4.9	7.3	3.9	65.1	13.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	0.8	2.5	2.8	6.2	7.0	73.0	7.5
	後期高齢者	769	2.1	4.4	4.4	6.4	4.8	63.1	14.8
	女性　前期高齢者	754	1.6	5.0	5.0	8.6	2.8	67.1	9.8
	後期高齢者	1,015	1.4	3.3	6.3	7.7	2.3	60.6	18.5
年齢	65～74歳	1,351	1.3	3.9	4.1	7.5	4.7	69.7	8.8
	75～84歳	1,449	1.7	4.1	6.0	7.7	3.9	61.9	14.7
	85歳以上	335	1.5	2.1	3.3	4.8	1.2	60.6	26.6
当認状定況該	一般高齢者	2,742	1.6	4.0	5.1	7.9	4.3	65.0	12.1
	総合事業対象者、要支援１・２	393	0.5	2.5	3.6	3.3	1.3	66.2	22.6

④学習・教養サークル

【全体】
○　「参加していない」が 76.7%で最も多く、次いで「月１～３回」が 2.9%、「年に数回」が 2.8%となっています。

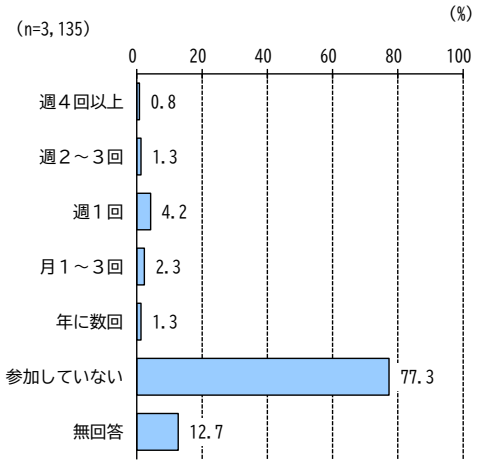
【④学習・教養サークル】



⑤介護予防のための通いの場（いきいき百歳体操・生きがいデイ・サロンなど）

【全体】
○　「参加していない」が77.3%で最も多く、次いで「週１回」が4.2%、「月１～３回」が2.3%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「参加していない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「参加していない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「参加していない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「参加していない」が最も多くなっています。

【⑤介護予防のための通いの場】



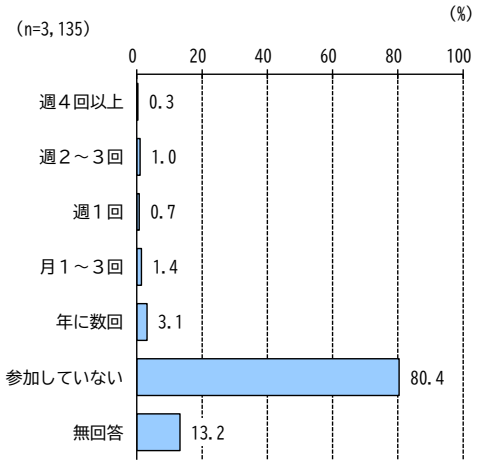
単位：%

		母数(n)	問5.1 ⑤ 介護予防のための通いの場						
			週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答
全体		3,135	0.8	1.3	4.2	2.3	1.3	77.3	12.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	0.5	-	0.7	0.7	0.5	89.9	7.7
	後期高齢者	769	0.1	1.4	2.1	2.1	2.0	77.8	14.6
	女性　前期高齢者	754	0.1	0.9	3.2	2.0	1.2	83.0	9.5
	後期高齢者	1,015	2.0	2.3	8.8	3.7	1.5	65.1	16.7
年齢	65～74歳	1,351	0.3	0.5	2.1	1.4	0.9	86.1	8.7
	75～84歳	1,449	1.2	1.9	5.2	2.4	1.7	73.6	14.0
	85歳以上	335	1.2	1.8	9.0	5.7	1.5	57.6	23.3
認定該当状況	一般高齢者	2,742	0.7	0.9	3.6	2.0	1.2	79.5	12.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	1.5	3.8	8.9	4.6	2.0	61.6	17.6
世帯類型	１人暮らし	671	0.9	1.6	6.9	4.2	2.2	68.9	15.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	0.8	1.1	3.6	2.0	1.2	78.9	12.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	-	1.0	1.0	2.0	1.0	81.2	13.9
	息子・娘との２世帯	481	0.6	1.2	4.6	1.7	1.9	80.0	10.0
	その他	506	0.8	1.4	2.4	1.2	0.2	82.4	11.7

⑥老人クラブ

【全体】
○　「参加していない」が 80.4%で最も多く、次いで「年に数回」が 3.1%、「月１～３回」が 1.4%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「参加していない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「参加していない」が最も多くなっています。

【⑥老人クラブ】



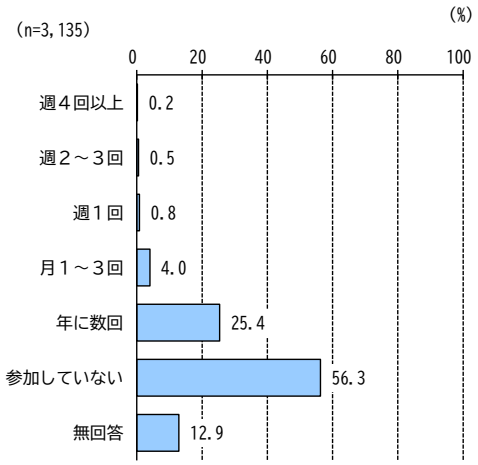
単位：%

		母数(n)	問5.1 ⑥ 老人クラブ						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		3,135	0.3	1.0	0.7	1.4	3.1	80.4	13.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	0.2	-	0.2	1.0	1.3	89.4	7.9
	後期高齢者	769	0.3	1.4	1.2	2.5	4.0	76.9	13.8
	女性　前期高齢者	754	0.1	0.1	0.4	-	1.7	87.9	9.7
	後期高齢者	1,015	0.4	1.9	1.0	1.8	4.3	72.1	18.5
年齢	65～74歳	1,351	0.1	0.1	0.3	0.4	1.6	88.6	8.9
	75～84歳	1,449	0.3	1.7	1.2	2.0	3.9	76.8	14.1
	85歳以上	335	0.6	1.8	0.3	2.4	5.4	62.7	26.9

⑦町内会・自治会

【全体】
○　「参加していない」が 56.3%で最も多く、次いで「年に数回」が 25.4%、「月１～３回」が 4.0%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「参加していない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「参加していない」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「参加していない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「参加していない」が最も多くなっています。

【⑦町内会・自治会】



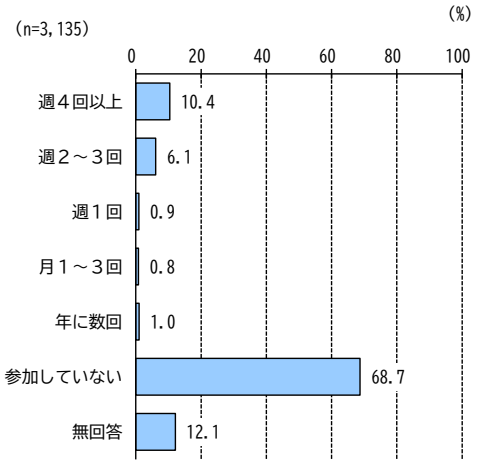
単位：%

		母数(n)	問5.1 ⑦ 町内会・自治会						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		3,135	0.2	0.5	0.8	4.0	25.4	56.3	12.9
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	1.0	0.7	0.8	7.5	29.3	53.8	6.9
	後期高齢者	769	－	0.3	0.7	4.7	22.4	58.5	13.5
	女性　前期高齢者	754	－	0.5	0.4	2.7	31.0	55.8	9.5
	後期高齢者	1,015	0.1	0.5	1.3	2.3	21.1	56.4	18.4
年齢	65～74歳	1,351	0.4	0.6	0.6	4.8	30.3	54.9	8.4
	75～84歳	1,449	0.1	0.3	1.0	3.7	23.5	57.4	14.1
	85歳以上	335	－	0.6	1.2	1.8	13.7	56.7	26.0
日常生活圏域	高砂	301	－	0.3	1.0	4.3	35.2	45.2	14.0
	荒井	344	0.3	0.6	0.9	1.7	26.5	57.3	12.8
	伊保	671	0.6	0.4	0.6	4.5	21.8	57.8	14.3
	中筋	193	－	1.0	1.0	3.6	20.2	57.0	17.1
	曽根	400	－	0.3	0.8	1.8	18.5	67.8	11.0
	米田	611	－	0.2	1.0	4.4	21.9	59.2	13.3
	阿弥陀	412	0.5	0.7	0.7	6.3	33.5	47.6	10.7
	北浜	203	－	1.0	1.0	3.9	33.0	51.2	9.9
認定該当状況	一般高齢者	2,742	0.3	0.5	0.9	4.3	27.1	55.1	11.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	－	0.5	0.5	1.3	13.0	64.6	20.1

⑧収入のある仕事

【全体】
○　「参加していない」が 68.7%で最も多く、次いで「週４回以上」が 10.4%、「週２～３回」が 6.1%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「参加していない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「参加していない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「参加していない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「参加していない」が最も多くなっています。

【⑧収入のある仕事】



単位：%

		母数(n)	問5.1 ⑧ 収入のある仕事						
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		3,135	10.4	6.1	0.9	0.8	1.0	68.7	12.1
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	25.1	11.2	1.0	0.8	2.0	52.9	6.9
	後期高齢者	769	5.2	4.2	0.8	1.3	1.4	73.6	13.5
	女性　前期高齢者	754	14.1	9.8	1.1	0.9	0.5	65.3	8.4
	後期高齢者	1,015	3.0	1.8	0.7	0.4	0.5	76.9	16.7
年齢	65～74歳	1,351	18.9	10.4	1.0	0.9	1.2	59.8	7.7
	75～84歳	1,449	4.8	3.4	0.8	1.0	1.0	76.4	12.7
	85歳以上	335	0.3	0.3	0.3	－	0.6	71.6	26.9
認定該当状況	一般高齢者	2,742	11.9	6.8	0.9	0.9	1.1	67.6	10.8
	総合事業対象者、要支援１・２	393	0.3	1.0	0.5	0.3	0.3	76.8	20.9
世帯類型	１人暮らし	671	6.7	5.2	0.9	0.9	1.0	70.2	15.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	10.9	6.9	0.8	1.1	1.4	67.6	11.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	15.8	10.9	2.0	3.0	1.0	57.4	9.9
	息子・娘との２世帯	481	10.8	4.4	0.8	0.2	0.2	74.4	9.1
	その他	506	12.8	6.3	0.8	0.2	0.6	67.8	11.5

2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（１つだけ）

【全体】
○ 「参加したくない」が 43.5%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 42.7%、「是非参加したい」が 4.4%となっています。

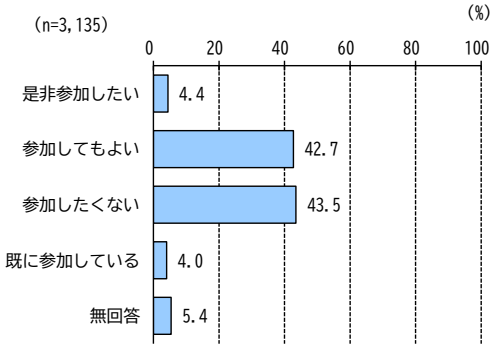
【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-後期高齢者は「参加したくない」、女性-前期高齢者は「参加してもよい」が最も多くなっています。

【年齢】
○ 65～74 歳は「参加してもよい」、75～84 歳・85 歳以上は「参加したくない」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「参加してもよい」、総合事業対象者、要支援１・２は「参加したくない」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ １人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）は「参加してもよい」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・息子・娘との２世帯・その他は「参加したくない」が最も多くなっています。

【活動への参加意向】



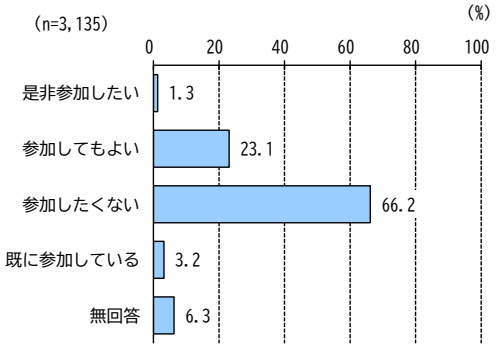
単位：%

		母数(n)	問5.2 あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。				
			是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		3,135	4.4	42.7	43.5	4.0	5.4
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	2.7	44.4	46.2	2.5	4.2
	後期高齢者	769	3.4	41.4	45.1	3.9	6.2
	女性 前期高齢者	754	5.3	48.7	38.9	3.1	4.1
	後期高齢者	1,015	5.5	38.3	44.1	5.5	6.5
年齢	65～74歳	1,351	4.1	46.8	42.1	2.8	4.1
	75～84歳	1,449	4.5	41.0	43.9	4.9	5.7
	85歳以上	335	5.1	33.7	47.5	4.5	9.3
認定該当状況	一般高齢者	2,742	4.4	44.7	42.1	3.9	5.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	4.6	29.0	53.4	4.3	8.7
世帯類型	１人暮らし	671	5.1	44.3	41.0	4.2	5.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	5.0	45.0	41.4	3.6	5.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	4.0	39.6	48.5	1.0	6.9
	息子・娘との２世帯	481	5.0	37.0	46.6	5.4	6.0
	その他	506	2.0	41.1	48.6	3.8	4.5

3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（１つだけ）

【全体】
○　「参加したくない」が 66.2%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 23.1%、「既に参加している」が 3.2%となっています。
【年齢】
○　どの年代でも「参加したくない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「参加したくない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「参加したくない」が最も多くなっています。

【企画・運営の参加意向】



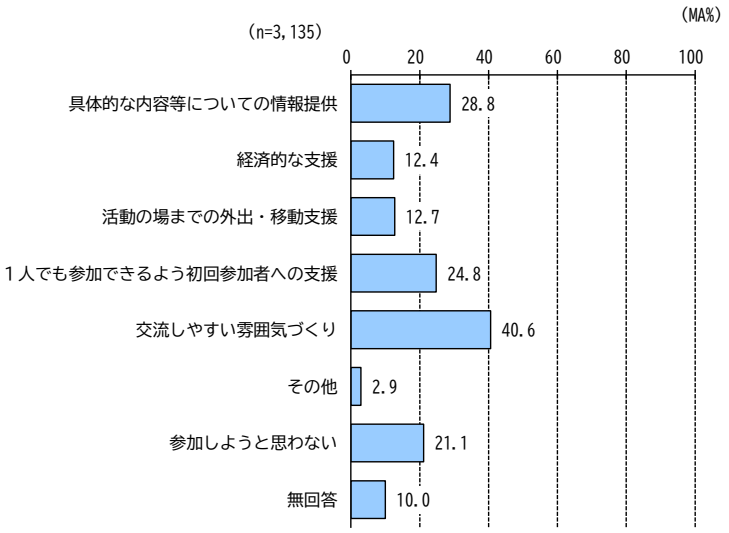
単位：%

		母数（n）	問5.3　あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。				
			是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		3,135	1.3	23.1	66.2	3.2	6.3
年齢	65～74歳	1,351	1.0	25.3	66.5	2.8	4.4
	75～84歳	1,449	1.3	23.1	64.9	3.8	6.8
	85歳以上	335	2.7	14.0	70.1	1.8	11.3
認定該当状況	一般高齢者	2,742	1.2	24.7	65.1	3.3	5.8
	総合事業対象者、要支援１・２	393	2.0	12.2	73.8	2.3	9.7
世帯類型	１人暮らし	671	0.6	23.2	65.4	3.3	7.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	2.0	26.0	63.7	3.1	5.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	1.0	21.8	69.3	2.0	5.9
	息子・娘との２世帯	481	1.5	18.5	68.8	4.2	7.1
	その他	506	0.2	19.6	71.5	2.6	6.1

４ 地域での活動に、どのような支援があれば参加しやすくなると思いますか。（いくつでも）

【全体】
○　「交流しやすい雰囲気づくり」が 40.6%で最も多く、次いで「具体的な内容等についての情報提供」が 28.8%、「１人でも参加できるよう初回参加者への支援」が 24.8%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「交流しやすい雰囲気づくり」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「交流しやすい雰囲気づくり」、85 歳以上は「交流しやすい雰囲気づくり」「参加しようと思わない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「交流しやすい雰囲気づくり」、総合事業対象者、要支援１・２は「参加しようと思わない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「交流しやすい雰囲気づくり」が最も多くなっています。

【地域活動に参加しやすくなる支援】



単位：%

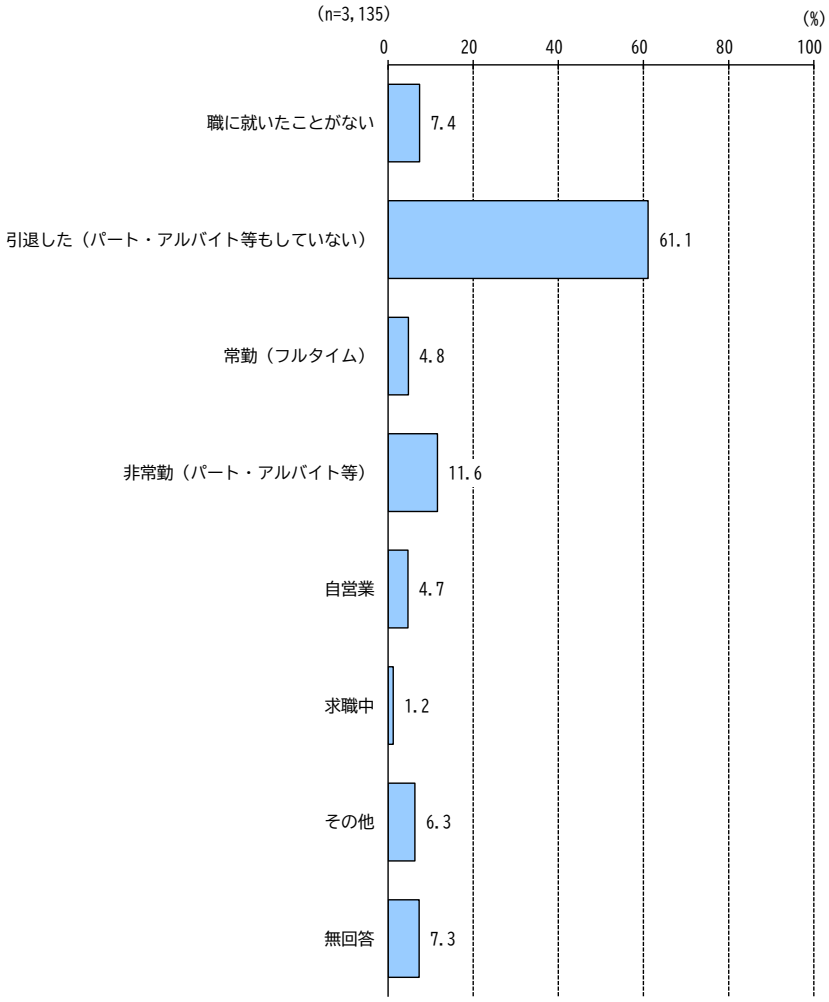
		母数（n）	問5.4　地域での活動に、どのような支援があれば参加しやすくなると思いますか。(MA)							
			具体的な内容等についての情報提供	経済的な支援	活動の場までの外出・移動支援	1人でも参加できるよう初回参加者への支援	交流しやすい雰囲気づくり	その他	参加しようと思わない	無回答
全体		3,135	28.8	12.4	12.7	24.8	40.6	2.9	21.1	10.0
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	34.8	19.4	5.7	25.6	44.2	1.8	22.6	5.7
	後期高齢者	769	26.7	11.7	8.3	20.7	35.6	3.8	23.5	11.6
	女性　前期高齢者	754	37.4	13.5	14.2	30.5	49.9	1.7	16.2	6.1
	後期高齢者	1,015	20.5	8.1	18.9	23.2	35.5	3.8	21.9	14.2
年齢	65～74歳	1,351	36.3	16.1	10.4	28.3	47.4	1.8	19.0	5.9
	75～84歳	1,449	24.6	10.1	13.7	23.4	37.7	3.5	21.7	12.2
	85歳以上	335	17.0	7.5	17.0	16.4	26.3	5.4	26.3	16.7
認定状況	一般高齢者	2,742	31.2	12.8	11.6	25.7	43.0	2.7	20.1	8.8
該当	総合事業対象者、要支援１・２	393	12.2	9.7	19.8	18.6	24.2	4.8	28.0	18.6
世帯類型	１人暮らし	671	24.0	11.8	14.9	25.8	37.3	4.0	20.0	12.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	31.5	12.4	10.2	26.1	44.6	3.0	20.5	8.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	30.7	19.8	3.0	27.7	43.6	1.0	17.8	10.9
	息子・娘との２世帯	481	28.9	10.8	14.6	23.7	38.0	1.9	23.5	10.4
	その他	506	29.1	13.8	15.8	21.5	37.2	2.8	22.3	9.7

6．就労について（問６）

１ 現在のあなたの就労状態はどれですか。（いくつでも）

【全体】
○ 「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が 61.1%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が 11.6%、「職に就いたことがない」が 7.4%となっています。
【性別・年齢】
○ どの性別・年齢でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。
【年齢】
○ どの年代でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○ どの日常生活圏域でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○ どの認定該当状況でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○ どの世帯類型でも「引退した（パート・アルバイト等もしていない）」が最も多くなっています。

【現在の就労状況】



単位：%

		母数（n）	問6.1　現在のあなたの就労状態はどれですか。							
			職に就いたことがない	引退した（パート・アルバイト等もしていない）	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全体		3,135	7.4	61.1	4.8	11.6	4.7	1.2	6.3	7.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	1.0	52.9	14.4	20.1	7.2	2.2	3.7	3.9
	後期高齢者	769	3.5	73.9	2.6	6.0	5.6	1.7	6.4	5.5
	女性　前期高齢者	754	6.9	54.8	3.6	20.8	3.6	1.3	7.0	4.2
	後期高齢者	1,015	14.5	60.9	1.8	4.0	3.3	0.3	7.2	13.0
年齢	65～74歳	1,351	4.3	54.0	8.4	20.5	5.2	1.7	5.6	4.1
	75～84歳	1,449	9.0	67.1	2.4	5.8	4.8	0.9	6.3	8.6
	85歳以上	335	13.1	63.6	0.9	0.9	2.1	0.9	9.0	14.9
日常生活圏域	高砂	301	6.0	59.5	5.3	11.6	9.3	1.0	7.3	5.3
	荒井	344	7.8	61.3	2.6	12.2	7.3	2.0	7.0	6.4
	伊保	671	6.6	61.4	4.6	12.2	3.9	1.0	6.3	7.9
	中筋	193	7.8	62.2	4.7	9.8	2.1	1.0	7.3	9.8
	曽根	400	9.0	61.0	4.5	10.0	4.0	1.3	7.3	7.3
	米田	611	7.4	59.1	5.6	12.4	4.3	1.1	5.1	8.7
	阿弥陀	412	8.3	61.7	5.1	11.9	4.1	1.2	6.1	6.1
	北浜	203	6.4	66.0	6.4	10.3	2.0	1.5	4.9	5.9
認定状況	一般高齢者	2,742	6.6	60.4	5.4	13.0	5.1	1.3	5.9	6.4
当該	総合事業対象者、要支援１・２	393	13.2	65.9	1.0	1.8	1.5	0.5	8.7	13.7
世帯類型	１人暮らし	671	9.1	62.1	3.4	10.0	2.7	1.3	6.7	9.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	6.1	62.6	4.7	12.3	5.5	1.1	5.8	6.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	1.0	52.5	13.9	16.8	3.0	2.0	5.9	8.9
	息子・娘との２世帯	481	9.8	62.4	4.2	10.6	5.2	1.5	5.0	5.8
	その他	506	7.5	57.1	6.1	12.3	4.9	1.4	8.9	5.7

※１で「２」と答えた方（引退した（パート・アルバイト等もしていない）方）のみ、お答えください。

１-１　あなたは何歳で就労をやめましたか。（１つだけ）

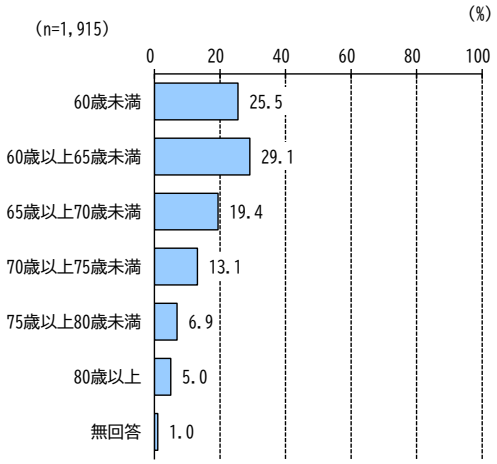
【全体】
○　「60 歳以上 65 歳未満」が 29.1%で最も多く、次いで「60 歳未満」が 25.5%、「65 歳以上 70 歳未満」が 19.4%となっています。

【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・男性-後期高齢者は「60 歳以上 65 歳未満」、女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「60 歳未満」が最も多くなっています。

【年齢】
○　どの年代でも「60 歳以上 65 歳未満」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○　一般高齢者は「60 歳以上 65 歳未満」、総合事業対象者、要支援１・２は「60 歳未満」「60 歳以上 65 歳未満」が最も多くなっています。

【就労をやめた年齢】



単位：%

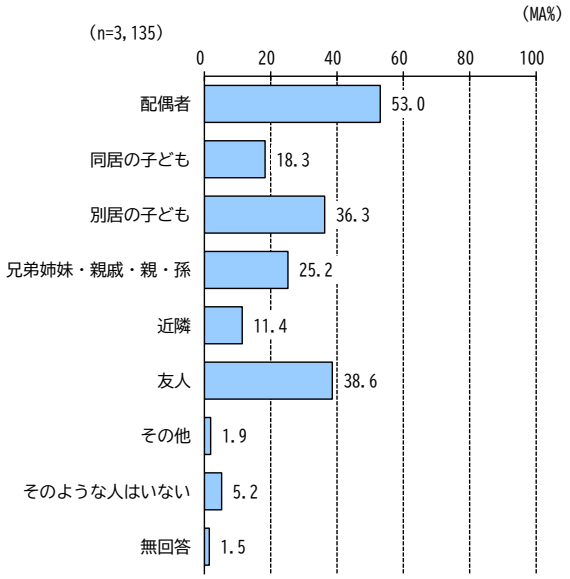
		母数(n)	問6.1-1　あなたは何歳で就労をやめましたか。						
			60歳未満	60歳以上65歳未満	65歳以上70歳未満	70歳以上75歳未満	75歳以上80歳未満	80歳以上	無回答
全体		1,915	25.5	29.1	19.4	13.1	6.9	5.0	1.0
性別・年齢	男性　前期高齢者	316	7.6	38.9	32.9	18.0	0.6	0.3	1.6
	後期高齢者	568	6.5	30.3	21.3	17.4	13.4	9.9	1.2
	女性　前期高齢者	413	45.8	25.4	17.2	10.4	0.2	0.2	0.7
	後期高齢者	618	38.7	25.6	12.1	8.4	8.6	6.0	0.6
年齢	65～74歳	729	29.2	31.3	24.0	13.7	0.4	0.3	1.1
	75～84歳	973	23.8	28.3	15.9	13.2	12.2	5.7	0.9
	85歳以上	213	20.7	25.8	19.2	10.8	4.7	17.8	0.9
当認状定況該	一般高齢者	1,656	25.8	30.0	19.4	13.2	6.9	3.9	0.7
	総合事業対象者、要支援１・２	259	23.9	23.9	18.9	12.4	6.6	11.6	2.7

7．たすけあいについて（問７）

１　あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか。（いくつでも）

【全体】
○　「配偶者」が 53.0%で最も多く、次いで「友人」が 38.6%、「別居の子ども」が 36.3%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・男性-後期高齢者は「配偶者」、女性-前期高齢者は「友人」、女性-後期高齢者は「別居の子ども」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「配偶者」、85 歳以上は「別居の子ども」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「配偶者」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「配偶者」、総合事業対象者、要支援１・２は「別居の子ども」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らしは「別居の子ども」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・その他は「配偶者」、息子・娘との２世帯は「同居の子ども」が最も多くなっています。

【愚痴を聞いてくれる人】



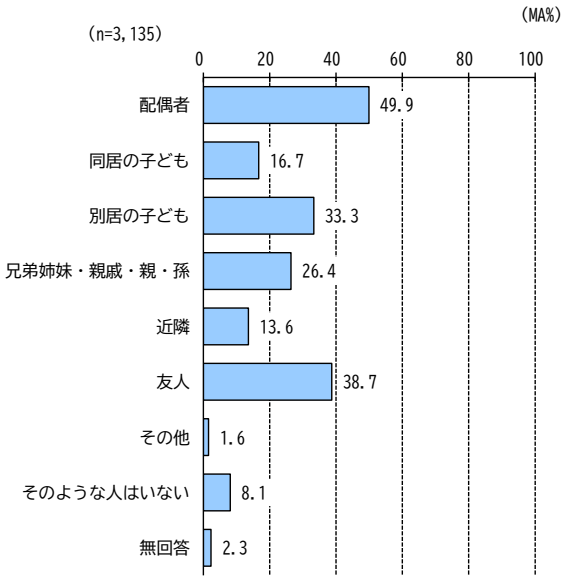
単位：%

		母数（n）	問7.1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか。（MA）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,135	53.0	18.3	36.3	25.2	11.4	38.6	1.9	5.2	1.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	70.9	11.1	21.6	19.6	5.2	31.7	3.0	8.7	1.0
	後期高齢者	769	69.7	12.1	31.7	15.5	6.2	22.4	1.4	7.3	1.7
	女性　前期高齢者	754	52.5	24.0	43.4	34.0	13.1	55.4	2.1	2.0	0.9
	後期高齢者	1,015	30.2	23.1	43.3	29.5	17.5	42.6	1.3	4.0	2.2
年齢	65～74歳	1,351	60.6	18.3	33.8	27.6	9.6	44.9	2.5	5.0	1.0
	75～84歳	1,449	51.8	16.8	37.8	23.9	12.4	36.1	0.9	5.3	1.7
	85歳以上	335	27.8	24.8	40.3	21.2	14.0	24.2	3.3	6.0	3.3
日常生活圏域	高砂	301	47.2	16.9	37.5	28.6	11.6	41.5	2.0	7.0	2.7
	荒井	344	50.6	18.9	34.0	21.5	8.4	46.8	1.5	5.2	1.7
	伊保	671	54.7	17.3	33.8	24.7	10.7	33.1	2.2	6.7	0.9
	中筋	193	49.2	20.7	36.3	26.9	17.6	36.8	0.5	5.2	1.0
	曽根	400	55.0	19.0	37.8	24.8	10.5	41.8	0.8	6.0	1.3
	米田	611	51.7	17.2	36.5	26.0	11.5	38.8	2.9	5.1	2.6
	阿弥陀	412	55.6	19.4	37.6	27.4	13.8	39.1	1.2	2.9	-
	北浜	203	58.6	20.2	40.9	20.7	8.4	33.0	2.5	1.5	2.5
認定状況	一般高齢者	2,742	56.9	18.3	36.4	25.7	10.9	40.4	1.6	4.6	1.3
該当	総合事業対象者、要支援１・２	393	26.0	18.3	36.1	22.1	14.5	26.0	3.8	9.7	2.8
世帯類型	１人暮らし	671	3.1	2.4	46.2	31.1	16.8	44.0	2.8	12.2	1.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	80.7	1.9	42.1	23.0	10.1	38.1	1.1	2.8	1.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	78.2	13.9	22.8	26.7	3.0	34.7	2.0	5.0	1.0
	息子・娘との２世帯	481	47.8	57.0	28.1	23.9	11.0	38.3	1.9	3.7	1.5
	その他	506	48.2	45.3	20.0	24.5	9.9	35.0	2.8	4.0	1.6

2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（いくつでも）

【全体】
○　「配偶者」が 49.9%で最も多く、次いで「友人」が 38.7%、「別居の子ども」が 33.3%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・男性-後期高齢者は「配偶者」、女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「友人」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「配偶者」、85 歳以上は「別居の子ども」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「配偶者」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「配偶者」、総合事業対象者、要支援１・２は「友人」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らしは「友人」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・その他は「配偶者」、息子・娘との２世帯は「同居の子ども」が最も多くなっています。

【愚痴を聞いてあげる人】



単位：%

		母数（n）	問7.2　反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（MA）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,135	49.9	16.7	33.3	26.4	13.6	38.7	1.6	8.1	2.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	70.4	14.1	24.5	22.6	7.2	32.5	2.8	9.4	1.2
	後期高齢者	769	67.2	12.0	29.1	17.2	9.1	21.7	0.9	10.9	2.3
	女性　前期高齢者	754	47.2	23.5	43.0	35.1	15.4	54.6	2.0	3.2	1.5
	後期高齢者	1,015	26.6	16.9	34.4	29.3	19.5	43.4	1.1	9.0	3.4
年齢	65～74歳	1,351	57.4	19.3	34.8	29.6	11.8	44.9	2.4	5.9	1.3
	75～84歳	1,449	48.3	14.3	32.4	25.3	14.9	36.5	1.0	8.6	2.1
	85歳以上	335	26.0	17.0	31.0	18.8	15.5	23.6	0.9	14.9	6.6
日常生活圏域	高砂	301	45.5	16.3	32.9	32.2	14.6	40.9	1.0	10.3	3.7
	荒井	344	47.4	16.6	32.8	22.4	11.0	46.2	2.3	7.3	2.3
	伊保	671	52.2	16.8	32.2	24.6	11.9	34.3	2.1	8.9	1.5
	中筋	193	44.0	16.6	29.5	26.9	18.7	36.8	0.5	11.4	3.6
	曽根	400	49.8	18.5	34.5	25.5	13.3	42.8	1.0	7.0	2.3
	米田	611	49.4	15.7	33.9	27.8	14.1	37.8	2.6	8.0	3.1
	阿弥陀	412	50.7	17.0	33.5	28.9	16.5	38.6	0.2	6.1	1.0
	北浜	203	58.1	16.7	36.9	23.2	10.8	34.5	1.5	7.4	1.5
認定状況	一般高齢者	2,742	53.8	17.5	34.2	27.1	13.5	40.3	1.7	6.6	1.8
当該	総合事業対象者、要支援１・２	393	22.6	11.7	27.0	21.6	14.8	28.0	1.0	19.1	5.3
世帯類型	１人暮らし	671	2.5	1.3	35.8	29.8	18.0	45.5	2.4	16.5	3.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	75.6	1.9	39.9	24.2	13.6	37.6	0.6	4.8	1.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	75.2	12.9	22.8	31.7	7.9	36.6	2.0	6.9	1.0
	息子・娘との２世帯	481	46.4	51.8	26.6	27.0	10.8	38.9	1.5	7.1	1.7
	その他	506	44.7	42.3	21.9	26.7	12.6	34.8	3.2	7.1	1.8

3 あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はいますか。（いくつでも）

【全体】
○ 「配偶者」が 58.9%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 35.9%、「同居の子ども」が 23.4%となっています。

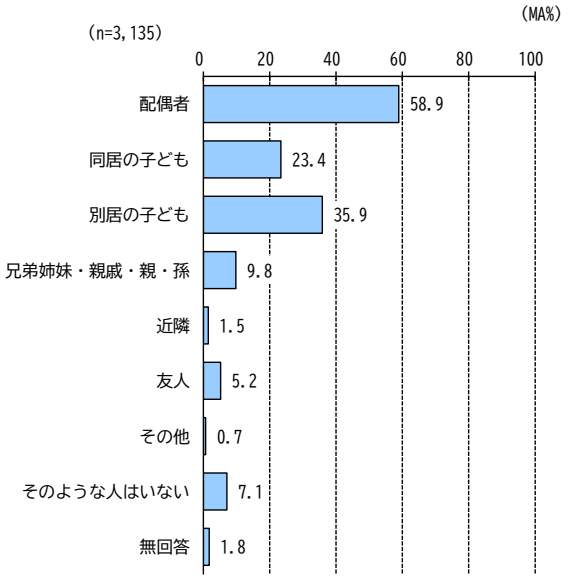
【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「配偶者」、女性-後期高齢者は「別居の子ども」が最も多くなっています。

【年齢】
○ 65～74 歳・75～84 歳は「配偶者」、85 歳以上は「別居の子ども」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「配偶者」、総合事業対象者、要支援１・２は「別居の子ども」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ １人暮らしは「別居の子ども」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「配偶者」、息子・娘との２世帯・その他は「同居の子ども」が最も多くなっています。

【看病してくれる人】



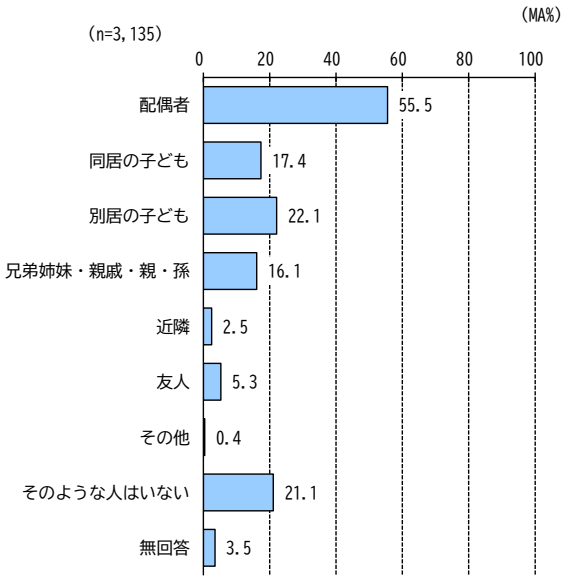
単位：%

		母数（n）	問7.3　あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はいますか。(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,135	58.9	23.4	35.9	9.8	1.5	5.2	0.7	7.1	1.8
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	77.9	14.1	20.9	8.9	0.8	2.7	1.0	9.2	1.0
	後期高齢者	769	74.9	17.9	32.4	6.2	0.5	2.1	0.7	6.1	1.4
	女性　前期高齢者	754	61.8	28.1	37.3	12.2	1.3	7.4	0.3	5.3	1.2
	後期高齢者	1,015	33.4	29.6	46.5	11.3	2.9	7.3	0.9	7.9	2.9
年齢	65～74歳	1,351	68.9	21.9	30.1	10.7	1.1	5.3	0.6	7.0	1.1
	75～84歳	1,449	56.2	22.7	39.1	8.9	1.9	5.7	0.9	6.9	2.0
	85歳以上	335	29.9	32.5	46.3	10.1	1.5	2.1	0.3	8.1	3.3
認定状況該当	一般高齢者	2,742	63.1	23.1	35.2	9.7	1.5	5.4	0.7	6.5	1.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	29.3	25.7	41.5	10.9	2.0	3.8	0.8	11.2	3.1
世帯類型	１人暮らし	671	3.4	2.4	52.0	17.1	3.3	12.1	1.5	23.7	2.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	89.1	2.3	39.4	6.1	1.1	3.9	0.1	2.3	1.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	89.1	17.8	22.8	8.9	－	2.0	－	4.0	1.0
	息子・娘との２世帯	481	53.0	75.3	23.7	7.5	1.0	2.7	0.4	1.7	1.0
	その他	506	54.5	56.3	20.4	11.9	1.2	2.6	1.6	3.8	1.6

４ 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（いくつでも）

【全体】
○　「配偶者」が 55.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 22.1%、「そのような人はいない」が 21.1%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「配偶者」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「配偶者」、85 歳以上は「そのような人はいない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「配偶者」、総合事業対象者、要支援１・２は「そのような人はいない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らしは「そのような人はいない」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・その他は「配偶者」、息子・娘との２世帯は「同居の子ども」が最も多くなっています。

【看病してあげる人】



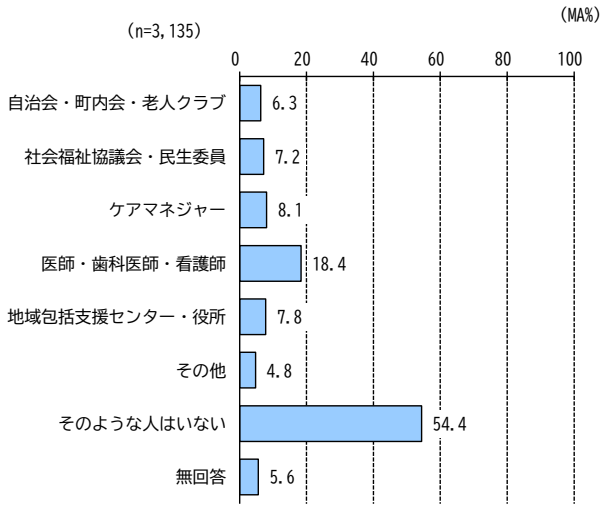
単位：％

		母数（n）	問7.4　反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（MA）								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,135	55.5	17.4	22.1	16.1	2.5	5.3	0.4	21.1	3.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	67.8	13.2	17.8	16.6	1.0	2.0	0.5	20.1	1.2
	後期高齢者	769	66.7	12.6	15.6	7.7	1.8	2.9	0.4	22.1	2.5
	女性　前期高齢者	754	60.5	24.8	32.8	26.1	2.5	7.2	0.4	13.4	2.3
	後期高齢者	1,015	36.2	17.9	21.7	14.7	3.9	7.7	0.4	26.6	6.6
年齢	65～74歳	1,351	63.7	19.7	26.1	21.9	1.9	4.9	0.4	16.4	1.8
	75～84歳	1,449	53.8	15.8	20.4	12.8	3.1	6.0	0.3	22.0	3.6
	85歳以上	335	29.9	14.9	13.4	6.9	2.7	3.9	0.6	36.1	10.1
認定状況	一般高齢者	2,742	59.4	18.0	23.9	16.9	2.6	5.6	0.4	18.6	2.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	28.8	13.2	9.9	10.2	2.3	3.3	0.8	38.2	9.9
世帯類型	１人暮らし	671	3.6	0.9	24.1	21.0	5.4	10.4	0.7	47.7	5.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	84.6	1.8	27.2	13.1	2.0	4.1	0.1	10.4	2.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	82.2	11.9	18.8	14.9	－	－	－	11.9	2.0
	息子・娘との２世帯	481	48.4	54.7	15.2	13.5	1.2	4.2	0.4	20.0	3.3
	その他	506	51.2	44.7	14.2	20.4	2.0	3.8	0.8	16.8	3.4

5 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手はいますか。（いくつでも）

【全体】
○　「そのような人はいない」が 54.4％で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 18.4%、「ケアマネジャー」が 8.1%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「そのような人はいない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「そのような人はいない」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「そのような人はいない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「そのような人はいない」、総合事業対象者、要支援１・２は「ケアマネジャー」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「そのような人はいない」が最も多くなっています。

【家族や友人・知人以外の相談相手】



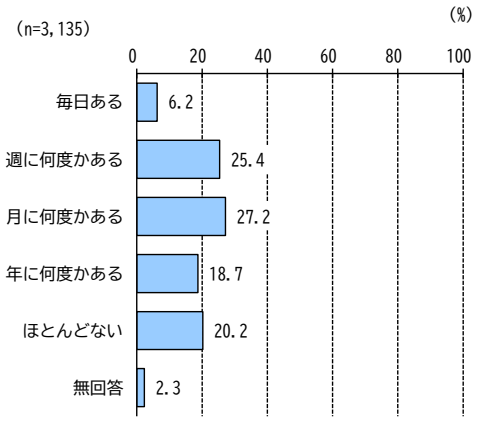
単位：%

		母数（n）	問7.5 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手はいますか。(MA)							
			自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3,135	6.3	7.2	8.1	18.4	7.8	4.8	54.4	5.6
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	9.4	4.9	3.5	20.3	6.4	5.0	60.0	1.7
	後期高齢者	769	9.1	9.6	6.6	18.5	6.0	5.1	55.5	4.2
	女性　前期高齢者	754	3.2	5.2	5.7	17.8	8.6	4.2	60.3	5.2
	後期高齢者	1,015	4.6	8.3	13.6	17.8	9.6	5.0	46.0	9.5
年齢	65～74歳	1,351	5.9	5.0	4.7	18.9	7.6	4.6	60.2	3.6
	75～84歳	1,449	6.2	8.1	7.1	17.9	8.0	5.2	52.8	7.0
	85歳以上	335	8.1	11.9	25.7	19.1	8.1	4.5	38.5	8.1
日常生活圏域	高砂	301	8.6	12.3	7.6	19.3	11.6	4.3	49.2	5.6
	荒井	344	4.4	7.8	8.7	19.2	7.3	5.5	55.5	4.4
	伊保	671	6.7	4.5	9.2	16.4	7.3	5.5	56.5	4.5
	中筋	193	3.1	7.8	11.9	17.1	7.8	4.7	54.9	6.7
	曽根	400	1.5	5.3	4.5	17.0	6.3	4.0	61.3	6.5
	米田	611	6.1	7.9	9.3	21.3	7.7	5.2	52.0	6.7
	阿弥陀	412	11.2	8.3	6.3	17.5	8.0	3.4	54.1	3.9
	北浜	203	7.9	6.9	6.9	20.2	8.4	5.9	47.8	9.4
認定状況	一般高齢者	2,742	6.5	6.7	3.4	18.8	7.0	5.0	57.8	5.4
	総合事業対象者、要支援１・２	393	5.1	10.7	40.5	16.0	14.0	4.1	31.3	7.1
世帯類型	１人暮らし	671	5.8	10.3	11.2	15.2	8.6	6.1	50.4	7.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	6.2	7.1	6.5	19.6	7.8	4.3	56.5	4.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	5.0	5.0	4.0	16.8	11.9	3.0	65.3	2.0
	息子・娘との２世帯	481	6.2	7.3	10.0	21.4	7.7	3.7	50.7	6.4
	その他	506	7.3	3.8	6.7	17.0	6.1	6.3	57.5	5.1

6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（１つだけ）

【全体】
○　「月に何度かある」が 27.2%で最も多く、次いで「週に何度かある」が 25.4%、「ほとんどない」が 20.2%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・女性-前期高齢者は「月に何度かある」、男性-後期高齢者は「月に何度かある」「ほとんどない」、女性-後期高齢者は「週に何度かある」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「月に何度かある」、85 歳以上は「ほとんどない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「月に何度かある」、総合事業対象者、要支援１・２は「ほとんどない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らしは「週に何度かある」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・息子・娘との２世帯は「月に何度かある」、その他は「ほとんどない」が最も多くなっています。

【友人・知人と会う頻度】



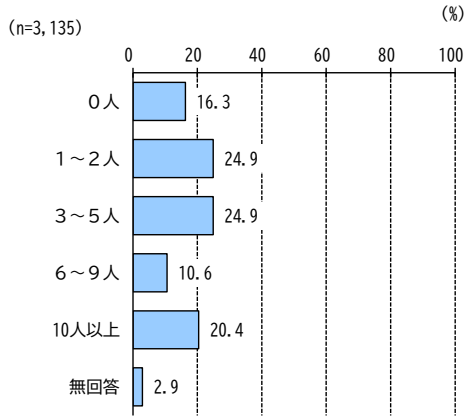
単位：%

		母数(n)	問7.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。 毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		3,135	6.2	25.4	27.2	18.7	20.2	2.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	7.4	19.3	26.5	25.0	20.4	1.5
	後期高齢者	769	6.1	21.7	25.4	19.5	25.4	2.0
	女性　前期高齢者	754	5.3	28.5	29.6	20.2	15.0	1.5
	後期高齢者	1,015	6.3	29.5	27.4	13.4	19.9	3.5
年齢	65～74歳	1,351	6.2	24.4	28.2	22.3	17.4	1.5
	75～84歳	1,449	6.3	26.4	27.5	16.6	20.6	2.7
	85歳以上	335	6.0	25.1	22.4	13.7	29.3	3.6
認定該当状況	一般高齢者	2,742	6.6	25.6	28.2	19.3	18.3	2.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	3.8	23.9	20.6	14.8	33.1	3.8
世帯類型	１人暮らし	671	6.1	32.9	28.5	11.8	18.3	2.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	6.0	23.7	29.0	19.9	19.3	2.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	3.0	18.8	30.7	19.8	25.7	2.0
	息子・娘との２世帯	481	7.1	24.7	25.6	21.6	19.8	1.2
	その他	506	6.9	21.9	21.7	22.9	23.7	2.8

7 この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。※同じ人には何度会っても１人と数えることとします。（１つだけ）

【全体】
○ 「１～２人」「３～５人」が 24.9%で最も多く、次いで「10 人以上」が 20.4%、「０人」が 16.3%となっています。
【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者は「１～２人」、女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「３～５人」が最も多くなっています。
【年齢】
○ 65～74 歳は「３～５人」、75～84 歳・85 歳以上は「１～２人」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「３～５人」、総合事業対象者、要支援１・２は「１～２人」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○ １人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「３～５人」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・息子・娘との２世帯・その他は「１～２人」が最も多くなっています。

【会った友人・知人の人数】



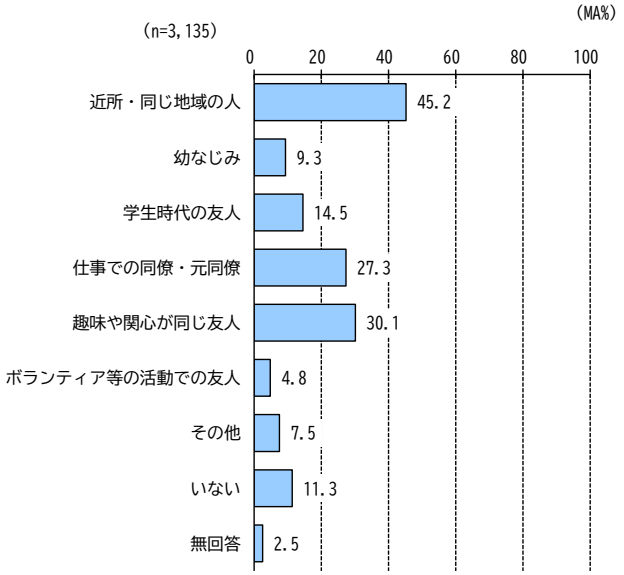
単位：%

		母数（n）	問7.7 この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。					
			０人	１～２人	３～５人	６～９人	１０人以上	無回答
全体		3,135	16.3	24.9	24.9	10.6	20.4	2.9
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	19.6	23.5	21.3	12.2	21.8	1.7
	後期高齢者	769	20.5	26.8	24.2	8.1	17.7	2.7
	女性　前期高齢者	754	13.1	24.5	27.5	11.9	21.4	1.6
	後期高齢者	1,015	13.5	24.6	25.8	10.5	20.8	4.7
年齢	65～74歳	1,351	16.0	24.1	24.7	12.1	21.5	1.6
	75～84歳	1,449	15.7	25.5	25.3	10.1	20.2	3.2
	85歳以上	335	20.3	25.7	24.5	6.6	16.4	6.6
認定該当状況	一般高齢者	2,742	15.1	24.4	25.9	10.9	21.3	2.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	24.9	28.2	18.1	8.1	13.7	6.9
世帯類型	１人暮らし	671	13.1	24.4	28.6	9.4	20.7	3.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	15.2	24.7	24.2	12.5	21.0	2.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	22.8	15.8	29.7	6.9	21.8	3.0
	息子・娘との２世帯	481	17.5	26.6	23.1	8.7	21.6	2.5
	その他	506	21.1	26.3	22.5	10.3	17.6	2.2

8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）

【全体】
○　「近所・同じ地域の人」が 45.2%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 30.1%、「仕事での同僚・元同僚」が 27.3%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者は「仕事での同僚・元同僚」、男性-後期高齢者・女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「近所・同じ地域の人」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「近所・同じ地域の人」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「近所・同じ地域の人」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「近所・同じ地域の人」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・息子・娘との２世帯・その他は「近所・同じ地域の人」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「仕事での同僚・元同僚」が最も多くなっています。

【友人・知人の関係性】



単位：%

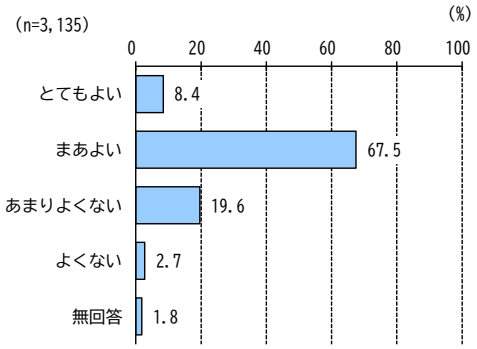
		母数(n)	問7.8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(MA)								
			近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		3,135	45.2	9.3	14.5	27.3	30.1	4.8	7.5	11.3	2.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	27.5	14.6	17.9	42.7	28.8	5.2	5.9	12.1	1.8
	後期高齢者	769	38.9	7.2	10.3	26.3	29.8	6.0	6.2	15.7	2.6
	女性　前期高齢者	754	48.3	9.3	20.7	32.8	30.5	5.2	8.8	7.3	1.6
	後期高齢者	1,015	58.0	8.0	11.0	15.0	30.7	3.5	8.5	10.3	3.4
年齢	65～74歳	1,351	39.1	11.6	19.5	37.2	29.8	5.2	7.5	9.4	1.7
	75～84歳	1,449	49.5	7.7	12.1	22.5	31.9	5.2	7.2	11.5	2.8
	85歳以上	335	51.0	7.2	4.8	8.4	23.6	1.8	9.0	17.9	4.5
日常生活圏域	高砂	301	46.8	9.6	16.9	23.9	30.6	6.3	8.6	9.6	4.0
	荒井	344	41.6	9.3	14.8	24.1	36.6	4.9	7.3	10.5	2.3
	伊保	671	42.2	9.5	13.4	26.5	27.9	4.0	8.0	13.0	2.2
	中筋	193	51.8	5.7	11.9	30.1	21.2	3.6	8.8	12.4	3.6
	曽根	400	43.3	14.0	16.3	28.3	30.8	3.5	6.0	11.0	2.5
	米田	611	42.1	6.5	15.2	30.4	30.0	5.4	8.5	11.8	3.3
	阿弥陀	412	53.6	8.3	12.4	28.6	33.0	6.3	6.8	8.7	0.5
	北浜	203	48.3	13.3	14.8	23.6	27.1	4.4	4.4	12.3	2.0
認定状況	一般高齢者	2,742	45.0	9.8	15.5	29.8	31.7	5.3	7.1	9.7	2.1
	総合事業対象者、要支援１・２	393	46.1	6.1	7.1	10.2	18.8	1.8	10.4	22.1	5.1
世帯類型	１人暮らし	671	45.8	9.1	11.3	23.1	31.9	3.6	7.3	11.5	2.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	47.2	9.1	16.9	29.4	32.4	6.5	5.9	9.7	2.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	26.7	17.8	15.8	36.6	29.7	3.0	5.9	11.9	4.0
	息子・娘との２世帯	481	45.9	9.8	12.5	26.4	28.3	5.0	9.8	12.3	1.9
	その他	506	42.7	8.3	14.0	27.3	23.7	2.4	10.7	14.0	2.4

8．健康について（問８）

１　現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つだけ）

【全体】
○　「まあよい」が 67.5%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 19.6%、「とてもよい」が 8.4%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「まあよい」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「まあよい」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「まあよい」が最も多くなっています。

【主観的健康感】



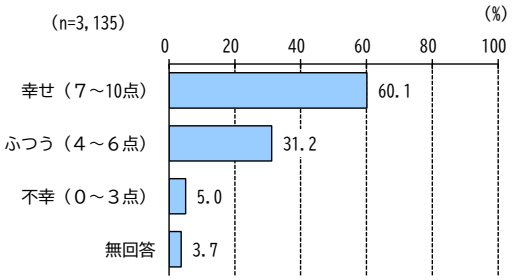
単位：%

		母数(n)	問8.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。				
			とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体		3,135	8.4	67.5	19.6	2.7	1.8
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	9.2	68.3	18.9	2.5	1.0
	後期高齢者	769	7.2	64.0	23.5	3.0	2.3
	女性　前期高齢者	754	10.5	71.4	15.5	1.3	1.3
	後期高齢者	1,015	7.4	66.9	20.0	3.5	2.2
年齢	65～74歳	1,351	9.9	70.0	17.0	1.9	1.2
	75～84歳	1,449	7.2	68.0	19.9	2.7	2.1
	85歳以上	335	7.5	55.5	28.4	6.0	2.7
認定該当状況	一般高齢者	2,742	9.3	70.5	16.8	1.8	1.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	2.3	47.1	38.7	9.2	2.8

2　あなたは、現在どの程度幸せですか。（１つだけ）※「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。

【全体】
○　「幸せ（７～10点）」が60.1%で最も多く、次いで「ふつう（４～６点）」が31.2%、「不幸（０～３点）」が5.0%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「幸せ（７～10点）」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「幸せ（７～10点）」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「幸せ（７～10点）」が最も多くなっています。

【現在の幸福度】



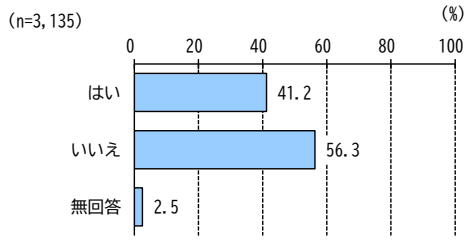
単位：%

		母数（n）	幸福感 幸せ（７～10点）	ふつう（４～６点）	不幸（０～３点）	無回答
全体		3,135	60.1	31.2	5.0	3.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	57.6	35.2	5.2	2.0
	後期高齢者	769	54.4	35.8	6.1	3.8
	女性　前期高齢者	754	65.9	26.8	4.4	2.9
	後期高齢者	1,015	61.6	28.7	4.5	5.2
認定該当状況	一般高齢者	2,742	62.4	30.1	4.2	3.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	43.8	39.2	10.7	6.4
世帯類型	１人暮らし	671	50.5	37.3	7.3	4.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	66.1	26.9	4.1	2.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	55.4	36.6	4.0	4.0
	息子・娘との２世帯	481	62.2	30.6	3.7	3.5
	その他	506	57.3	33.2	5.7	3.8

3 この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 41.2%、「いいえ」が 56.3%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「いいえ」、総合事業対象者、要支援１・２は「はい」が最も多くなっています。

【抑うつ気分の有無】



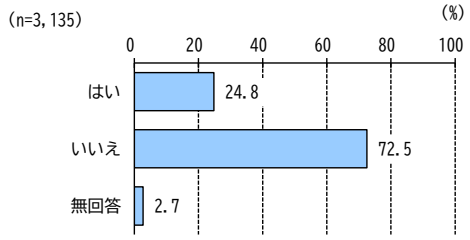
単位：%

		母数(n)	問8.3　この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	41.2	56.3	2.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	37.0	62.0	1.0
	後期高齢者	769	40.7	56.3	3.0
	女性　前期高齢者	754	41.5	56.4	2.1
	後期高齢者	1,015	43.8	52.8	3.3
年齢	65～74歳	1,351	39.5	58.8	1.6
	75～84歳	1,449	42.0	55.7	2.3
	85歳以上	335	44.8	48.4	6.9
当該認定状況	一般高齢者	2,742	38.9	59.0	2.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	57.3	36.9	5.9

４ この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 24.8%、「いいえ」が 72.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「いいえ」が最も多くなっています。

【興味・喜びの喪失】



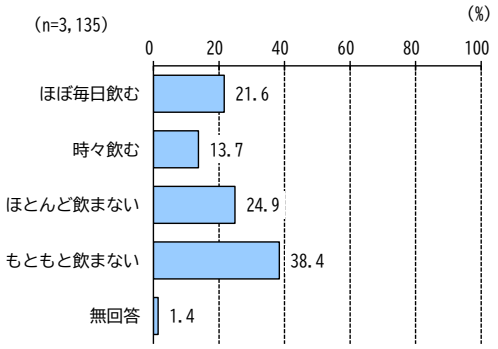
単位：%

		母数(n)	問8.4　この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	24.8	72.5	2.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	22.1	76.4	1.5
	後期高齢者	769	30.0	67.1	2.9
	女性　前期高齢者	754	18.7	79.0	2.3
	後期高齢者	1,015	27.0	69.4	3.6
年齢	65～74歳	1,351	20.2	77.9	1.9
	75～84歳	1,449	26.8	70.2	3.0
	85歳以上	335	34.6	60.6	4.8
認定該当状況	一般高齢者	2,742	22.2	75.3	2.4
	総合事業対象者、要支援１・２	393	42.7	52.7	4.6

5 お酒は飲みますか。（１つだけ）

【全体】
○　「もともと飲まない」が 38.4%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が 24.9%、「ほぼ毎日飲む」が 21.6%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・男性-後期高齢者は「ほぼ毎日飲む」、女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「もともと飲まない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「もともと飲まない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「もともと飲まない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・息子・娘との２世帯・その他は「もともと飲まない」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「ほぼ毎日飲む」が最も多くなっています。

【飲酒習慣】



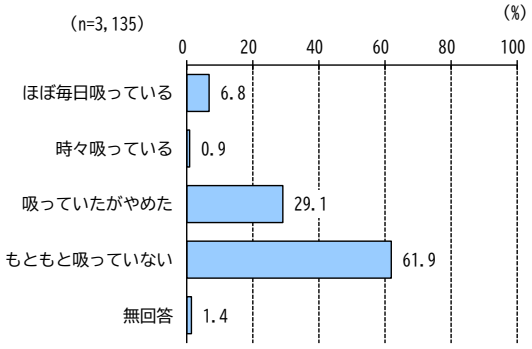
単位：%

		母数（n）	問8.5 お酒は飲みますか。 ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
全体		3,135	21.6	13.7	24.9	38.4	1.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	42.5	18.9	21.4	15.9	1.2
	後期高齢者	769	38.4	12.9	26.3	21.2	1.3
	女性　前期高齢者	754	10.1	14.5	26.5	47.6	1.3
	後期高齢者	1,015	5.0	10.7	24.8	57.7	1.7
年齢	65～74歳	1,351	24.4	16.4	24.3	33.6	1.3
	75～84歳	1,449	21.0	12.3	25.7	39.6	1.4
	85歳以上	335	12.5	9.0	24.2	52.2	2.1
認定該当状況	一般高齢者	2,742	23.2	14.5	24.8	36.2	1.2
	総合事業対象者、要支援１・２	393	9.9	8.1	26.0	53.4	2.5
世帯類型	１人暮らし	671	14.0	13.1	25.5	45.3	2.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	27.4	14.1	24.2	33.3	1.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	37.6	17.8	21.8	22.8	-
	息子・娘との２世帯	481	13.3	12.7	26.8	46.2	1.0
	その他	506	21.1	13.6	24.9	38.7	1.6

6 タバコは吸っていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「もともと吸っていない」が 61.9%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 29.1%、「ほぼ毎日吸っている」が 6.8%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・男性-後期高齢者は「吸っていたがやめた」、女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「もともと吸っていない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「もともと吸っていない」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「もともと吸っていない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「もともと吸っていない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・息子・娘との２世帯・その他は「もともと吸っていない」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「吸っていたがやめた」が最も多くなっています。

【喫煙習慣】



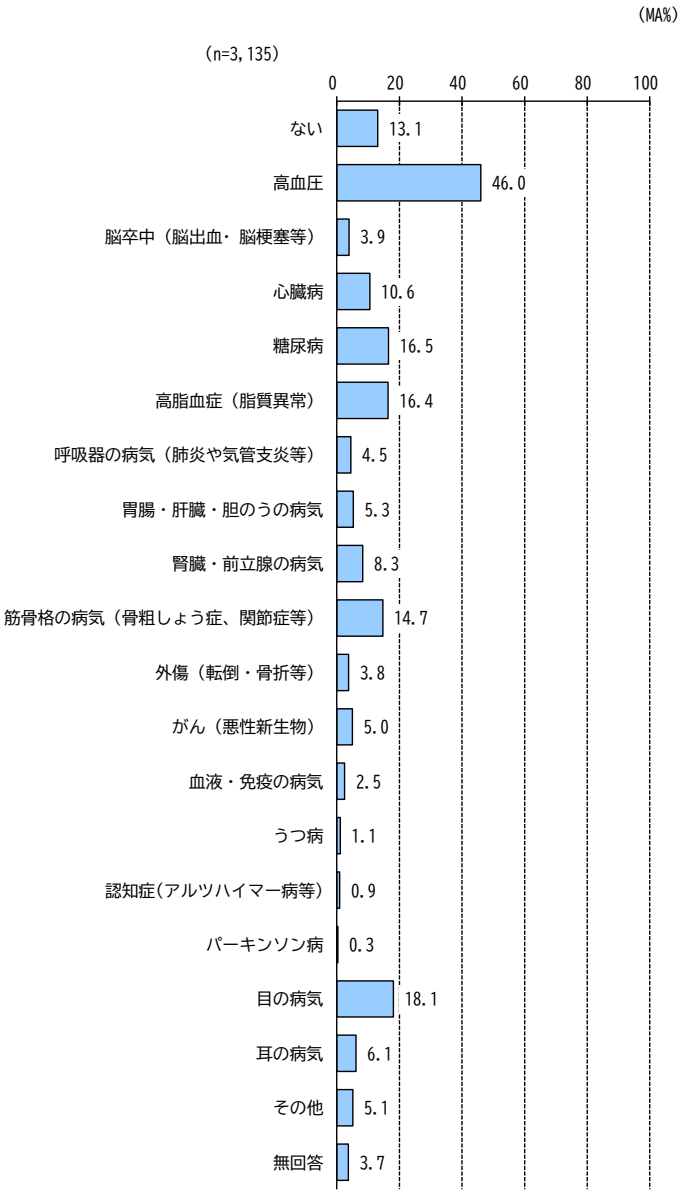
単位：%

		母数（n）	問8.6　タバコは吸っていますか。				
			ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体		3,135	6.8	0.9	29.1	61.9	1.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	19.9	1.5	53.3	24.5	0.8
	後期高齢者	769	7.4	1.3	61.4	28.6	1.3
	女性　前期高齢者	754	3.7	0.9	10.6	83.3	1.5
	後期高齢者	1,015	0.8	0.2	4.1	93.2	1.7
年齢	65～74歳	1,351	10.9	1.2	29.5	57.3	1.2
	75～84歳	1,449	4.0	0.8	30.5	63.4	1.3
	85歳以上	335	2.1	0.3	21.5	73.7	2.4
日常生活圏域	高砂	301	4.3	1.0	27.6	64.5	2.7
	荒井	344	6.7	1.2	24.7	65.7	1.7
	伊保	671	7.7	0.7	33.8	56.6	1.0
	中筋	193	3.6	2.1	25.9	66.3	2.1
	曽根	400	9.0	0.8	26.0	63.0	1.3
	米田	611	6.2	0.7	32.1	59.4	1.6
	阿弥陀	412	7.3	1.0	27.7	63.8	0.2
	北浜	203	6.4	0.5	26.1	66.0	1.0
認定該当状況	一般高齢者	2,742	7.4	0.9	29.8	60.6	1.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	2.3	0.5	24.2	71.0	2.0
世帯類型	１人暮らし	671	6.4	1.0	21.6	69.2	1.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	5.9	0.8	34.5	57.6	1.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	19.8	1.0	43.6	34.7	1.0
	息子・娘との２世帯	481	4.8	0.8	22.2	71.3	0.8
	その他	506	8.7	1.2	28.5	60.5	1.2

7 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。（いくつでも）

【全体】
○　「高血圧」が 46.0%で最も多く、次いで「目の病気」が 18.1%、「糖尿病」が 16.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「高血圧」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「高血圧」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「高血圧」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「高血圧」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「高血圧」が最も多くなっています。

【治療中・後遺症のある病気】



単位：%

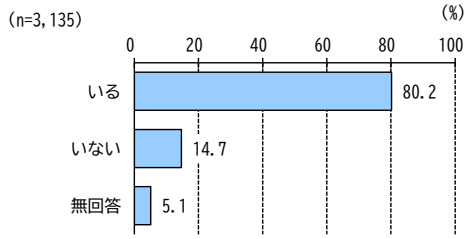
		母数(n)	問8.7 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(MA) ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全体		3,135	13.1	46.0	3.9	10.6	16.5	16.4	4.5	5.3	8.3	14.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	15.9	46.9	3.7	9.0	21.8	14.7	3.2	4.9	11.4	7.0
	後期高齢者	769	9.0	51.0	5.9	18.3	20.9	11.6	5.6	6.8	20.3	6.2
	女性　前期高齢者	754	18.8	36.2	3.1	3.7	11.4	20.8	4.1	4.8	1.7	16.8
	後期高齢者	1,015	10.4	48.9	3.2	10.7	13.7	17.8	4.8	4.9	2.4	23.9
年齢	65～74歳	1,351	17.5	40.9	3.3	6.1	16.0	18.1	3.7	4.8	6.0	12.5
	75～84歳	1,449	10.1	49.2	4.3	13.4	17.4	15.7	5.2	5.7	9.7	15.7
	85歳以上	335	8.4	52.2	4.5	16.7	14.3	12.8	4.8	6.0	11.6	18.8
日常生活圏域	高砂	301	10.6	48.2	4.7	11.3	16.3	16.9	5.3	5.0	10.0	18.6
	荒井	344	13.1	48.5	4.9	11.9	14.8	13.7	4.4	6.7	8.1	15.1
	伊保	671	11.9	48.4	3.9	10.6	15.5	15.8	3.7	5.2	9.4	13.0
	中筋	193	14.5	37.8	3.6	9.3	13.5	14.0	6.7	3.6	7.8	12.4
	曽根	400	11.0	46.8	5.3	11.5	21.5	18.3	4.0	3.8	7.3	13.8
	米田	611	14.7	43.9	3.3	8.5	18.0	16.4	5.2	6.2	9.0	16.4
	阿弥陀	412	12.9	46.6	3.4	12.6	16.5	18.0	4.9	4.1	7.0	11.9
	北浜	203	19.7	41.4	1.5	8.9	10.8	18.2	2.5	8.4	5.9	18.2
認定該当状況	一般高齢者	2,742	14.6	45.3	3.2	9.4	16.2	17.0	4.0	5.1	8.1	12.7
	総合事業対象者、要支援１・２	393	3.1	50.4	8.7	19.1	18.3	12.2	7.9	6.9	10.2	28.5
世帯類型	１人暮らし	671	12.1	48.3	3.4	10.3	15.4	16.5	4.2	5.5	6.0	18.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	12.9	45.0	4.1	10.0	17.2	17.0	4.4	5.6	10.2	13.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	15.8	44.6	5.0	7.9	17.8	11.9	5.0	7.9	10.9	5.0
	息子・娘との２世帯	481	15.4	46.2	3.5	12.3	16.6	16.8	6.4	2.7	7.5	15.8
	その他	506	13.2	44.5	4.3	10.5	14.6	15.8	3.2	6.3	6.9	14.4

		母数(n)	問8.7 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(MA) 外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		3,135	3.8	5.0	2.5	1.1	0.9	0.3	18.1	6.1	5.1	3.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	2.7	5.5	1.5	0.7	0.7	0.3	14.2	4.4	5.4	2.3
	後期高齢者	769	2.7	7.3	1.8	0.5	1.7	0.3	18.6	7.0	4.2	3.5
	女性　前期高齢者	754	2.8	4.8	2.7	1.6	－	0.3	15.3	5.4	7.0	4.2
	後期高齢者	1,015	5.9	3.3	3.3	1.5	1.0	0.3	22.2	6.8	4.2	4.2
年齢	65～74歳	1,351	2.7	5.1	2.1	1.2	0.3	0.3	14.8	5.0	6.3	3.4
	75～84歳	1,449	4.3	5.0	2.8	1.2	1.1	0.3	20.2	6.3	3.9	3.9
	85歳以上	335	5.4	5.1	2.4	0.6	2.1	0.3	22.7	9.3	5.4	4.2
日常生活圏域	高砂	301	3.3	5.6	3.7	1.0	0.7	－	19.3	8.6	4.0	4.7
	荒井	344	3.5	4.4	2.3	1.2	0.6	－	18.3	4.9	5.2	4.4
	伊保	671	4.0	5.2	1.8	1.3	1.3	0.3	18.2	5.1	6.4	3.7
	中筋	193	4.7	3.6	2.6	1.6	1.0	0.5	15.0	5.2	4.7	4.7
	曽根	400	4.5	6.0	2.5	1.3	1.0	0.3	17.8	7.0	3.8	3.8
	米田	611	4.4	5.6	2.1	1.1	0.5	0.5	17.0	6.4	4.7	3.8
	阿弥陀	412	2.2	4.4	3.4	1.0	0.7	0.2	21.1	6.6	6.1	2.9
	北浜	203	3.0	3.9	2.0	－	1.0	0.5	16.7	4.4	4.4	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,742	2.9	4.9	2.2	0.9	0.5	0.3	16.9	5.6	5.0	3.8
	総合事業対象者、要支援１・２	393	9.7	5.9	4.3	2.8	3.6	0.3	26.5	9.4	6.1	2.8
世帯類型	１人暮らし	671	6.4	5.1	3.4	1.0	0.6	0.1	21.2	6.3	4.6	3.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	2.7	5.3	2.4	1.4	0.7	0.2	17.3	7.1	5.5	3.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	4.0	5.9	1.0	2.0	－	1.0	12.9	3.0	6.9	2.0
	息子・娘との２世帯	481	2.5	5.4	1.9	0.8	1.0	0.6	17.5	4.2	4.0	2.9
	その他	506	4.2	3.8	2.4	0.8	1.4	－	18.4	5.9	5.9	4.5

8 かかりつけの医師（※）はいますか。（１つだけ）※健康などのことで困った時に相談する医師のことで、診療科（専門）は問いません。

【全体】
○　「いる」が 80.2%、「いない」が 14.7%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いる」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いる」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「いる」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「いる」が最も多くなっています。

【かかりつけ医の有無】



単位：%

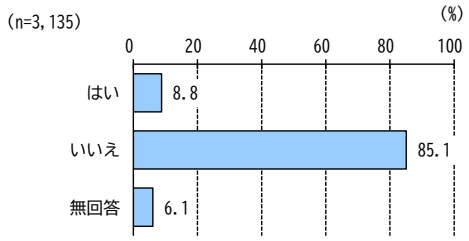
		母数（n）	問8.8　かかりつけの医師はいますか。		
			いる	いない	無回答
全体		3,135	80.2	14.7	5.1
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	79.1	17.6	3.4
	後期高齢者	769	82.4	10.5	7.0
	女性　前期高齢者	754	75.2	21.5	3.3
	後期高齢者	1,015	82.8	11.1	6.1
年齢	65～74歳	1,351	76.9	19.8	3.3
	75～84歳	1,449	82.5	11.9	5.5
	85歳以上	335	83.0	6.3	10.7
日常生活圏域	高砂	301	85.7	10.3	4.0
	荒井	344	82.3	11.6	6.1
	伊保	671	82.7	12.8	4.5
	中筋	193	80.3	14.0	5.7
	曽根	400	78.8	15.3	6.0
	米田	611	76.4	18.2	5.4
	阿弥陀	412	79.6	16.0	4.4
	北浜	203	74.9	19.2	5.9
認定該当状況	一般高齢者	2,742	79.5	16.1	4.4
	総合事業対象者、要支援１・２	393	85.0	5.1	9.9

９．相談窓口・支援について（問９）

１　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 8.8%、「いいえ」が 85.1%となっています。
【年齢】
○　どの年代でも「いいえ」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「いいえ」が最も多くなっています。

【認知症の症状の有無】



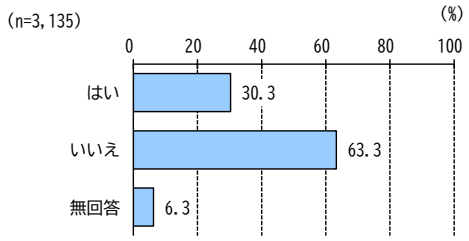
単位：%

		母数（n）	問9.1　認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	8.8	85.1	6.1
年齢	65～74歳	1,351	9.2	86.8	4.0
	75～84歳	1,449	7.8	85.0	7.2
	85歳以上	335	11.9	78.8	9.3
当該認定状況	一般高齢者	2,742	8.0	86.5	5.5
	総合事業対象者、要支援１・２	393	14.5	75.6	9.9

2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 30.3%、「いいえ」が 63.3%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「いいえ」が最も多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の認知】



単位：%

		母数（n）	問9.2　認知症に関する相談窓口を知っていますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	30.3	63.3	6.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	23.5	73.5	3.0
	後期高齢者	769	28.7	64.4	6.9
	女性　前期高齢者	754	34.7	60.3	4.9
	後期高齢者	1,015	32.3	58.7	9.0
日常生活圏域	高砂	301	34.6	58.8	6.6
	荒井	344	29.1	64.8	6.1
	伊保	671	29.5	65.4	5.1
	中筋	193	29.0	62.7	8.3
	曽根	400	24.0	69.0	7.0
	米田	611	29.5	64.0	6.5
	阿弥陀	412	35.9	57.8	6.3
	北浜	203	34.0	59.1	6.9

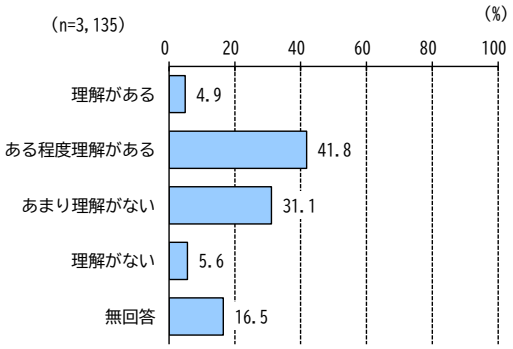
3 お住まいの地域は、認知症の高齢者に対して理解があると感じますか。（１つだけ）

【全体】
○　「ある程度理解がある」が 41.8%で最も多く、次いで「あまり理解がない」が 31.1%、「理解がない」が 5.6%となっています。

【年齢】
○　どの年代でも「ある程度理解がある」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○　１人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・息子・娘との２世帯・その他は「ある程度理解がある」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「あまり理解がない」が最も多くなっています。

【地域の認知症への理解度】



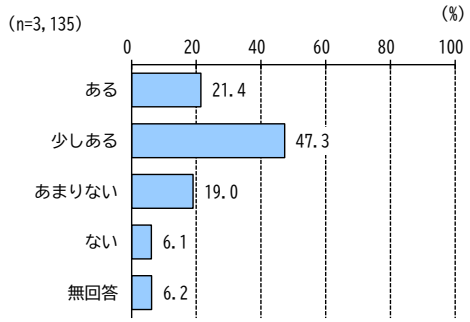
単位：%

		母数(n)	問9.3 お住まいの地域は、認知症の高齢者に対して理解があると感じますか。				
			理解がある	ある程度理解がある	あまり理解がない	理解がない	無回答
全体		3,135	4.9	41.8	31.1	5.6	16.5
年齢	65～74歳	1,351	3.9	43.7	34.1	5.3	13.0
	75～84歳	1,449	5.2	41.0	29.3	5.8	18.7
	85歳以上	335	8.1	37.6	26.6	6.3	21.5
世帯類型	１人暮らし	671	5.4	38.0	30.4	6.4	19.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	4.3	44.8	31.4	4.5	15.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	5.9	28.7	40.6	7.9	16.8
	息子・娘との２世帯	481	6.2	44.7	28.9	4.4	15.8
	その他	506	4.9	39.3	31.4	8.3	16.0

4 認知症について不安がありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「少しある」が 47.3%で最も多く、次いで「ある」が 21.4%、「あまりない」が 19.0%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「少しある」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「少しある」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「少しある」が最も多くなっています。

【認知症への不安】



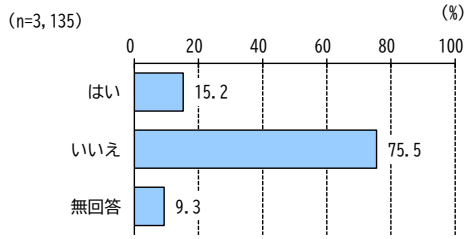
単位：%

		母数（n）	問9.4 認知症について不安がありますか。 ある	少しある	あまりない	ない	無回答
全体		3,135	21.4	47.3	19.0	6.1	6.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	17.4	52.1	18.6	8.5	3.4
	後期高齢者	769	21.7	46.0	19.4	6.2	6.6
	女性　前期高齢者	754	21.5	50.7	19.2	3.8	4.8
	後期高齢者	1,015	23.4	42.9	18.7	6.3	8.7
年齢	65～74歳	1,351	19.7	51.3	18.9	5.9	4.1
	75～84歳	1,449	21.0	45.6	19.7	5.9	7.7
	85歳以上	335	29.9	38.2	15.8	7.8	8.4
当該認定状況	一般高齢者	2,742	19.8	48.4	19.9	6.1	5.8
	総合事業対象者、要支援１・２	393	32.3	39.4	12.5	6.4	9.4

5 認知症カフェを利用したいと思いますか。（１つだけ）※認知症カフェは、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等が集い、気軽に交流や相談ができる場です。現在市内５か所で運営しています。

【全体】
○　「はい」が 15.2%、「いいえ」が 75.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「いいえ」が最も多くなっています。

【認知症カフェの利用意向】



単位：%

		母数（n）	問9.5　認知症カフェを利用したいと思いますか。		
			はい	いいえ	無回答
全体		3,135	15.2	75.5	9.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	12.4	83.2	4.4
	後期高齢者	769	14.0	76.6	9.4
	女性　前期高齢者	754	20.4	72.7	6.9
	後期高齢者	1,015	13.9	72.1	14.0

6 あなたや家族が認知症になった時に、どのような支援があればよいと思いますか。（いくつでも）

【全体】
○ 「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が 71.1%で最も多く、次いで「認知症の専門医の紹介、サポート」が 39.4%、「所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク」が 35.1%となっています。

【性別・年齢】
○ どの性別・年齢でも「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が最も多くなっています。

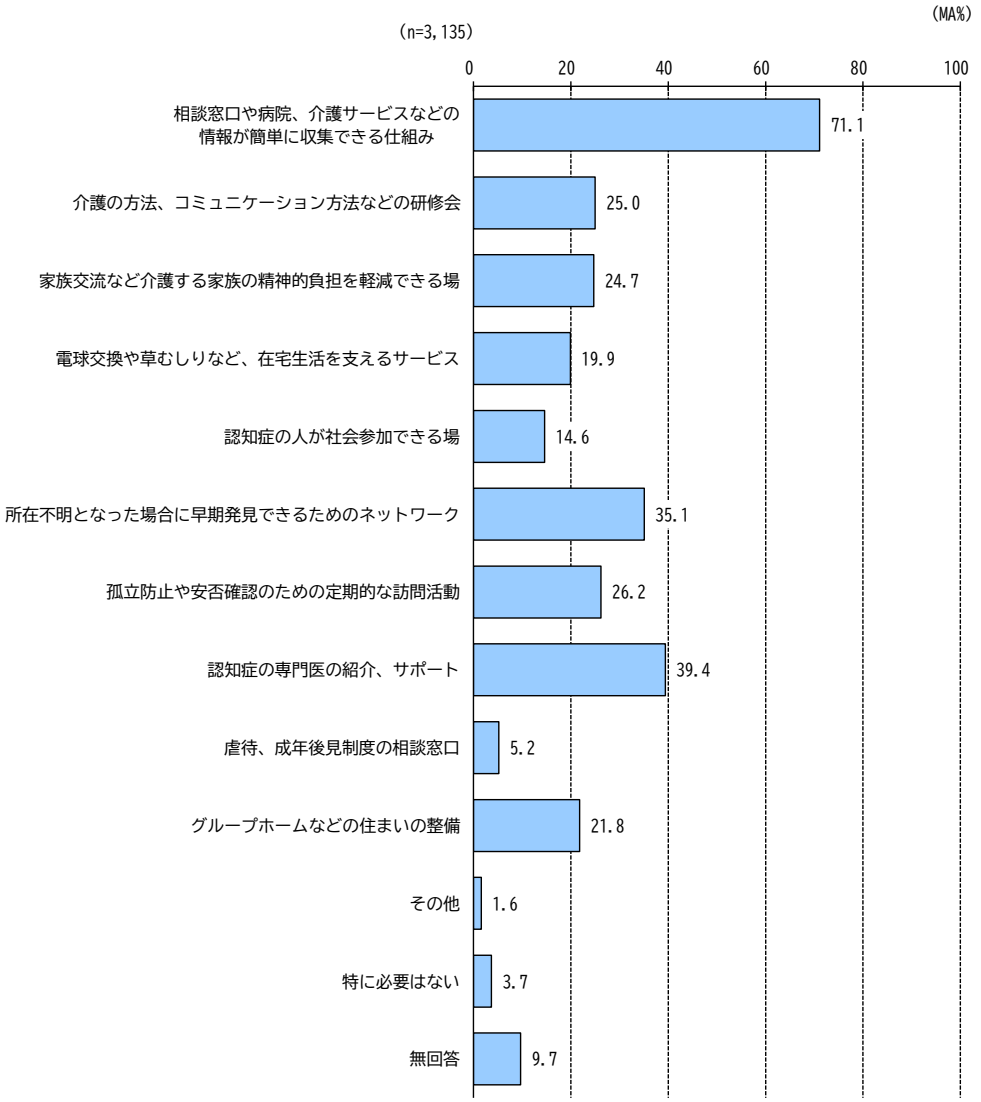
【年齢】
○ どの年代でも「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】
○ どの日常生活圏域でも「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○ どの認定該当状況でも「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ どの世帯類型でも「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が最も多くなっています。

【認知症になった時の支援】



単位：%

		母数(n)	問9.6　あなたや家族が認知症になった時に、どのような支援があればよいと思いますか。(MA)						
			相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み	介護の方法、コミュニケーション方法などの研修会	家族交流など介護する家族の精神的負担を軽減できる場	電球交換や草むしりなど、在宅生活を支えるサービス	認知症の人が社会参加できる場	所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク	孤立防止や安否確認のための定期的な訪問活動
全体		3,135	71.1	25.0	24.7	19.9	14.6	35.1	26.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	76.5	30.7	26.8	18.1	15.6	35.7	25.0
	後期高齢者	769	70.1	26.7	25.6	16.3	12.6	35.8	22.2
	女性　前期高齢者	754	78.0	28.1	29.4	22.7	17.1	38.2	33.4
	後期高齢者	1,015	63.5	18.0	19.3	21.7	13.7	31.9	24.4
年齢	65～74歳	1,351	77.4	29.2	28.3	20.7	16.4	37.1	29.7
	75～84歳	1,449	68.0	23.5	23.6	19.8	13.7	35.1	23.5
	85歳以上	335	59.4	14.3	15.2	17.3	11.0	27.2	23.6
日常生活圏域	高砂	301	75.4	26.2	26.2	19.3	14.0	37.2	27.2
	荒井	344	71.8	26.7	25.9	22.4	12.5	33.1	25.0
	伊保	671	70.8	24.1	24.6	19.4	14.2	33.8	23.2
	中筋	193	67.4	21.2	25.9	19.2	10.4	31.6	22.8
	曽根	400	73.0	25.8	26.8	21.3	11.5	37.3	24.3
	米田	611	70.2	25.9	22.4	20.3	17.2	37.2	30.8
	阿弥陀	412	70.6	22.6	22.6	21.1	19.7	33.7	29.1
	北浜	203	68.0	27.1	27.1	12.8	12.8	35.0	23.2
認定状況	一般高齢者	2,742	73.6	26.3	25.7	19.7	15.1	35.9	26.8
	総合事業対象者、要支援１・２	393	53.4	15.5	18.1	21.6	11.5	29.5	21.4
世帯類型	１人暮らし	671	61.1	15.2	16.1	25.5	14.5	25.9	28.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	74.8	28.7	26.9	20.2	15.3	39.0	26.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	71.3	27.7	29.7	11.9	14.9	30.7	21.8
	息子・娘との２世帯	481	73.0	26.8	27.2	14.8	12.5	36.0	23.3
	その他	506	74.9	26.3	27.9	19.0	15.4	37.9	27.9

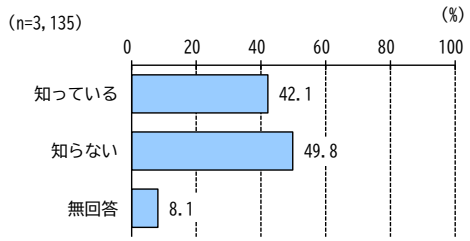
単位：%

		母数(n)	問9.6 あなたや家族が認知症になった時に、どのような支援があればよいと思いますか。(MA)					
			認知症の専門医の紹介、サポート	虐待、成年後見制度の相談窓口	グループホームなどの住まいの整備	その他	特に必要はない	無回答
全体		3,135	39.4	5.2	21.8	1.6	3.7	9.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	41.9	5.5	21.1	1.5	4.4	4.2
	後期高齢者	769	34.6	4.6	15.7	2.9	4.4	9.0
	女性　前期高齢者	754	43.1	7.7	31.3	0.9	1.7	6.5
	後期高齢者	1,015	38.7	3.6	19.8	1.3	4.1	15.9
年齢	65～74歳	1,351	42.6	6.7	26.8	1.2	2.9	5.5
	75～84歳	1,449	38.2	4.3	18.5	2.1	4.0	11.7
	85歳以上	335	31.6	2.7	16.1	1.5	5.4	17.9
日常生活圏域	高砂	301	42.2	6.3	21.3	1.0	2.0	10.3
	荒井	344	41.6	5.5	23.0	2.0	1.7	10.5
	伊保	671	37.1	4.9	21.3	1.9	4.3	8.3
	中筋	193	35.8	4.7	24.9	0.5	3.6	14.5
	曽根	400	39.8	3.8	22.0	1.5	4.0	8.8
	米田	611	39.4	4.4	21.1	2.0	4.6	10.6
	阿弥陀	412	41.3	6.6	23.8	1.5	3.6	8.7
	北浜	203	37.4	6.9	17.2	1.5	3.9	8.4
認定状況	一般高齢者	2,742	40.6	5.3	22.5	1.7	3.4	8.6
当該	総合事業対象者、要支援１・２	393	30.8	4.3	16.8	1.3	5.9	17.0
世帯類型	１人暮らし	671	31.0	5.7	21.6	2.1	6.7	14.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	41.8	5.0	22.4	2.0	2.6	8.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	39.6	2.0	11.9	1.0	5.9	9.9
	息子・娘との２世帯	481	40.3	4.6	21.4	0.6	2.9	8.3
	その他	506	43.5	6.7	24.3	1.4	3.0	7.5

7 高砂市地域包括支援センターをご存じですか。（１つだけ）

【全体】
○　「知っている」が 42.1%、「知らない」が 49.8%となっています。
【性別・年齢】
○　男性-前期高齢者・男性-後期高齢者は「知らない」、女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「知っている」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「知らない」、85 歳以上は「知っている」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　高砂は「知っている」、荒井・伊保・中筋・曽根・米田・阿弥陀・北浜は「知らない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「知らない」、総合事業対象者、要支援１・２は「知っている」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　１人暮らしは「知っている」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・息子・娘との２世帯・その他は「知らない」が最も多くなっています。

【地域包括支援センターの認知】



単位：%

		母数(n)	問9.7 高砂市地域包括支援センターをご存じですか。		
			知っている	知らない	無回答
全体		3,135	42.1	49.8	8.1
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	32.8	63.7	3.5
	後期高齢者	769	35.5	56.4	8.1
	女性　前期高齢者	754	48.7	45.8	5.6
	後期高齢者	1,015	47.7	39.5	12.8
年齢	65～74歳	1,351	41.7	53.7	4.7
	75～84歳	1,449	41.4	48.6	10.0
	85歳以上	335	46.9	39.1	14.0
日常生活圏域	高砂	301	50.2	41.5	8.3
	荒井	344	44.8	47.7	7.6
	伊保	671	42.2	51.0	6.9
	中筋	193	40.9	46.6	12.4
	曽根	400	37.5	54.3	8.3
	米田	611	40.1	50.9	9.0
	阿弥陀	412	41.7	50.5	7.8
	北浜	203	42.4	50.7	6.9
認定該当状況	一般高齢者	2,742	39.4	52.9	7.7
	総合事業対象者、要支援１・２	393	60.8	28.0	11.2
世帯類型	１人暮らし	671	45.9	43.2	10.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	42.6	50.1	7.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	29.7	63.4	6.9
	息子・娘との２世帯	481	43.2	49.9	6.9
	その他	506	37.5	54.7	7.7

※７で「１」と答えた方（知っている方）のみ、お答えください。

７-１ 地域包括支援センターをどのような目的で利用したことがありますか。（いくつでも）

【全体】
○ 「認知症の相談」が 53.3%で最も多く、次いで「介護保険の相談」が 24.5%、「困りごとや介護などの相談全般」が 18.8%となっています。

【性別・年齢】
○ どの性別・年齢でも「認知症の相談」が最も多くなっています。

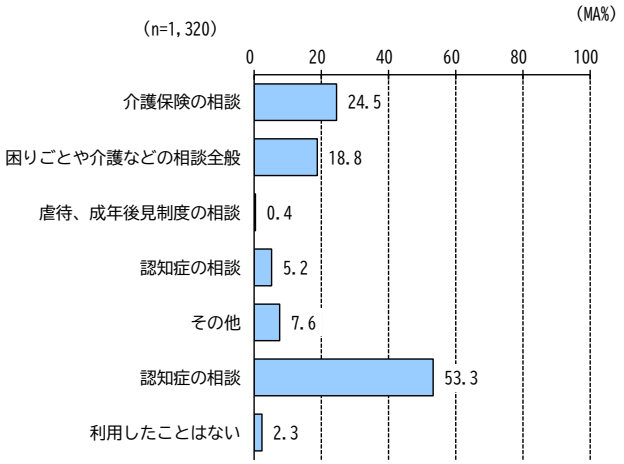
【年齢】
○ 65～74 歳・75～84 歳は「認知症の相談」、85 歳以上は「介護保険の相談」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】
○ どの日常生活圏域でも「認知症の相談」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「認知症の相談」、総合事業対象者、要支援１・２は「介護保険の相談」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ どの世帯類型でも「認知症の相談」が最も多くなっています。

【地域包括支援センターの利用目的】



単位：%

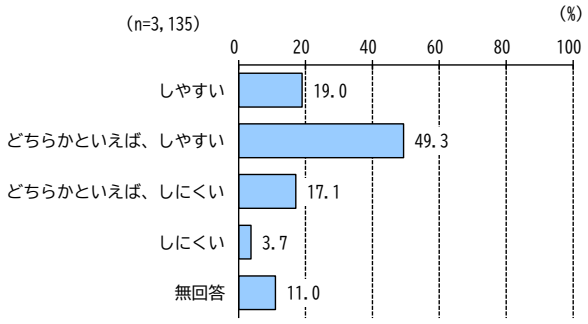
		母数（n）	問9.7-1 地域包括支援センターをどのような目的で利用したことがありますか。（MA）						
			介護保険の相談	困りごとや介護などの相談全般	虐待、成年後見制度の相談	認知症の相談	その他	認知症の相談	利用したことはない
全体		1,320	24.5	18.8	0.4	5.2	7.6	53.3	2.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	196	19.4	17.9	1.0	5.1	8.7	59.7	0.5
	後期高齢者	273	25.3	19.4	－	6.2	7.3	54.6	1.1
	女性　前期高齢者	367	21.5	18.3	0.8	4.9	7.6	55.3	3.3
	後期高齢者	484	28.5	19.2	－	5.0	7.2	48.3	3.1
年齢	65～74歳	563	20.8	18.1	0.9	5.0	8.0	56.8	2.3
	75～84歳	600	23.5	19.0	－	5.7	8.0	53.2	2.2
	85歳以上	157	42.0	20.4	－	4.5	4.5	40.8	3.2
日常生活圏域	高砂	151	19.9	21.9	2.0	6.0	7.9	52.3	1.3
	荒井	154	22.7	14.9	－	4.5	6.5	59.7	1.9
	伊保	283	27.6	20.1	－	6.4	9.2	47.7	2.8
	中筋	79	25.3	16.5	1.3	5.1	7.6	54.4	2.5
	曽根	150	19.3	20.7	－	2.7	8.7	52.0	5.3
	米田	245	32.2	23.7	0.4	6.5	6.9	46.9	1.6
	阿弥陀	172	22.1	11.0	－	4.7	6.4	61.6	1.7
	北浜	86	17.4	16.3	－	3.5	5.8	64.0	1.2
認定状況	一般高齢者	1,081	17.9	16.2	0.4	5.2	7.6	60.4	2.4
当該	総合事業対象者、要支援１・２	239	54.4	30.5	0.4	5.4	7.5	20.9	2.1
世帯類型	１人暮らし	308	31.8	24.0	0.3	5.8	8.1	44.2	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	566	21.7	15.5	0.4	5.3	8.1	58.0	2.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	30	23.3	16.7	－	－	－	60.0	6.7
	息子・娘との２世帯	208	25.0	19.7	0.5	5.3	6.3	52.9	2.9
	その他	190	22.1	19.5	0.5	5.3	7.9	52.1	2.6

10. お住まいの地域について（問10）

1 お住まいの地域で在宅生活を継続しやすいと感じますか。（１つだけ）

【全体】
○ 「どちらかといえば、しやすい」が 49.3%で最も多く、次いで「しやすい」が 19.0%、「どちらかといえば、しにくい」が 17.1%となっています。
【性別・年齢】
○ どの性別・年齢でも「どちらかといえば、しやすい」が最も多くなっています。
【年齢】
○ どの年代でも「どちらかといえば、しやすい」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○ どの日常生活圏域でも「どちらかといえば、しやすい」が最も多くなっています。

【在宅生活の継続しやすさ】



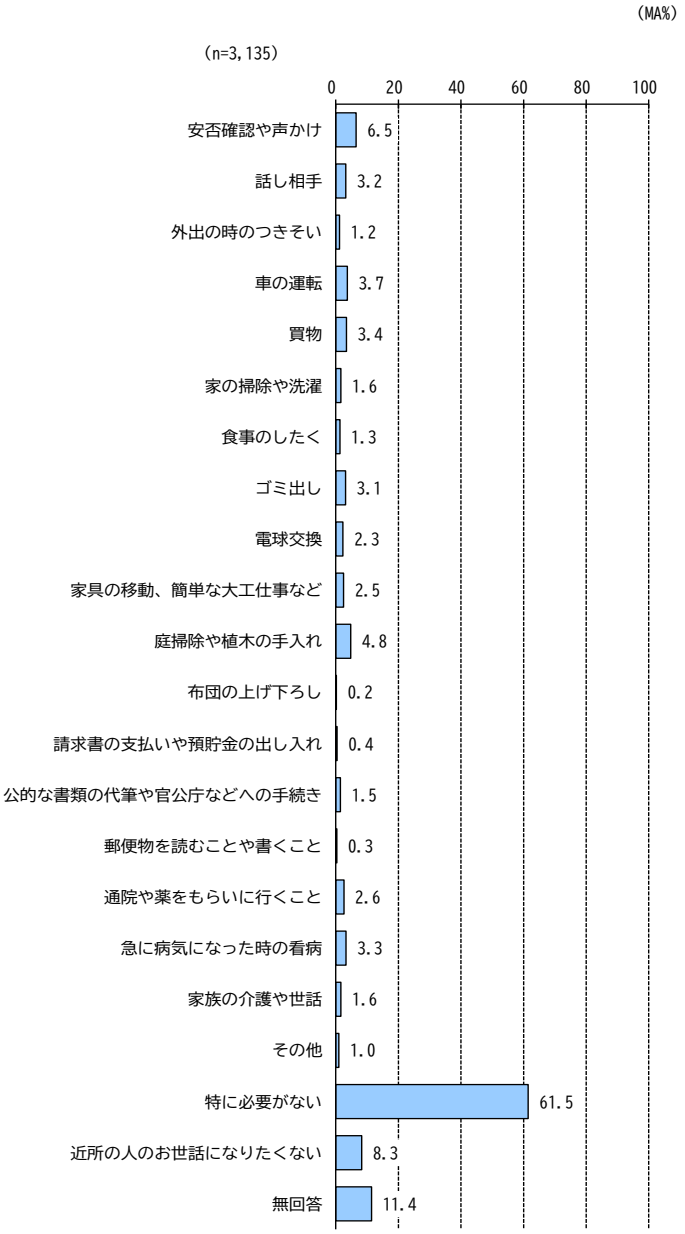
単位：%

		母数(n)	問10.1 お住まいの地域で在宅生活を継続しやすいと感じますか。				
			しやすい	どちらかといえば、しやすい	どちらかといえば、しにくい	しにくい	無回答
全体		3,135	19.0	49.3	17.1	3.7	11.0
性別・年齢	男性 前期高齢者	597	22.9	56.3	13.9	3.0	3.9
	後期高齢者	769	19.6	49.8	16.4	2.7	11.4
	女性 前期高齢者	754	14.2	50.1	21.1	5.7	8.9
	後期高齢者	1,015	19.7	44.1	16.5	3.3	16.4
年齢	65～74歳	1,351	18.1	52.8	17.9	4.5	6.7
	75～84歳	1,449	18.7	47.3	16.4	3.4	14.1
	85歳以上	335	23.9	43.3	16.4	1.8	14.6
日常生活圏域	高砂	301	16.3	45.5	23.3	4.7	10.3
	荒井	344	22.4	48.8	13.4	3.8	11.6
	伊保	671	20.7	51.1	15.6	2.5	10.0
	中筋	193	21.8	44.0	16.6	4.1	13.5
	曽根	400	19.5	49.8	16.5	3.0	11.3
	米田	611	19.1	52.7	12.4	3.8	11.9
	阿弥陀	412	17.5	46.4	20.4	6.1	9.7
	北浜	203	10.3	49.3	27.6	2.0	10.8

2 近所の人などに、金銭を支払って手助けをしてもらいたいことはありますか。（いくつでも）

【全体】
○　「特に必要がない」が 61.5%で最も多く、次いで「近所の人のお世話になりたくない」が 8.3%、「安否確認や声かけ」が 6.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「特に必要がない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「特に必要がない」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「特に必要がない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「特に必要がない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「特に必要がない」が最も多くなっています。

【近所の人から受けたい支援】



単位：%

		母数(n)	問10.2 近所の人などに、金銭を支払って手助けをしてもらいたいことはありますか。(MA)										
			安否確認や声かけ	話し相手	外出の時のつきそい	車の運転	買物	家の掃除や洗濯	食事のしたく	ゴミ出し	電球交換	家具の移動、簡単な大工仕事など	庭掃除や植木の手入れ
全体		3,135	6.5	3.2	1.2	3.7	3.4	1.6	1.3	3.1	2.3	2.5	4.8
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	3.9	2.0	0.8	2.0	2.5	2.2	1.5	1.5	0.7	1.5	1.8
	後期高齢者	769	7.3	4.7	0.7	4.3	2.9	1.6	1.2	3.1	2.3	2.3	5.3
	女性　前期高齢者	754	8.1	2.7	1.9	3.7	3.6	0.8	1.6	3.3	1.7	2.4	4.2
	後期高齢者	1,015	6.3	3.3	1.3	4.3	4.2	1.8	1.0	3.9	3.5	3.3	6.7
年齢	65～74歳	1,351	6.2	2.4	1.4	3.0	3.1	1.4	1.6	2.5	1.3	2.0	3.2
	75～84歳	1,449	6.6	3.8	0.9	4.3	3.5	1.4	1.0	3.5	2.8	3.2	5.7
	85歳以上	335	7.5	4.2	1.5	4.5	4.5	2.7	1.5	4.2	4.2	1.8	7.8
日常生活圏域	高砂	301	4.3	2.3	1.3	4.3	2.7	1.0	1.3	3.0	3.7	1.7	4.3
	荒井	344	6.4	4.1	1.7	2.6	4.4	0.9	1.2	2.3	0.9	2.3	2.9
	伊保	671	6.0	2.5	1.0	3.0	3.1	2.1	1.2	3.1	1.8	2.2	4.9
	中筋	193	6.7	3.6	2.1	1.6	4.1	1.0	0.5	2.1	1.6	2.6	3.6
	曽根	400	8.0	3.0	1.3	3.3	2.8	1.3	0.8	3.0	1.5	3.3	5.3
	米田	611	6.1	4.3	0.3	3.9	2.8	1.8	1.6	3.4	3.3	2.9	5.1
	阿弥陀	412	8.0	3.4	1.7	5.1	4.1	1.5	1.5	3.4	2.7	2.2	4.1
	北浜	203	6.9	2.0	1.0	6.9	4.9	2.5	2.0	4.4	2.5	3.0	9.9
認定状況該当	一般高齢者	2,742	6.6	3.0	1.1	3.5	3.1	1.3	1.1	2.5	2.0	2.5	4.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	6.1	4.8	1.8	5.6	5.9	3.3	2.8	7.4	4.1	2.8	8.9
世帯類型	１人暮らし	671	8.6	3.0	0.9	3.3	4.6	2.2	0.6	5.5	4.6	4.2	7.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	7.1	3.8	1.0	3.9	3.0	1.4	1.4	2.7	1.9	2.1	4.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	1.0	2.0	3.0	－	1.0	1.0
	息子・娘との２世帯	481	4.6	2.3	2.1	4.2	4.2	1.0	1.9	1.5	1.2	1.7	3.1
	その他	506	5.3	3.0	1.4	3.8	2.8	1.8	1.0	2.8	1.4	2.4	4.5

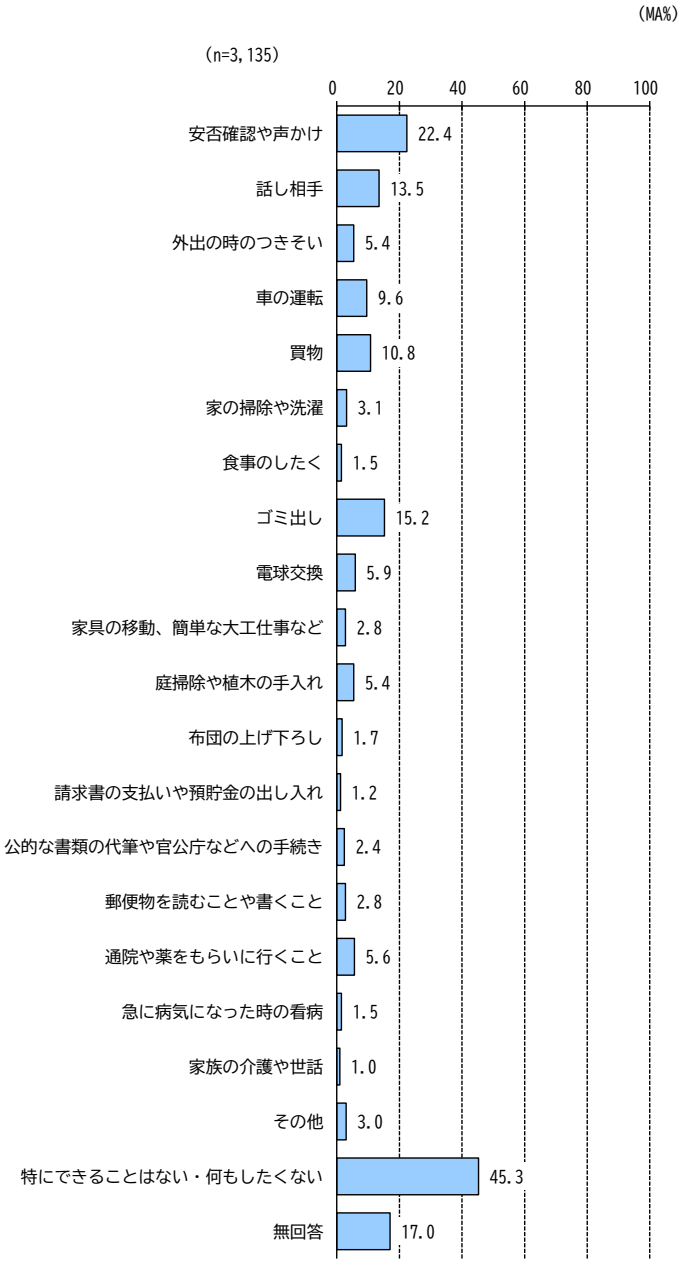
単位：%

		母数(n)	問10.2 近所の人などに、金銭を支払って手助けをしてもらいたいことはありますか。(MA)										
			布団の上げ下ろし	請求書の支払いや預貯金の出し入れ	公的な書類の代筆や官公庁などへの手続き	郵便物を読むことや書くこと	通院や薬をもらいに行くこと	急に病気になった時の看病	家族の介護や世話	その他	特に必要がない	近所の人のお世話になりたくない	無回答
全体		3,135	0.2	0.4	1.5	0.3	2.6	3.3	1.6	1.0	61.5	8.3	11.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	－	0.7	0.8	－	1.3	2.3	2.0	1.0	76.4	6.9	4.7
	後期高齢者	769	0.5	0.8	2.7	0.4	2.5	4.9	2.3	0.9	59.6	8.3	11.3
	女性　前期高齢者	754	－	0.1	1.1	0.1	2.7	2.3	1.2	0.8	66.0	8.8	8.4
	後期高齢者	1,015	0.3	0.3	1.3	0.6	3.3	3.5	1.0	1.1	50.7	8.8	17.5
年齢	65～74歳	1,351	－	0.4	1.0	0.1	2.1	2.3	1.6	0.9	70.6	7.9	6.7
	75～84歳	1,449	0.4	0.4	1.9	0.5	2.8	4.3	1.6	0.9	56.5	8.1	14.4
	85歳以上	335	0.3	0.9	2.1	0.6	3.9	3.6	1.5	1.5	46.3	10.4	17.0
日常生活圏域	高砂	301	－	0.3	2.0	－	3.3	4.0	1.3	1.3	63.1	6.0	10.6
	荒井	344	－	0.3	1.2	－	3.5	4.1	1.7	1.2	60.5	11.6	10.5
	伊保	671	－	0.4	1.2	0.3	1.3	3.6	1.0	0.6	64.4	8.5	9.5
	中筋	193	－	－	0.5	－	1.0	3.6	1.0	2.1	57.5	8.3	15.5
	曽根	400	0.5	0.5	0.8	0.3	2.5	1.3	0.8	1.3	58.8	10.0	12.5
	米田	611	0.5	0.7	2.1	0.8	3.1	3.3	2.9	0.7	59.6	8.3	11.9
	阿弥陀	412	－	0.5	1.9	－	3.2	4.4	1.0	1.0	63.3	6.6	10.9
	北浜	203	1.0	0.5	2.0	1.0	3.0	2.5	2.5	0.5	62.1	5.4	12.8
認定状況該当	一般高齢者	2,742	0.2	0.4	1.3	0.2	2.3	3.1	1.5	0.9	64.4	7.9	10.2
	総合事業対象者、要支援１・２	393	0.3	0.8	2.5	1.3	4.6	5.3	2.0	1.3	41.2	10.9	19.1
世帯類型	１人暮らし	671	－	0.3	2.2	0.6	3.3	6.9	0.6	1.6	50.5	8.2	13.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	0.2	0.5	1.5	0.3	2.1	2.6	1.9	0.9	62.9	8.9	10.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	－	－	1.0	－	2.0	3.0	2.0	－	74.3	5.9	9.9
	息子・娘との２世帯	481	0.4	0.4	1.5	0.2	2.7	1.5	1.0	0.4	67.4	7.7	10.2
	その他	506	0.4	0.8	0.8	0.2	2.8	2.2	2.4	1.0	64.8	8.5	11.5

3 近所の人が困っている時に、あなたが週１、２回程度、金銭をもらって支援できることはありますか。（いくつでも）

【全体】
○　「特にできることはない・何もしたくない」が 45.3%で最も多く、次いで「安否確認や声かけ」が 22.4%、「ゴミ出し」が 15.2%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「特にできることはない・何もしたくない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「特にできることはない・何もしたくない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「特にできることはない・何もしたくない」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「特にできることはない・何もしたくない」が最も多くなっています。

【近所の人にできる支援】



単位：%

		母数(n)	問10.3 近所の人が困っている時に、あなたが週１、２回程度、金銭をもらって支援できることはありますか。(MA)										
			安否確認や声かけ	話し相手	外出の時のつきそい	車の運転	買物	家の掃除や洗濯	食事のしたく	ゴミ出し	電球交換	家具の移動、簡単な大工仕事など	庭掃除や植木の手入れ
全体		3,135	22.4	13.5	5.4	9.6	10.8	3.1	1.5	15.2	5.9	2.8	5.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	25.1	11.4	6.5	22.3	12.7	2.2	0.5	17.6	15.4	8.0	10.7
	後期高齢者	769	17.8	8.8	3.4	10.1	6.9	1.3	0.4	12.2	9.2	4.6	6.5
	女性　前期高齢者	754	34.0	22.0	8.6	8.5	17.5	7.0	3.3	23.3	2.3	0.5	4.2
	後期高齢者	1,015	15.7	12.0	3.7	2.5	7.6	2.2	1.7	10.0	0.6	0.1	2.2
年齢	65～74歳	1,351	30.1	17.3	7.7	14.6	15.4	4.9	2.1	20.8	8.1	3.8	7.1
	75～84歳	1,449	18.6	11.7	4.2	6.7	8.4	2.1	1.3	12.4	4.6	2.3	4.6
	85歳以上	335	7.8	6.0	0.9	1.8	2.4	0.3	0.3	4.8	3.0	0.6	1.8
認定該当状況	一般高齢者	2,742	24.0	14.3	6.0	10.6	12.0	3.4	1.6	16.8	6.6	3.2	5.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	10.9	8.1	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	3.6	1.3	－	1.8
世帯類型	１人暮らし	671	18.9	14.3	5.4	5.5	11.5	3.3	1.9	13.4	3.7	1.6	3.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	26.1	13.7	6.2	11.4	11.8	3.4	2.0	17.5	7.6	3.8	7.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	15.8	15.8	5.9	15.8	11.9	1.0	－	10.9	7.9	2.0	4.0
	息子・娘との２世帯	481	19.5	12.3	3.7	8.3	8.7	3.1	0.8	13.9	4.4	2.1	4.2
	その他	506	21.9	12.8	4.5	10.3	9.3	2.6	0.8	14.2	5.9	2.8	3.4

単位：%

		母数(n)	問10.3 近所の人が困っている時に、あなたが週１、２回程度、金銭をもらって支援できることはありますか。(MA)									
			布団の上げ下ろし	請求書の支払いや預貯金の出し入れ	公的な書類の代筆や官公庁などへの手続き	郵便物を読むことや書くこと	通院や薬をもらいに行くこと	急に病気になった時の看病	家族の介護や世話	その他	特にできることはない・何もしたくない	無回答
全体		3,135	1.7	1.2	2.4	2.8	5.6	1.5	1.0	3.0	45.3	17.0
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	2.7	1.3	4.0	3.2	7.2	0.8	0.8	3.7	46.7	6.5
	後期高齢者	769	1.4	0.8	2.6	2.0	4.9	1.3	1.3	3.4	49.2	17.9
	女性　前期高齢者	754	2.8	2.0	3.1	5.0	8.5	2.7	1.3	2.8	38.1	10.9
	後期高齢者	1,015	0.6	0.8	0.7	1.7	3.0	1.2	0.7	2.4	46.9	26.9
年齢	65～74歳	1,351	2.7	1.7	3.5	4.2	7.9	1.9	1.1	3.2	41.9	9.0
	75～84歳	1,449	1.0	0.9	1.8	2.1	4.3	1.0	1.0	3.1	46.9	20.9
	85歳以上	335	0.9	0.3	0.3	0.3	1.5	2.1	0.6	1.5	51.9	32.2
認定該当状況	一般高齢者	2,742	2.0	1.3	2.7	3.1	6.2	1.6	1.1	3.2	44.2	15.1
	総合事業対象者、要支援１・２	393	－	0.5	－	0.8	1.0	0.8	0.5	1.0	52.7	30.3
世帯類型	１人暮らし	671	1.0	1.0	1.9	2.5	4.8	2.7	0.4	1.9	45.5	22.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	2.3	1.2	3.2	3.7	6.2	1.4	1.2	3.7	42.7	15.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	2.0	2.0	3.0	1.0	5.9	2.0	4.0	3.0	50.5	11.9
	息子・娘との２世帯	481	1.2	0.8	0.8	1.2	4.4	0.4	0.6	1.9	49.5	16.4
	その他	506	1.4	1.6	2.4	3.0	6.1	1.0	1.2	3.8	47.4	14.8

※３で「１」～「19」と答えた方（近所の人に支援できる方）のみ、お答えください。

３-１ 望ましい時給を選択してください。（１つだけ）

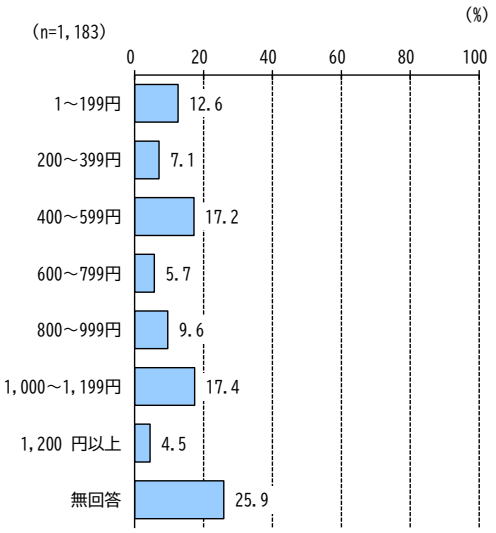
【全体】
○ 「1,000～1,199 円」が 17.4%で最も多く、次いで「400～599 円」が 17.2%、「１～199 円」が 12.6%となっています。

【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者は「1,000～1,199 円」、男性-後期高齢者・女性-後期高齢者は「１～199 円」、女性-前期高齢者は「400～599 円」が最も多くなっています。

【年齢】
○ 65～74 歳は「1,000～1,199 円」、75～84 歳・85 歳以上は「１～199 円」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ １人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・息子・娘との２世帯は「400～599 円」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・その他は「1,000～1,199 円」が最も多くなっています。

【支援提供の希望時給】



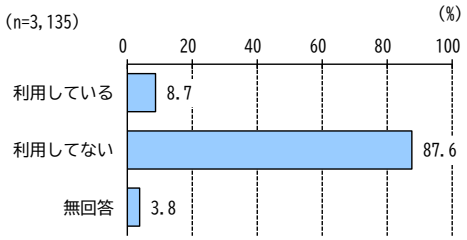
		母数（n）	問10.3-1　望ましい時給を選択してください。							
			1～199円	200～399円	400～599円	600～799円	800～999円	1,000～1,199円	1,200円以上	無回答
全体		1,183	12.6	7.1	17.2	5.7	9.6	17.4	4.5	25.9
性別・年齢	男性　前期高齢者	279	5.7	5.7	17.9	4.3	7.9	32.3	12.9	13.3
	後期高齢者	253	17.4	5.5	14.6	7.1	7.5	11.5	4.0	32.4
	女性　前期高齢者	385	13.5	7.5	21.6	7.0	12.5	16.6	1.3	20.0
	後期高齢者	266	13.9	9.4	12.4	4.1	9.4	8.6	0.8	41.4
年齢	65～74歳	664	10.2	6.8	20.0	5.9	10.5	23.2	6.2	17.2
	75～84歳	466	15.5	7.9	14.6	6.2	9.0	9.9	2.4	34.5
	85歳以上	53	17.0	3.8	3.8	－	3.8	11.3	1.9	58.5
日常生活圏域	高砂	112	14.3	8.9	13.4	9.8	8.9	20.5	4.5	19.6
	荒井	138	13.0	5.8	14.5	5.8	5.1	21.7	1.4	32.6
	伊保	247	11.7	5.3	21.1	4.0	11.3	16.2	4.5	25.9
	中筋	65	15.4	9.2	13.8	9.2	13.8	10.8	3.1	24.6
	曽根	148	15.5	6.1	17.6	7.4	10.1	15.5	5.4	22.3
	米田	226	10.2	9.3	14.2	5.8	11.5	17.3	4.9	27.0
	阿弥陀	164	12.2	9.1	20.7	3.7	9.1	17.1	4.3	23.8
	北浜	83	12.0	2.4	18.1	3.6	4.8	19.3	8.4	31.3
認定該当状況	一般高齢者	1,116	12.5	7.3	17.8	5.8	9.9	17.7	4.6	24.5
	総合事業対象者、要支援１・２	67	14.9	4.5	6.0	4.5	4.5	13.4	3.0	49.3
世帯類型	１人暮らし	216	12.5	8.8	15.7	4.2	12.0	14.4	1.9	30.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	561	12.5	5.3	20.0	7.7	7.7	18.7	3.4	24.8
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	38	7.9	－	5.3	－	7.9	28.9	7.9	42.1
	息子・娘との２世帯	164	14.6	9.1	15.9	3.7	12.8	12.2	7.9	23.8
	その他	191	13.1	8.9	15.2	5.2	9.9	19.4	7.3	20.9

11. 介護保険について（問11）

1 あなたは、介護保険サービスを利用していますか。（１つだけ）

【全体】
○　「利用している」が 8.7%、「利用してない」が 87.6%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「利用してない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「利用してない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「利用してない」、総合事業対象者、要支援１・２は「利用している」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「利用してない」が最も多くなっています。

【介護サービスの利用】



単位：%

		母数(n)	問11.1 あなたは、介護保険サービスを利用していますか。		
			利用している	利用してない	無回答
全体		3,135	8.7	87.6	3.8
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	3.2	93.8	3.0
	後期高齢者	769	9.6	87.1	3.3
	女性　前期高齢者	754	2.1	94.2	3.7
	後期高齢者	1,015	16.1	79.3	4.6
年齢	65～74歳	1,351	2.6	94.0	3.4
	75～84歳	1,449	8.5	87.5	4.0
	85歳以上	335	34.0	61.8	4.2
認定該当状況	一般高齢者	2,742	1.2	95.1	3.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	60.6	34.9	4.6
世帯類型	１人暮らし	671	14.8	80.9	4.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	5.9	90.4	3.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	6.9	89.1	4.0
	息子・娘との２世帯	481	10.0	86.3	3.7
	その他	506	6.5	90.9	2.6

※１で「１」と答えた方（介護保険サービスを利用している方）のみ、お答えください。

１-１ 利用している介護保険サービスを教えてください。（いくつでも）

【全体】
○ 「福祉用具貸与」が 35.7%で最も多く、次いで「通所介護（デイサービス）」が 29.4%、「通所リハビリテーション（デイケア）」が 26.1%となっています。

【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者は「通所介護（デイサービス）」「福祉用具貸与」「福祉用具購入」「住宅改修」「上記以外の介護保険サービスも利用」、男性-後期高齢者は「通所リハビリテーション（デイケア）」「福祉用具貸与」、女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「福祉用具貸与」が最も多くなっています。

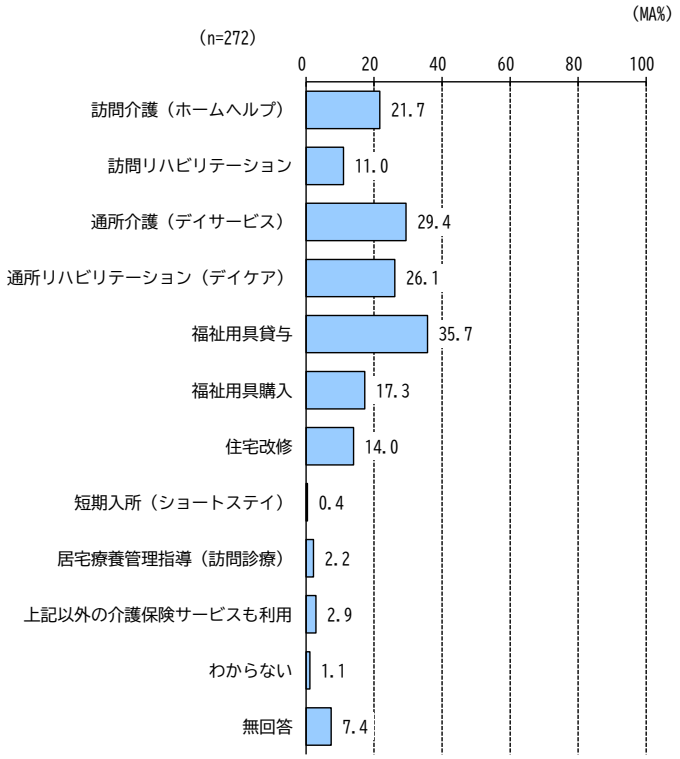
【年齢】
○ 65～74 歳・75～84 歳は「福祉用具貸与」、85 歳以上は「通所介護（デイサービス）」「福祉用具貸与」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】
○ 高砂は「通所介護（デイサービス）」「通所リハビリテーション（デイケア）」「福祉用具貸与」、荒井は「通所介護（デイサービス）」、伊保・曽根・米田・北浜は「福祉用具貸与」、中筋は「住宅改修」、阿弥陀は「通所リハビリテーション（デイケア）」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「通所介護（デイサービス）」、総合事業対象者、要支援１・２は「福祉用具貸与」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ １人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・息子・娘との２世帯・その他は「福祉用具貸与」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「通所リハビリテーション（デイケア）」が最も多くなっています。

【利用中の介護サービス】



単位：%

		母数(n)	問11.1-1 利用している介護保険サービスを教えてください。(MA)					
			訪問介護（ホームヘルプ）	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	福祉用具貸与	福祉用具購入
全体		272	21.7	11.0	29.4	26.1	35.7	17.3
性別・年齢	男性　前期高齢者	19	5.3	10.5	15.8	10.5	15.8	15.8
	後期高齢者	74	25.7	6.8	21.6	27.0	27.0	17.6
	女性　前期高齢者	16	31.3	18.8	25.0	25.0	56.3	12.5
	後期高齢者	163	20.9	12.3	35.0	27.6	39.9	17.8
年齢	65～74歳	35	17.1	14.3	20.0	17.1	34.3	14.3
	75～84歳	123	20.3	10.6	22.0	26.8	31.7	17.9
	85歳以上	114	24.6	10.5	40.4	28.1	40.4	17.5
日常生活圏域	高砂	30	23.3	3.3	33.3	33.3	33.3	16.7
	荒井	31	6.5	6.5	41.9	16.1	25.8	19.4
	伊保	58	27.6	6.9	24.1	24.1	37.9	12.1
	中筋	22	18.2	9.1	18.2	27.3	36.4	36.4
	曽根	28	14.3	10.7	25.0	32.1	42.9	17.9
	米田	58	32.8	17.2	32.8	25.9	39.7	19.0
	阿弥陀	31	12.9	9.7	25.8	38.7	22.6	6.5
	北浜	14	21.4	35.7	35.7	-	50.0	21.4
認該状況当定	一般高齢者	34	14.7	5.9	20.6	8.8	14.7	11.8
	総合事業対象者、要支援１・２	238	22.7	11.8	30.7	28.6	38.7	18.1
世帯類型	１人暮らし	99	34.3	12.1	36.4	21.2	41.4	12.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	78	20.5	9.0	20.5	24.4	26.9	19.2
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	7	-	14.3	28.6	42.9	-	14.3
	息子・娘との２世帯	48	10.4	14.6	22.9	29.2	39.6	22.9
	その他	33	12.1	9.1	33.3	30.3	42.4	24.2

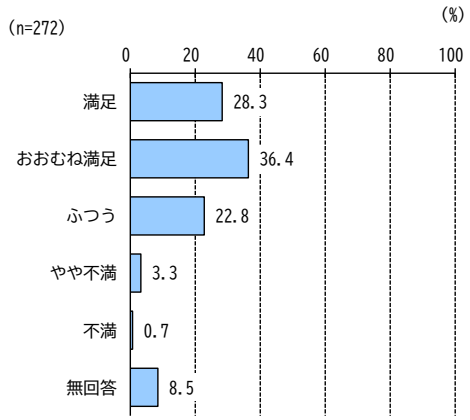
単位：%

		母数(n)	問11.1-1 利用している介護保険サービスを教えてください。(MA)					
			住宅改修	短期入所（ショートステイ）	居宅療養管理指導（訪問診療）	上記以外の介護保険サービスも利用	わからない	無回答
全体		272	14.0	0.4	2.2	2.9	1.1	7.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	19	15.8	-	-	15.8	-	21.1
	後期高齢者	74	13.5	-	2.7	1.4	1.4	6.8
	女性　前期高齢者	16	31.3	-	6.3	-	-	6.3
	後期高齢者	163	12.3	0.6	1.8	2.5	1.2	6.1
年齢	65～74歳	35	22.9	-	2.9	8.6	-	14.3
	75～84歳	123	12.2	-	1.6	3.3	0.8	8.1
	85歳以上	114	13.2	0.9	2.6	0.9	1.8	4.4
日常生活圏域	高砂	30	16.7	-	-	3.3	-	-
	荒井	31	3.2	-	-	3.2	-	19.4
	伊保	58	17.2	-	5.2	3.4	3.4	8.6
	中筋	22	40.9	-	-	9.1	-	4.5
	曽根	28	14.3	-	-	-	-	3.6
	米田	58	8.6	-	3.4	1.7	1.7	5.2
	阿弥陀	31	6.5	-	-	-	-	6.5
	北浜	14	14.3	7.1	7.1	7.1	-	14.3
認該状況当定	一般高齢者	34	11.8	-	5.9	2.9	5.9	35.3
	総合事業対象者、要支援１・２	238	14.3	0.4	1.7	2.9	0.4	3.4
世帯類型	１人暮らし	99	7.1	-	3.0	3.0	1.0	3.0
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	78	17.9	-	-	3.8	1.3	9.0
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	7	14.3	-	14.3	-	-	42.9
	息子・娘との２世帯	48	18.8	-	-	2.1	2.1	10.4
	その他	33	21.2	3.0	6.1	3.0	-	3.0

1-2 現在利用されているサービスに満足していますか。（１つだけ）

【全体】
○　「おおむね満足」が 36.4%で最も多く、次いで「満足」が 28.3%、「ふつう」が 22.8%となっています。

【サービスの満足度】



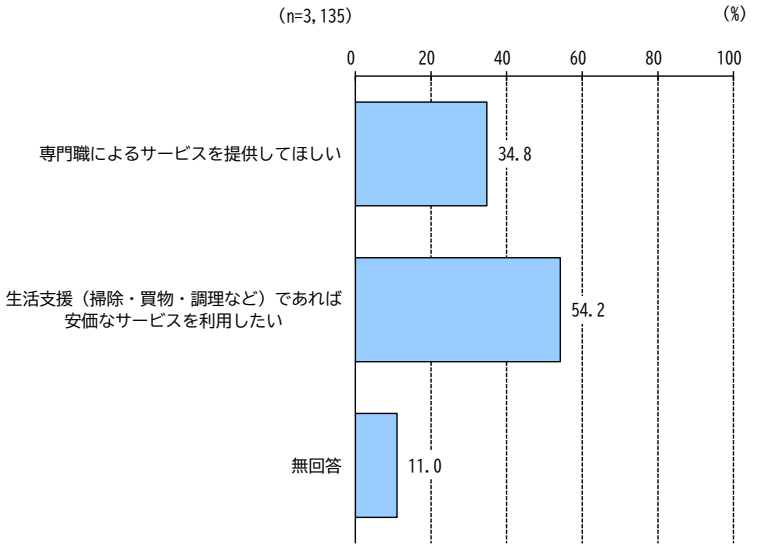
2 現在又は将来、訪問介護（ヘルパー）サービスを利用するとすれば、どのようなサービスを利用したいですか。（１つだけ）

【全体】
○ 「専門職によるサービスを提供してほしい」が 34.8%、「生活支援（掃除・買物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が 54.2%となっています。

【認定該当状況】
○ どの認定該当状況でも「生活支援（掃除・買物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ どの世帯類型でも「生活支援（掃除・買物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が最も多くなっています。

【訪問介護の利用意向】



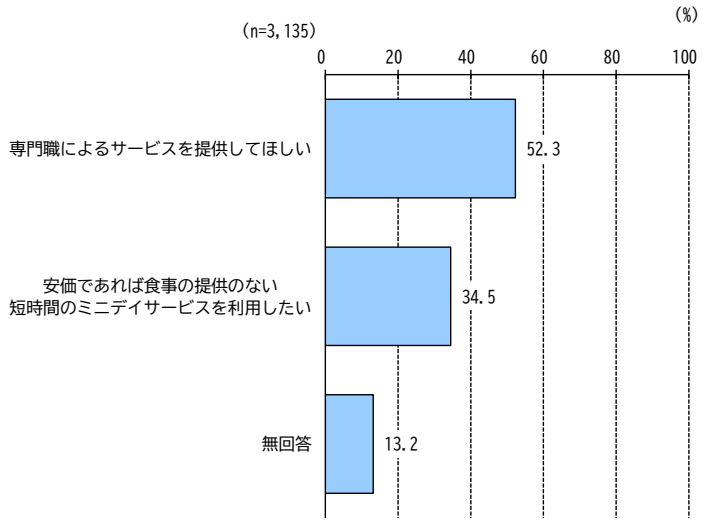
単位：%

		母数(n)	問11.2 現在又は将来、訪問介護（ヘルパー）サービスを利用するとすれば、どのようなサービスを利用したいですか。		
			専門職によるサービスを提供してほしい	生活支援（掃除・買物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい	無回答
全体		3,135	34.8	54.2	11.0
認定該当状況	一般高齢者	2,742	36.4	54.3	9.4
	総合事業対象者、要支援１・２	393	23.9	53.7	22.4
世帯類型	１人暮らし	671	24.6	61.0	14.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	34.8	55.7	9.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	33.7	53.5	12.9
	息子・娘との２世帯	481	43.7	46.6	9.8
	その他	506	40.7	49.8	9.5

3 現在又は将来、通所介護（デイ）サービスを利用するとすれば、どのようなサービスを利用したいですか。（１つだけ）

【全体】
○　「専門職によるサービスを提供してほしい」が 52.3%、「安価であれば食事の提供のない短時間のミニデイサービスを利用したい」が 34.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「専門職によるサービスを提供してほしい」が最も多くなっています。

【通所介護の利用意向】



単位：%

		母数(n)	専門職によるサービスを提供してほしい	安価であれば食事の提供のない短時間のミニデイサービスを利用したい	無回答
			問11.3　現在又は将来、通所介護（デイ）サービスを利用するとすれば、どのようなサービスを利用したいですか。		
全体		3,135	52.3	34.5	13.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	53.4	39.5	7.0
	後期高齢者	769	48.9	37.6	13.5
	女性　前期高齢者	754	59.2	32.9	8.0
	後期高齢者	1,015	49.1	30.5	20.4

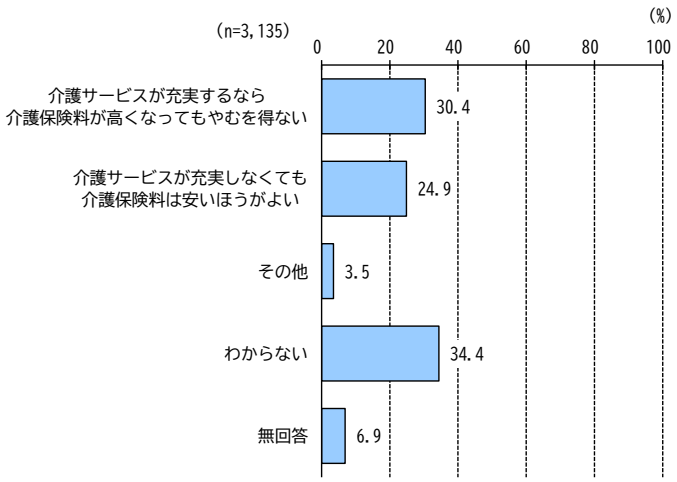
4 介護サービスが充実すると、介護保険料は高くなる傾向があります。保険料の金額とサービスの充実の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。（１つだけ）

【全体】
○ 「わからない」が 34.4%で最も多く、次いで「介護サービスが充実するなら介護保険料が高くなってもやむを得ない」が 30.4%、「介護サービスが充実しなくても介護保険料は安いほうがよい」が 24.9%となっています。

【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者は「介護サービスが充実するなら介護保険料が高くなってもやむを得ない」、男性-後期高齢者・女性-前期高齢者・女性-後期高齢者は「わからない」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ １人暮らし・息子・娘との２世帯・その他は「わからない」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）は「介護サービスが充実するなら介護保険料が高くなってもやむを得ない」、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「介護サービスが充実しなくても介護保険料は安いほうがよい」が最も多くなっています。

【保険料とサービスの充実に関する考え】



単位：%

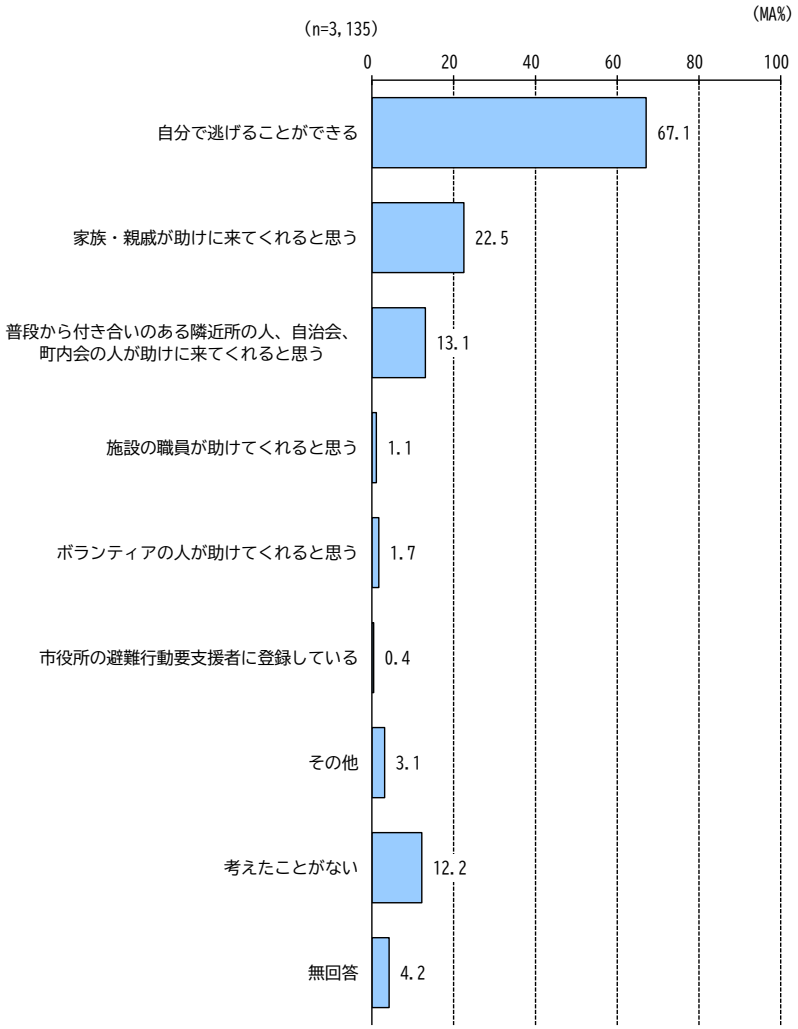
		母数(n)	介護サービスが充実するなら介護保険料が高くなってもやむを得ない	介護サービスが充実しなくても介護保険料は安いほうがよい	その他	わからない	無回答
全体		3,135	30.4	24.9	3.5	34.4	6.9
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	37.7	27.6	3.2	27.0	4.5
	後期高齢者	769	28.6	29.5	3.5	30.8	7.5
	女性　前期高齢者	754	28.1	23.2	3.6	40.6	4.5
	後期高齢者	1,015	29.2	21.0	3.6	36.7	9.5
世帯類型	１人暮らし	671	29.4	21.2	3.1	36.1	10.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	32.9	25.9	3.6	31.5	6.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	25.7	33.7	5.0	29.7	5.9
	息子・娘との２世帯	481	28.1	22.7	3.3	40.5	5.4
	その他	506	29.1	27.3	3.6	35.6	4.5

12. 将来について（問12）

1 地震や台風などの自然災害があった時、避難所などへの避難方法を、考えていますか。（いくつでも）

【全体】
○ 「自分で逃げることができる」が 67.1%で最も多く、次いで「家族・親戚が助けに来てくれると思う」が 22.5%、「普段から付き合いのある隣近所の人、自治会、町内会の人が助けに来てくれると思う」が 13.1%となっています。
【性別・年齢】
○ どの性別・年齢でも「自分で逃げることができる」が最も多くなっています。
【年齢】
○ 65～74 歳・75～84 歳は「自分で逃げることができる」、85 歳以上は「家族・親戚が助けに来てくれると思う」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者は「自分で逃げることができる」、総合事業対象者、要支援１・２は「家族・親戚が助けに来てくれると思う」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○ どの世帯類型でも「自分で逃げることができる」が最も多くなっています。

【災害時の避難方法】



単位：%

		母数(n)	問12.1 地震や台風などの自然災害があった時、避難所などへの避難方法を、考えていますか。(MA)								
			自分で逃げることができる	家族・親戚が助けに来てくれると思う	普段から付き合いのある隣近所の人、自治会、町内会の人が助けに来てくれると思う	施設の職員が助けてくれると思う	ボランティアの人が助けてくれると思う	市役所の避難行動要支援者に登録している	その他	考えたことがない	無回答
全体		3,135	67.1	22.5	13.1	1.1	1.7	0.4	3.1	12.2	4.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	81.1	9.9	7.5	1.0	1.5	0.3	1.3	11.7	2.8
	後期高齢者	769	68.7	20.5	12.9	1.3	2.0	0.3	2.5	14.6	3.3
	女性　前期高齢者	754	75.3	21.8	9.5	1.1	1.3	0.4	2.8	11.1	3.4
	後期高齢者	1,015	51.6	31.9	19.2	1.2	1.8	0.7	4.9	11.3	6.3
年齢	65～74歳	1,351	77.9	16.5	8.7	1.0	1.4	0.4	2.1	11.4	3.2
	75～84歳	1,449	63.6	23.7	15.5	1.0	1.9	0.5	3.7	12.6	5.2
	85歳以上	335	39.1	41.2	20.6	2.1	1.8	0.6	4.8	13.4	4.2
認定状況該当	一般高齢者	2,742	73.2	19.9	12.0	0.8	1.5	0.4	2.7	11.2	3.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	24.7	40.7	20.6	3.3	2.5	0.8	6.4	18.6	6.4
世帯類型	１人暮らし	671	59.0	24.3	19.1	1.2	1.3	0.4	3.7	12.2	5.2
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	71.7	17.3	12.2	0.8	1.9	0.6	3.5	12.1	4.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	78.2	13.9	6.9	4.0	－	－	2.0	8.9	2.0
	息子・娘との２世帯	481	65.3	34.5	11.0	1.0	1.2	0.6	1.9	11.2	3.5
	その他	506	66.4	23.7	10.3	1.4	1.8	－	3.2	14.0	2.4

2 あなたは、高砂市にどのような高齢者施策の充実を希望しますか。（いくつでも）

【全体】

○ 「福祉や介護、生活全般に関する相談窓口」が 45.8%で最も多く、次いで「自宅に往診してくれる医療提供体制の整備」が 41.8%、「見守りなど、１人暮らし高齢者等への支援」が 41.3%となっています。

【性別・年齢】

○ 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「福祉や介護、生活全般に関する相談窓口」、女性-後期高齢者は「自宅に往診してくれる医療提供体制の整備」が最も多くなっています。

【年齢】

○ 65～74 歳は「福祉や介護、生活全般に関する相談窓口」、75～84 歳・85 歳以上は「自宅に往診してくれる医療提供体制の整備」が最も多くなっています。

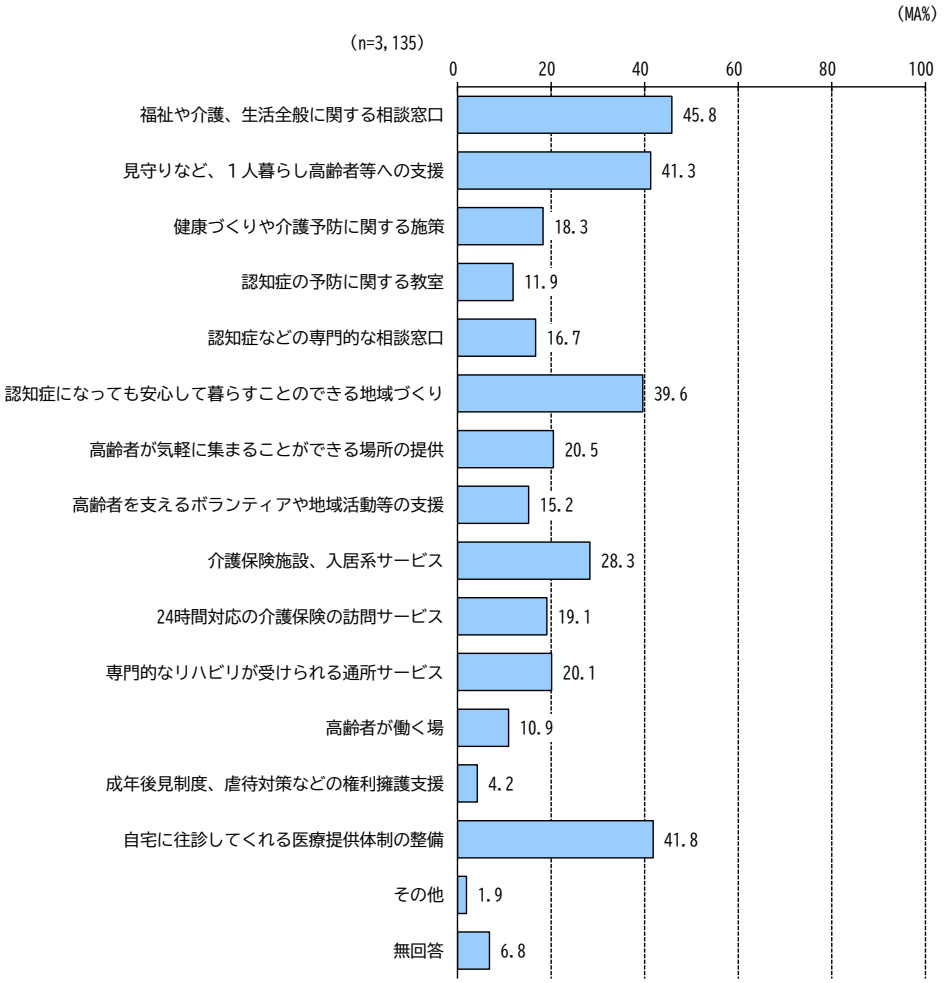
【認定該当状況】

○ 一般高齢者は「福祉や介護、生活全般に関する相談窓口」、総合事業対象者、要支援１・２は「自宅に往診してくれる医療提供体制の整備」が最も多くなっています。

【世帯類型】

○ １人暮らしは「見守りなど、１人暮らし高齢者等への支援」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・息子・娘との２世帯・その他は「福祉や介護、生活全般に関する相談窓口」が最も多くなっています。

【高齢者施策への要望】



単位：%

		母数(n)	問12.2 あなたは、高砂市にどのような高齢者施策の充実を希望しますか。(MA) 福祉や介護、生活全般に関する相談窓口	見守りなど、1人暮らし高齢者等への支援	健康づくりや介護予防に関する施策	認知症の予防に関する教室	認知症などの専門的な相談窓口	認知症になっても安心して暮らすことのできる地域づくり	高齢者が気軽に集まることができる場所の提供	高齢者を支えるボランティアや地域活動等の支援
全体		3,135	45.8	41.3	18.3	11.9	16.7	39.6	20.5	15.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	53.8	41.5	22.3	15.1	22.4	37.0	17.9	15.7
	後期高齢者	769	47.3	42.3	15.7	11.1	16.1	39.0	19.5	14.3
	女性　前期高齢者	754	50.3	45.4	20.7	13.3	19.9	43.6	21.2	17.9
	後期高齢者	1,015	36.7	37.5	16.1	9.6	11.4	38.6	22.2	13.4
年齢	65～74歳	1,351	51.8	43.7	21.4	14.1	21.0	40.7	19.8	17.0
	75～84歳	1,449	42.9	39.8	16.3	9.8	13.5	40.3	20.6	13.7
	85歳以上	335	34.0	38.5	14.3	11.9	13.4	32.2	23.0	14.3
認定状況該当	一般高齢者	2,742	48.1	41.6	18.9	12.3	16.9	40.4	20.5	15.1
	総合事業対象者、要支援１・２	393	30.0	39.4	14.0	8.7	15.3	34.4	20.6	15.5
世帯類型	１人暮らし	671	34.4	48.3	15.4	9.4	8.9	35.9	21.5	12.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	49.8	44.3	19.7	12.5	18.7	42.5	21.4	15.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	49.5	28.7	20.8	10.9	18.8	33.7	16.8	18.8
	息子・娘との２世帯	481	46.8	31.8	17.0	11.9	20.0	38.3	19.3	14.1
	その他	506	48.6	37.2	20.0	13.2	18.8	39.5	18.6	18.2

単位：%

		母数(n)	問12.2 あなたは、高砂市にどのような高齢者施策の充実を希望しますか。(MA) 介護保険施設、入居系サービス	24時間対応の介護保険の訪問サービス	専門的なリハビリが受けられる通所サービス	高齢者が働く場	成年後見制度、虐待対策などの権利擁護支援	自宅に往診してくれる医療提供体制の整備	その他	無回答
全体		3,135	28.3	19.1	20.1	10.9	4.2	41.8	1.9	6.8
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	30.8	21.3	18.9	19.4	5.4	35.5	1.7	4.4
	後期高齢者	769	24.6	17.6	19.5	8.6	3.3	45.8	2.6	6.8
	女性　前期高齢者	754	36.2	21.4	22.5	15.5	6.0	40.1	1.3	4.8
	後期高齢者	1,015	23.8	17.3	19.4	4.3	2.9	43.6	1.8	9.9
年齢	65～74歳	1,351	33.8	21.3	20.9	17.2	5.7	38.0	1.5	4.6
	75～84歳	1,449	24.2	17.7	20.4	6.9	3.2	44.9	2.3	7.7
	85歳以上	335	24.2	16.4	15.5	3.0	2.1	43.0	1.2	11.9
認定状況該当	一般高齢者	2,742	28.4	19.4	19.6	12.0	4.3	41.6	1.9	6.2
	総合事業対象者、要支援１・２	393	28.0	16.8	23.7	3.3	3.6	42.7	1.5	11.5
世帯類型	１人暮らし	671	25.3	18.9	17.7	8.8	3.7	36.2	2.2	8.9
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	28.4	19.3	19.9	11.2	4.1	43.7	2.0	5.7
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	32.7	20.8	21.8	14.9	3.0	37.6	3.0	9.9
	息子・娘との２世帯	481	30.8	17.7	21.2	10.0	4.2	38.9	1.0	7.3
	その他	506	30.0	20.6	22.5	13.4	5.3	46.8	1.8	4.5

3 あなたは将来について、どのような生活を希望しますか。（１つだけ）

【全体】
○　「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」が 59.2%で最も多く、次いで「医療と介護を一体的に提供してもらえる施設に入りたい」が 11.0%、「高齢者向けに整備された住宅に住みたい」が 7.5%となっています。

【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」が最も多くなっています。

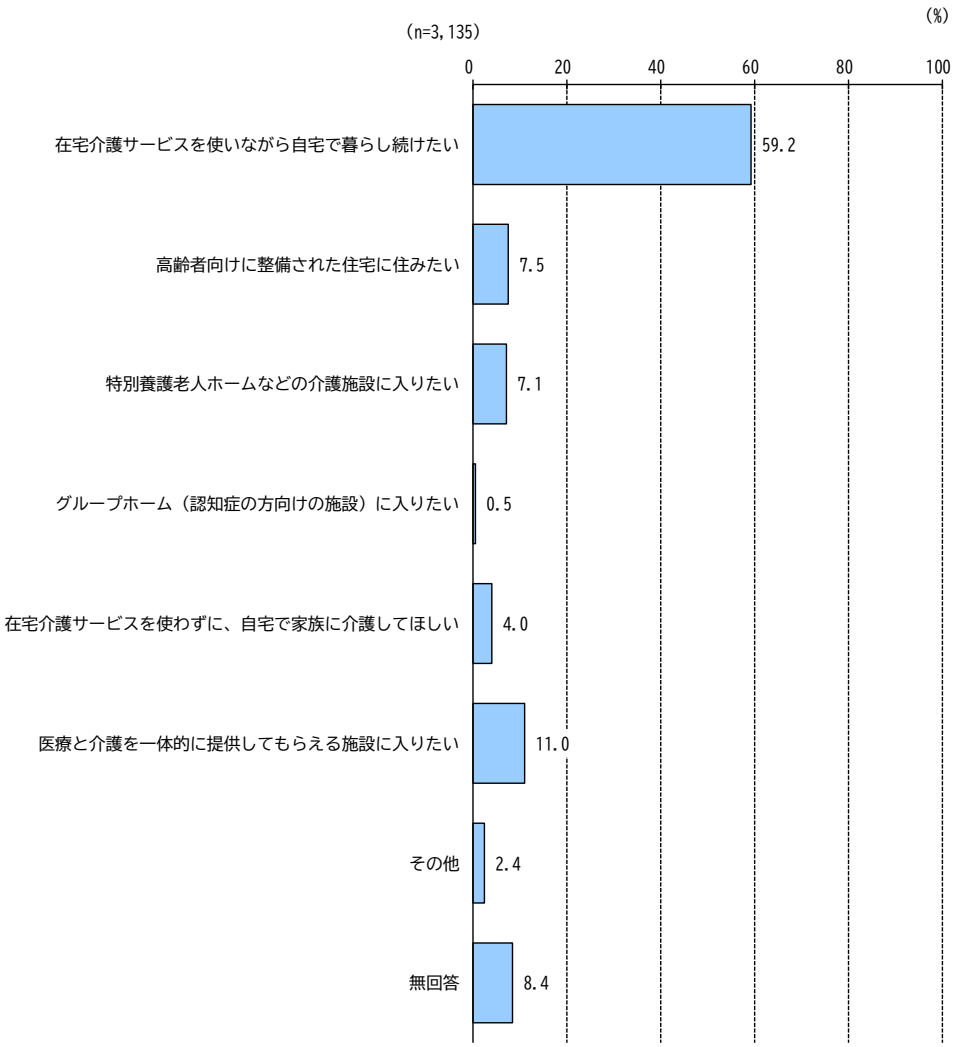
【年齢】
○　どの年代でも「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」が最も多くなっています。

【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」が最も多くなっています。

【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」が最も多くなっています。

【将来の生活場所希望】



単位：%

		母数（n）	問12.3　あなたは将来について、どのような生活を希望しますか。							
			在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい	高齢者向けに整備された住宅に住みたい	特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい	グループホーム（認知症の方向けの施設）に入りたい	在宅介護サービスを使わずに、自宅で家族に介護してほしい	医療と介護を一体的に提供してもらえる施設に入りたい	その他	無回答
全体		3,135	59.2	7.5	7.1	0.5	4.0	11.0	2.4	8.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	62.1	10.4	6.4	0.2	2.8	10.2	3.0	4.9
	後期高齢者	769	59.9	6.6	6.2	0.4	5.7	10.5	3.0	7.5
	女性　前期高齢者	754	59.0	9.4	7.0	0.8	1.9	13.3	2.4	6.2
	後期高齢者	1,015	57.1	4.9	8.3	0.5	4.8	10.0	1.7	12.6
年齢	65～74歳	1,351	60.4	9.8	6.7	0.5	2.3	11.9	2.7	5.6
	75～84歳	1,449	60.2	6.1	7.0	0.4	4.5	9.9	2.6	9.3
	85歳以上	335	50.4	3.9	9.3	0.6	8.4	11.6	0.6	15.2
日常生活圏域	高砂	301	61.8	7.6	7.6	0.3	3.0	8.3	2.0	9.3
	荒井	344	56.7	10.2	6.7	0.3	3.2	11.6	3.2	8.1
	伊保	671	57.7	7.0	5.7	0.6	5.1	12.1	3.3	8.6
	中筋	193	67.4	4.7	5.7	0.5	0.5	6.2	1.6	13.5
	曽根	400	58.8	7.3	10.8	0.3	4.3	10.3	2.5	6.0
	米田	611	56.3	8.8	5.4	1.0	5.2	12.1	2.1	9.0
	阿弥陀	412	61.4	7.0	7.8	－	2.7	11.9	1.5	7.8
	北浜	203	62.6	3.9	9.9	0.5	4.4	10.8	2.5	5.4
認定該当状況	一般高齢者	2,742	60.6	7.5	6.6	0.5	3.9	10.8	2.6	7.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	49.9	7.1	10.9	0.5	4.3	12.0	1.5	13.7
世帯類型	１人暮らし	671	56.9	8.6	6.1	0.6	3.7	11.0	2.8	10.1
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	60.9	8.4	6.8	0.2	2.9	11.1	2.0	7.6
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	62.4	5.0	6.9	－	2.0	9.9	4.0	9.9
	息子・娘との２世帯	481	55.7	6.2	9.1	0.6	7.1	10.4	2.5	8.3
	その他	506	60.7	5.3	7.1	1.0	4.3	12.1	2.8	6.7

4 将来希望する生活について、どなたかと話し合いをしていますか。（１つだけ）

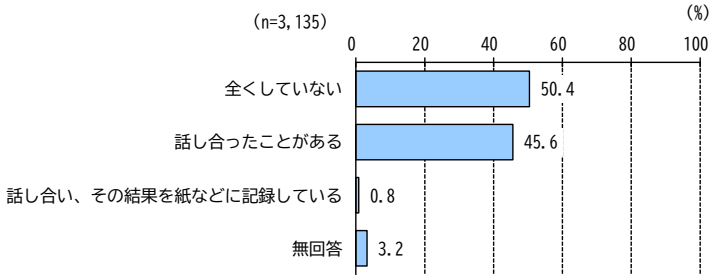
【全体】
○ 「全くしていない」が 50.4%で最も多く、次いで「話し合ったことがある」が 45.6%、「話し合い、その結果を紙などに記録している」が 0.8%となっています。

【性別・年齢】
○ 男性-前期高齢者・男性-後期高齢者・女性-前期高齢者は「全くしていない」、女性-後期高齢者は「話し合ったことがある」が最も多くなっています。

【年齢】
○ 65～74 歳・75～84 歳は「全くしていない」、85 歳以上は「話し合ったことがある」が最も多くなっています。

【世帯類型】
○ １人暮らし・夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）・息子・娘との２世帯・その他は「全くしていない」、夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）は「話し合ったことがある」が最も多くなっています。

【将来に関する話し合い】



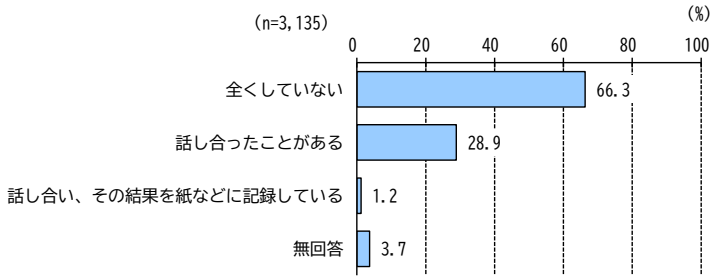
単位：%

		母数(n)	問12.4 将来希望する生活について、どなたかと話し合いをしていますか。 全くしていない	話し合ったことがある	話し合い、その結果を紙などに記録している	無回答
全体		3,135	50.4	45.6	0.8	3.2
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	60.0	38.2	0.2	1.7
	後期高齢者	769	53.4	42.4	0.8	3.4
	女性　前期高齢者	754	48.9	47.6	1.5	2.0
	後期高齢者	1,015	43.4	50.9	0.7	4.9
年齢	65～74歳	1,351	53.8	43.4	0.9	1.9
	75～84歳	1,449	49.3	46.5	0.5	3.7
	85歳以上	335	41.2	50.4	1.8	6.6
世帯類型	１人暮らし	671	51.1	42.8	1.6	4.5
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	46.5	49.9	0.8	2.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	57.4	41.6	-	1.0
	息子・娘との２世帯	481	51.8	45.1	0.6	2.5
	その他	506	57.7	39.1	0.2	3.0

5 人生の最終段階で受ける医療やケアなどについて、家族などの身近な人、医療従事者などと話し合い（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）をしていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「全くしていない」が 66.3%で最も多く、次いで「話し合ったことがある」が 28.9%、「話し合い、その結果を紙などに記録している」が 1.2%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「全くしていない」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「全くしていない」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「全くしていない」が最も多くなっています。

【ACP の実施状況】



単位：%

		母数（n）	問12.5　人生の最終段階で受ける医療やケアなどについて、家族などの身近な人、医療従事者などと話し合い（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）をしていますか。			
			全くしていない	話し合ったことがある	話し合い、その結果を紙などに記録している	無回答
全体		3,135	66.3	28.9	1.2	3.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	77.2	20.1	1.0	1.7
	後期高齢者	769	67.6	27.2	1.3	3.9
	女性　前期高齢者	754	67.4	29.4	1.5	1.7
	後期高齢者	1,015	57.9	34.9	1.1	6.1
年齢	65～74歳	1,351	71.7	25.3	1.3	1.7
	75～84歳	1,449	64.3	30.4	1.0	4.3
	85歳以上	335	52.8	36.4	2.1	8.7
認定該当状況	一般高齢者	2,742	67.7	28.3	1.1	2.9
	総合事業対象者、要支援１・２	393	56.0	32.6	2.3	9.2

13. リスク判定

■国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の手引き等を踏まえ、要介護状態になる各リスクについて以下のように整理しています。

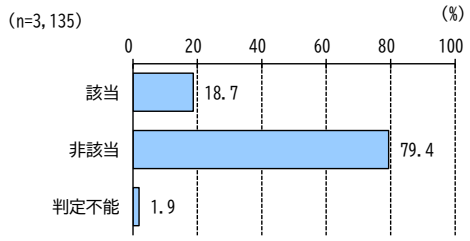
リスク等	判定項目
運動器の機能低下	問 2-(1)～(5)の５項目のうち３項目以上で該当する選択肢を回答した場合
転倒	問 2-(4)で該当する選択肢を回答した場合
閉じこもり	問 2-(6)で該当する選択肢を回答した場合
低栄養	問 3-(1)で BMI が 18.5 以下で、問 3-(7)に該当する場合
口腔機能の低下	問 3-(2)～(4)の３項目のうち２項目以上に該当する場合
認知機能の低下	問 4-(1)に該当する場合
IADL 低下※	問 4-(4)～(8)の５項目で「できるし、している」または「できるけどしていない」を１点とし、合計値が３点以下であればリスク有り
うつ傾向	問 8-(3)～(4)の２項目のうち１項目でも該当する場合

※買物、洗濯、電話、薬の管理など活動的な日常生活を送るための動作のことを、「手段的日常生活動作（Instrument Activity of Daily Living：IADL)」といい、その自立度から、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができます。

運動器の機能低下リスク

【全体】
○　「該当」が 18.7%、「非該当」が 79.4%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「非該当」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「非該当」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「非該当」、総合事業対象者、要支援１・２は「該当」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「非該当」が最も多くなっています。

【運動器の機能低下リスク】



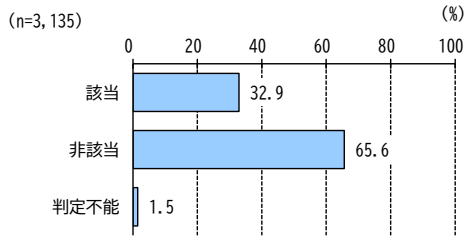
単位：%

		母数(n)	運動器の機能低下リスク 該当	非該当	判定不能
全体		3,135	18.7	79.4	1.9
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	7.2	91.8	1.0
	後期高齢者	769	19.4	78.7	2.0
	女性　前期高齢者	754	9.9	89.0	1.1
	後期高齢者	1,015	31.3	65.5	3.2
年齢	65～74歳	1,351	8.7	90.2	1.0
	75～84歳	1,449	21.5	75.9	2.6
	85歳以上	335	46.3	50.7	3.0
認定状況	一般高齢者	2,742	12.1	86.0	1.9
該当	総合事業対象者、要支援１・２	393	64.6	33.1	2.3
世帯類型	１人暮らし	671	24.9	71.7	3.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	15.7	82.8	1.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	12.9	87.1	－
	息子・娘との２世帯	481	20.6	78.6	0.8
	その他	506	17.6	80.6	1.8

転倒リスク

【全体】
○　「該当」が 32.9%、「非該当」が 65.6%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「非該当」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「非該当」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「非該当」、総合事業対象者、要支援１・２は「該当」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「非該当」が最も多くなっています。

【転倒リスク】



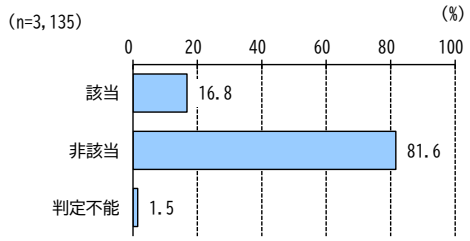
単位：%

		母数(n)	転倒リスク 該当	非該当	判定不能
全体		3,135	32.9	65.6	1.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	27.0	71.9	1.2
	後期高齢者	769	36.5	62.0	1.4
	女性　前期高齢者	754	26.5	72.4	1.1
	後期高齢者	1,015	38.4	59.4	2.2
年齢	65～74歳	1,351	26.7	72.2	1.1
	75～84歳	1,449	35.0	63.1	1.9
	85歳以上	335	49.0	49.3	1.8
認定該当状況	一般高齢者	2,742	29.9	68.6	1.5
	総合事業対象者、要支援１・２	393	53.7	44.5	1.8
世帯類型	１人暮らし	671	38.0	59.2	2.8
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	31.0	67.9	1.1
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	27.7	70.3	2.0
	息子・娘との２世帯	481	29.9	69.4	0.6
	その他	506	34.8	64.0	1.2

閉じこもりのリスク

【全体】
○　「該当」が 16.8%、「非該当」が 81.6%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「非該当」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「非該当」が最も多くなっています。
【日常生活圏域】
○　どの日常生活圏域でも「非該当」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「非該当」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「非該当」が最も多くなっています。

【閉じこもりのリスク】



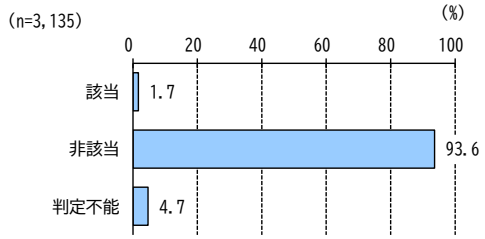
単位：%

		母数(n)	閉じこもりのリスク 該当	非該当	判定不能
全体		3,135	16.8	81.6	1.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	11.9	86.9	1.2
	後期高齢者	769	18.3	80.5	1.2
	女性　前期高齢者	754	9.5	89.3	1.2
	後期高齢者	1,015	24.0	73.7	2.3
年齢	65～74歳	1,351	10.6	88.2	1.2
	75～84歳	1,449	18.4	80.0	1.7
	85歳以上	335	35.5	62.1	2.4
日常生活圏域	高砂	301	20.9	77.7	1.3
	荒井	344	12.5	86.9	0.6
	伊保	671	17.3	80.8	1.9
	中筋	193	25.4	73.1	1.6
	曽根	400	16.3	82.8	1.0
	米田	611	14.1	83.6	2.3
	阿弥陀	412	16.3	82.5	1.2
	北浜	203	19.2	79.3	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,742	13.3	85.0	1.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	41.2	57.8	1.0
世帯類型	１人暮らし	671	20.6	76.8	2.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	13.1	85.6	1.3
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	21.8	77.2	1.0
	息子・娘との２世帯	481	19.8	79.4	0.8
	その他	506	18.4	80.4	1.2

低栄養のリスク

【全体】
○　「該当」が 1.7%、「非該当」が 93.6%となっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「非該当」が最も多くなっています。

【低栄養のリスク】



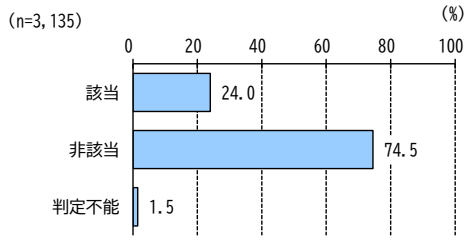
単位：%

		母数(n)	低栄養のリスク 該当	非該当	判定不能
全体		3,135	1.7	93.6	4.7
世帯類型	１人暮らし	671	2.8	90.5	6.7
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	1.1	95.4	3.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	1.0	95.0	4.0
	息子・娘との２世帯	481	1.5	93.3	5.2
	その他	506	1.8	94.7	3.6

口腔機能の低下リスク

【全体】
○　「該当」が 24.0%、「非該当」が 74.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「非該当」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「非該当」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「非該当」が最も多くなっています。
【世帯類型】
○　どの世帯類型でも「非該当」が最も多くなっています。

【口腔機能の低下リスク】



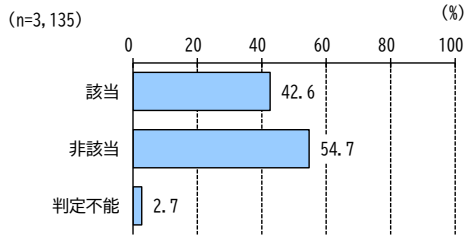
単位：%

		母数(n)	口腔機能の低下リスク 該当	非該当	判定不能
全体		3,135	24.0	74.5	1.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	18.4	80.2	1.3
	後期高齢者	769	27.6	70.9	1.6
	女性　前期高齢者	754	18.4	80.9	0.7
	後期高齢者	1,015	28.7	69.1	2.3
年齢	65～74歳	1,351	18.4	80.6	1.0
	75～84歳	1,449	25.0	73.3	1.7
	85歳以上	335	42.1	54.9	3.0
認定該当状況	一般高齢者	2,742	21.1	77.6	1.3
	総合事業対象者、要支援１・２	393	44.0	52.9	3.1
世帯類型	１人暮らし	671	27.6	70.8	1.6
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	1,329	21.4	77.3	1.4
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	101	24.8	71.3	4.0
	息子・娘との２世帯	481	24.9	74.0	1.0
	その他	506	23.9	74.3	1.8

認知機能の低下リスク

【全体】
○　「該当」が 42.6%、「非該当」が 54.7%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「非該当」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「非該当」、85 歳以上は「該当」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「非該当」、総合事業対象者、要支援１・２は「該当」が最も多くなっています。

【認知機能の低下リスク】



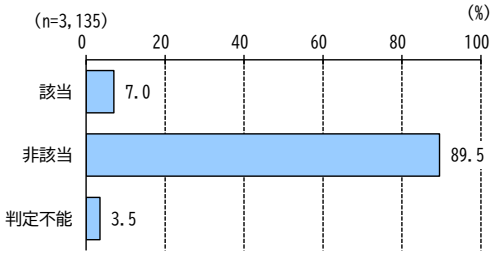
単位：%

		母数(n)	認知機能の低下リスク 該当	非該当	判定不能
全体		3,135	42.6	54.7	2.7
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	37.9	60.6	1.5
	後期高齢者	769	48.6	48.9	2.5
	女性　前期高齢者	754	35.9	60.6	3.4
	後期高齢者	1,015	45.7	51.1	3.2
年齢	65～74歳	1,351	36.8	60.6	2.6
	75～84歳	1,449	44.1	53.0	2.9
	85歳以上	335	59.4	37.9	2.7
認定該当状況	一般高齢者	2,742	40.5	57.0	2.6
	総合事業対象者、要支援１・２	393	57.3	38.7	4.1

IADL低下リスク

【全体】
○　「該当」が 7.0%、「非該当」が 89.5%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「非該当」が最も多くなっています。
【年齢】
○　どの年代でも「非該当」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　どの認定該当状況でも「非該当」が最も多くなっています。

【IADL 低下リスク】



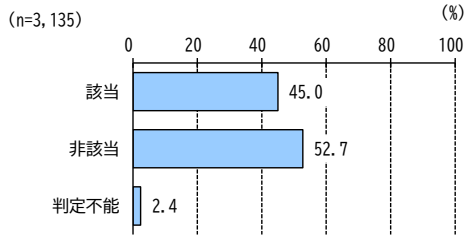
単位：%

		母数(n)	IADL低下リスク 該当	非該当	判定不能
全体		3,135	7.0	89.5	3.5
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	4.9	93.1	2.0
	後期高齢者	769	10.7	85.2	4.2
	女性　前期高齢者	754	1.7	94.8	3.4
	後期高齢者	1,015	9.5	86.7	3.8
年齢	65～74歳	1,351	3.1	94.1	2.8
	75～84歳	1,449	6.6	89.7	3.7
	85歳以上	335	24.5	70.1	5.4
認定該当状況	一般高齢者	2,742	4.2	92.9	3.0
	総合事業対象者、要支援１・２	393	26.7	66.2	7.1

うつ傾向のリスク

【全体】
○　「該当」が 45.0%、「非該当」が 52.7%となっています。
【性別・年齢】
○　どの性別・年齢でも「非該当」が最も多くなっています。
【年齢】
○　65～74 歳・75～84 歳は「非該当」、85 歳以上は「該当」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○　一般高齢者は「非該当」、総合事業対象者、要支援１・２は「該当」が最も多くなっています。

【うつ傾向のリスク】



		母数(n)	うつ傾向のリスク		
			該当	非該当	判定不能
全体		3,135	45.0	52.7	2.4
性別・年齢	男性　前期高齢者	597	40.5	58.3	1.2
	後期高齢者	769	46.2	50.8	3.0
	女性　前期高齢者	754	43.5	54.5	2.0
	後期高齢者	1,015	47.8	49.4	2.9
年齢	65～74歳	1,351	42.2	56.2	1.6
	75～84歳	1,449	46.1	51.6	2.3
	85歳以上	335	51.3	43.3	5.4
認定該当状況	一般高齢者	2,742	42.3	55.6	2.1
	総合事業対象者、要支援１・２	393	63.6	32.1	4.3

14. 調査結果にみる現状と課題

（１）回答者の属性・住まいについて

○回答者の属性について、「男性」が４割、「女性」が６割と女性がやや多くなっています。
○年齢は、前期高齢者が４割、後期高齢者が６割となっています。
○日常生活圏域は、伊保、米田が２割、それ以外は１割となっています。
○回答者に占める認定者（要支援１・２）の割合は１割となっています。
○世帯類型は、「１人暮らし」が２割、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が４割となっており、あわせると６割以上が高齢者のみの世帯となっています。85 歳以上、特に女性-後期高齢者の３割、総合事業対象者、要支援１・２の４割が「１人暮らし」となっています。
○経済状況について、４割が現在の暮らしが経済的に苦しいと回答しています。
○住まいの状況について、全体では持家が約９割となっており、将来的な管理・バリアフリー化の必要性も考えられます。また、１人暮らしは「公営賃貸住宅（市営住宅・県営住宅等）」「民間賃貸住宅（サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム等の高齢者向け住宅以外の集合住宅）」がそれぞれ１割程度と他の世帯類型と比べて多くなっています。今後の世帯構成の変化も踏まえ、高齢者の居住の安定性の確保について検討していく必要があります。

（２）介護について

○介護・介助の必要性について、全体では８割が「介護・介助は必要ない」と回答しています。前期高齢者は、男女ともに９割が「介護・介助は必要ない」と回答していますが、後期高齢者になると介護・介助の必要性が高まり、男女ともに「介護・介助は必要ない」は７～８割となっています。85 歳以上になると「介護・介助は必要ない」は５割と大きく低下します。
○総合事業対象者、要支援１・２で、「介護・介助は必要ない」と回答している人は３割程度です。また、総合事業対象者、要支援１・２で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答している人は２割と多くなっています。要介護認定を受けているが、サービスを使っていない人の状況や、介護・介助が必要な人に適切な支援が届いているかについて、検討する必要があります。
○介護・介助が必要になった主な原因について、全体では「高齢による衰弱」「骨折・転倒」が２割と多くなっています。
○主な介護者は、全体では、「配偶者（夫・妻）」「娘」「介護サービスのヘルパー」がそれぞれ３割と多くなっています。１人暮らしは「介護サービスのヘルパー」が４割と他の世帯類型に比べて多くなっています。
○訪問介護（ヘルパー）サービスについての希望は、全体では、「生活支援（掃除・買い物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が５割、「専門職によるサービスを提供してほしい」が３割となっています。１人暮らしは「生活支援（掃除・買い物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が６割以上と多くなっています。
○通所介護（デイ）サービスについての希望は、全体では、「専門職によるサービスを提供してほしい」が５割、「安価であれば食事の提供のない短時間のミニデイサービスを利用したい」が３割となっています。
○今後の世帯構成の変化やより多様な選択肢を求める声も踏まえ、ニーズに応じた柔軟なサービス整備について検討する必要があります。

（３）運動・外出について

○運動器の機能低下リスクについて、「該当」は全体の２割となっていますが、女性-後期高齢者は３割と多くなっています。85 歳以上は５割と多くなっています。

○転倒リスクについて、「該当」は全体の３割となっていますが、後期高齢者は４割と多くなっています。85 歳以上は５割と多くなっています。

○閉じこもりリスクについて、「該当」は全体の２割となっていますが、女性-後期高齢者は２割以上と多くなっています。85 歳以上は４割と多くなっています。

○昨年と比べて外出の回数が減っている人は全体の３割となっていますが、総合事業対象者、要支援１・２は６割の人で外出の回数が減っています。

○外出を控えている人は全体の２割です。特に、85 歳以上は５割が外出を控えていると回答しています。

○外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が６割で最も多く、次いで「交通手段がない」「トイレの心配（失禁など)」が２割で続いています。85 歳以上や総合事業対象者、要支援１・２は「交通手段がない」が多くなっています。85 歳以上や総合事業対象者、要支援１・２は、買い物・通院の際の交通手段は「自動車（人に乗せてもらう)」が最も多くなっており、移動手段の充実について検討する必要があります。

（４）社会参加について

○地域活動について、スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、町内会・自治会、収入のある仕事に参加している人は全体の２～３割程度です。ボランティアのグループ、学習・教養サークル、介護予防のための通いの場、老人クラブについては、参加している人は全体の１割程度となっています。老人クラブの活動を知らない人は全体の５割となっており、特に 65～74 歳、荒井・中筋・曽根は６割が老人クラブの活動を知らないと回答しています。

○地域での活動に、どのような支援があれば参加しやすくなるかについて、「交流しやすい雰囲気づくり」が４割で最も多く、次いで「具体的な内容等についての情報提供」が３割、「１人でも参加できるよう初回参加者への支援」が２割で続いています。85 歳以上、総合事業対象者、要支援１・２は、「活動の場までの外出・移動支援」が２割と多くなっています。

○全体の５割が SNS（LINE や Instagram 等）やアプリ等から情報収集をしています。SNS（LINE や Instagram 等）やアプリ等から情報収集をしている人が実際に使用しているのは、「LINE」が９割で最も多くなっています。対象者に合わせた方法による情報提供や、初回参加者支援、85 歳以上や総合事業対象者、要支援者への活動の場までの外出・移動支援など、ニーズに合わせた参加促進方法について検討する必要があります。

○就労状況として、常勤（フルタイム）は 4.8%、非常勤（パート・アルバイト等）は 11.6%、自営業が 4.7%となっています。男性-前期高齢者の１割は常勤（フルタイム）で、非常勤（パート・アルバイト等）は２割となっています。女性-前期高齢者は常勤（フルタイム）は 3.6%で、非常勤（パート・アルバイト等）は２割となっています。

（5）たすけあいについて

○全体の９割が、何らかの心配事や愚痴を聞いてくれる人がいると回答しています。男性、総合事業対象者、要支援１・２、1 人暮らしは「そのような人はいない」が多くなっています。

○全体の９割が、何らかの心配事や愚痴を聞いてあげる人がいると回答しています。男性-後期高齢者、85 歳以上、総合事業対象者、要支援１・２、1 人暮らしは「そのような人はいない」が多くなっています。

○全体の９割が、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいると回答しています。男性-前期高齢者、総合事業対象者、要支援１・２、1 人暮らしは「そのような人はいない」と回答して多くなっています。

○全体の８割が、看病や世話をしてあげる人がいると回答しています。女性-後期高齢者、85 歳以上、総合事業対象者、要支援１・２、1 人暮らしは「そのような人はいない」が多くなっています。

○近所の人が困っている時に週１・２回程度、金銭をもらって何かしらの支援ができると回答している人は全体の４割です。「近所の人などに、金銭を支払って手助けをしてもらいたいこと」と「近所の人が困っている時に週１・２回程度、金銭をもらって何かしらの支援ができる」と回答している人の割合をみると、「急に病気になった時の看病」「家族の介護や世話」以外の項目で「近所の人が困っている時に週１・２回程度、金銭をもらって何かしらの支援ができる」と回答している人の割合が上回っています。互助での「支援ができる」ことについては、支援を必要としている人と支援ができる人のマッチングの仕組みづくりとともに、「急に病気になった時の看病」「家族の介護や世話」の支援方法についてより広く方法を検討する必要があります。

（6）健康・医療について

○現在治療中・後遺症がある病気について、全体の８割が何らかの病気をあげています。「高血圧」が５割で最も多く、次いで「目の病気」「糖尿病」が２割で続いています。

○低栄養のリスクについて、「該当」は全体の 1.7%となっていますが、1 人暮らしは多くなっています。

○口腔機能の低下リスクについて、「該当」は全体の２割となっていますが、後期高齢者特に 85 歳以上は「該当」が多くなっています。

○認知機能の低下リスクについて、「該当」は全体の４割となっていますが、後期高齢者特に 85 歳以上は「該当」が多くなっています。

○うつのリスクについて「該当」は全体の５割となっていますが、女性-後期高齢者は５割と多くなっています。85 歳以上は５割と多くなっています。

○主に通っている病院までの距離は「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が４割で最も多く、次いで「３ｋｍ以上」が３割、「１ｋｍ未満」は２割となっています。日常生活圏域別でみると、高砂、荒井、米田は「１ｋｍ未満」、曽根、阿弥陀は「３ｋｍ以上」が他の区分に比べ多くなっており、圏域による差もみられます。

○８つのリスクの中で、「認知機能の低下リスク」「うつのリスク」が多くなっており、特に 85 歳以上や総合事業対象者、要支援者では「該当」が多くなっています。

（7）相談について

○市に充実を希望する高齢者施策は「福祉や介護、生活全般に関する相談窓口」が５割で最も多くなっています。

○自分や家族が認知症になった時あればよい支援として「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が７割で最も多くなっています。

○家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、全体では、「そのような人はいない」が５割で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が２割、「ケアマネジャー」が１割で続いています。65～74 歳は「そのような人はいない」が６割と多くなっています。

○高砂市地域包括支援センターの認知度は全体では４割で、特に男性の認知度が低い状態です。

○認知症に関する相談窓口の認知度は全体では３割で、特に男性-前期高齢者の認知度が低い状態です。

○必要な支援につながるよう相談窓口の周知を進める必要があります。

（8）将来について

○将来について、「在宅介護サービスを使いながら自宅で暮らし続けたい」が６割で最も多くなっています。

○将来希望する生活について話し合ったことがある人は全体の５割となっています。「話し合い、その結果を紙などに記録している」人は 0.8%と非常に少なくなっています。また、男性は、「まったくしていない」が多くなっています。

○ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の実施状況について、話し合ったことがある人は全体の３割となっています。「話し合い、その結果を紙などに記録している」人は 1.2%と非常に少なくなっています。

○希望する自分らしい暮らしを、人生の最終段階まで続けられるように、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）などの情報を適切に提供するなど、普及・啓発を図る必要があります。

（9）日常生活圏域の状況について

○各リスクをみると、高砂・中筋は閉じこもりリスクの「該当」が他の圏域に比べ多くなっています。

○主に買い物に行っている店舗までの距離と店舗までの移動手段、主に通っている病院までの距離と病院までの移動手段は、圏域による差がみられます。圏域ごとの特徴を踏まえて、移動手段の充実について検討する必要があります。

○地域活動について、町内会・自治会への参加状況は、圏域による差がみられます。

○荒井・中筋・曽根は６割が老人クラブの活動を知らないと回答しており、地域活動の周知や参加促進について圏域の違いを踏まえて検討する必要があります。

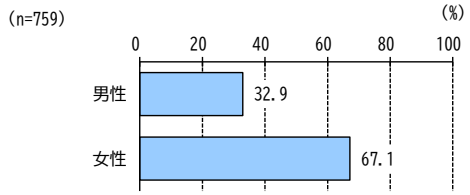
Ⅲ　在宅介護実態調査の結果

１．属性項目

性別

【全体】
○　「男性」が 32.9%、「女性」が 67.1%となっています。

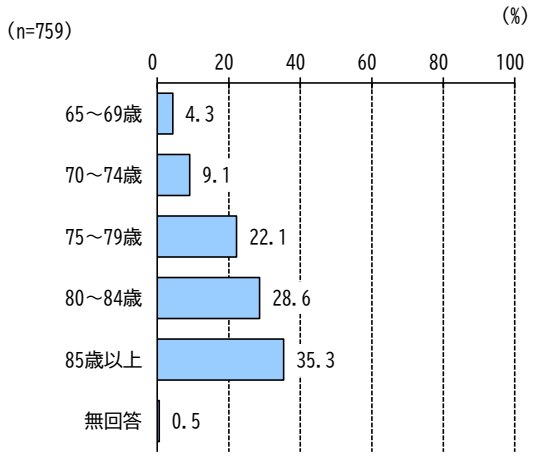
【性別】



年齢

【全体】
○　「85 歳以上」が 35.3%で最も多く、次いで「80～84 歳」が 28.6%、「75～79 歳」が 22.1%となっています。

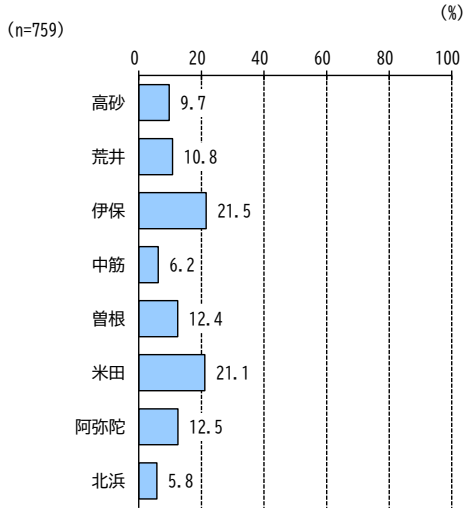
【年齢】



圏域

【全体】
○　「伊保」が 21.5%で最も多く、次いで「米田」が 21.1%、「阿弥陀」が 12.5%となっています。

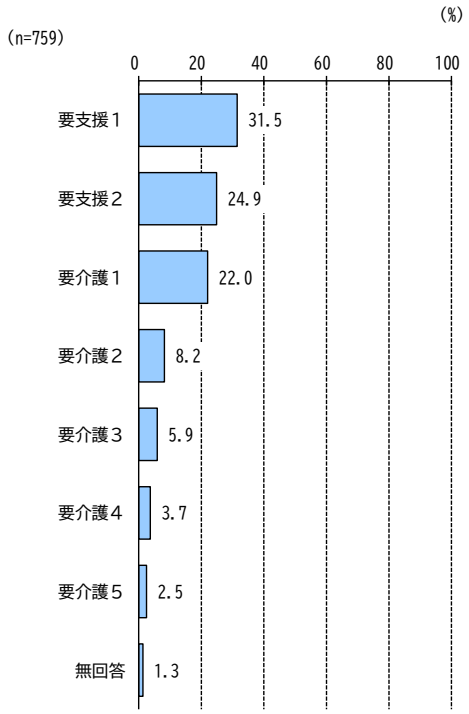
【圏域】



要介護度

【全体】
○　「要支援１」が 31.5%で最も多く、次いで「要支援２」が 24.9%、「要介護１」が 22.0%となっています。

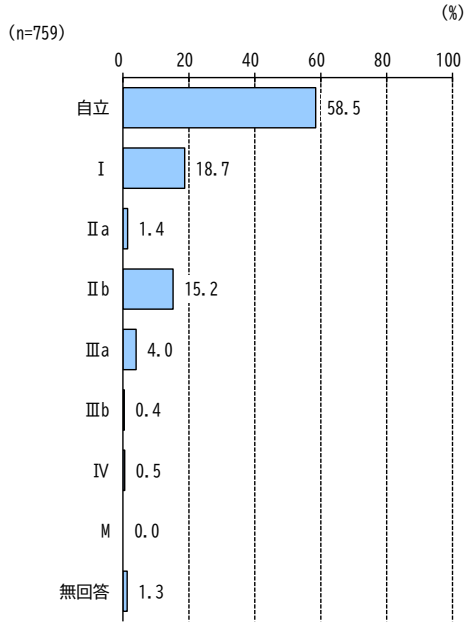
【要介護度】



認知症自立度

【全体】
○　「自立」が 58.5%で最も多く、次いで「Ⅰ」が 18.7%、「Ⅱb」が 15.2%となっています。

【認知症自立度】



【参考】「認知症高齢者の日常生活自立度」の判定基準

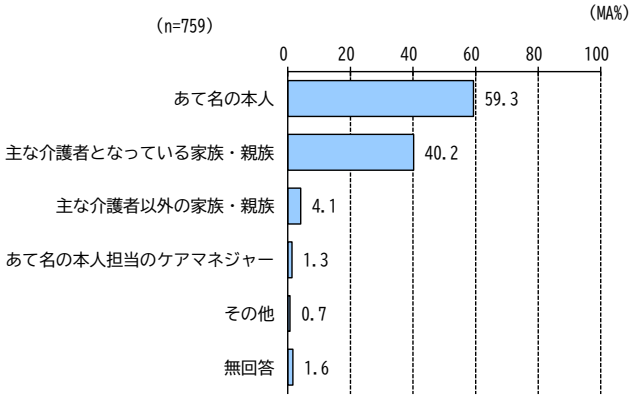
ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
Ⅱ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
Ⅱａ	家庭外で上記Ⅱの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでにできたことにミスが目立つ等
Ⅱｂ	家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等
Ⅲ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。	
Ⅲａ	日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
Ⅲｂ	夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる。	ランクⅢａに同じ
Ⅳ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクⅢに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

2．基本事項について

問１　現在、この調査票に回答を頂いているのは、どなたですか。（いくつでも○）

【全体】
○　「あて名の本人」が 59.3%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 40.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が 4.1%となっています。

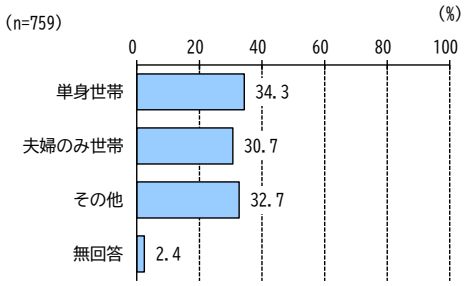
【回答者】



問２　あて名の本人の世帯類型について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】
○　「単身世帯」が 34.3%で最も多く、次いで「その他」が 32.7%、「夫婦のみ世帯」が 30.7%となっています。

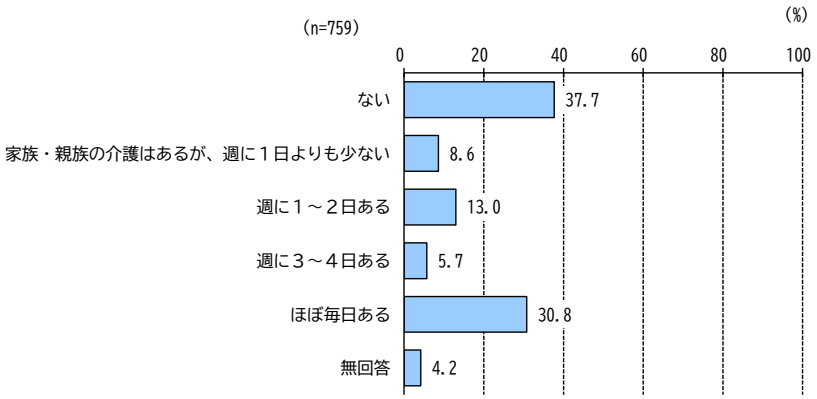
【世帯類型】



問３ あて名の本人は、家族や親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む） （１つだけ○）

【全体】
○ 「ない」が 37.7%で最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」が 30.8%、「週に１～２日ある」が 13.0%となっています。

【家族・親族からの介護の頻度】

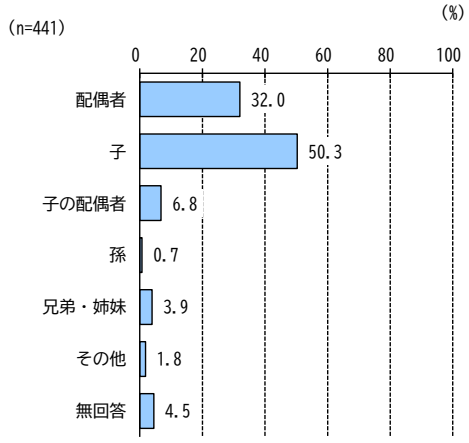


※問３で「２」「３」「４」「５」を選択された方（家族や親族の方から介護を受けている方）にお伺いします。

問４ あて名の本人を、主に介護している方は、どなたですか。（１つだけ○）

【全体】
○ 「子」が 50.3%で最も多く、次いで「配偶者」が 32.0%、「子の配偶者」が 6.8%となっています。

【主な介護者の続柄】

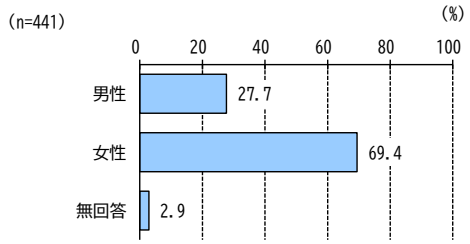


※問３で「２」「３」「４」「５」を選択された方（家族や親族の方から介護を受けている方）にお伺いします。

問５ あて名の本人を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】
○　「男性」が 27.7%、「女性」が 69.4%となっています。

【主な介護者の性別】

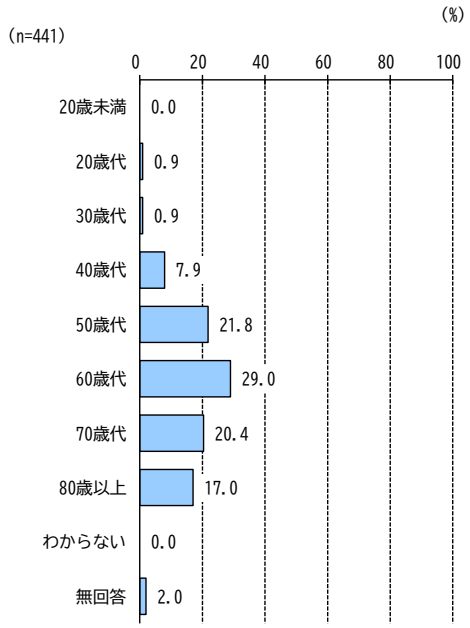


※問３で「２」「３」「４」「５」を選択された方（家族や親族の方から介護を受けている方）にお伺いします。

問６ あて名の本人を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】
○　「60 歳代」が 29.0%で最も多く、次いで「50 歳代」が 21.8%、「70 歳代」が 20.4%となっています。

【主な介護者の年齢】

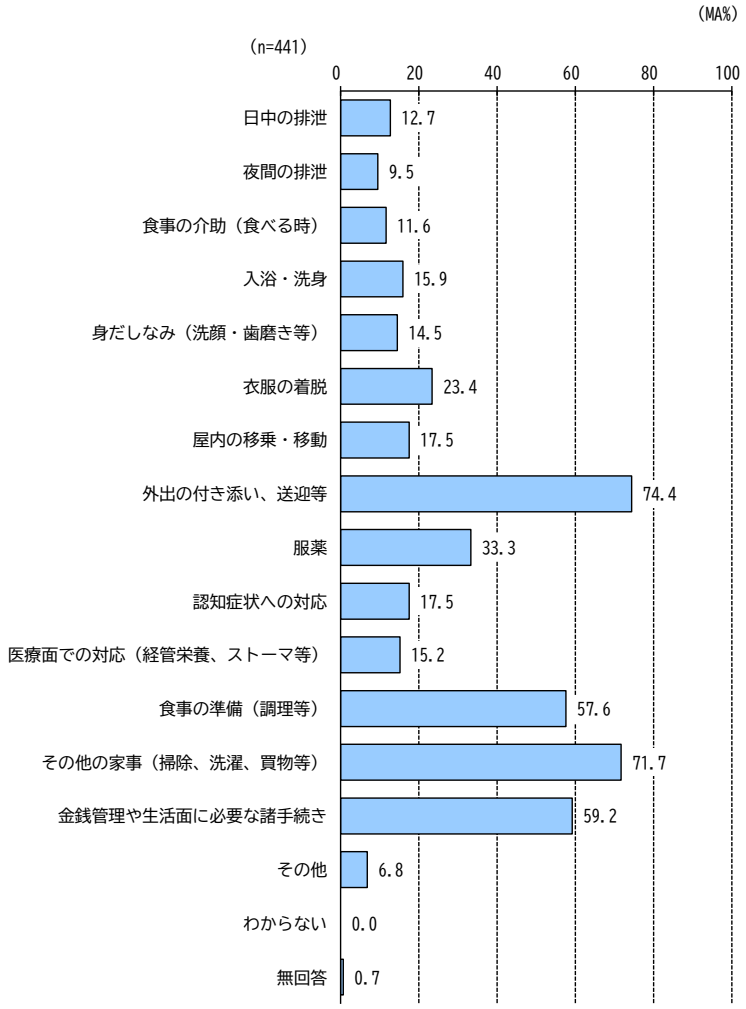


※問３で「２」「３」「４」「５」を選択された方（家族や親族の方から介護を受けている方）にお伺いします。

問７ 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（いくつでも○）

【全体】
○　「外出の付き添い、送迎等」が 74.4%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」が 71.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 59.2%となっています。

【主な介護者が実施している介護内容】

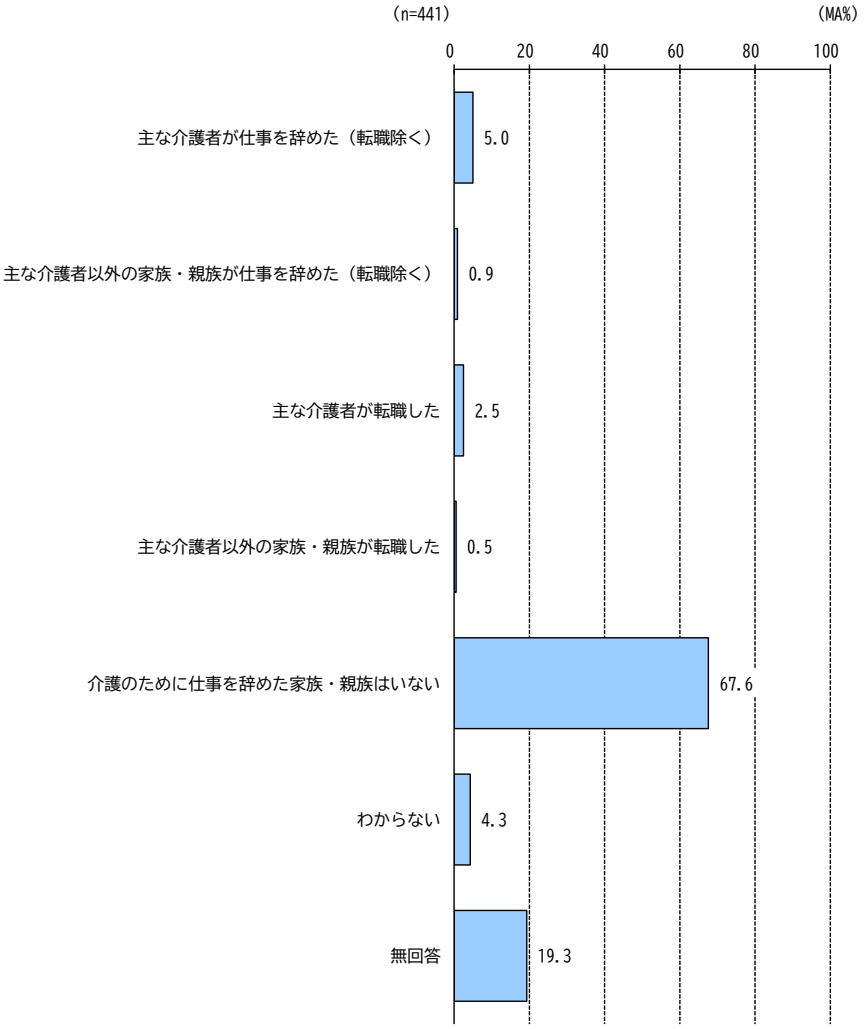


※問３で「２」「３」「４」「５」を選択された方（家族や親族の方から介護を受けている方）にお伺いします。

問８ 家族や親族の中で、あて名の本人の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません） （いくつでも○）

【全体】
○ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 67.6%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 5.0%、「わからない」が 4.3%となっています。

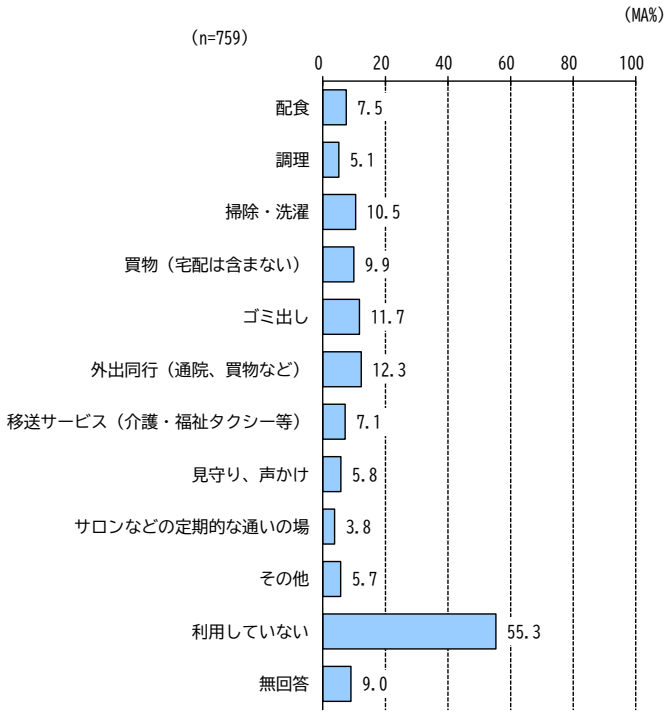
【介護離職の有無】



問９ 現在、あて名の本人が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（いくつでも○）

【全体】
○　「利用していない」が 55.3%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買物など）」が 12.3%、「ゴミ出し」が 11.7%となっています。

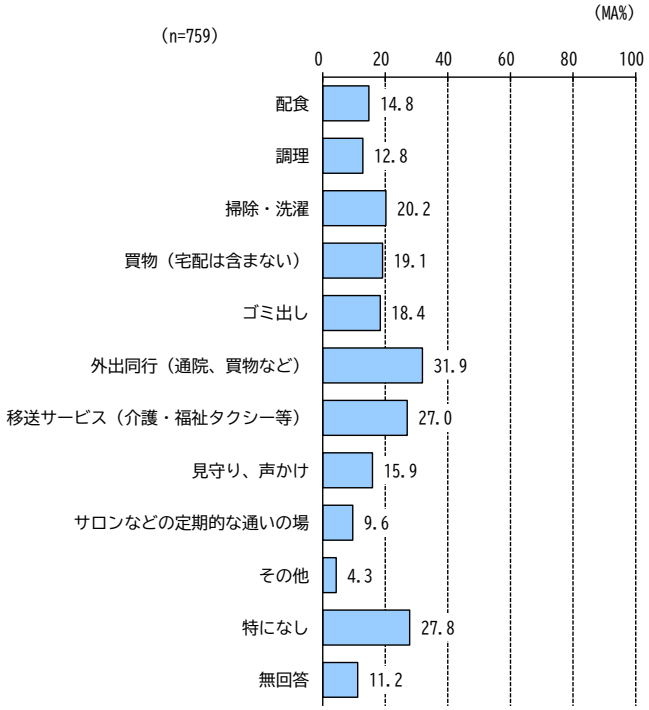
【介護保険外サービスの利用】



問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも○）

【全体】
○　「外出同行（通院、買物など）」が 31.9%で最も多く、次いで「特になし」が 27.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 27.0%となっています。

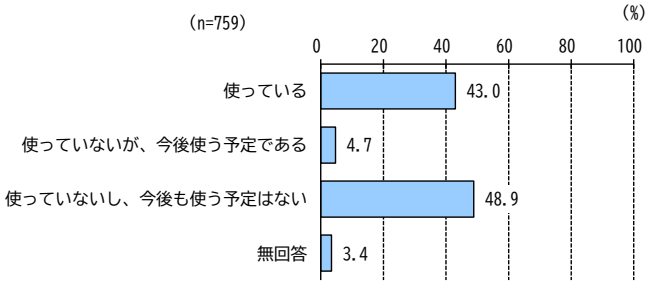
【在宅継続に必要な支援】



問11 日常的にスマートフォンやタブレットを使っていますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「使っていないし、今後も使う予定はない」が 48.9%で最も多く、次いで「使っている」が 43.0%、「使っていないが、今後使う予定である」が 4.7%となっています。

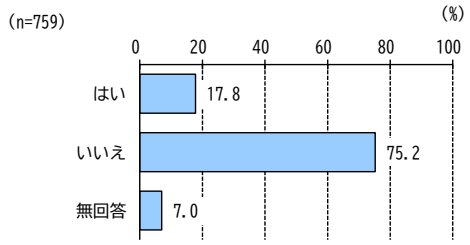
【スマートフォン等の利用状況】



問12 SNS（LINEやInstagram 等）やアプリ等から情報収集していますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「はい」が 17.8%、「いいえ」が 75.2%となっています。

【SNS・アプリ等での情報収集】

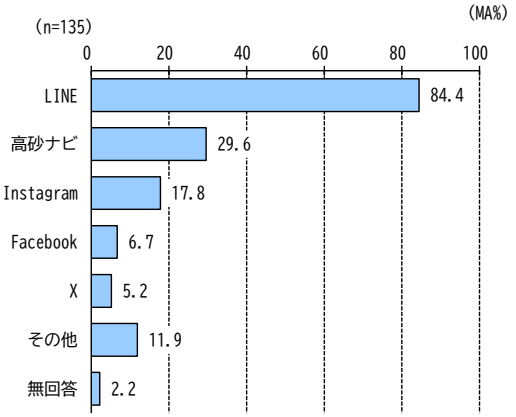


※問12で「１」と答えた方（SNSやアプリを見て情報収集している方）のみにお伺いします。

問13 普段から情報収集に使用しているSNSやアプリは何ですか。（いくつでも○）

【全体】
○　「LINE」が 84.4%で最も多く、次いで「高砂ナビ」が 29.6%、「Instagram」が 17.8%となっています。

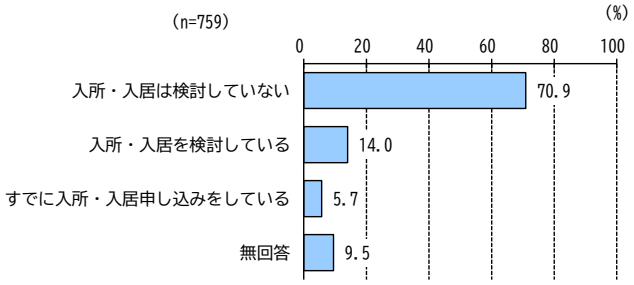
【利用中の SNS・アプリ】



問14 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】
○　「入所・入居は検討していない」が 70.9%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 14.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 5.7%となっています。

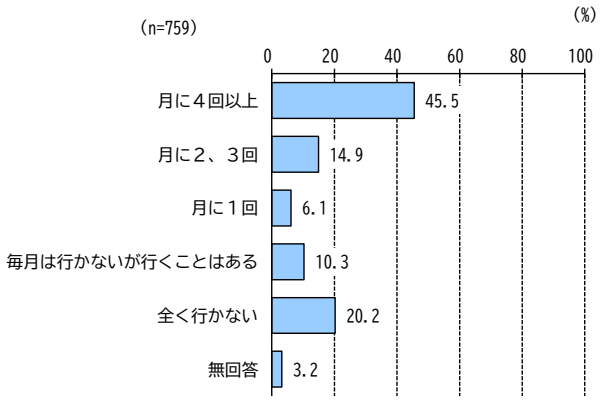
【施設入所の検討状況】



問15 月に何回買物（食料品、日用品、衣料品など）に出かけますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「月に４回以上」が 45.5%で最も多く、次いで「全く行かない」が 20.2%、「月に２、３回」が 14.9%となっています。

【買物の頻度】

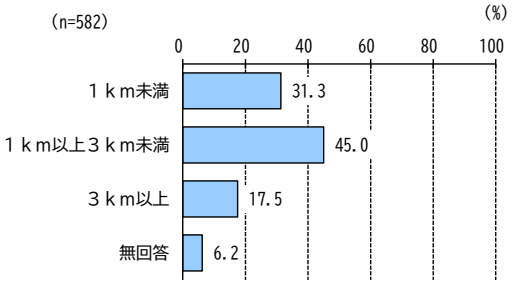


※問15で「１」「２」「３」「４」と答えた方（買物に行く方）にお伺いします。

問16 主に買物に行っている店舗までの距離はどれくらいですか。（１つだけ○）

【全体】
○　「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が 45.0%で最も多く、次いで「１ｋｍ未満」が 31.3%、「３ｋｍ以上」が 17.5%となっています。

【買物先までの距離】

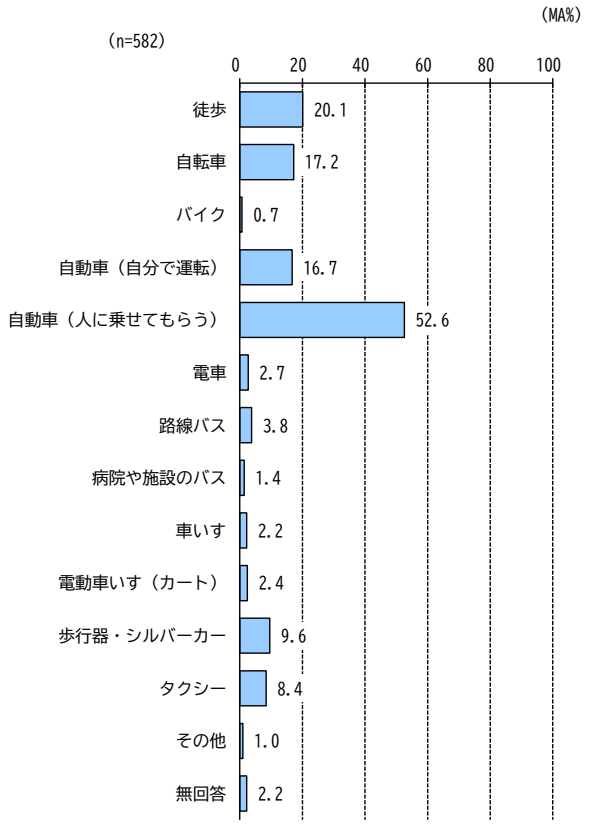


※問15で「１」「２」「３」「４」と答えた方（買物に行く方）にお伺いします。

問17 主に買物に行っている店舗まではどのようにして行きますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「自動車（人に乗せてもらう）」が 52.6%で最も多く、次いで「徒歩」が 20.1%、「自転車」が 17.2%となっています。

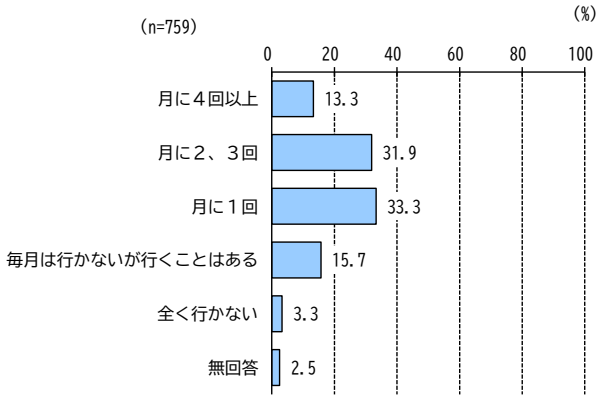
【買物の移動手段】



問18 月に何回通院しますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「月に１回」が 33.3%で最も多く、次いで「月に２、３回」が 31.9%、「毎月は行かないが行くことはある」が 15.7%となっています。

【通院の頻度】

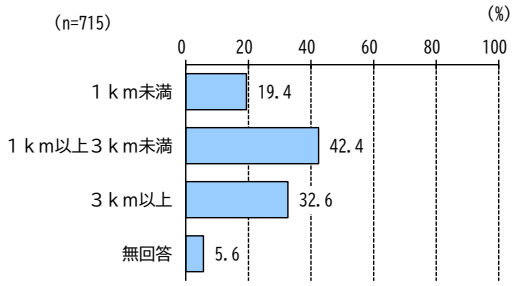


※問18で「１」「２」「３」「４」と答えた方（通院している方）にお伺いします。

問19 主に通っている病院までの距離はどれくらいですか。（１つだけ○）

【全体】
○　「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が 42.4%で最も多く、次いで「３ｋｍ以上」が 32.6%、「１ｋｍ未満」が 19.4%となっています。

【病院までの距離】

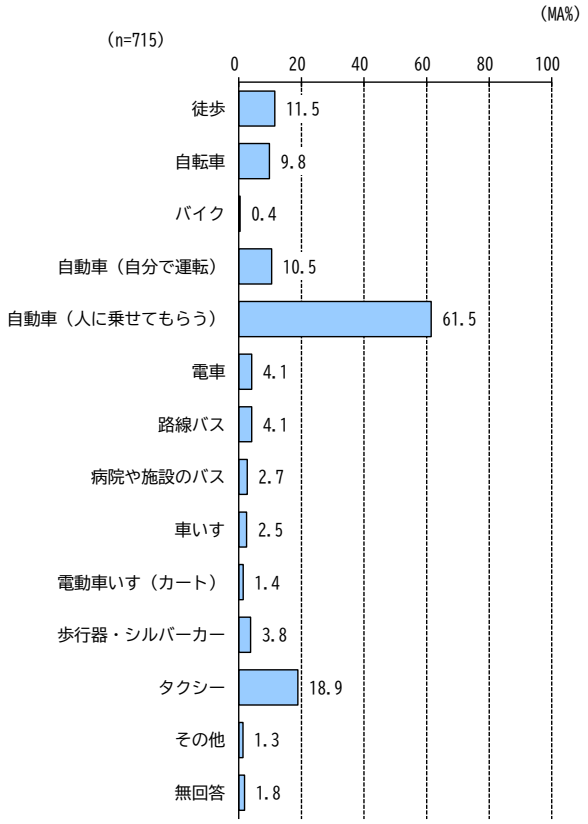


※問18で「１」「２」「３」「４」と答えた方（通院している方）にお伺いします。

問20 主に通っている病院まではどのようにして行きますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「自動車（人に乗せてもらう）」が 61.5%で最も多く、次いで「タクシー」が 18.9%、「徒歩」が 11.5%となっています。

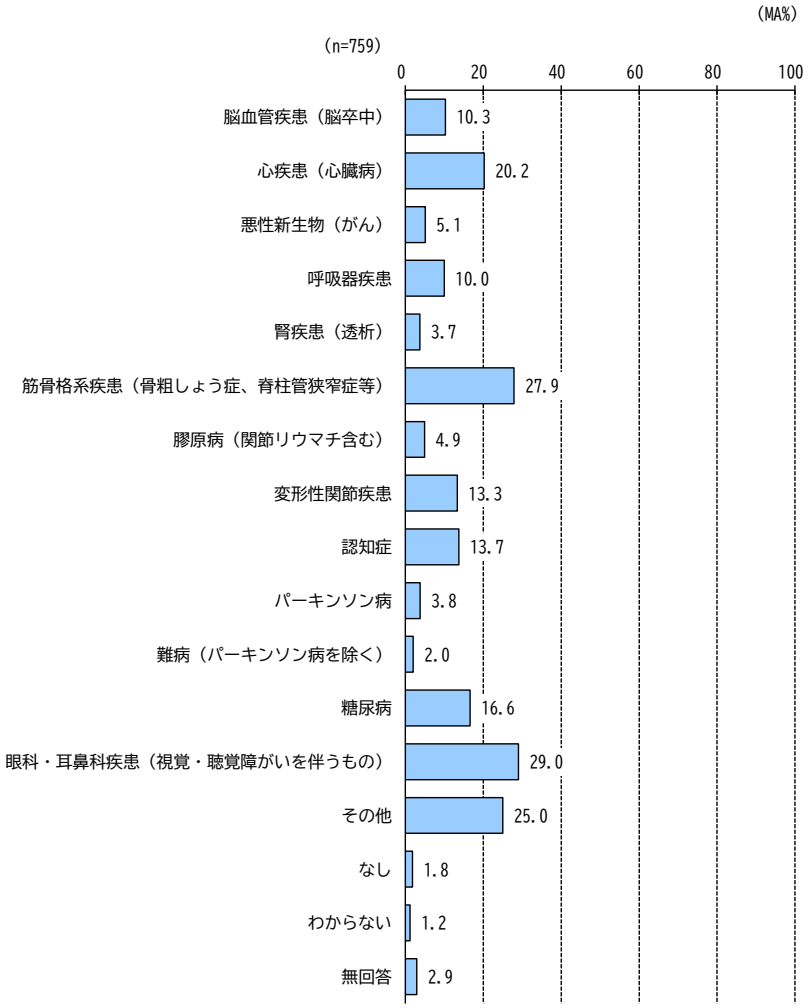
【通院の移動手段】



問21 あて名の本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（いくつでも○）

【全体】
○　「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が 29.0%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 27.9%、「その他」が 25.0%となっています。

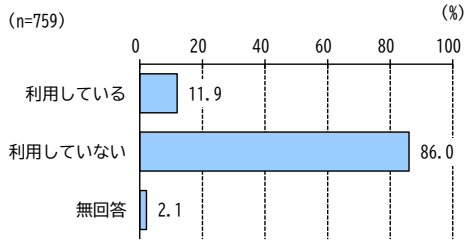
【現在の傷病】



問22 あて名の本人は、現在、訪問診療を利用していますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「利用している」が 11.9%、「利用していない」が 86.0%となっています。

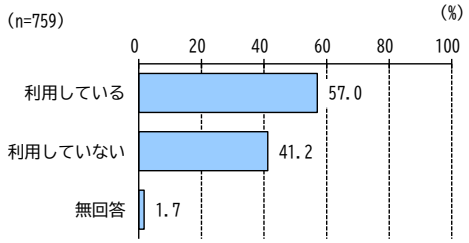
【訪問診療の利用】



問23 あて名の本人は、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「利用している」が 57.0%、「利用していない」が 41.2%となっています。

【介護保険サービスの利用】

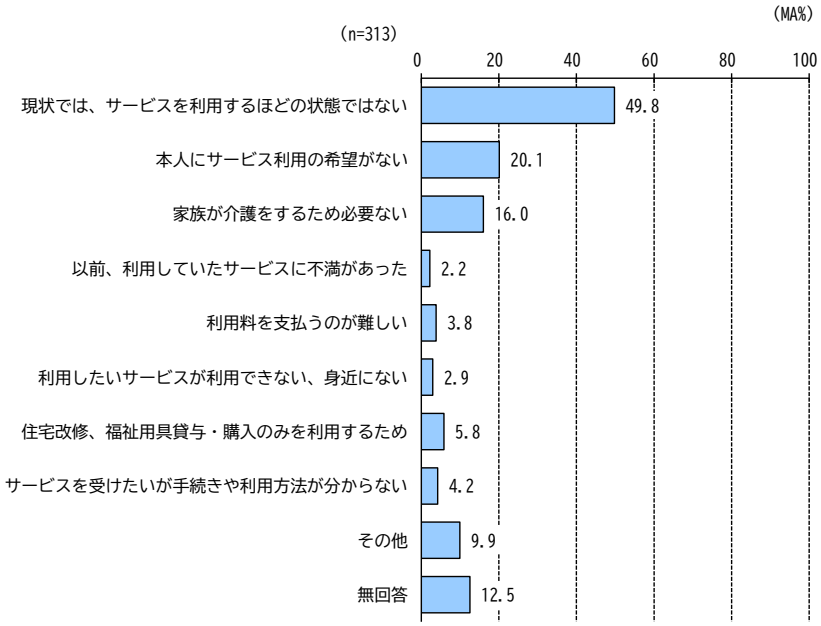


※問23で「２」を選択された方（介護保険サービスを利用していない方）にお伺いします。

問24 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）

【全体】
○　「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 49.8%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 20.1%、「家族が介護をするため必要ない」が 16.0%となっています。

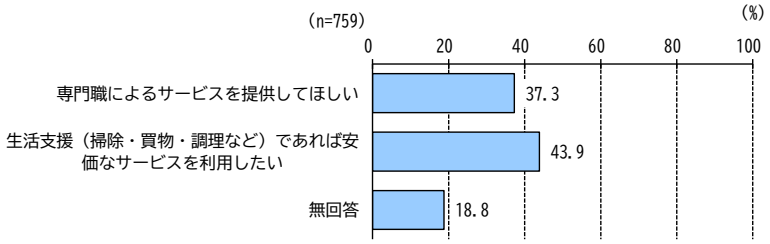
【介護保険サービス未利用の理由】



問25 現在又は将来、訪問介護（ヘルパー）サービスを利用するとすれば、どのようなサービスを利用したいですか。（１つだけ○）

【全体】
○　「専門職によるサービスを提供してほしい」が 37.3%、「生活支援（掃除・買物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」が 43.9%となっています。

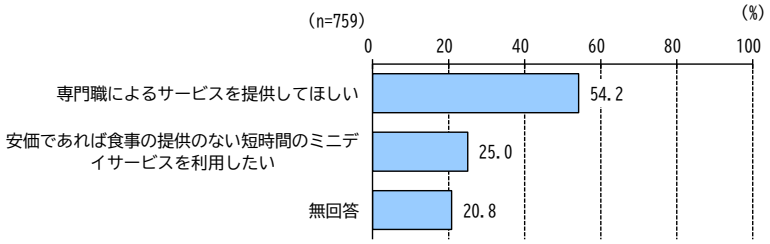
【訪問介護の利用意向】



問26 現在又は将来、通所介護（デイ）サービスを利用するとすれば、どのようなサービスを利用したいですか。（１つだけ○）

【全体】
○　「専門職によるサービスを提供してほしい」が 54.2%、「安価であれば食事の提供のない短時間のミニデイサービスを利用したい」が 25.0%となっています。

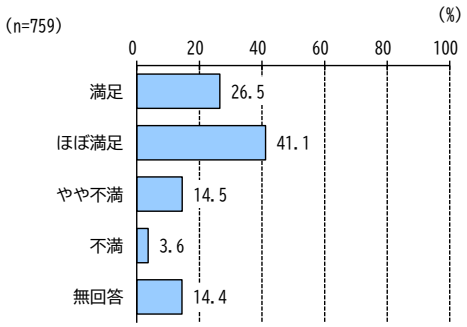
【通所介護の利用意向】



問27 要介護認定の結果について満足していますか。（１つだけ○）

【全体】
○　「ほぼ満足」が 41.1%で最も多く、次いで「満足」が 26.5%、「やや不満」が 14.5%となっています。

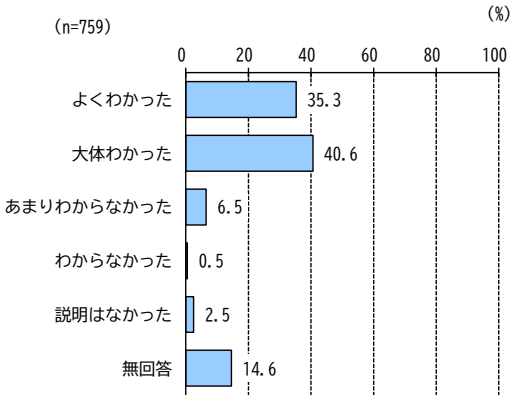
【認定結果への満足度】



問28 ケアプラン作成時において、ケアマネジャーの説明はよくわかりましたか。（１つだけ○）

【全体】
○　「大体わかった」が 40.6%で最も多く、次いで「よくわかった」が 35.3%、「あまりわからなかった」が 6.5%となっています。

【ケアマネジャーの説明の理解】



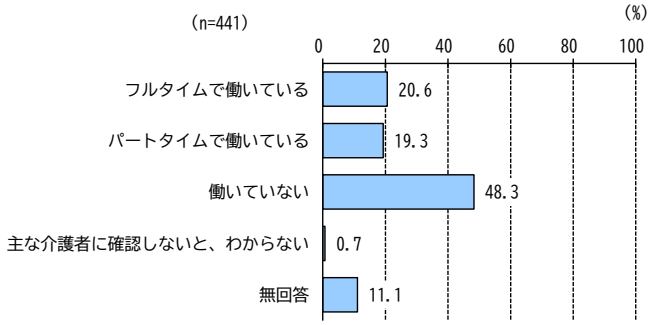
３．主な介護者の方について

※以降、問３で家族や親族からの介護があると答えた人のみ回答

問30 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（１つだけ○）

【全体】
○　「働いていない」が 48.3%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 20.6%、「パートタイムで働いている」が 19.3%となっています。

【主な介護者の勤務形態】

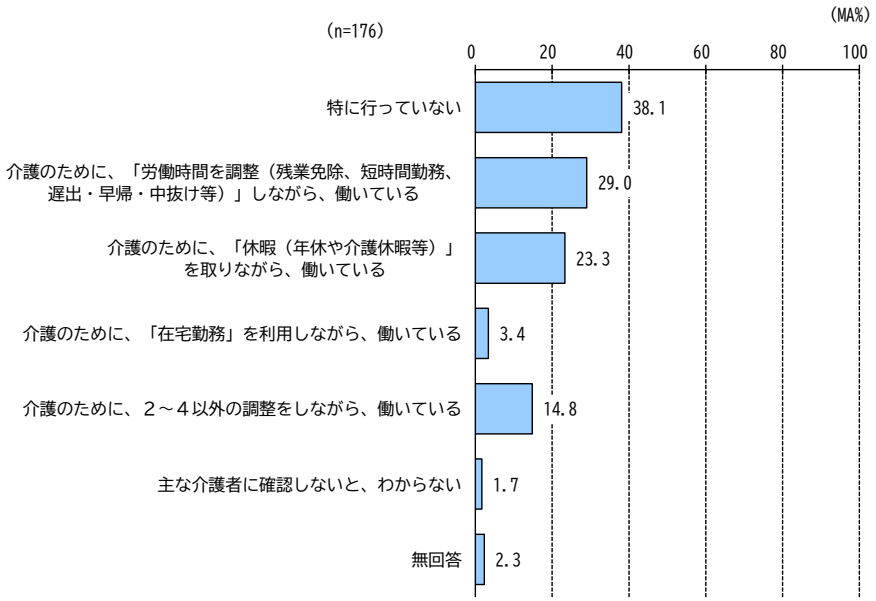


※問30で「１」「２」と回答した方にお伺いします。

問31 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（いくつでも○）

【全体】
○　「特に行っていない」が 38.1%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 29.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 23.3%となっています。

【主な介護者の仕事と介護の調整】

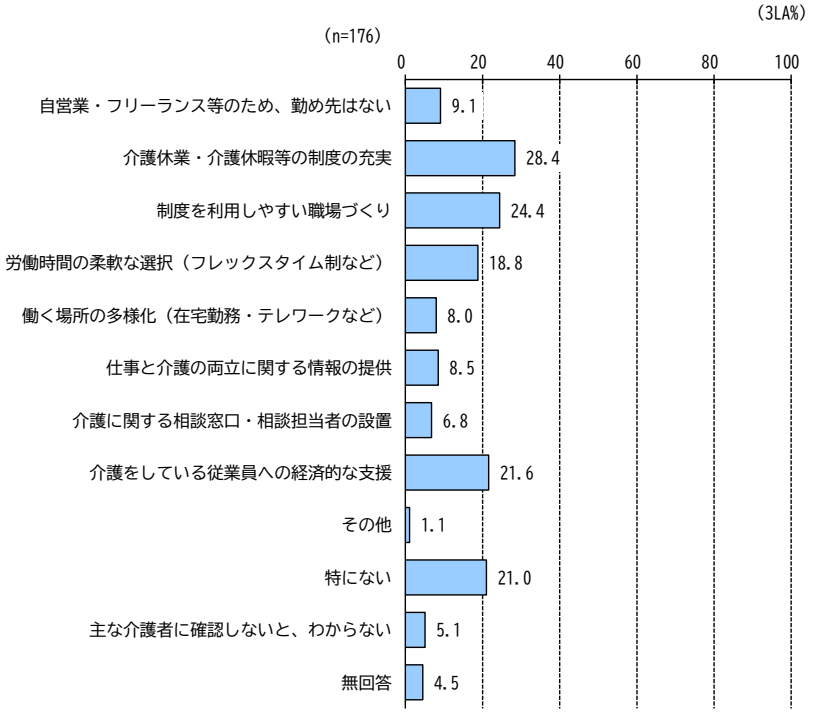


※問30で「１」「２」と回答した方にお伺いします。

問32 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（３つまで○）

【全体】
○　「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 28.4%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 24.4%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 21.6%となっています。

【仕事と介護の両立支援】

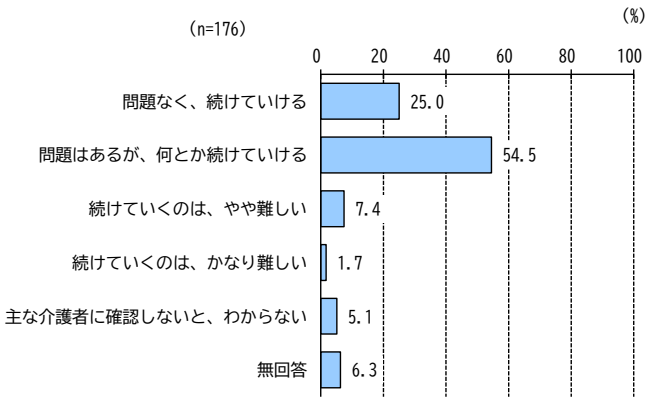


※問30で「１」「２」と回答した方にお伺いします。

問33 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つだけ○）

【全体】
○　「問題はあるが、何とか続けていける」が 54.5%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 25.0%、「続けていくのは、やや難しい」が 7.4%となっています。

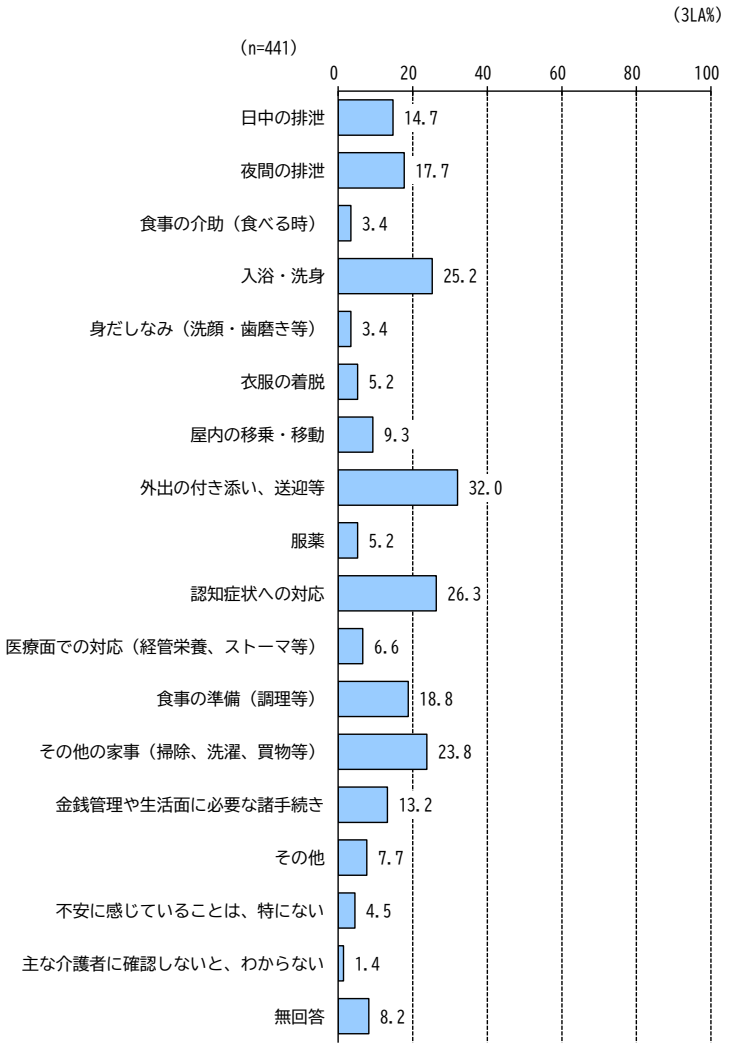
【主な介護者の就労継続】



問34 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）　（３つまで○）

【全体】
○　「外出の付き添い、送迎等」が 32.0%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が 26.3%、「入浴・洗身」が 25.2%となっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等】



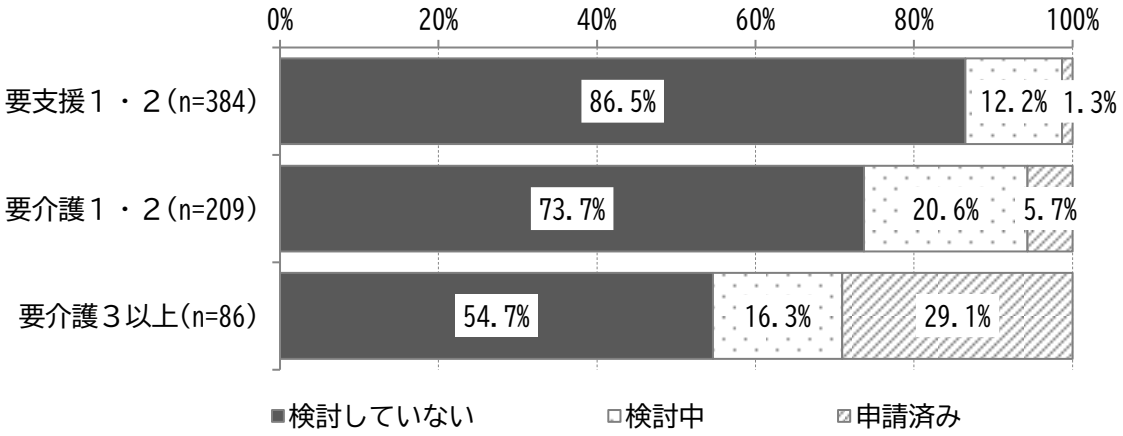
４．調査結果と認定データを使用した個別クロスについて

１．在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

（１）施設等の検討状況

○　施設等の検討状況を要介護度別にみると、要支援１・２は「入所・入居は検討していない」、要介護１・２は「入所・入居を検討している」、要介護３以上は「すでに入所・入居申し込みをしている」が他と比べて多くなっています。

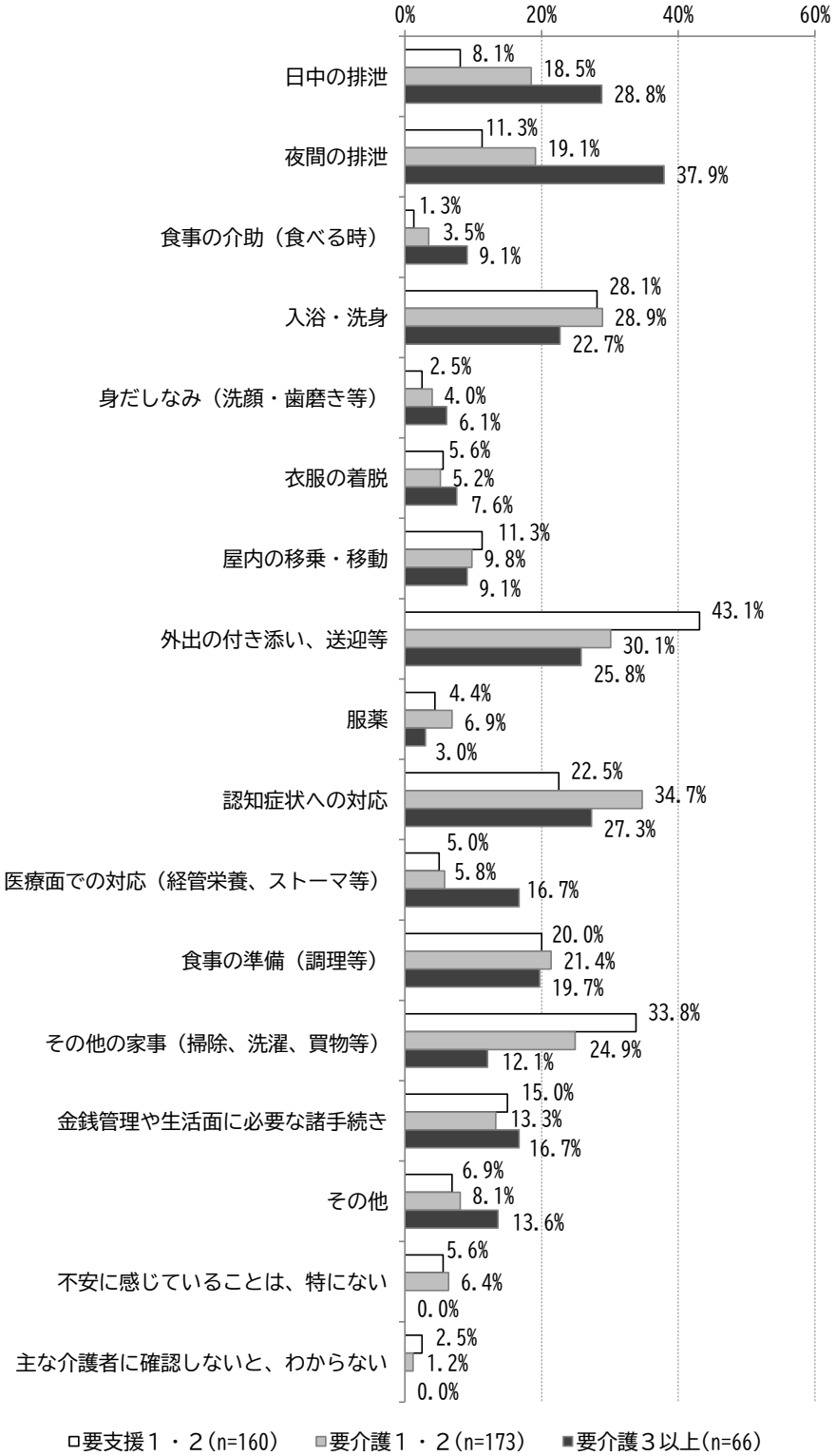
【要介護度別・施設等の検討状況】



（２）要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

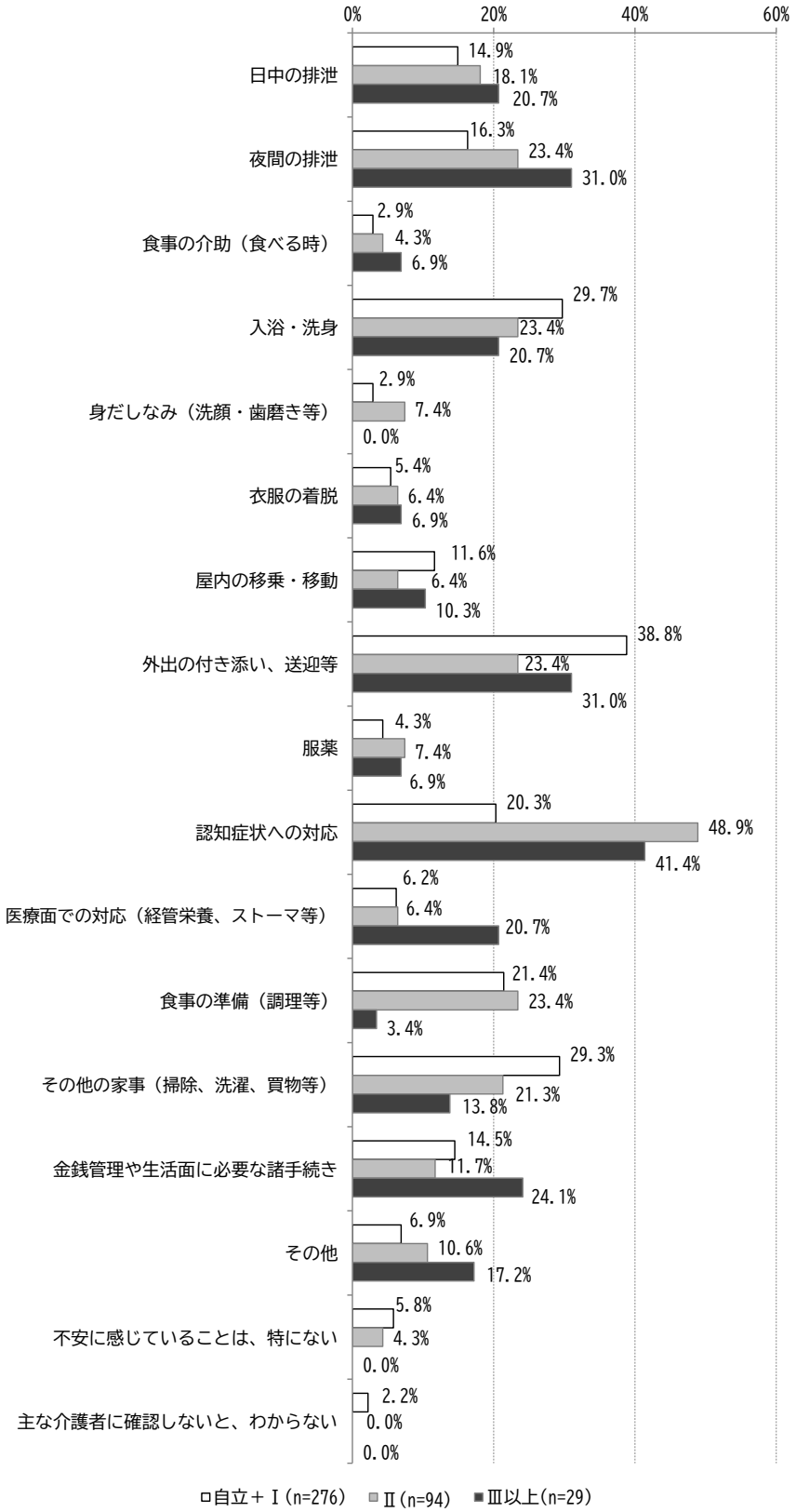
○　介護者が不安に感じる介護を要介護度別にみると、要支援１・２は「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」、要介護１・２は「認知症状への対応」、要介護３以上は「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】



○　介護者が不安に感じる介護を認知症自立度別にみると、自立＋Ⅰは「外出の付き添い、送迎等」、Ⅱは「認知症状への対応」、Ⅲ以上は「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が他と比べて多くなっています。

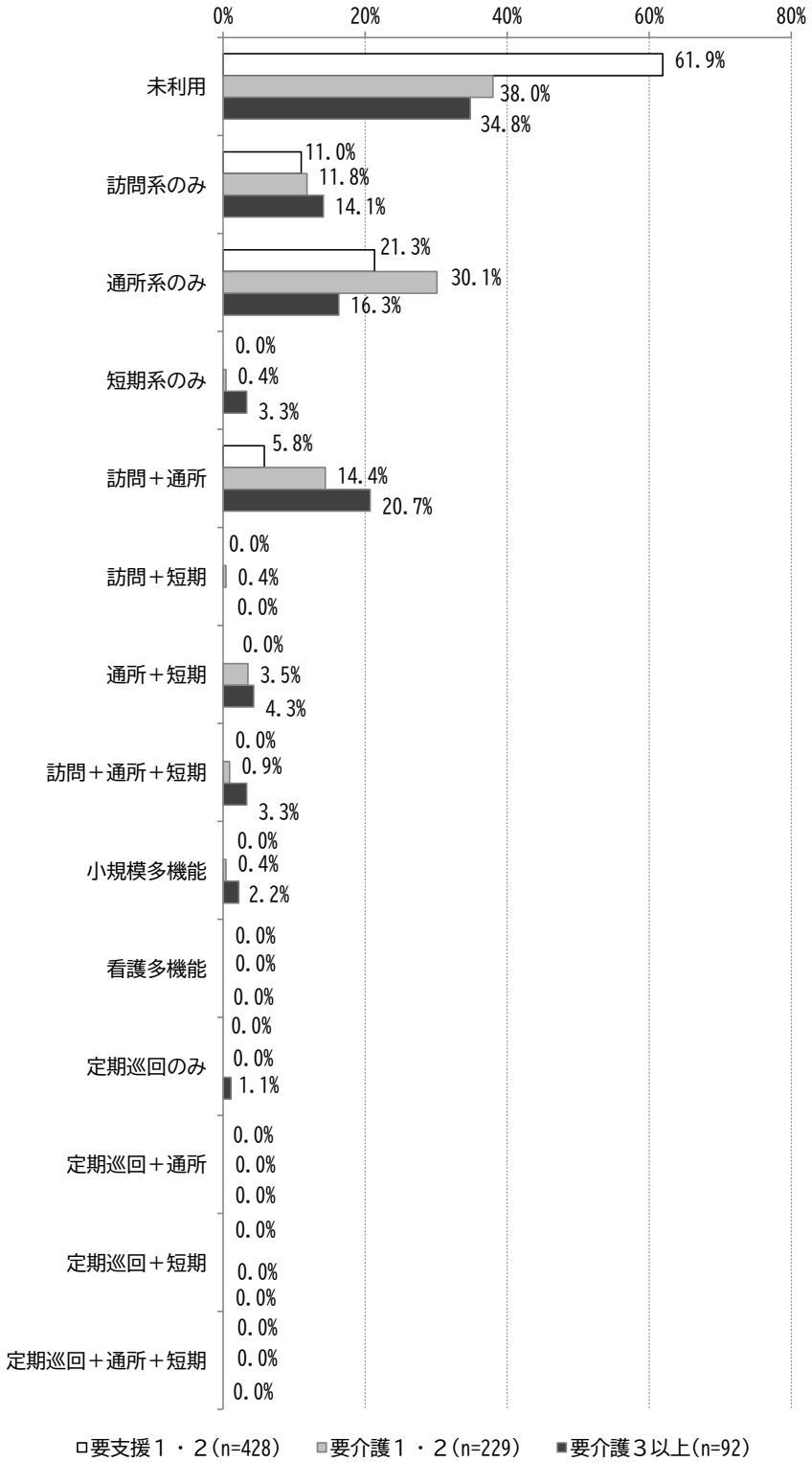
【認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護】



（３）要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

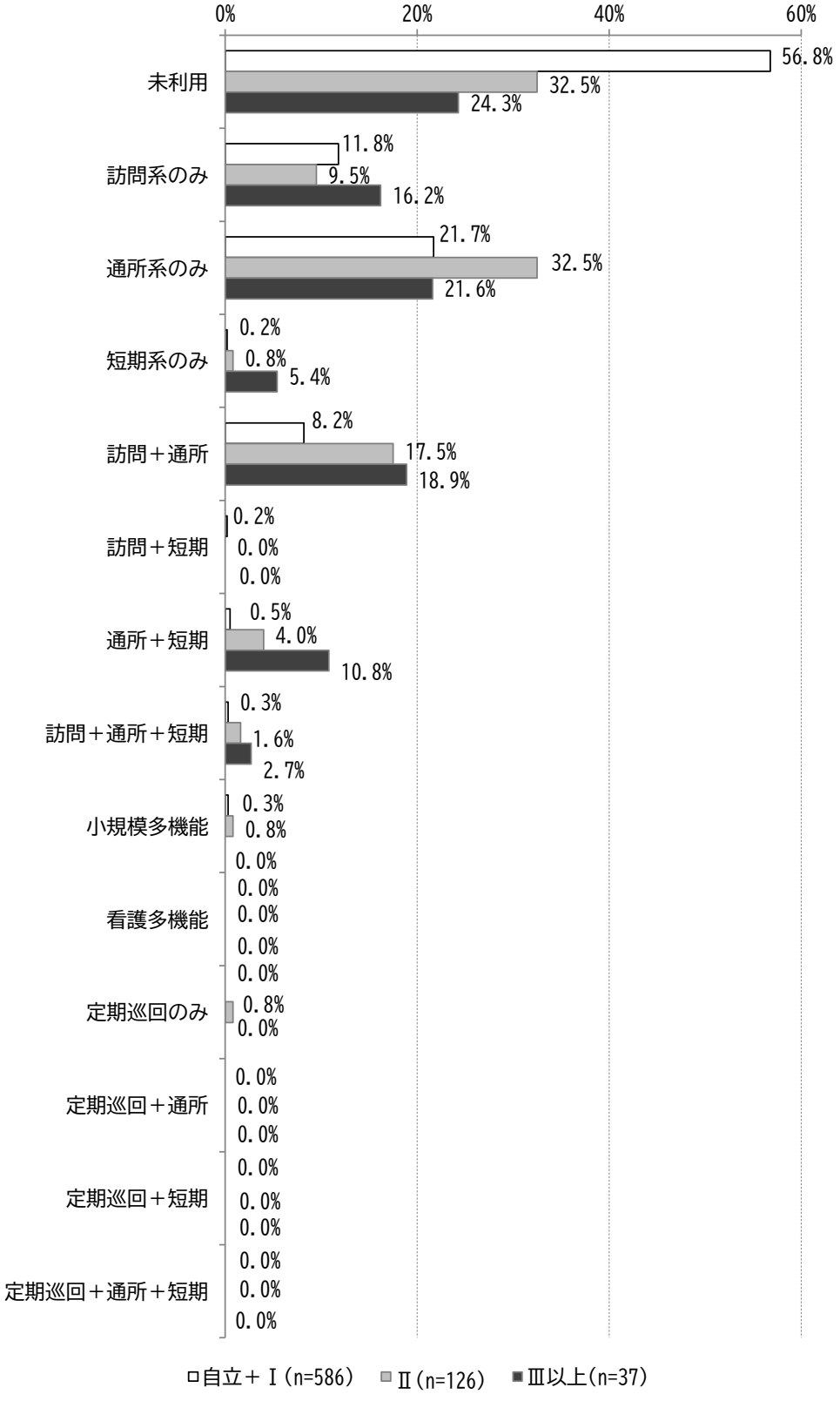
○　サービス利用の組み合わせを要介護度別にみると、要支援１・２は「未利用」、要介護１・２は「通所系のみ」「訪問＋通所」「通所＋短期」、要介護３以上は「短期系のみ」「訪問＋通所」「通所＋短期」「訪問＋通所＋短期」「小規模多機能」「定期巡回のみ」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】



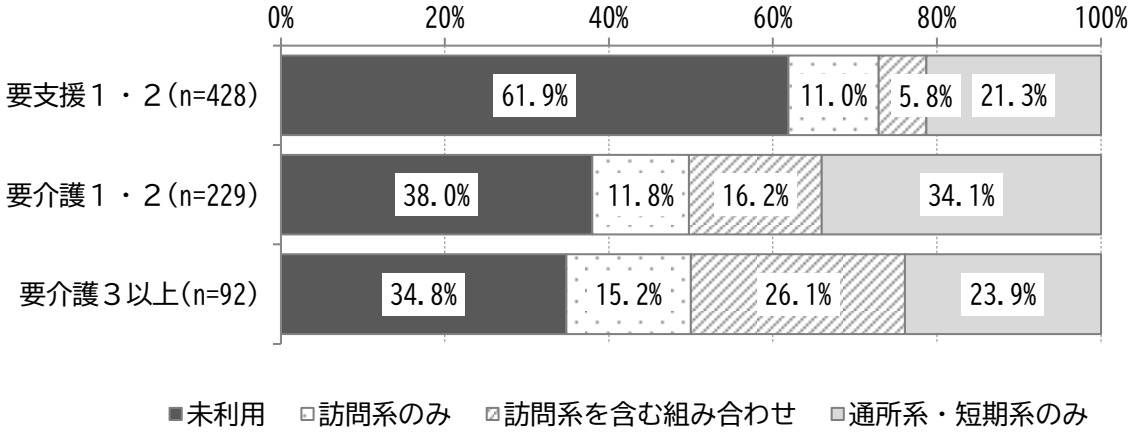
○　サービス利用の組み合わせを認知症自立度別にみると、自立＋Ⅰは「未利用」が他と比べて多く、「訪問＋通所」が他と比べて少なくなっています。Ⅱは「通所系のみ」「通所＋短期」「定期巡回のみ」、Ⅲ以上は「短期系のみ」「通所＋短期」が他と比べて多くなっています。

【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】



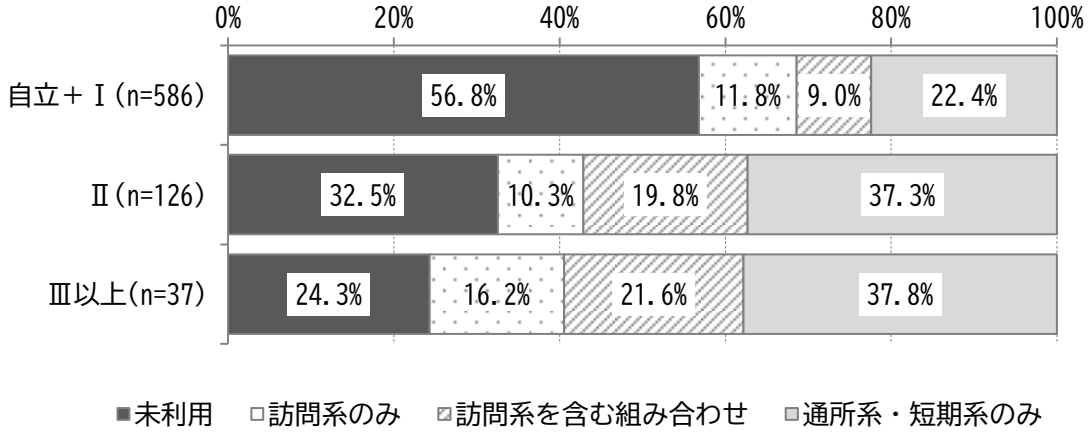
○　サービス利用の組み合わせを要介護度別にみると、要支援１・２は「未利用」、要介護１・２は「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」、要介護３以上は「訪問系を含む組み合わせ」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】



○　サービス利用の組み合わせを認知症自立度別にみると、自立＋Ⅰは「未利用」が他と比べて多く、「通所系・短期系のみ」が他と比べて少なくなっています。Ⅱは「訪問系を含む組み合わせ」、Ⅲ以上は「訪問系を含む組み合わせ」が他と比べて多くなっています。

【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

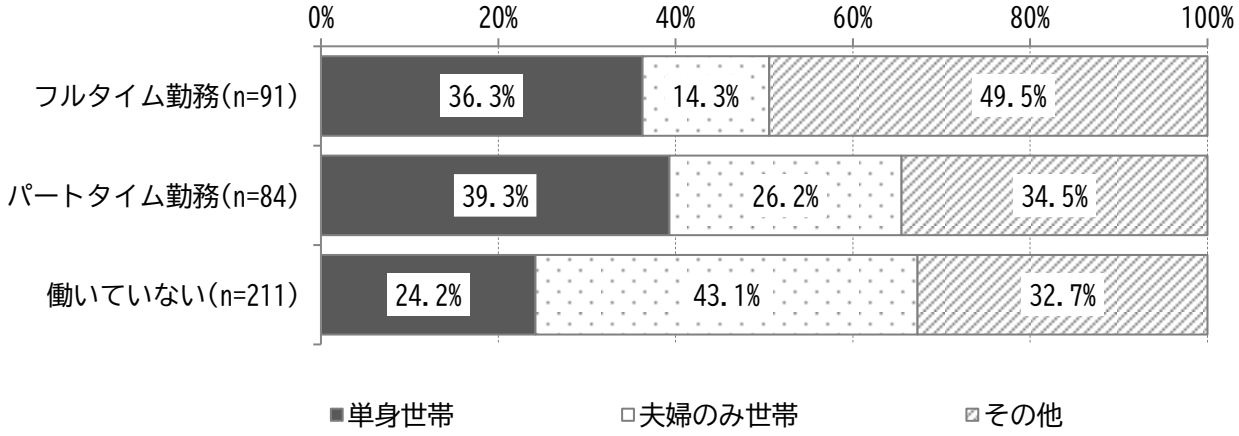


２．仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

（１）介護者の就労状況別の属性

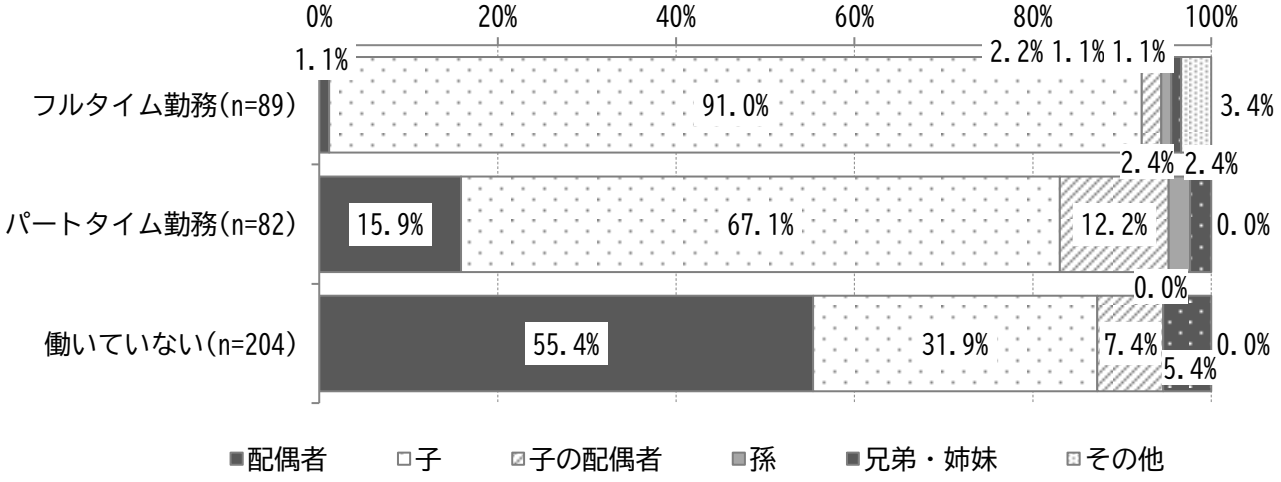
○　世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、フルタイムは「その他」、パートタイムは「単身世帯」、働いていないは「夫婦のみ世帯」が他と比べて多くなっています。

【就労状況別・世帯類型】



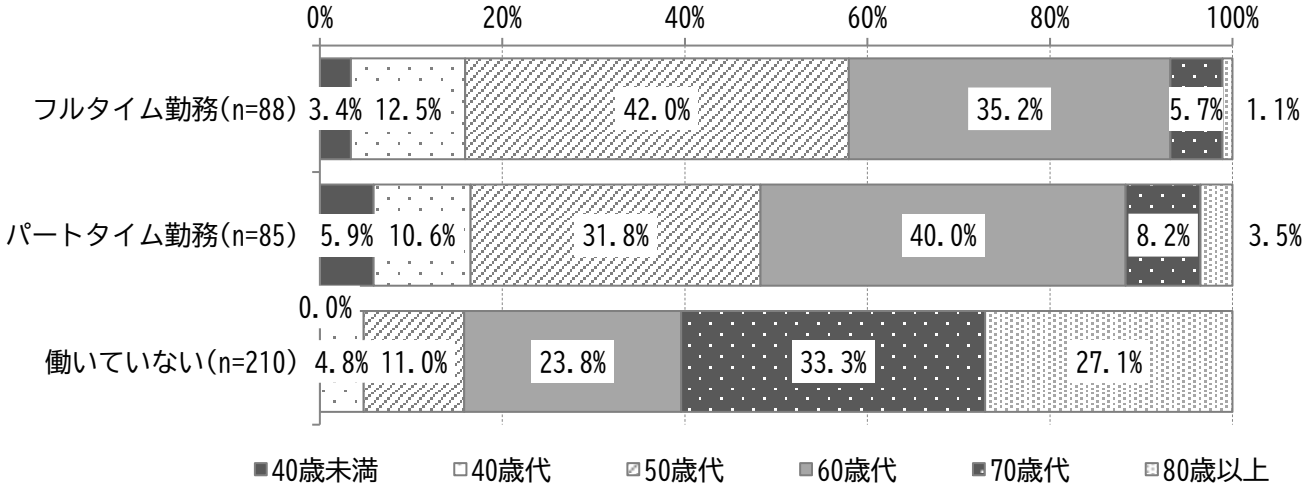
○　主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、フルタイムは「子」「その他」、パートタイムは「子」「子の配偶者」、働いていないは「配偶者」が他と比べて多くなっています。

【就労状況別・主な介護者の本人との関係】



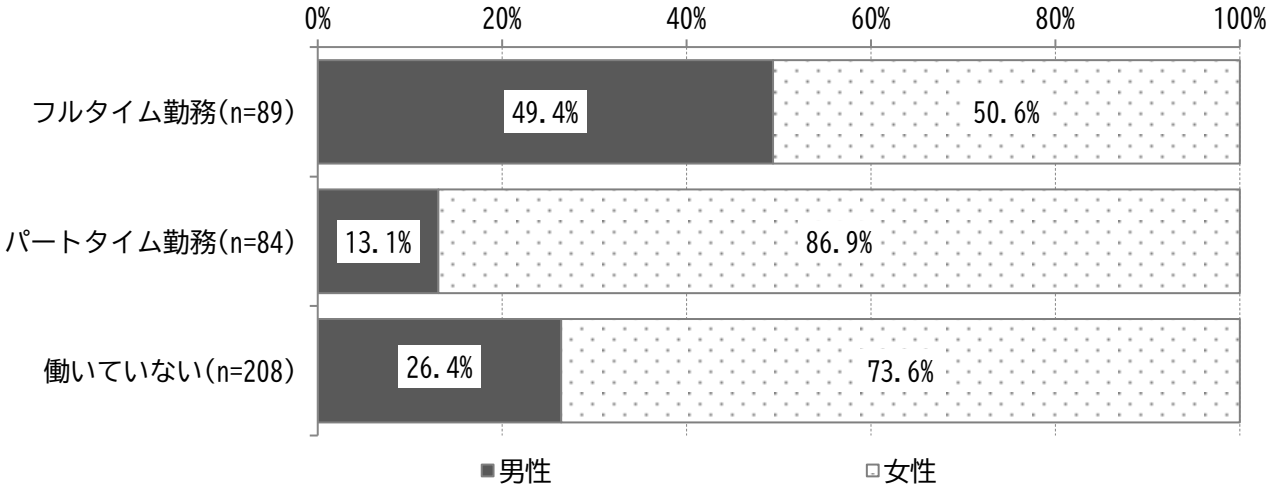
○ 介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、フルタイムは「50 歳代」、パートタイムは「40 歳未満」「50 歳代」「60 歳代」、働いていないは「70 歳代」「80 歳以上」が他と比べて多くなっています。

【就労状況別・主な介護者の年齢】



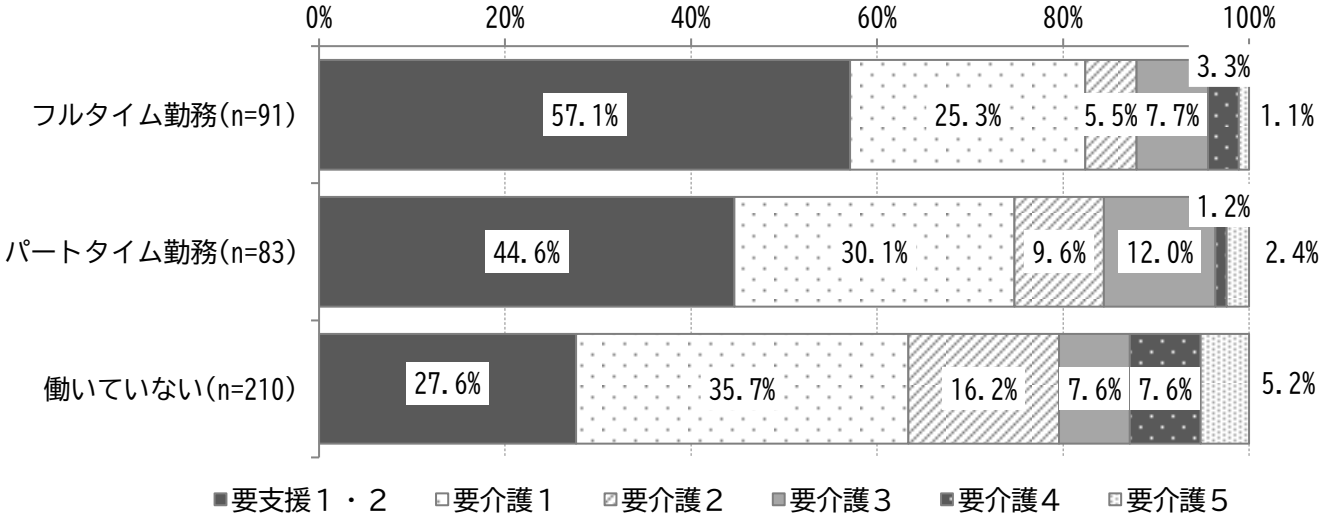
○ 介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、フルタイムは「男性」、パートタイムは「女性」が他と比べて多くなっています。

【就労状況別・主な介護者の性別】



○　要介護度を介護者の勤務形態別にみると、フルタイムは「要支援１・２」、働いていないは「要介護２」「要介護４」が他と比べて多くなっています。

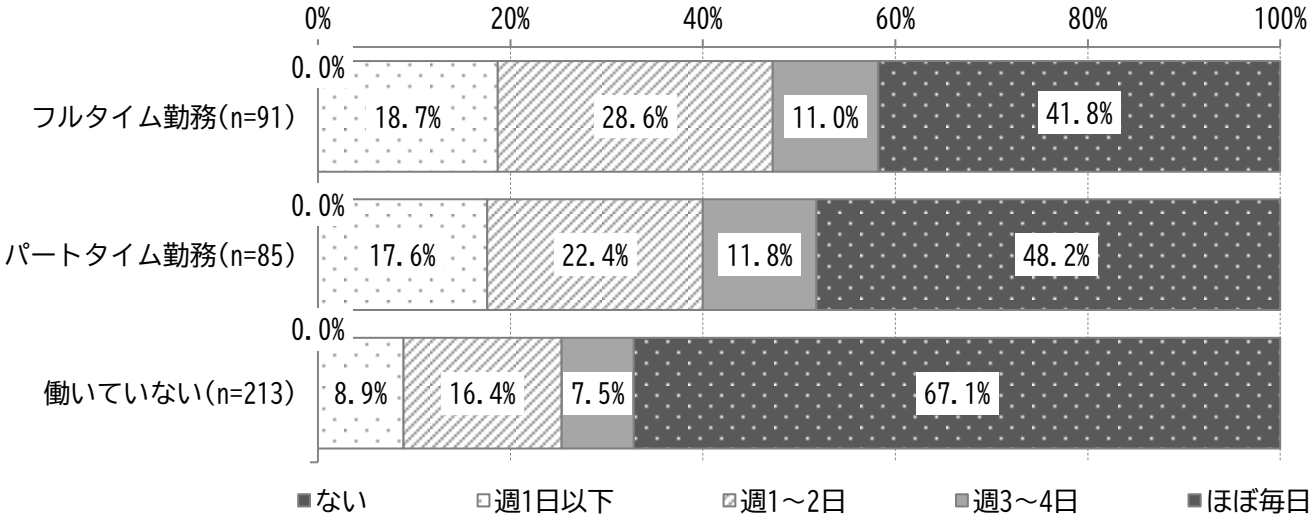
【就労状況別・要介護度】



（２)介護者の就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

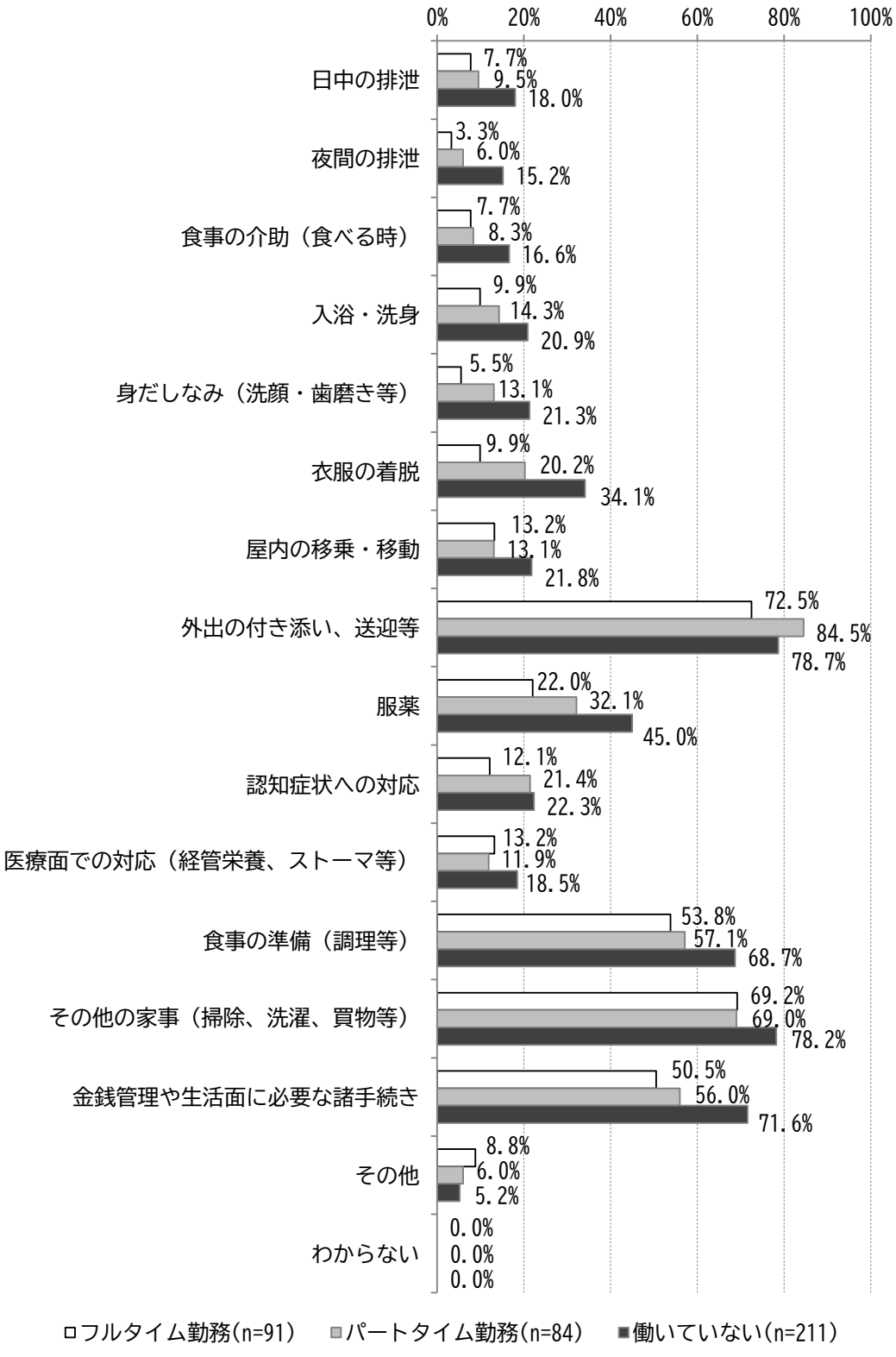
○　家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、フルタイムは「週に１～２日ある」、働いていないは「ほぼ毎日ある」が他と比べて多くなっています。

【就労状況別・家族等の介護の頻度】



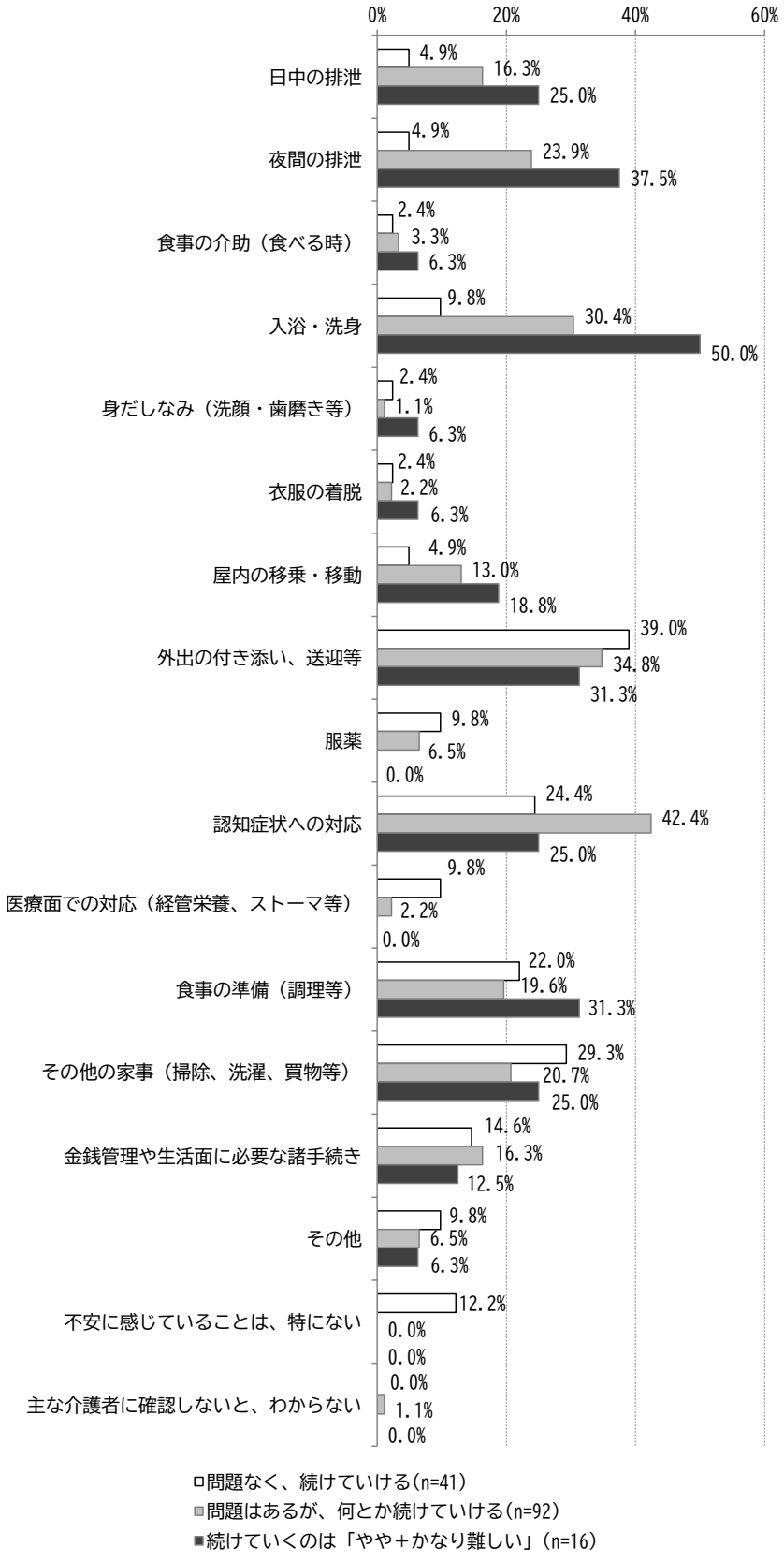
○　介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、働いていないは「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「服薬」「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が他と比べて多くなっています。

【就労状況別・主な介護者が行っている介護】



○　介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」は「不安に感じていることは、特にない」、「続けていくのは、やや難しい＋かなり難しい」は「入浴・洗身」が他と比べて多くなっています。

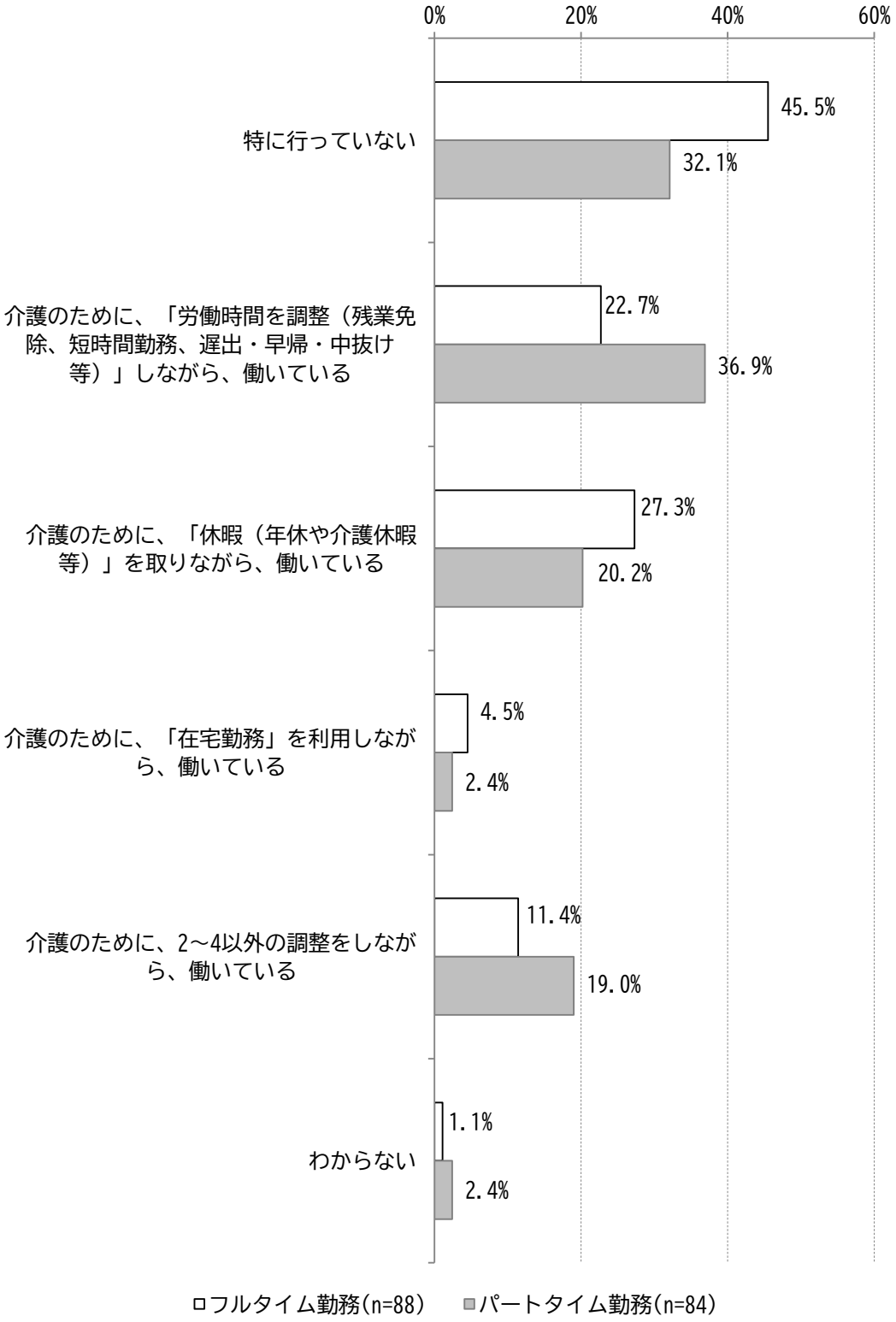
【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】



（３）就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

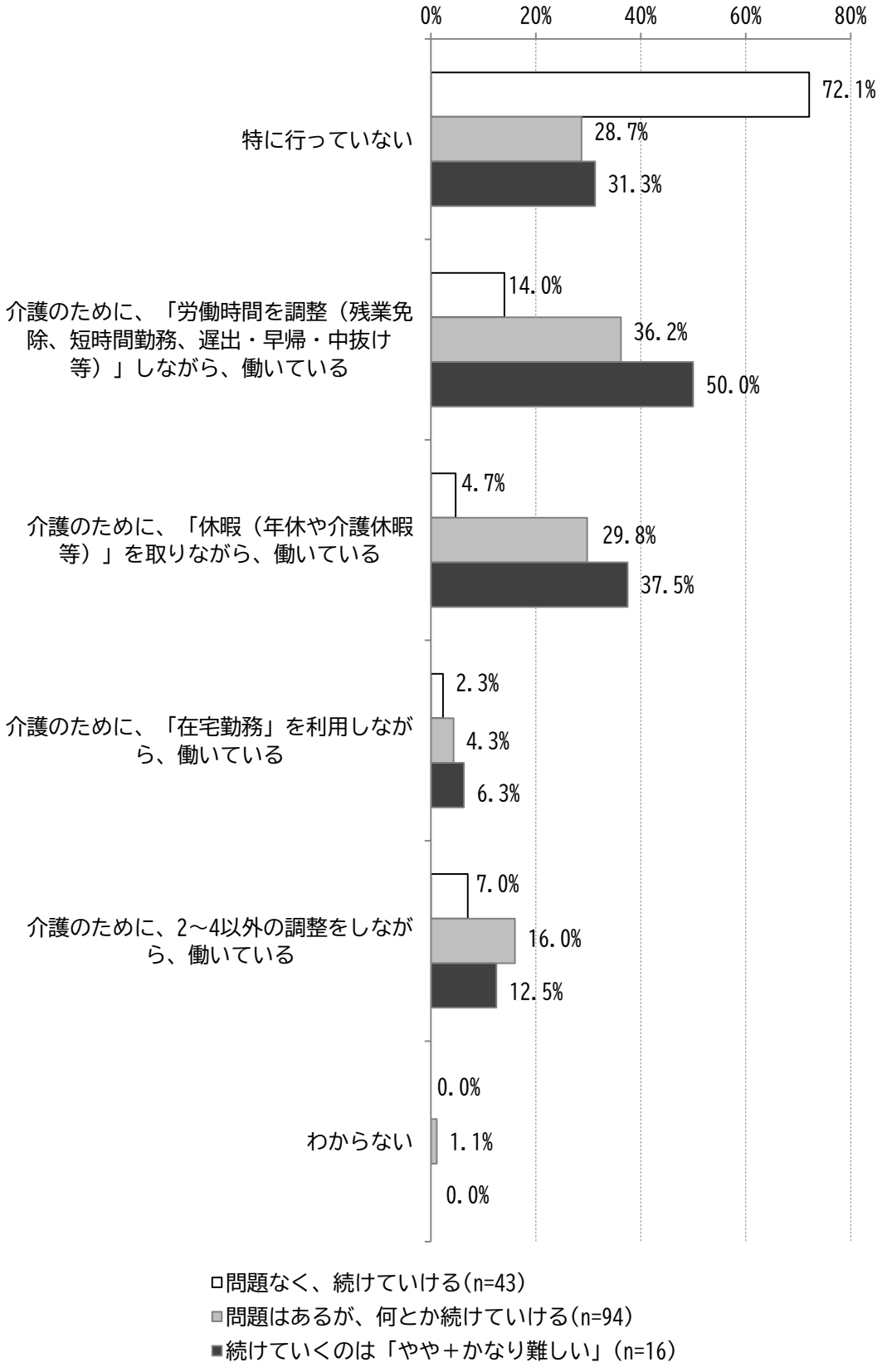
○　介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、パートタイムは「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が他と比べて多くなっています。

【就労状況別・介護のための働き方の調整】



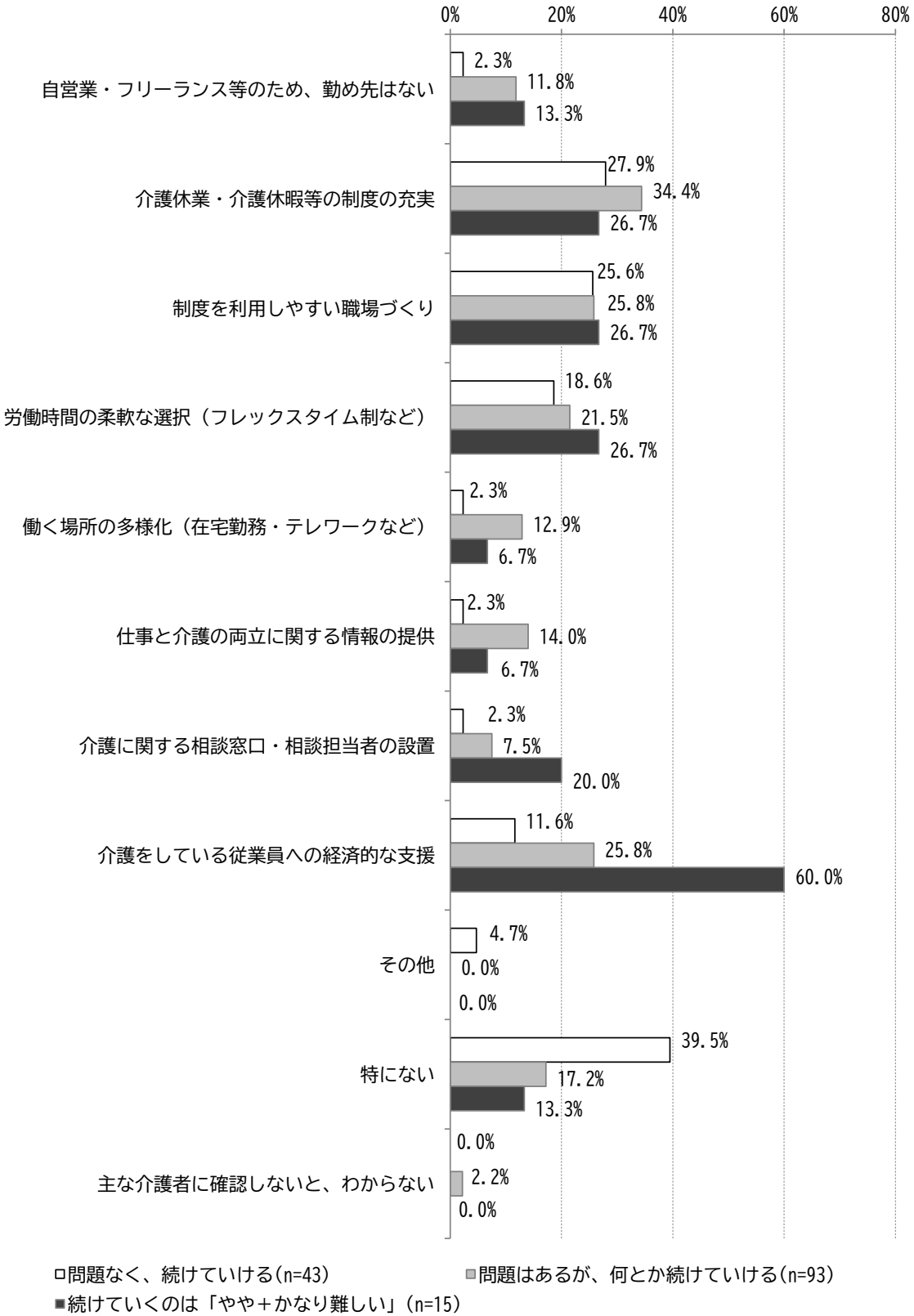
○　介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」は「特に行っていない」が他と比べて多く、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が他と比べて少なくなっています。

【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】



○　効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」は「特にない」、「続けていくのは、やや難しい＋かなり難しい」は「介護をしている従業員への経済的な支援」が他と比べて多くなっています。

【就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

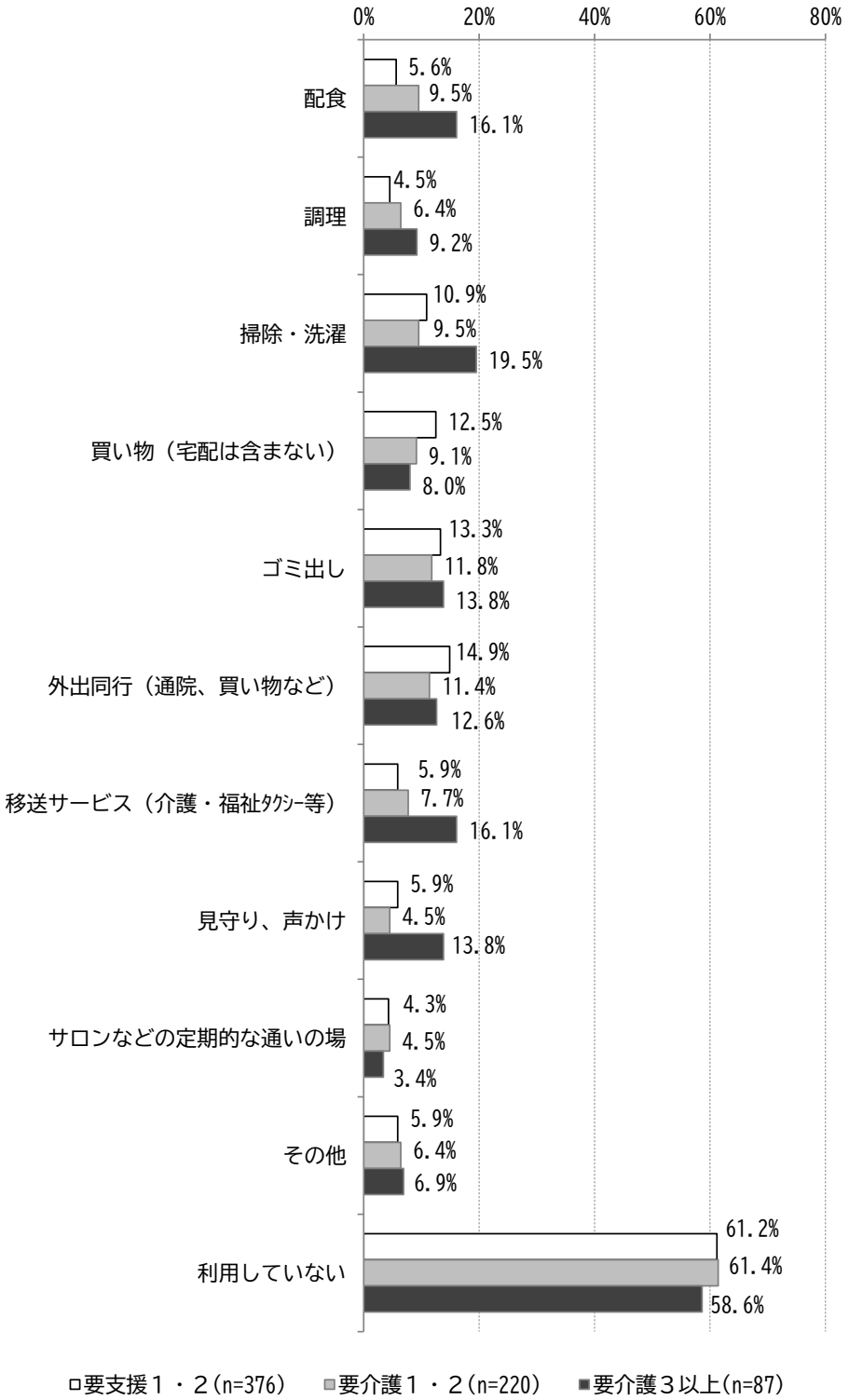


３．保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

（１）保険外の支援・サービスの利用状況

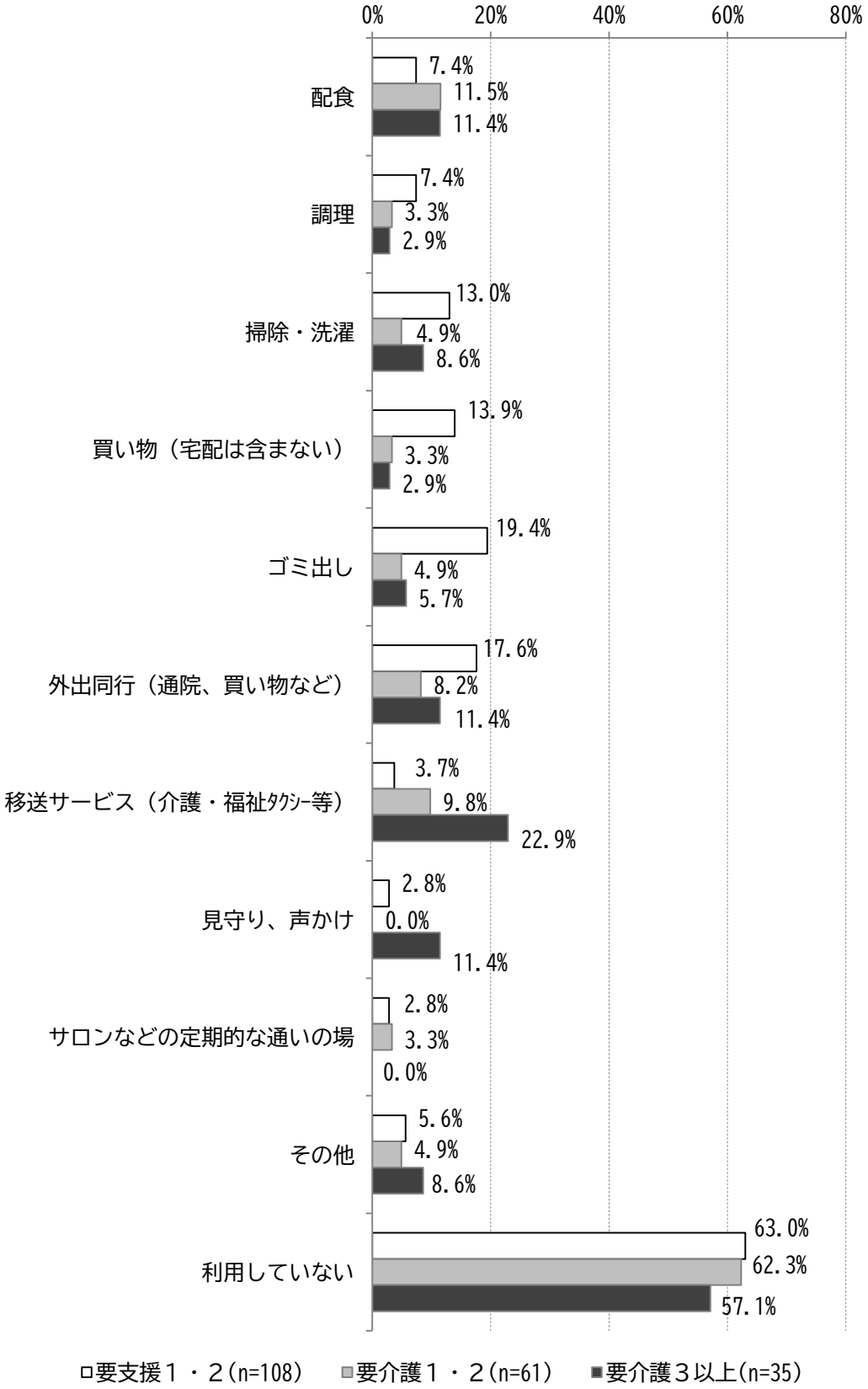
○　保険外の支援・サービスの利用状況を要介護度別にみると、要介護３以上は「配食」「掃除・洗濯」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況】



○　夫婦のみ世帯で、保険外の支援・サービスの利用状況を要介護度別にみると、要支援１・２は「買物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」、要介護３以上は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」が他と比べて多くなっています。

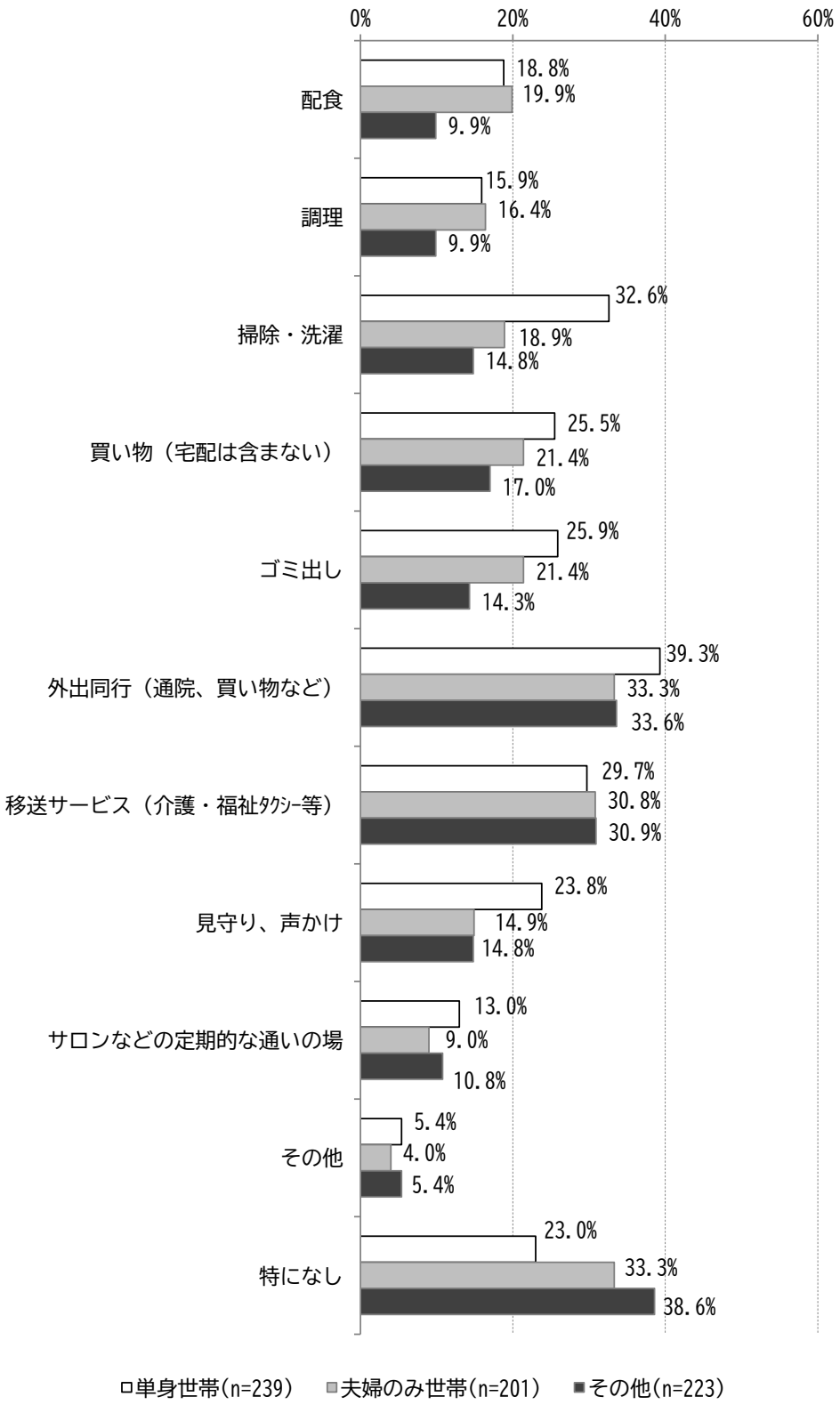
【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）】



（２）在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

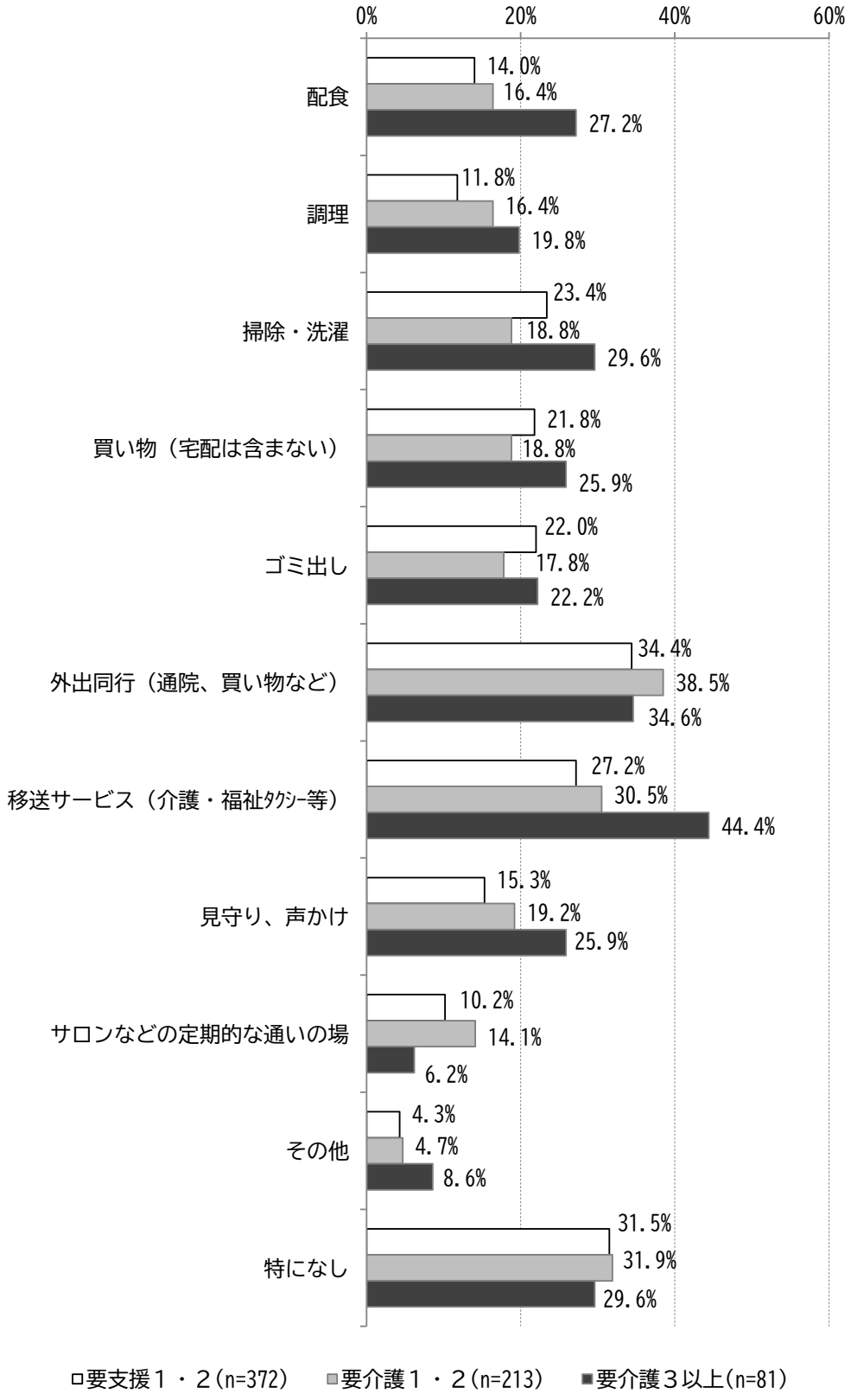
○　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを世帯類型別にみると、単身世帯は「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「見守り、声かけ」、その他は「特になし」が他と比べて多くなっています。

【世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



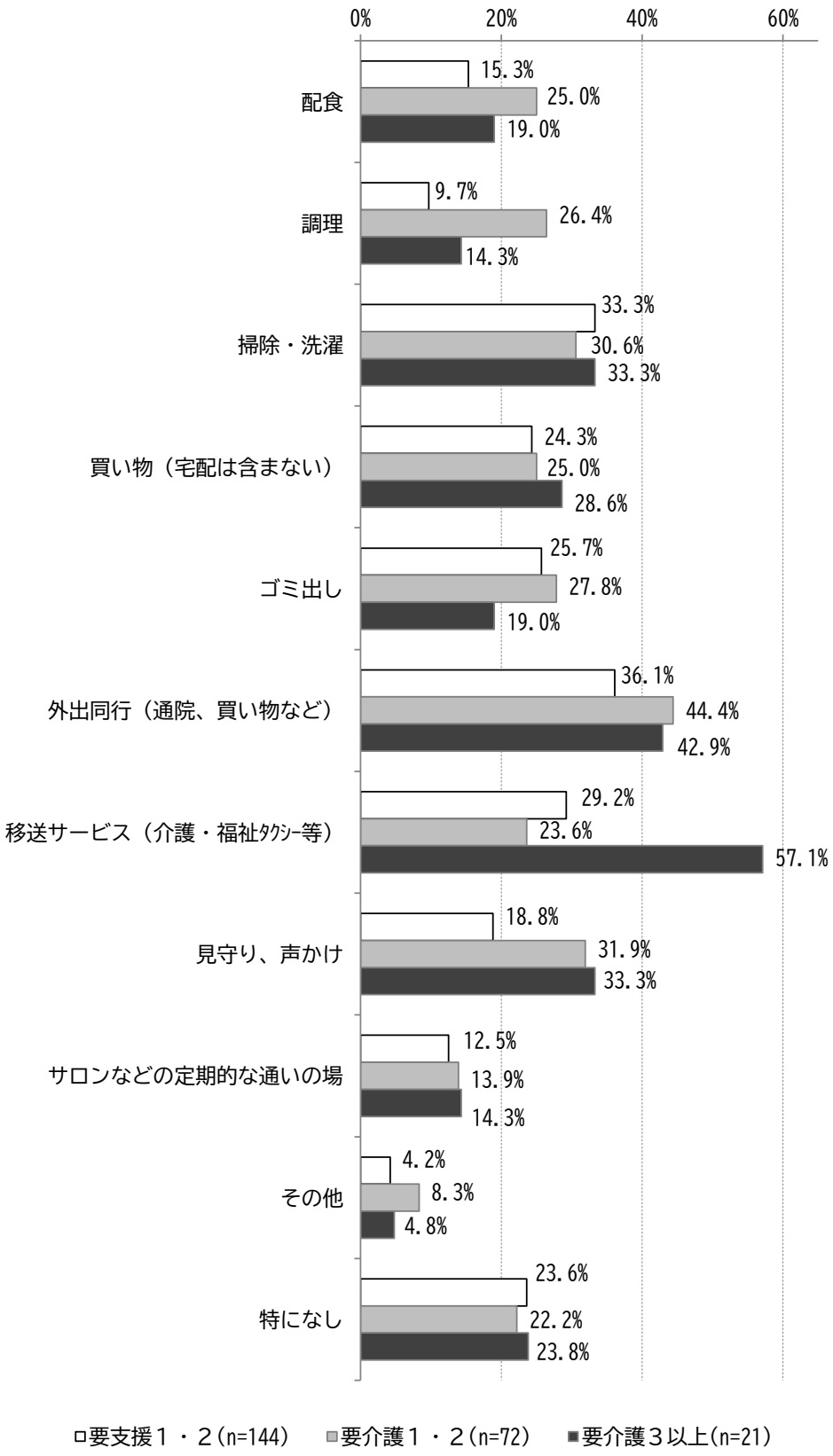
○　在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを要介護度別にみると、要介護３以上は「配食」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



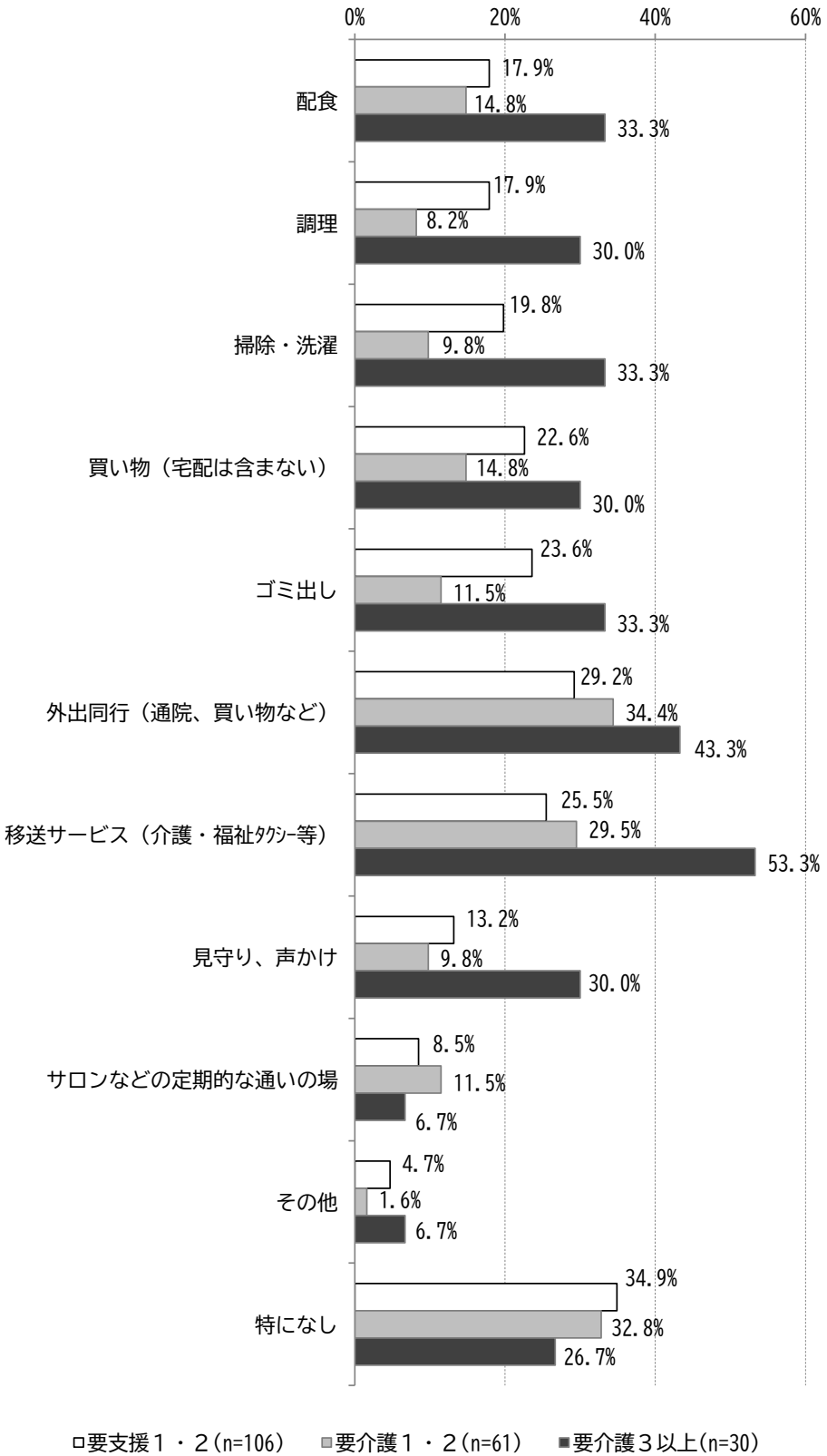
○　単身世帯で、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを要介護度別にみると、要介護１・２は「調理」、要介護３以上は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（単身世帯）】



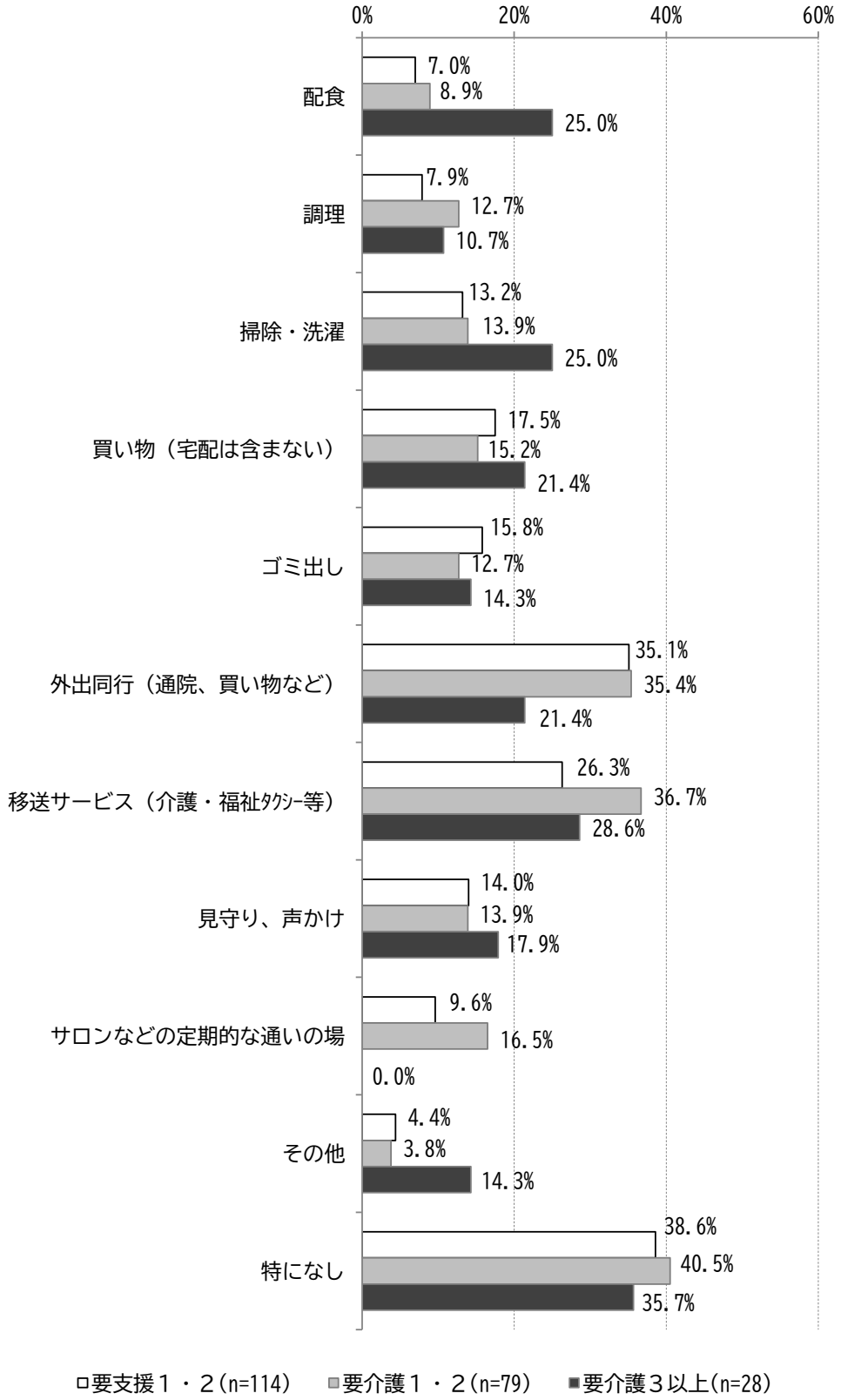
○　夫婦のみ世帯で、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを要介護度別にみると、要介護３以上は「調理」「掃除・洗濯」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り、声かけ」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）】



○　その他世帯で、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを要介護度別にみると、要介護１・２は「サロンなどの定期的な通いの場」、要介護３以上は「配食」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（その他世帯）】

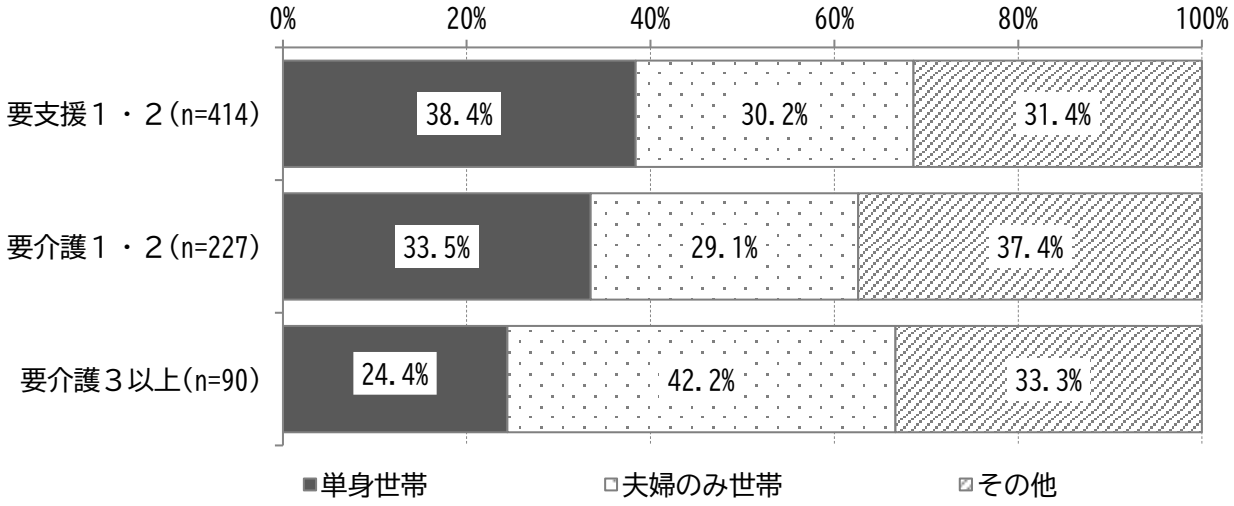


４．将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

（１）世帯類型と要介護度の関係

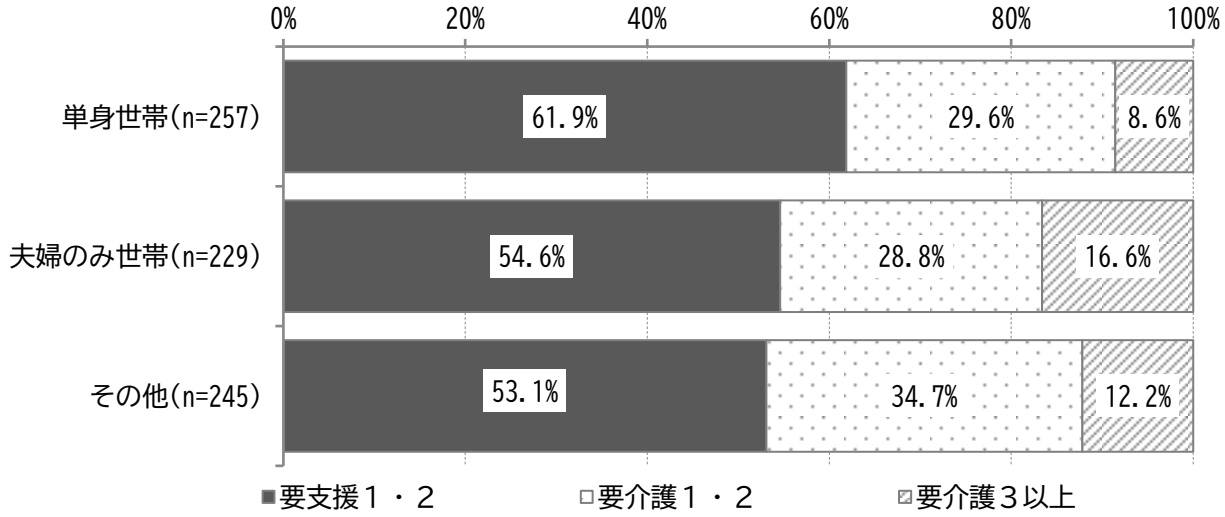
○　世帯類型を要介護度別にみると、要支援１・２は「単身世帯」、要介護３以上は「夫婦のみ世帯」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・世帯類型】



○　要介護度を世帯類型別にみると、単身世帯は「要支援１・２」、夫婦のみ世帯は「要介護３以上」が他と比べて多くなっています。

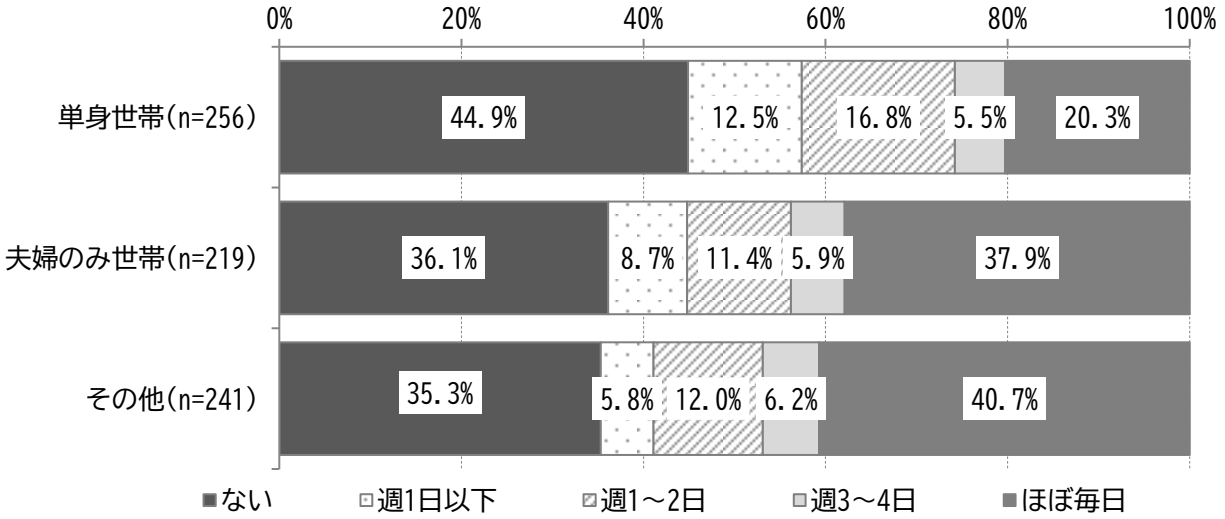
【世帯類型別・要介護度】



（２）「要介護度別・世帯類型別」の「家族等の介護の頻度」

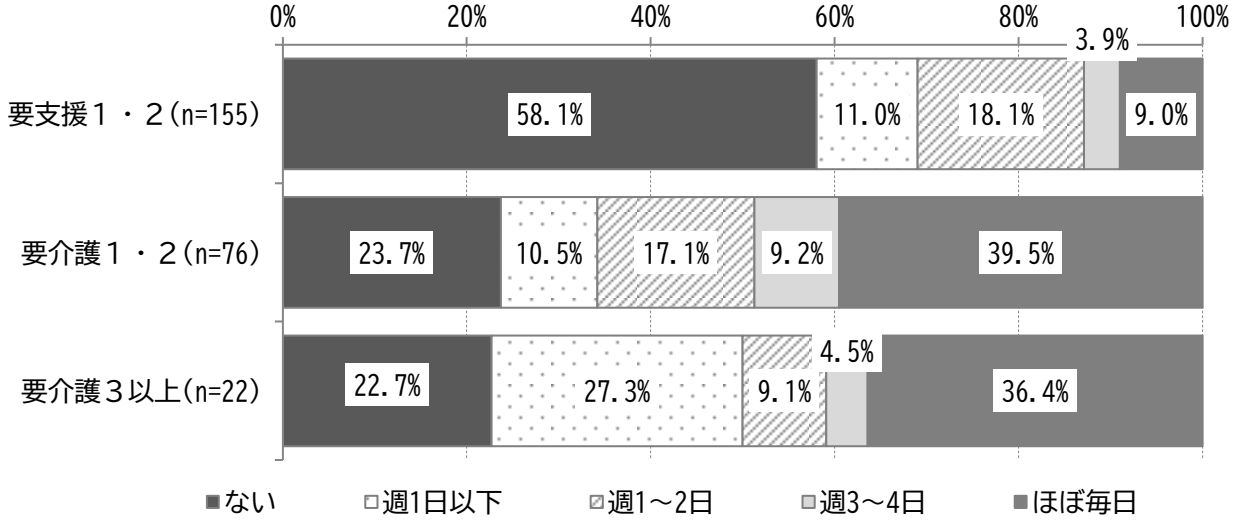
○　家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、単身世帯は「ない」「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」、夫婦のみ世帯は「ほぼ毎日ある」、その他は「ほぼ毎日ある」が他と比べて多くなっています。

【世帯類型別・家族等の介護の頻度】



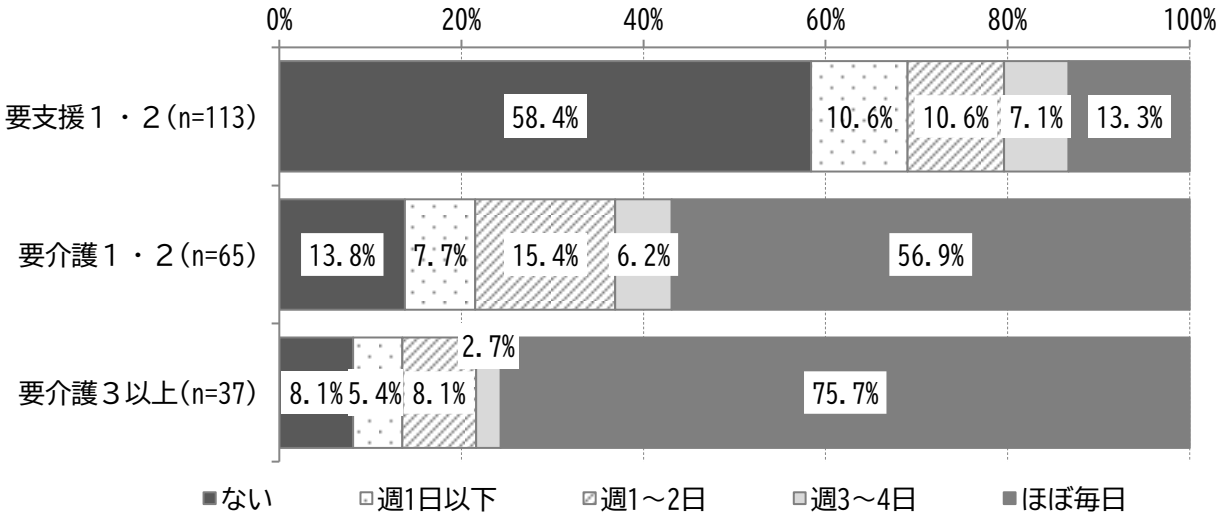
○　単身世帯で、家族等の介護の頻度を要介護度別にみると、要支援１・２は「ない」、要介護１・２は「ほぼ毎日ある」、要介護３以上は「家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・家族等の介護の頻度（単身世帯）】



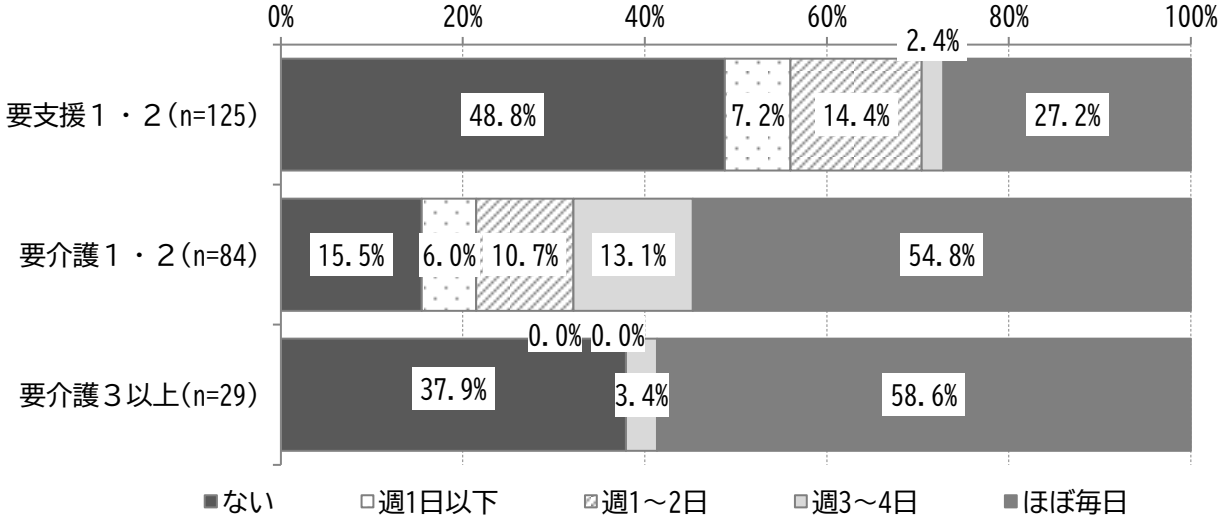
○　夫婦のみ世帯で、家族等の介護の頻度を要介護度別にみると、要支援１・２は「ない」、要介護１・２は「ほぼ毎日ある」、要介護３以上は「ほぼ毎日ある」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・家族等の介護の頻度（夫婦のみ世帯）】



○　その他世帯で、家族等の介護の頻度を要介護度別にみると、要支援１・２は「ない」、要介護１・２は「週に３～４日ある」「ほぼ毎日ある」、要介護３以上は「ほぼ毎日ある」が他と比べて多くなっています。

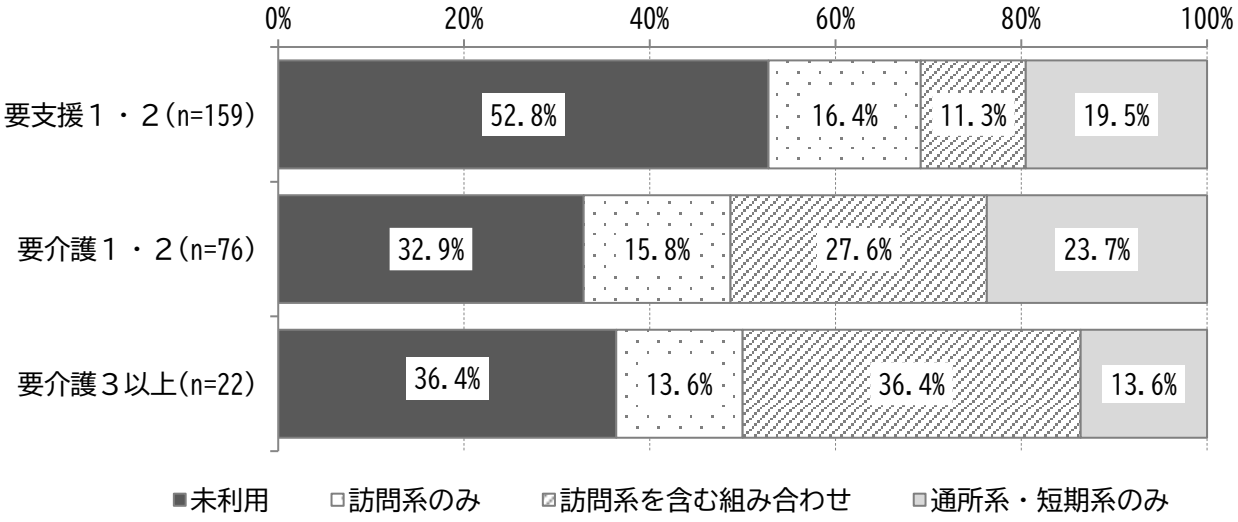
【要介護度別・家族等の介護の頻度（その他世帯）】



（3）「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

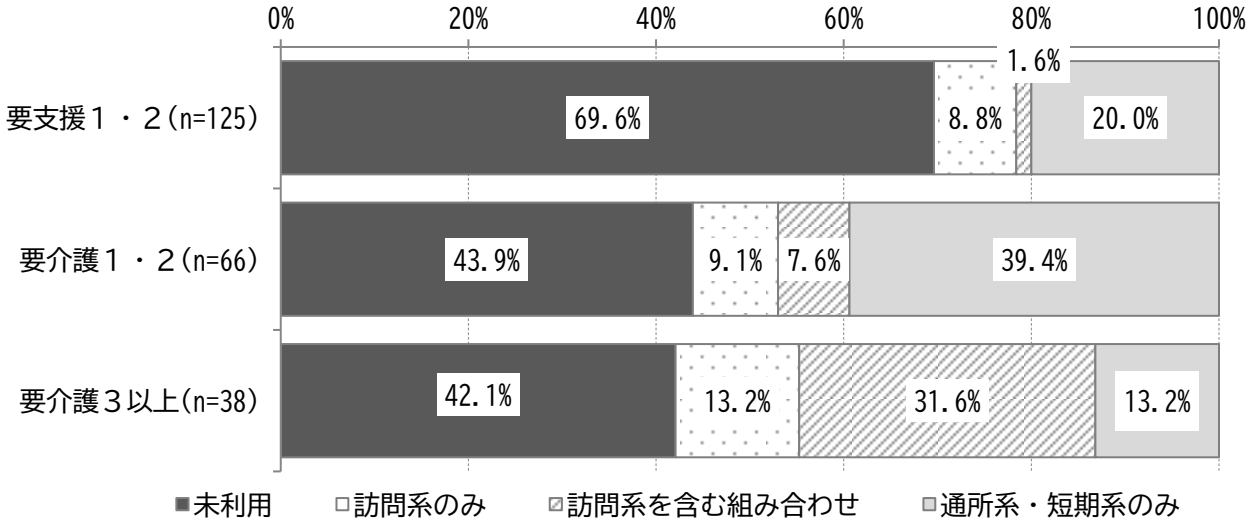
○　単身世帯で、サービス利用の組み合わせを要介護度別にみると、要支援１・２は「未利用」、要介護１・２は「訪問系を含む組み合わせ」、要介護３以上は「訪問系を含む組み合わせ」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】



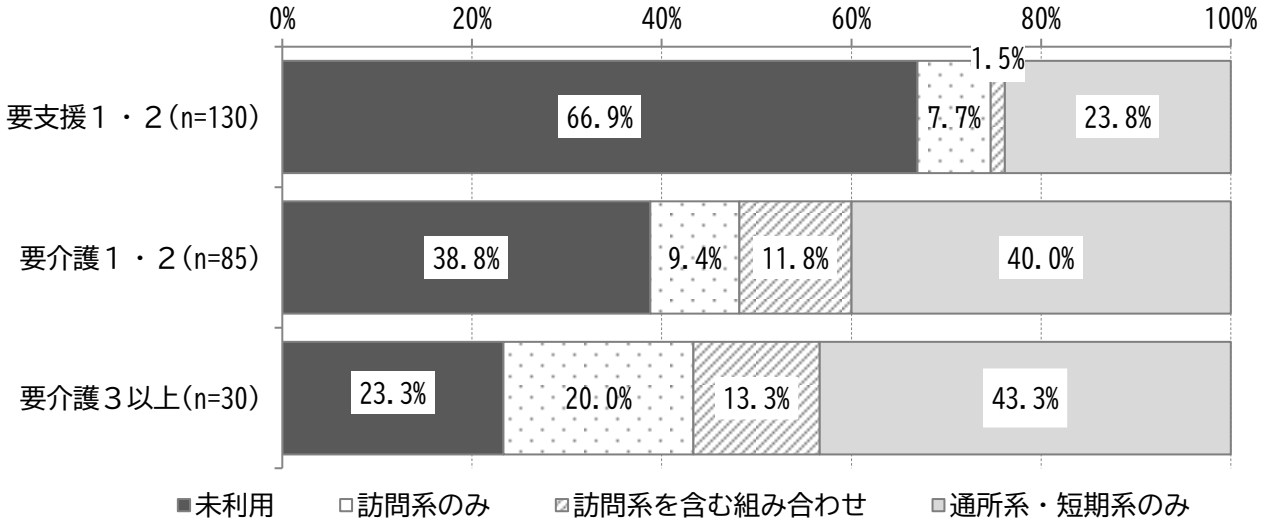
○　夫婦のみ世帯で、サービス利用の組み合わせを要介護度別にみると、要支援１・２は「未利用」、要介護１・２は「通所系・短期系のみ」、要介護３以上は「訪問系を含む組み合わせ」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】



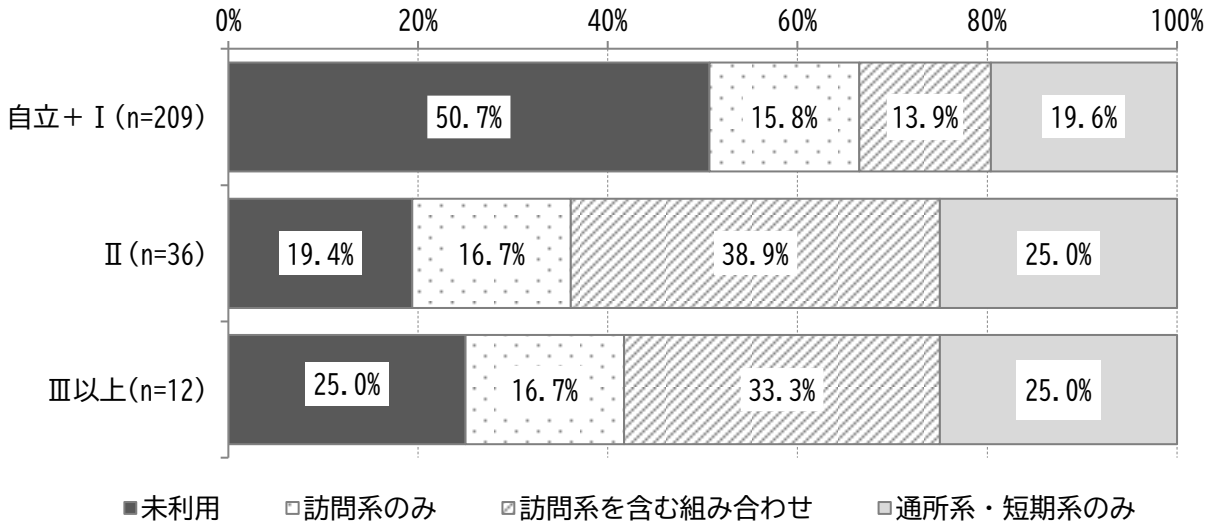
○　その他世帯で、サービス利用の組み合わせを要介護度別にみると、要支援１・２は「未利用」が他と比べて多く、「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」が他と比べて少なくなっています。要介護３以上は「訪問系のみ」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】



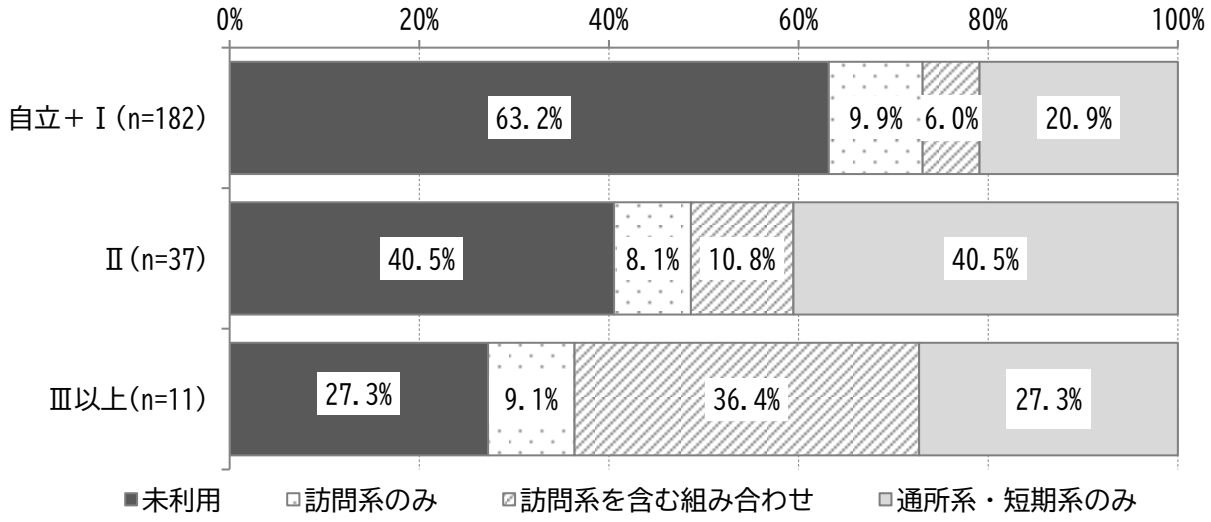
○　単身世帯で、サービス利用の組み合わせを認知症自立度別にみると、自立＋Ⅰは「未利用」、Ⅱは「訪問系を含む組み合わせ」が他と比べて多くなっています。

【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】



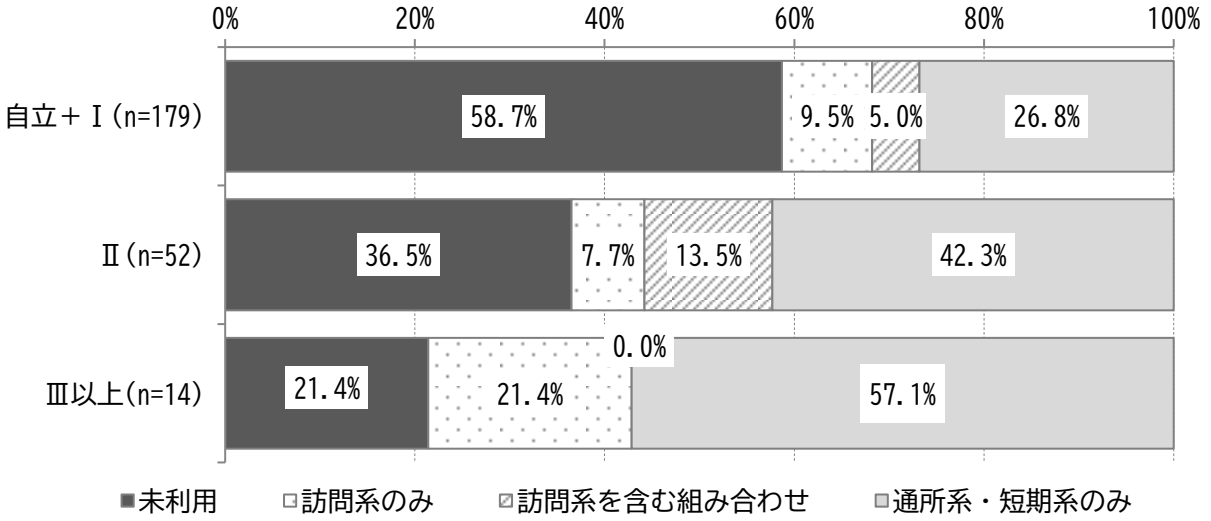
○　夫婦のみ世帯で、サービス利用の組み合わせを認知症自立度別にみると、自立＋Ⅰは「未利用」、Ⅱは「通所系・短期系のみ」、Ⅲ以上は「訪問系を含む組み合わせ」が他と比べて多くなっています。

【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】



○　その他世帯で、サービス利用の組み合わせを認知症自立度別にみると、自立＋Ⅰは「未利用」、Ⅱは「訪問系を含む組み合わせ」、Ⅲ以上は「通所系・短期系のみ」が他と比べて多くなっています。

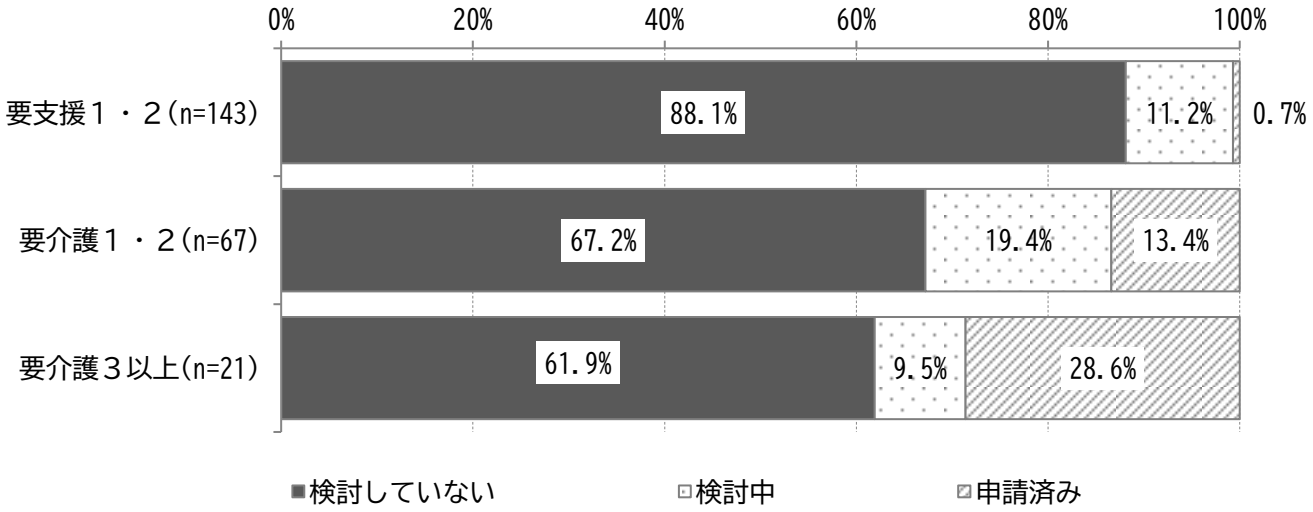
【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】



（4）「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等の検討状況」

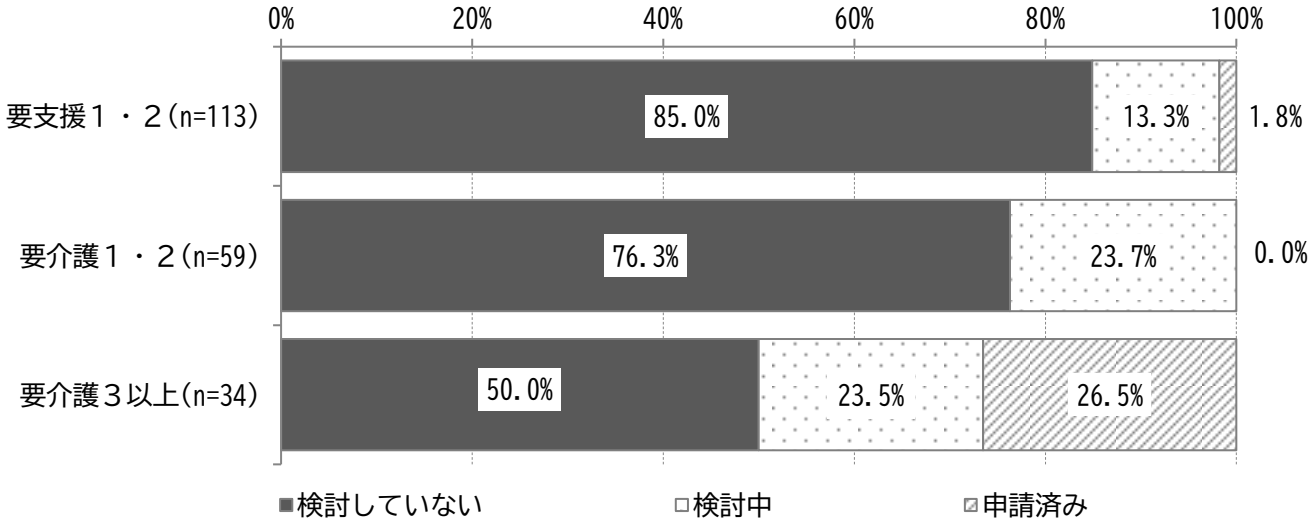
○　単身世帯で、施設等の検討状況を要介護度別にみると、要支援１・２は「入所・入居は検討していない」、要介護１・２は「すでに入所・入居申し込みをしている」、要介護３以上は「すでに入所・入居申し込みをしている」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・施設等の検討状況（単身世帯）】



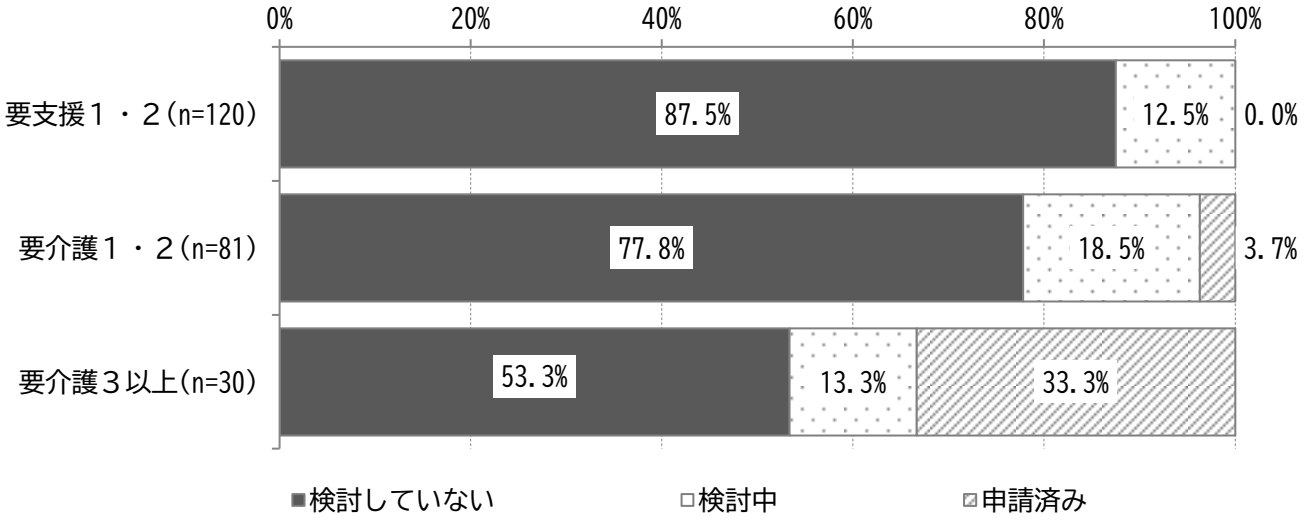
○　夫婦のみ世帯で、施設等の検討状況を要介護度別にみると、要支援１・２は「入所・入居は検討していない」、要介護３以上は「すでに入所・入居申し込みをしている」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・施設等の検討状況（夫婦のみ世帯）】



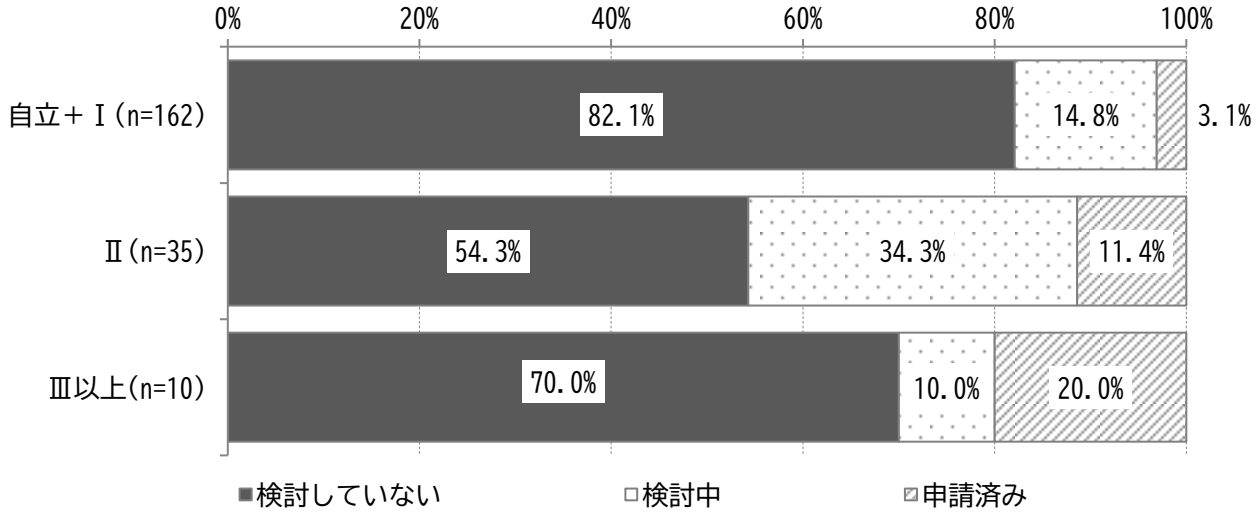
○　その他世帯で、施設等の検討状況を要介護度別にみると、要支援１・２は「入所・入居は検討していない」、要介護３以上は「すでに入所・入居申し込みをしている」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・施設等の検討状況（その他世帯）】



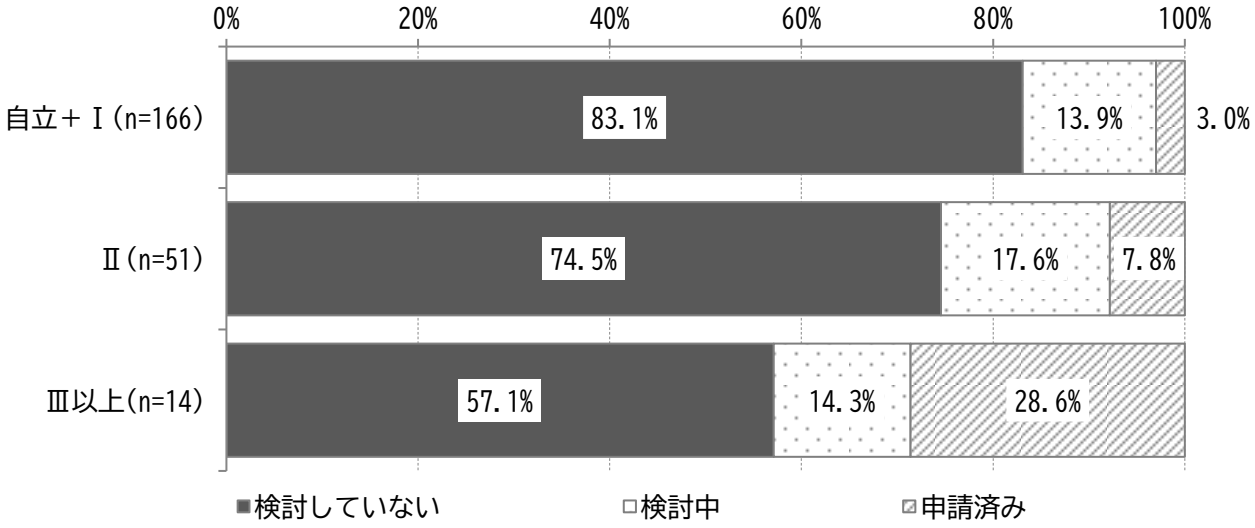
○　夫婦のみ世帯で、施設等の検討状況を認知症自立度別にみると、自立＋Ⅰは「入所・入居は検討していない」、Ⅱは「入所・入居を検討している」、Ⅲ以上は「すでに入所・入居申し込みをしている」が他と比べて多くなっています。

【認知症自立度別・施設等の検討状況（夫婦のみ世帯）】



○　その他世帯で、施設等の検討状況を認知症自立度別にみると、自立＋Ⅰは「入所・入居は検討していない」、Ⅲ以上は「すでに入所・入居申し込みをしている」が他と比べて多くなっています。

【認知症自立度別・施設等の検討状況（その他世帯）】

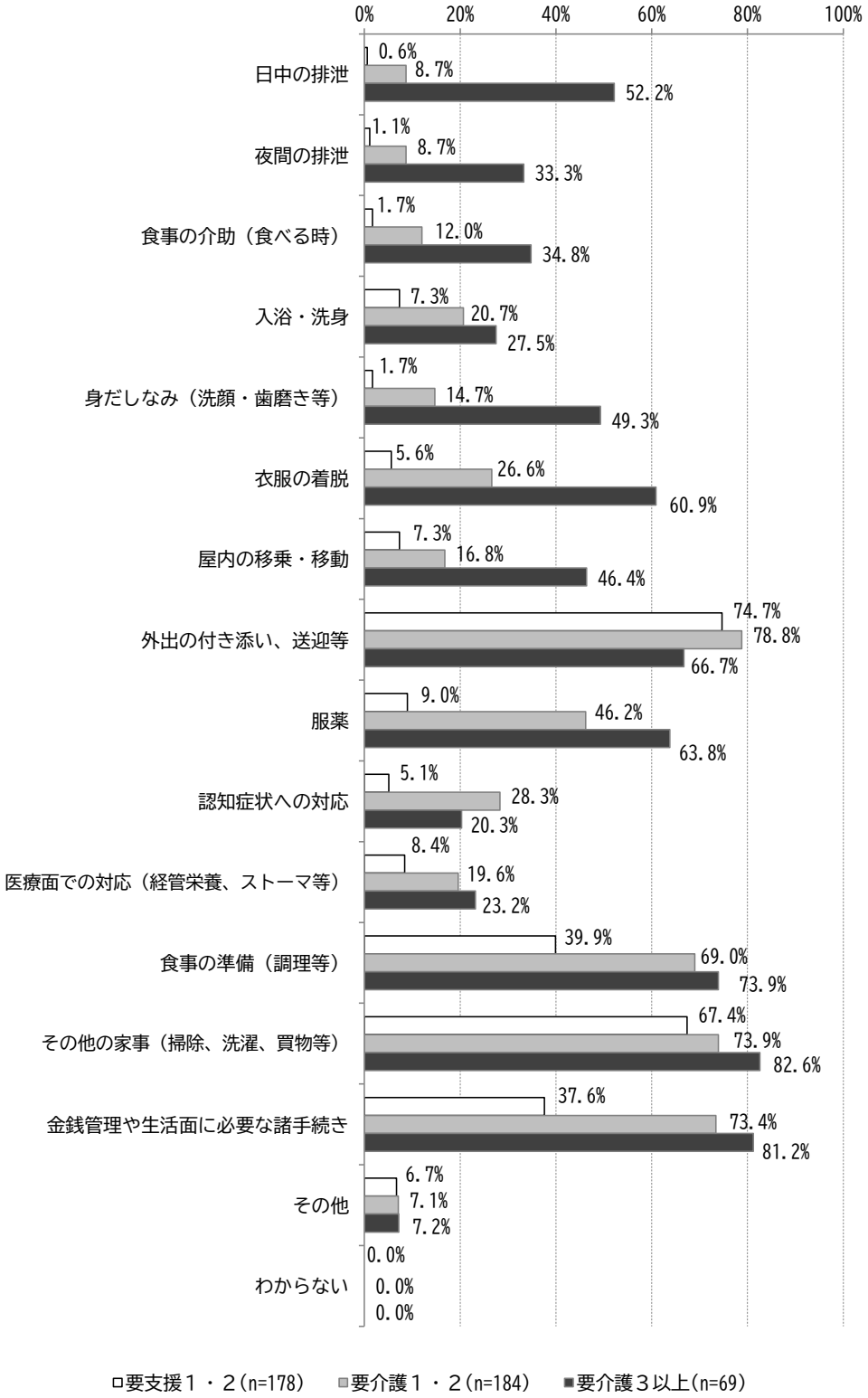


5．医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

（1）医療ニーズの高い在宅療養者

○　介護者が行っている介護の中で「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」を要介護度別にみると、要支援１・２は 8.4%、要介護１・２は 19.6%、要介護３以上は 23.2%となっています。

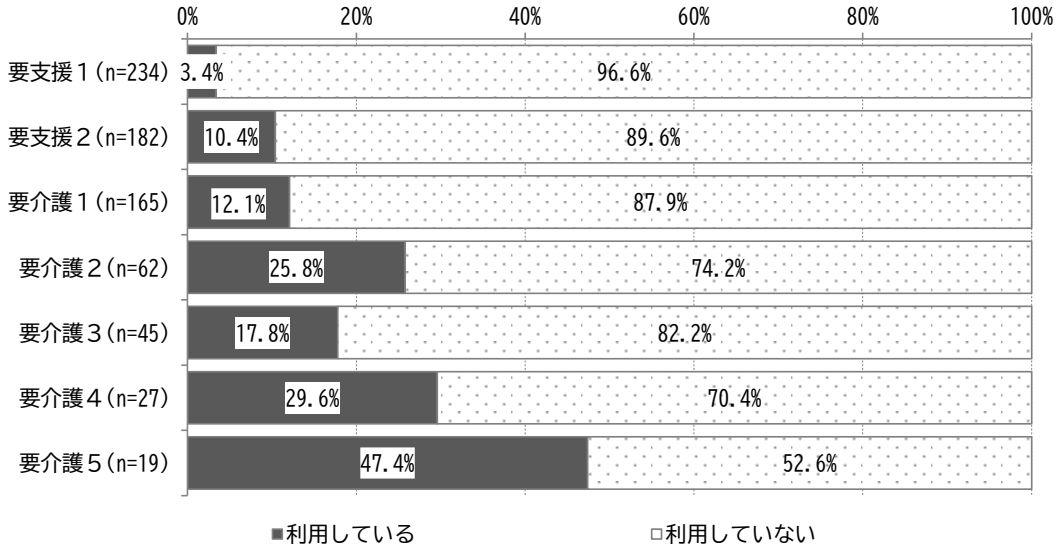
【要介護度別・主な介護者が行っている介護】



（２）訪問診療の利用状況

○　訪問診療の利用状況を要介護度別にみると、要支援１は「利用していない」、要介護２は「利用している」、要介護４は「利用している」、要介護５は「利用している」が他と比べて多くなっています。

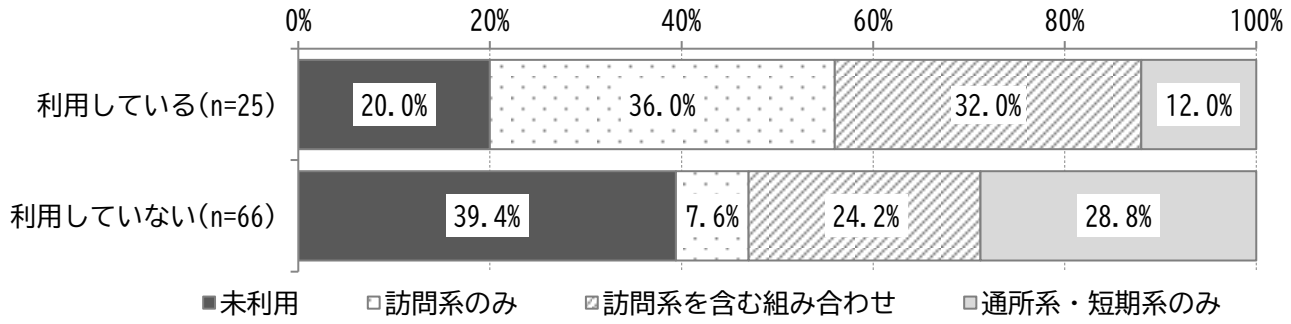
【要介護度別・訪問診療の利用状況】



（３）訪問診療の利用状況別のサービス利用の組み合わせ

○　要介護３以上で、サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用状況別にみると、利用しているは「訪問系のみ」が他と比べて多くなっています。

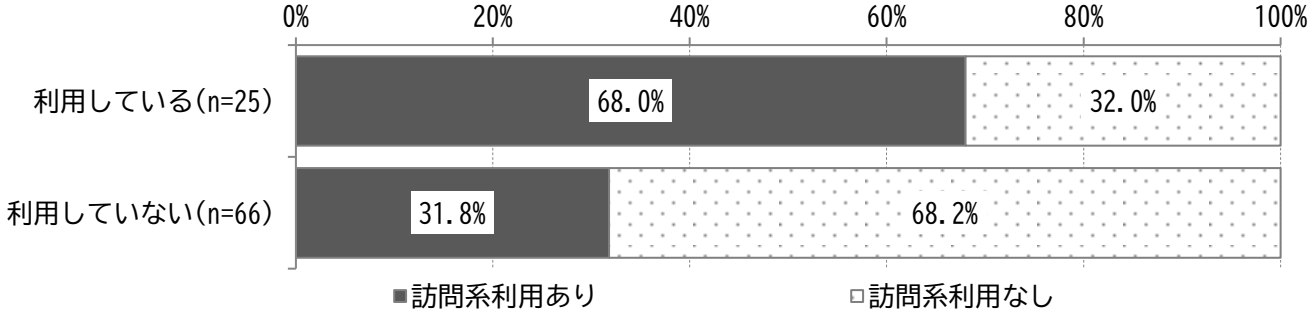
【訪問診療の利用状況別・サービス利用の組み合わせ（要介護３以上）】



（４）訪問診療の利用状況別のサービスの利用の有無

○　要介護３以上で、訪問系のサービス利用の有無を訪問診療の利用状況別にみると、利用しているは「訪問系利用あり」、利用していないは「訪問系利用なし」が他と比べて多くなっています。

【訪問診療の利用状況別・訪問系サービスの利用の有無（要介護３以上）】

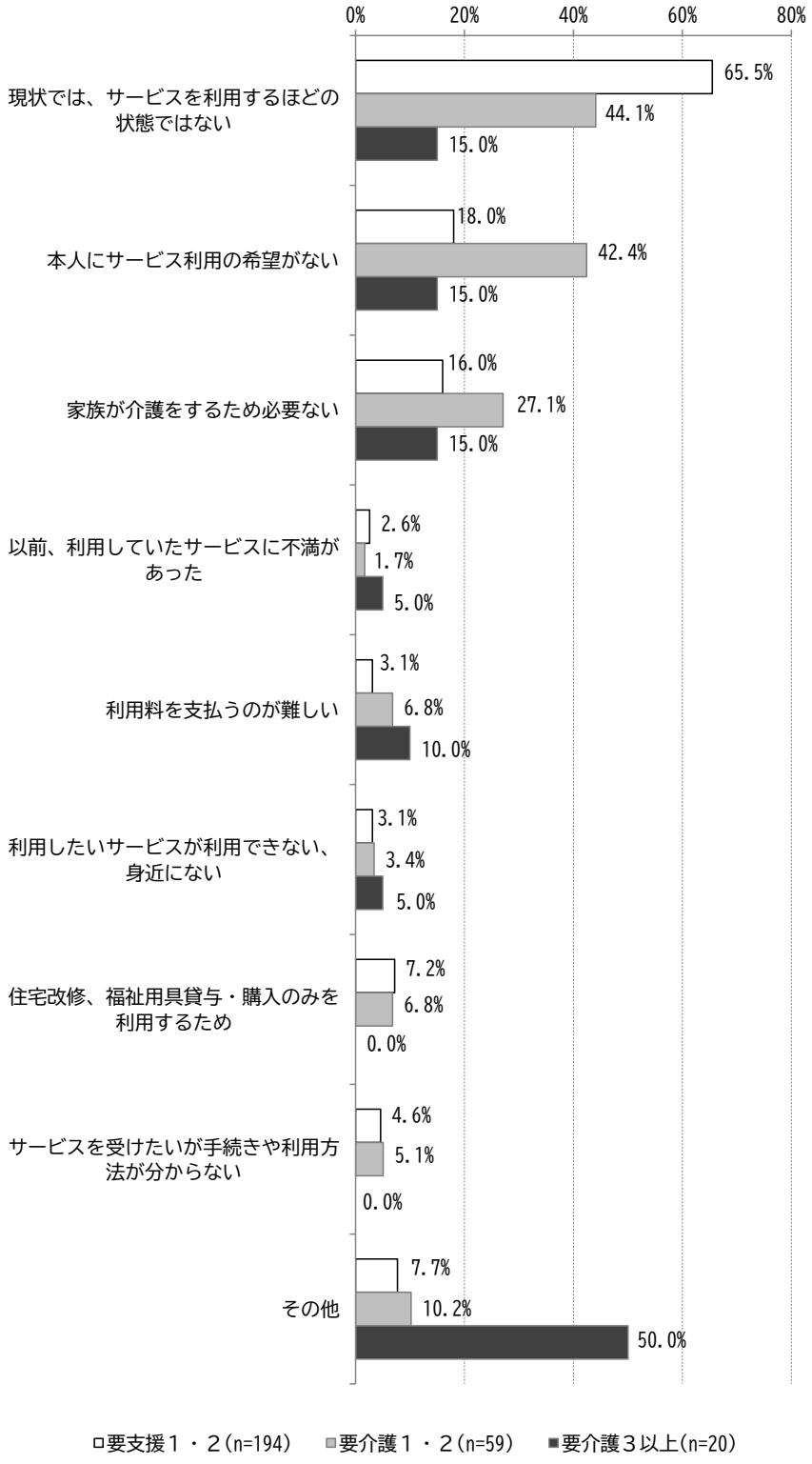


６．サービス未利用の理由など

（１）要介護度別のサービス未利用の理由

○　サービス未利用の理由を要介護度別にみると、要支援１・２は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、要介護１・２は「本人にサービス利用の希望がない」、要介護３以上は「その他」が他と比べて多くなっています。

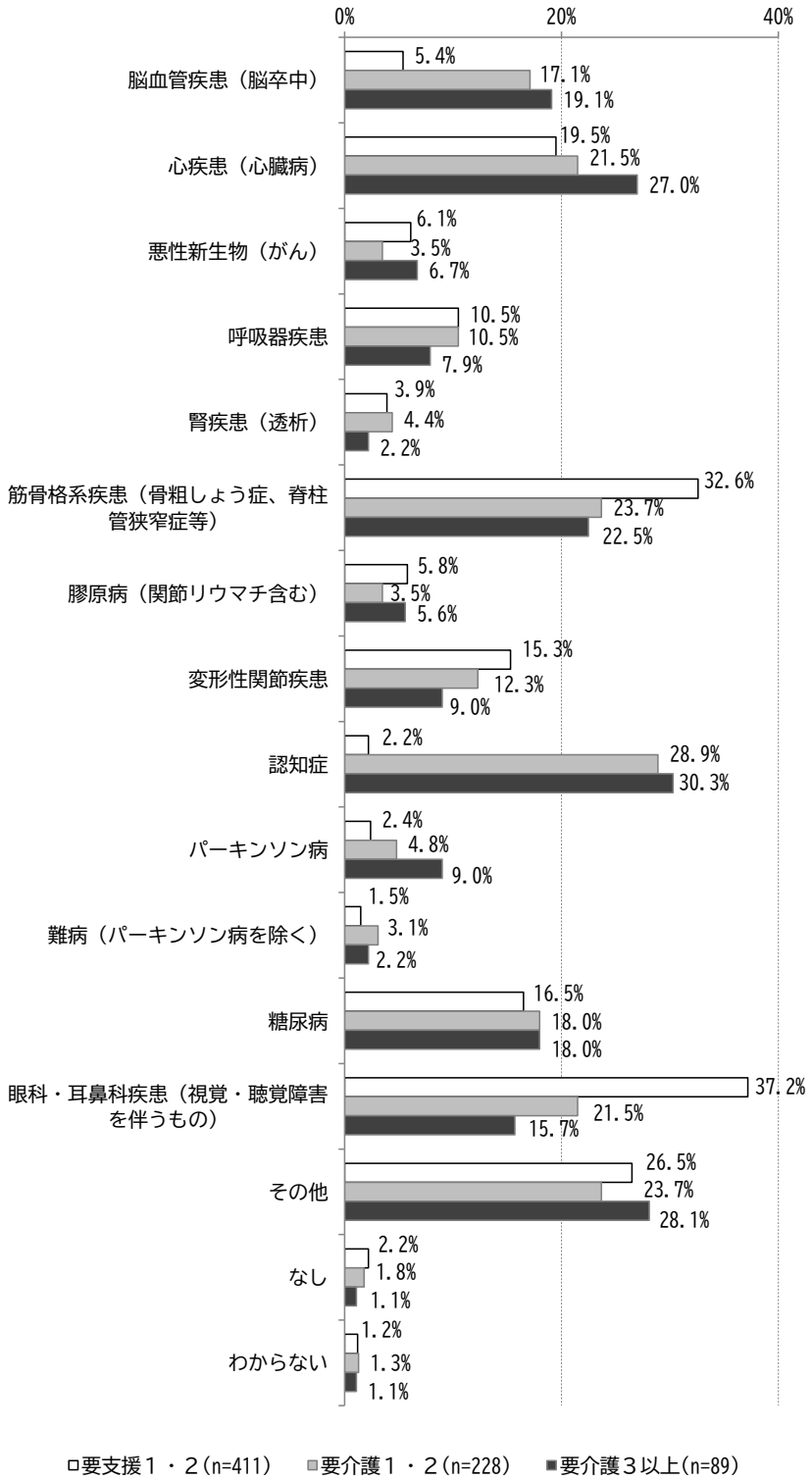
【要介護度別・サービス未利用の理由】



（２）要介護度別の抱えている傷病

○　抱えている傷病を要介護度別にみると、要支援１・２は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」、要介護１・２は「脳血管疾患（脳卒中）」「認知症」、要介護３以上は「脳血管疾患（脳卒中）」「認知症」「パーキンソン病」が他と比べて多くなっています。

【要介護度別・抱えている傷病】



５．調査結果にみる現状と課題

（１）在宅生活の継続について

○施設等への入所・入居の検討状況について、全体では７割の人が「入所・入居は検討していない」と回答しています。要介護度別にみると、要支援１・２では「入所・入居は検討していない」が９割となっていますが、要介護３以上では５割程度に低下しています。

○主な介護者が不安に感じる介護を要介護度別にみると、要支援１・２では「外出の付き添い、送迎等」、要介護１・２では「認知症状への対応」、要介護３以上では「夜間の排泄」が最も多くなっています。

○主な介護者が不安に感じる介護を認知症自立度別にみると、自立＋Ⅰでは「外出の付き添い、送迎等」、Ⅱ・Ⅲ以上では「認知症状への対応」が最も多くなっています。

○要介護度・認知症自立度別にみて、主な介護者が不安に感じる介護は違いが見られます。今後の要介護認定者の将来推計も踏まえ、不安軽減の支援策について検討する必要があります。

（２）仕事と介護の両立に向けた支援・サービスについて

○家族等からの介護を受けている人は、６割程度です。

○家族等から介護を受けている人の主な介護者は、「子」が５割で最も多く、次いで「配偶者」が３割、「子の配偶者」が１割程度です。

○家族等から介護を受けている人の主な介護者の性別は「女性」が７割、「男性」が３割となっています。

○家族等から介護を受けている人の主な介護者の年齢は、「60 歳代」が３割で最も多く、次いで「50 歳代」「70 歳代」が２割程度です。

○家族等の介護の頻度を介護者の就労状況別にみると、働いていないでは「ほぼ毎日」が７割と多くなっていますが、フルタイム勤務、パートタイム勤務でも４～５割は「ほぼ毎日」となっています。

○介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「続けていくのは、やや難しい＋かなり難しい」は「入浴・洗身」が５割と他と比べて多くなっています。

○効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「続けていくのは、やや難しい＋かなり難しい」は「介護をしている従業員への経済的な支援」が６割と他と比べて多くなっています。

（３）在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて

○在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「外出同行（通院・買い物など）」と「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が、ともに３割で最も多くなっています。特に、要介護３以上では「配食」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が他と比べて多くなっています。

○主に買い物に行っている店舗までの距離は「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が５割で最も多く、「３ｋｍ以上」も２割程度となっています。店舗までの移動手段は「自動車（人に乗せてもらう）」が５割で最も多く、次いで「徒歩」「自転車」が２割で続いています。

○主に通っている病院までの距離は「１ｋｍ以上３ｋｍ未満」が４割で最も多く、次いで「３ｋｍ以上」が３割、「１ｋｍ未満」は２割となっています。病院までの移動手段は「自動車（人に乗せてもらう）」が６割で最も多く、次いで「タクシー」が２割、「徒歩」が１割で続いています。
○今後の要介護認定者の将来推計も踏まえ、外出に係る支援・サービスや中重度の要介護者を対象とした移送サービスの充実について検討する必要があります。
○要介護度別に介護保険サービス利用の組み合わせをみると、要支援１・２は「未利用」、要介護１・２は「訪問系を含む組み合わせ」「通所系・短期系のみ」、要介護３以上は「訪問系を含む組み合わせ」が他と比べて多くなっています。
○認知症自立度別に介護保険サービス利用の組み合わせをみると、自立＋Ⅰは「未利用」が他と比べて多く、「通所系・短期系のみ」が他と比べて少なくなっています。Ⅱ・Ⅲ以上は「訪問系を含む組み合わせ」が他と比べて多くなっています。
○要介護度・認知症自立度ともに重度化にともない、「訪問系を含む組み合わせ」が多くなっていることが見て取れます。
○訪問介護（ヘルパー）サービスについての希望は、「生活支援（掃除・買い物・調理など）であれば安価なサービスを利用したい」と「専門職によるサービスを提供してほしい」が、ともに４割となっています。多様な選択肢を求める声も踏まえ、ニーズに応じた柔軟なサービス整備について検討する必要があります。

（４）医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

○主な介護者が現在行っている介護のうち「医療面での対応」の割合は、要介護度別にみると、要支援１・２は１割程度ですが、要介護１・２、要介護３以上は２割と多くなっています。
○訪問診療を利用している人の割合は、要介護度別にみると、要介護３は２割、要介護２・要介護４は３割、要介護５は５割と多くなっています。
○今後、中重度の要介護者の増加に伴い増加が予想される「介護と医療の両方のニーズを持つ在宅療養者」について、適切なサービス提供体制を検討していく必要があります。

（５）介護保険サービス未利用の理由など

○住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況をみると、「利用している」が６割、「利用していない」が４割となっています。
○介護保険サービス未利用の理由を要介護度別にみると、要支援１・２は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、要介護１・２は「本人にサービス利用の希望がない」、要介護３以上は「その他」が他と比べて多くなっています。
○要介護認定を受けているが、サービスを使っていない要支援１・２の人の状況について、より詳細を把握する必要があります。また、サービスが未利用の中重度の要介護者については、家族等の介護者の負担が過大となることも懸念されることから、必要に応じて要介護者とその家族等へのアウトリーチについて検討する必要があります。

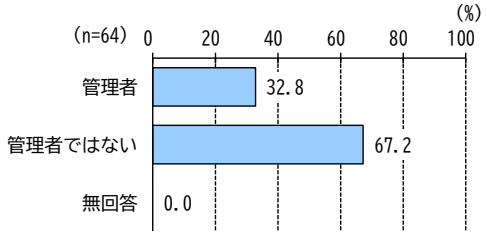
Ⅳ　ケアマネジャー調査の結果

１．回答者について

問１　あなたの役職を教えてください。（１つだけ）

【全体】
○　「管理者」が 32.8%、「管理者ではない」が 67.2%となっています。

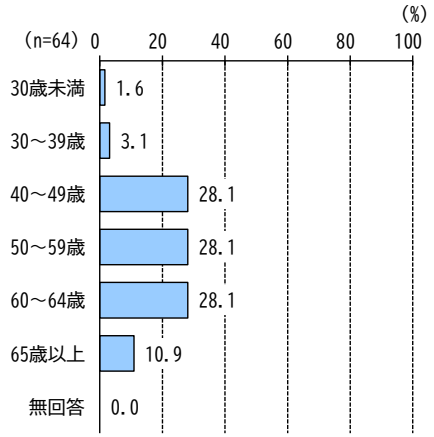
【役職】



問２　あなたの年齢を教えてください。（１つだけ）

【全体】
○　「40～49 歳」「50～59 歳」「60～64 歳」が 28.1%で最も多く、次いで「65 歳以上」が 10.9%、「30～39 歳」が 3.1%となっています。

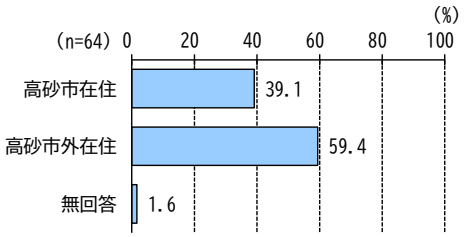
【年齢】



問３　あなたの現在のお住まいはどちらですか。（１つだけ）

【全体】
○　「高砂市在住」が 39.1%、「高砂市外在住」が 59.4%となっています。

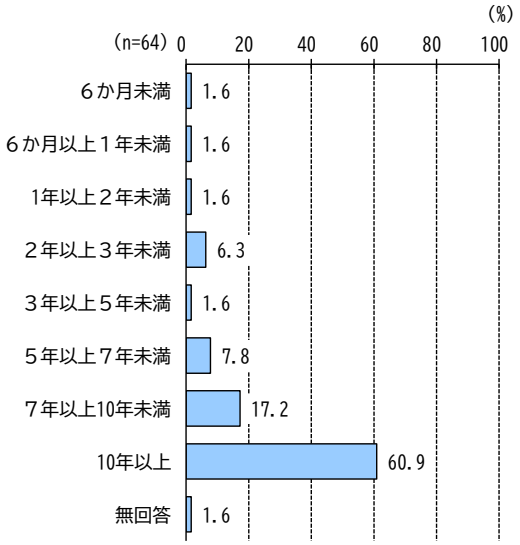
【現在の住まい】



問４　あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。事業所を問わず合計期間でお答えください。（１つだけ）

【全体】
○　「10 年以上」が 60.9%で最も多く、次いで「７年以上 10 年未満」が 17.2%、「５年以上７年未満」が 7.8%となっています。

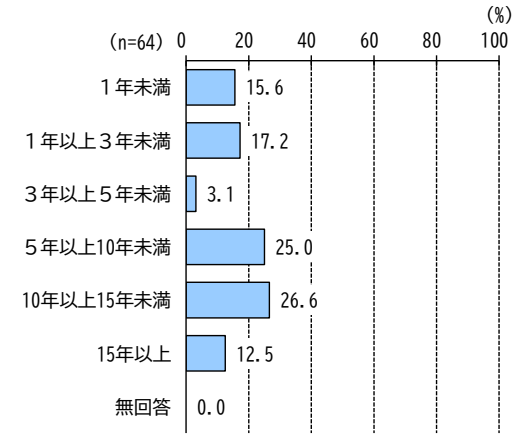
【経験年数】



問５　あなたが、現在の居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして在職している期間はどのくらいですか。（１つだけ）

【全体】
○　「10 年以上 15 年未満」が 26.6%で最も多く、次いで「５年以上 10 年未満」が 25.0%、「１年以上３年未満」が 17.2%となっています。

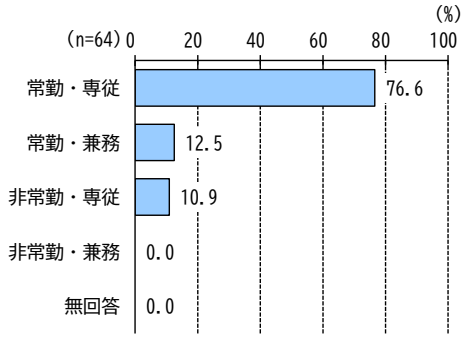
【ケアマネジャーとしての在職期間】



問６　あなたの現在の勤務形態は、次のうちどれですか。（１つだけ）

【全体】
○　「常勤・専従」が 76.6%で最も多く、次いで「常勤・兼務」が 12.5%、「非常勤・専従」が 10.9%となっています。

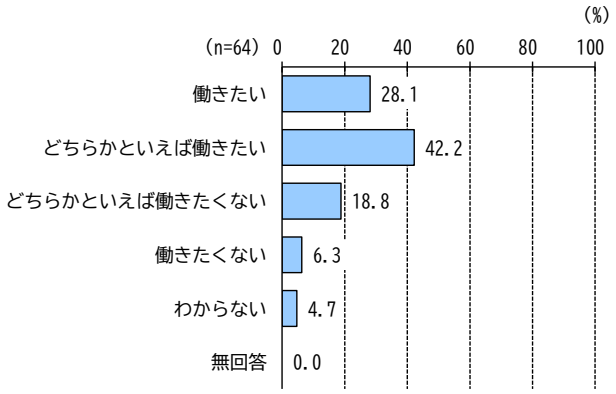
【現在の勤務形態】



問７　あなたは、今後もケアマネジャーとして働いていきたいと思いますか。（１つだけ）

【全体】
○　「どちらかといえば働きたい」が 42.2%で最も多く、次いで「働きたい」が 28.1%、「どちらかといえば働きたくない」が 18.8%となっています。

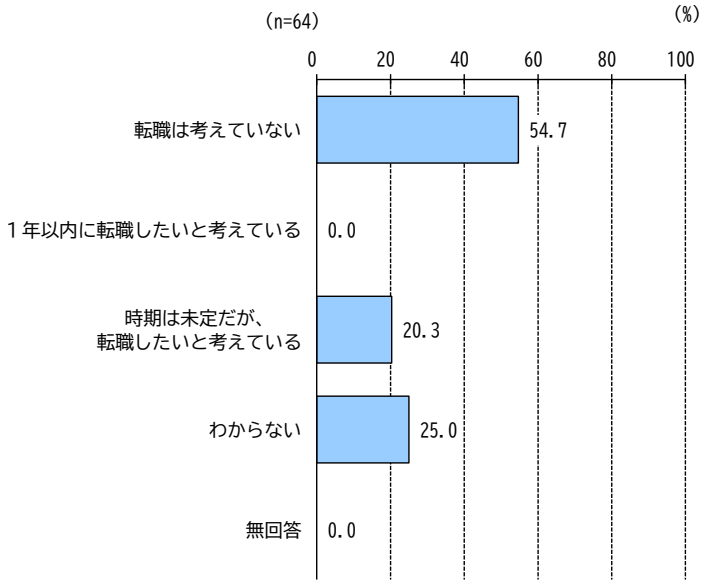
【今後もケアマネジャーとして働きたいか】



問８　あなたは、今後ケアマネジャー以外の仕事へ転職することを考えていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「転職は考えていない」が 54.7%で最も多く、次いで「わからない」が 25.0%、「時期は未定だが、転職したいと考えている」が 20.3%となっています。

【ケアマネジャー以外の仕事への転職】

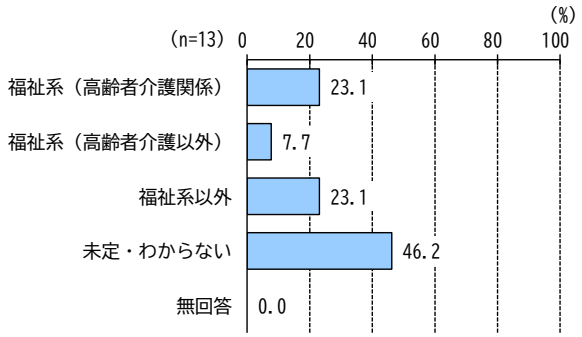


※問８で「２」「３」と答えた方（転職したいと考えている方）のみ、お答えください。

問８－１　今後どのような分野への転職を考えていますか。（１つだけ）

【全体】
○　「未定・わからない」が 46.2%で最も多く、次いで「福祉系（高齢者介護関係）」「福祉系以外」が 23.1%、「福祉系（高齢者介護以外）」が 7.7%となっています。

【転職を考えている分野】



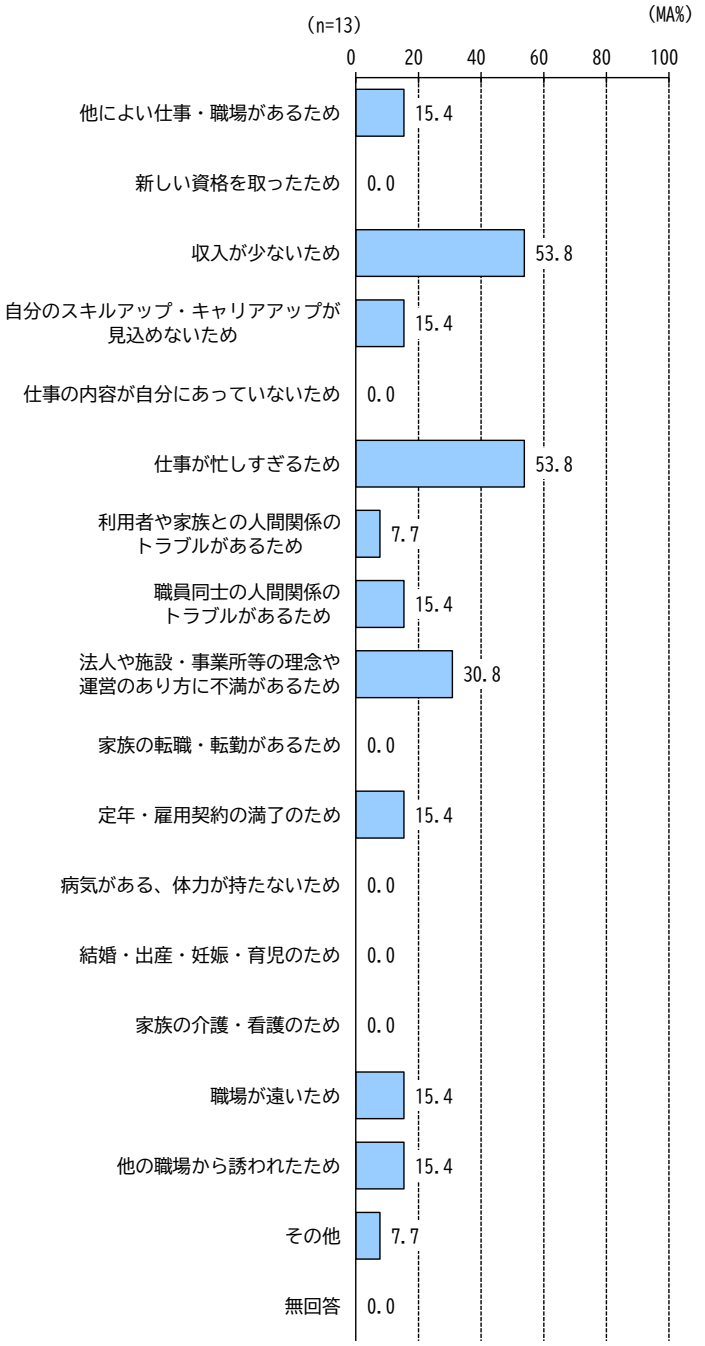
※問８で「２」「３」と答えた方（転職したいと考えている方）のみ、お答えください。

問８－２　他の職場へ転職することを考えている理由は何ですか。（いくつでも）

【全体】

○　「収入が少ないため」「仕事が忙しすぎるため」が 53.8%で最も多く、次いで「法人や施設・事業所等の理念や運営のあり方に不満があるため」が 30.8%、「他によい仕事・職場があるため」「自分のスキルアップ・キャリアアップが見込めないため」「職員同士の人間関係のトラブルがあるため」「定年・雇用契約の満了のため」「職場が遠いため」「他の職場から誘われたため」が 15.4%となっています。

【転職理由】



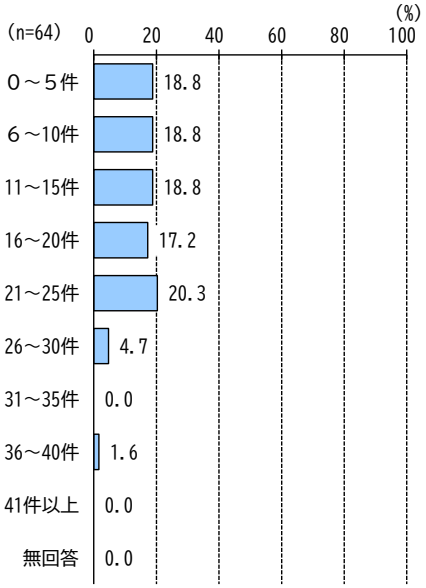
2．業務・利用者の状況について

問９　令和７年10月末現在、何件のプランを担当していますか。

（１）予防プラン※介護予防マネジメントプランは予防プランに含みます。

【全体】
○　「21～25 件」が 20.3%で最も多く、次いで「０～５件」「６～10 件」「11～15 件」が 18.8%、「16～20 件」が 17.2%となっています。

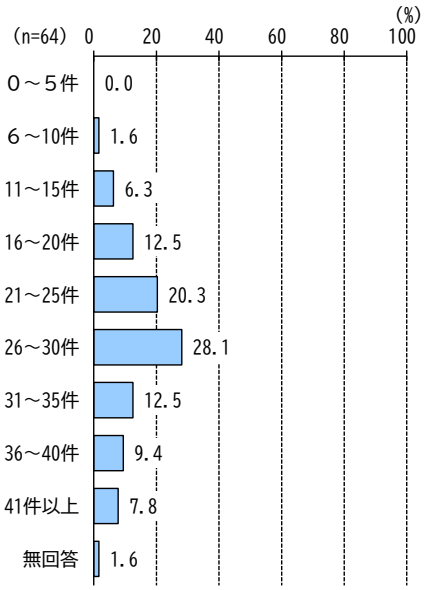
【予防プラン】



（２）ケアプラン

【全体】
○　「26～30 件」が 28.1%で最も多く、次いで「21～25 件」が 20.3%、「16～20 件」「31～35 件」が 12.5%となっています。

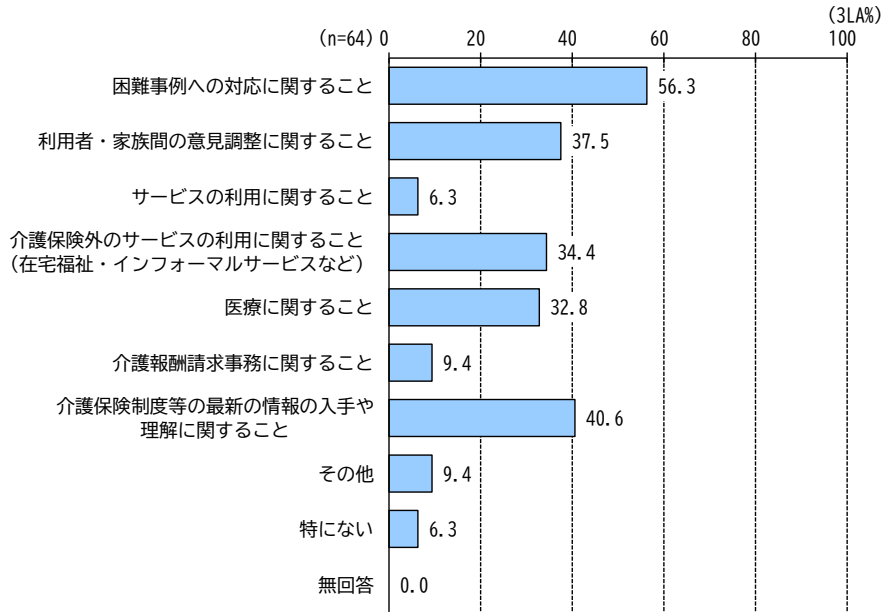
【ケアプラン】



問10　業務上、わからないことや困ったことは何ですか。（３つまで）

【全体】
○　「困難事例への対応に関すること」が 56.3%で最も多く、次いで「介護保険制度等の最新の情報の入手や理解に関すること」が 40.6%、「利用者・家族間の意見調整に関すること」が 37.5%となっています。

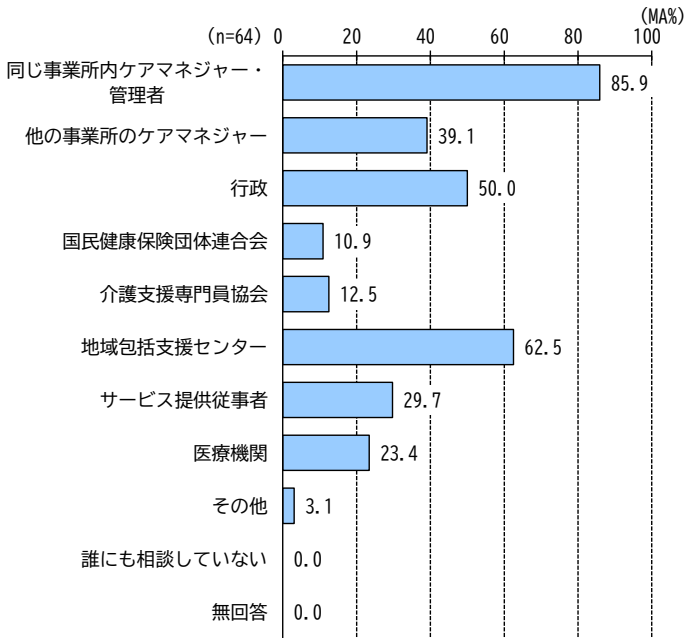
【わからないことや困ったこと】



問11　わからないことや困ったことがあった時、誰に相談していますか。（いくつでも）

【全体】
○　「同じ事業所内ケアマネジャー・管理者」が 85.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が 62.5%、「行政」が 50.0%となっています。

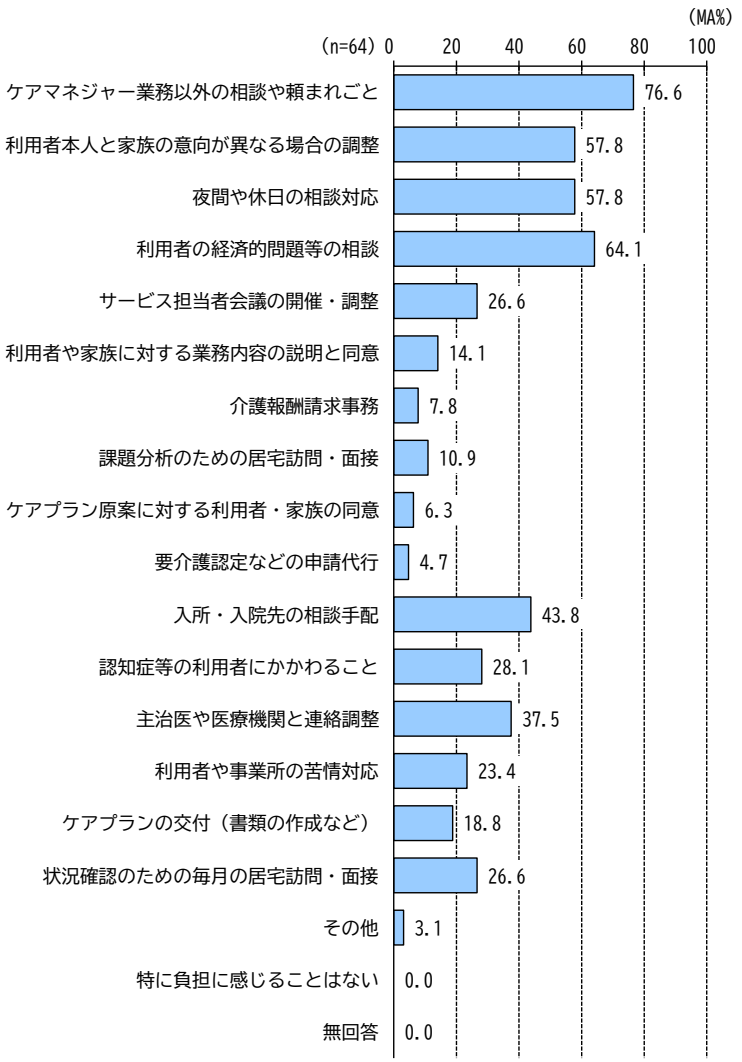
【わからないことや困ったことの相談先】



問12　ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担感を感じますか。（いくつでも）

【全体】
○　「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」が 76.6%で最も多く、次いで「利用者の経済的問題等の相談」が 64.1%、「利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整」「夜間や休日の相談対応」が 57.8%となっています。

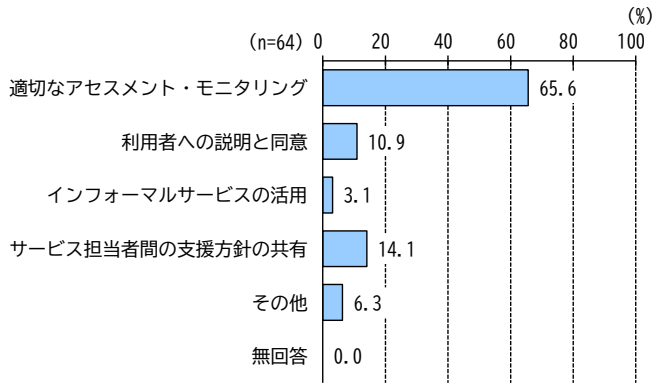
【業務中の負担感】



問13　自立支援・重度化防止を進めるために、ケアマネジャーの役割として最も重要と思われることは何ですか。（１つだけ）

【全体】
○　「適切なアセスメント・モニタリング」が 65.6%で最も多く、次いで「サービス担当者間の支援方針の共有」が 14.1%、「利用者への説明と同意」が 10.9%となっています。

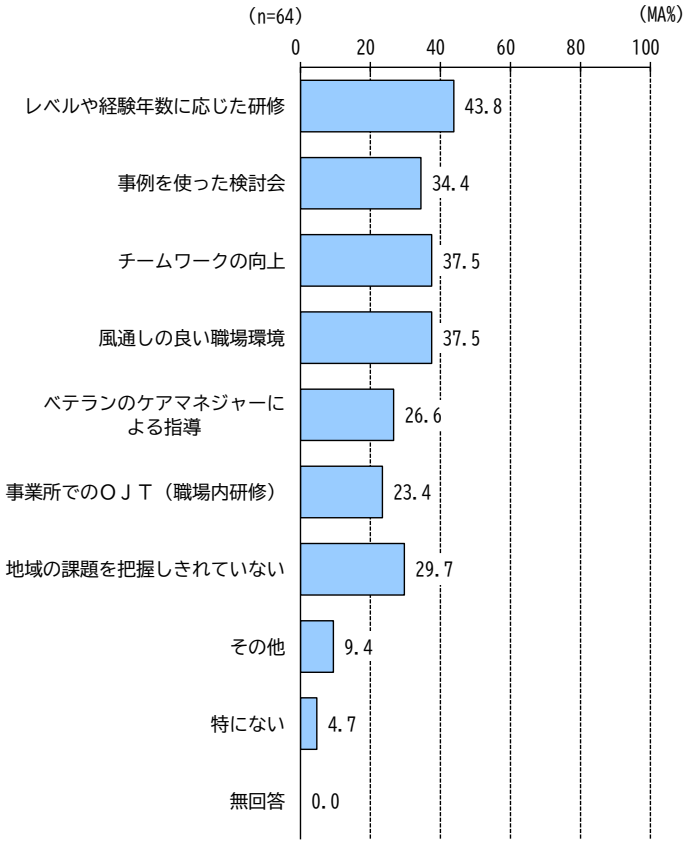
【自立支援・重度化防止を進めるための役割で最も重要と思われること】



問14　自身のケアマネジャー業務のレベルアップのために、必要だと思うものは何ですか。（いくつでも）

【全体】
○　「レベルや経験年数に応じた研修」が 43.8%で最も多く、次いで「チームワークの向上」「風通しの良い職場環境」が 37.5%、「事例を使った検討会」が 34.4%となっています。

【業務レベルアップのために必要なこと】

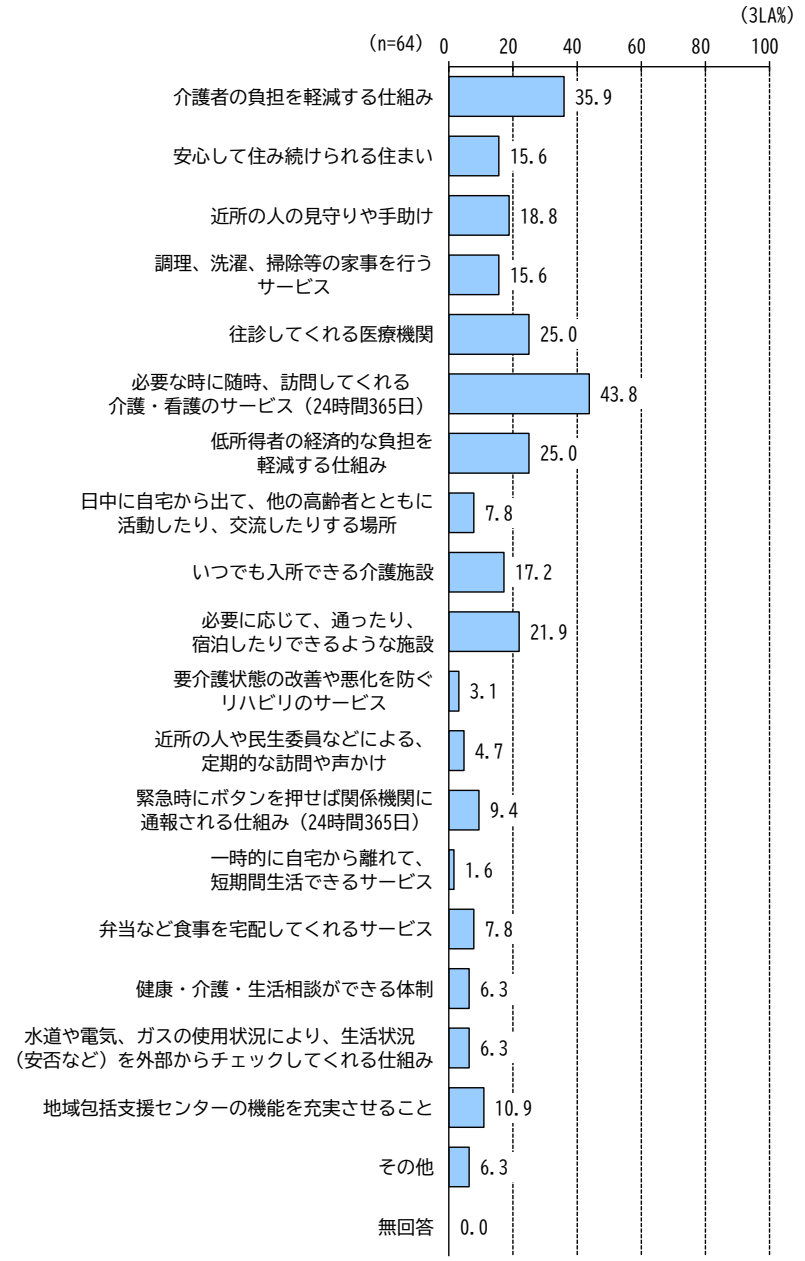


3．高砂市のサービスについて

問15　要介護者等が、在宅で暮らし続けるために特に充実させるべきことは何でしょうか。（３つまで）

【全体】
○　「必要な時に随時、訪問してくれる介護・看護のサービス（24 時間 365 日）」が 43.8%で最も多く、次いで「介護者の負担を軽減する仕組み」が 35.9%、「往診してくれる医療機関」「低所得者の経済的な負担を軽減する仕組み」が 25.0%となっています。

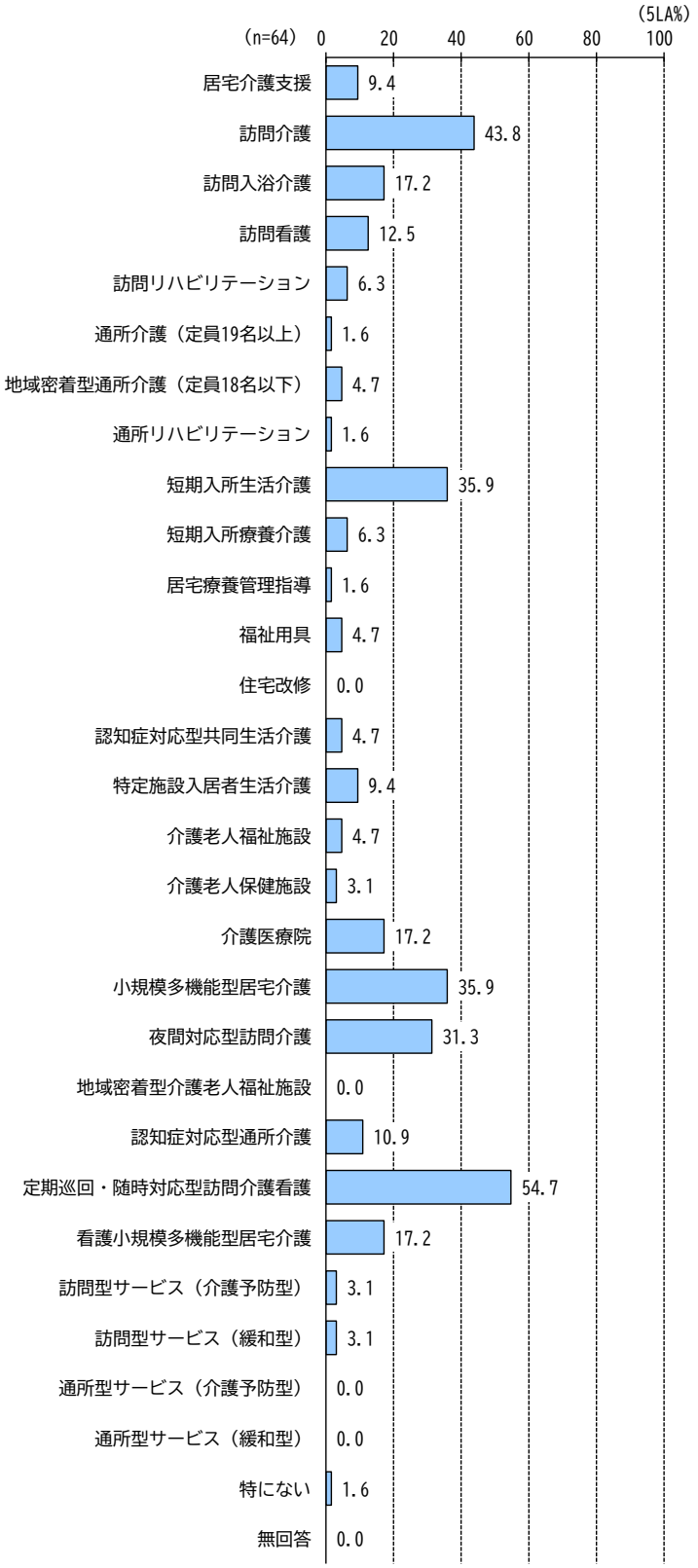
【要介護者等が、在宅で暮らし続けるために特に充実させるべきこと】



問16　高砂市に充実が必要と思われるサービス（予防含む）はありますか。（５つまで）

【全体】
○　「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 54.7%で最も多く、次いで「訪問介護」が 43.8%、「短期入所生活介護」「小規模多機能型居宅介護」が 35.9%となっています。

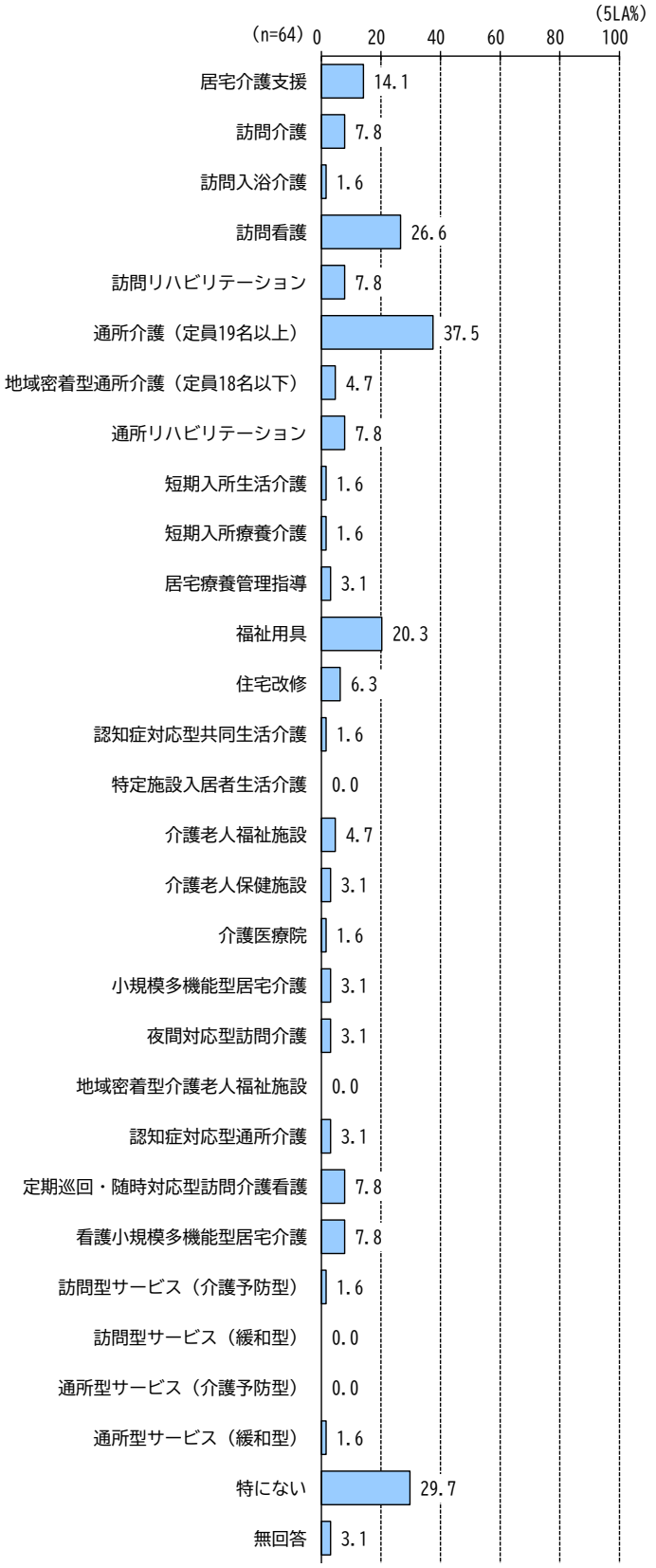
【充実が必要と思われるサービス（予防含む）】



問17　高砂市に充足していると感じるサービス（予防含む）はありますか。（５つまで）

【全体】
○　「通所介護（定員 19 名以上)」が 37.5%で最も多く、次いで「特にない」が 29.7%、「訪問看護」が 26.6%となっています。

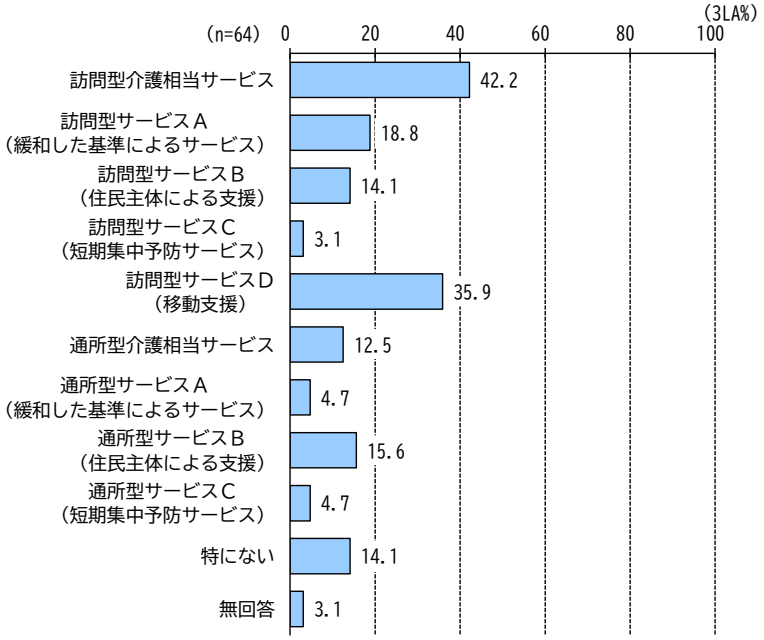
【充足していると感じるサービス（予防含む)】



問18　高砂市の総合事業サービスについて、特に充実させるべきものは次のどれでしょうか。（３つまで）

【全体】
○　「訪問型介護相当サービス」が 42.2%で最も多く、次いで「訪問型サービスＤ（移動支援）」が 35.9%、「訪問型サービスＡ（緩和した基準によるサービス）」が 18.8%となっています。

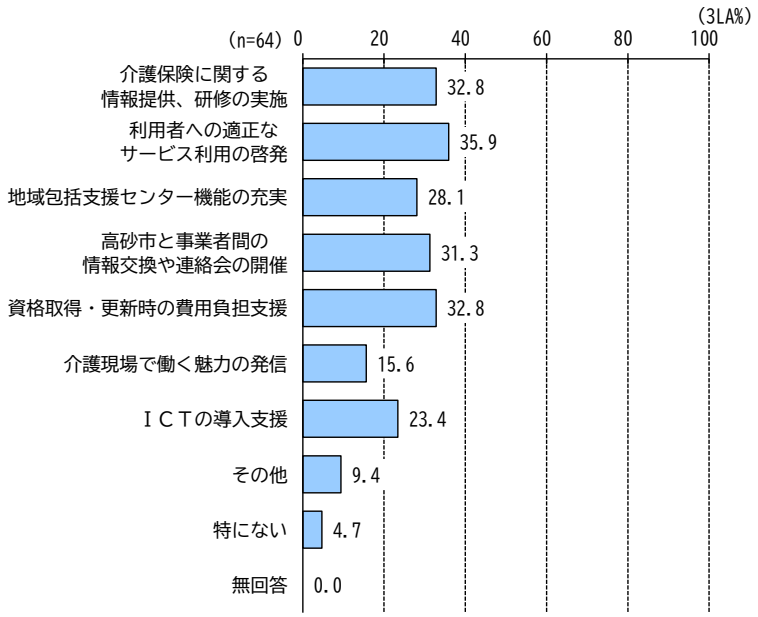
【総合事業サービスで特に充実させるべきもの】



問19　今後保険者としての高砂市に対し、ケアマネジャーとして望むことは次のうちどれですか。（３つまで）

【全体】
○　「利用者への適正なサービス利用の啓発」が 35.9%で最も多く、次いで「介護保険に関する情報提供、研修の実施」「資格取得・更新時の費用負担支援」が 32.8%、「高砂市と事業者間の情報交換や連絡会の開催」が 31.3%となっています。

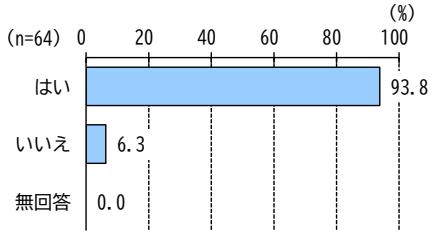
【市に対してケアマネジャーとして望むこと】



問20　インフォーマルサービスをケアプランに位置付けたことがありますか。（１つだけ）

【全体】
○　「はい」が 93.8%、「いいえ」が 6.3%となっています。

【インフォーマルサービスをケアプランに位置付けたこと】



※問 20 で「１」と答えた方（位置付けたことがある方）のみ、お答えください。

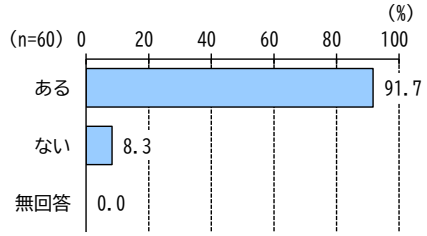
問20－１　あなたがケアプランの作成又は見直し時に、以下のサービスを利用したことが「１．ある」か「２．ない」かをお答えください。また、以下のサービスが現在「１．不足している」と思うか「２．不足していない」と思うかも、あわせてお答えください。

■サービス利用経験の有無

（１）ごみ出し（一般ごみ）

【全体】
○　「ある」が 91.7%、「ない」が 8.3%となっています。

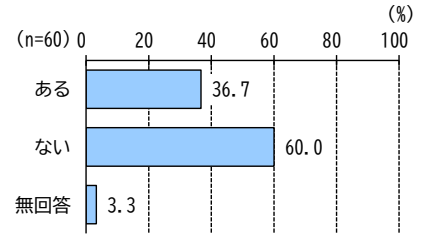
【ごみ出し（一般ごみ）】



（２）ごみ出し（粗大ごみ）

【全体】
○　「ある」が 36.7%、「ない」が 60.0%となっています。

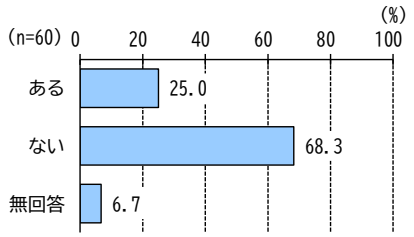
【ごみ出し（粗大ごみ）】



（３）植木の剪定、草むしりなど

【全体】
○　「ある」が 25.0%、「ない」が 68.3%となっています。

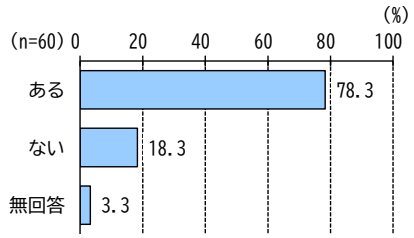
【植木の剪定、草むしりなど】



（４）洗濯・部屋の掃除

【全体】
○　「ある」が 78.3%、「ない」が 18.3%となっています。

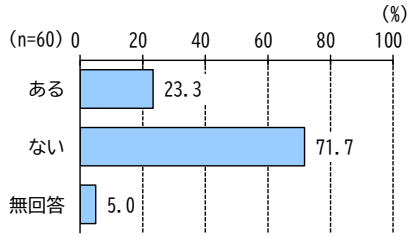
【洗濯・部屋の掃除】



（５）玄関前や家周りの掃除

【全体】
○　「ある」が 23.3%、「ない」が 71.7%となっています。

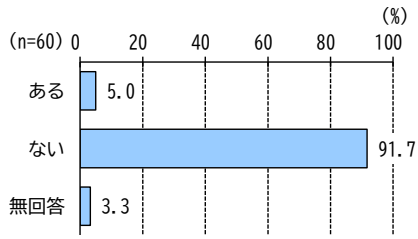
【玄関前や家周りの掃除】



（６）簡単な大工仕事やペットの世話等

【全体】
○　「ある」が 5.0%、「ない」が 91.7%となっています。

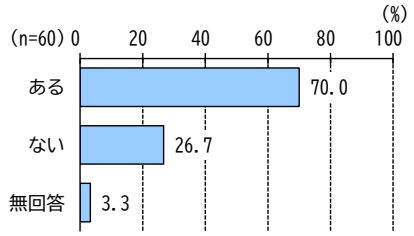
【簡単な大工仕事やペットの世話等】



（７）調理

【全体】
○　「ある」が 70.0%、「ない」が 26.7%となっています。

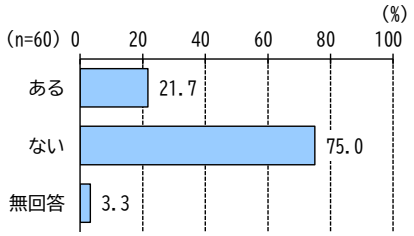
【調理】



（８）話し相手

【全体】
○　「ある」が 21.7%、「ない」が 75.0%となっています。

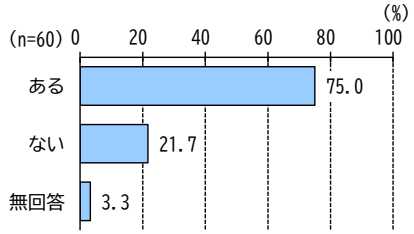
【話し相手】



（９）買物

【全体】
○　「ある」が 75.0%、「ない」が 21.7%となっています。

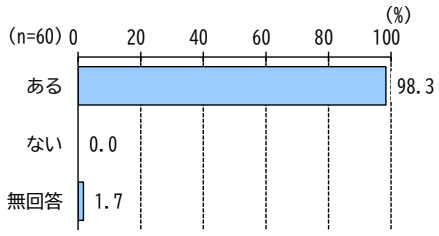
【買物】



（10）配食サービス

【全体】
○　「ある」が 98.3%、「ない」が 0.0%となっています。

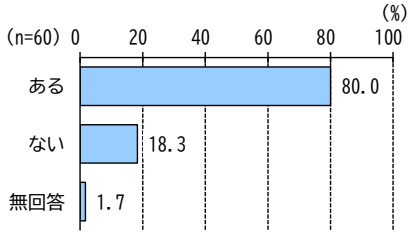
【配食サービス】



（11）外出時の付き添い（通院等）

【全体】
○　「ある」が 80.0%、「ない」が 18.3%となっています。

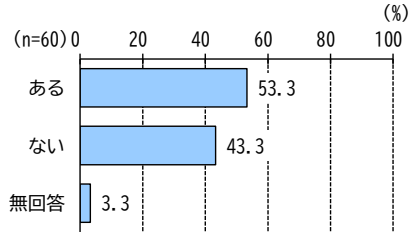
【外出時の付き添い（通院等）】



（12）声かけ・見守り

【全体】
○　「ある」が 53.3%、「ない」が 43.3%となっています。

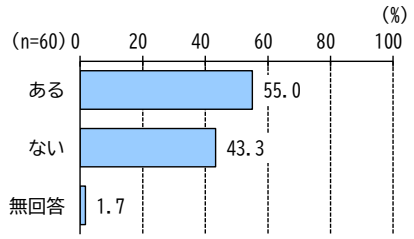
【声かけ・見守り】



（13）サロン・通いの場

【全体】
○　「ある」が 55.0%、「ない」が 43.3%となっています。

【サロン・通いの場】

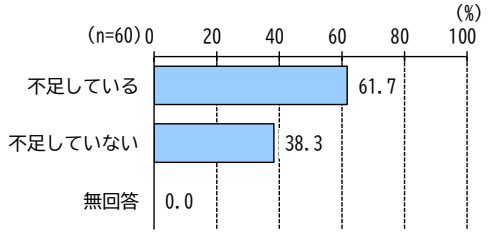


■サービスの不足の状況

（１）ごみ出し（一般ごみ）

【全体】
○　「不足している」が 61.7%、「不足していない」が 38.3%となっています。

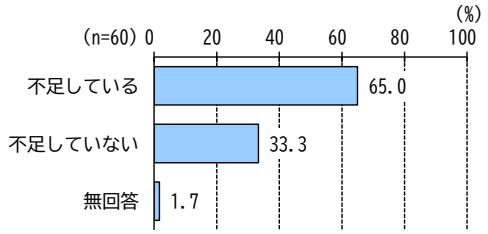
【ごみ出し（一般ごみ）】



（２）ごみ出し（粗大ごみ）

【全体】
○　「不足している」が 65.0%、「不足していない」が 33.3%となっています。

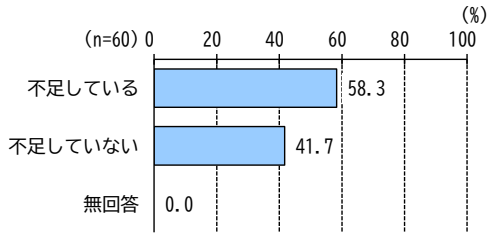
【ごみ出し（粗大ごみ）】



（３）植木の剪定、草むしりなど

【全体】
○　「不足している」が 58.3%、「不足していない」が 41.7%となっています。

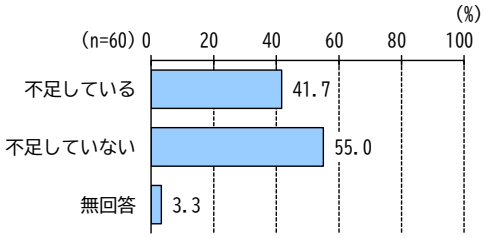
【植木の剪定、草むしりなど】



（４）洗濯・部屋の掃除

【全体】
○　「不足している」が 41.7%、「不足していない」が 55.0%となっています。

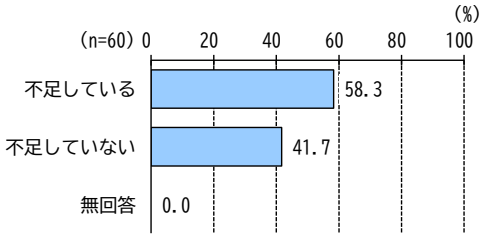
【洗濯・部屋の掃除】



（５）玄関前や家周りの掃除

【全体】
○　「不足している」が 58.3%、「不足していない」が 41.7%となっています。

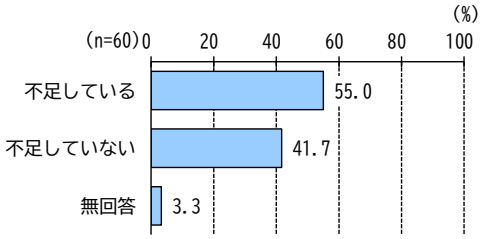
【玄関前や家周りの掃除】



（６）簡単な大工仕事やペットの世話等

【全体】
○　「不足している」が 55.0%、「不足していない」が 41.7%となっています。

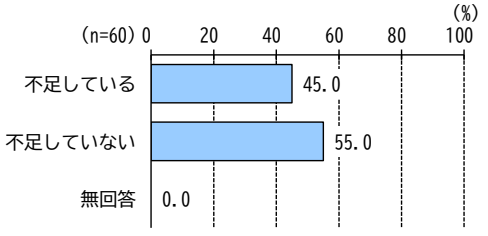
【簡単な大工仕事やペットの世話等】



（７）調理

【全体】
○　「不足している」が 45.0%、「不足していない」が 55.0%となっています。

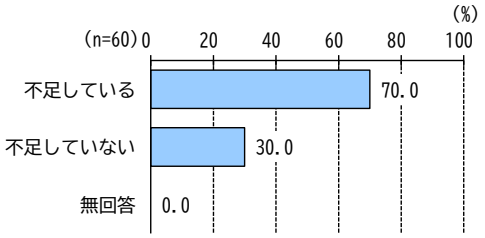
【調理】



（８）話し相手

【全体】
○　「不足している」が 70.0%、「不足していない」が 30.0%となっています。

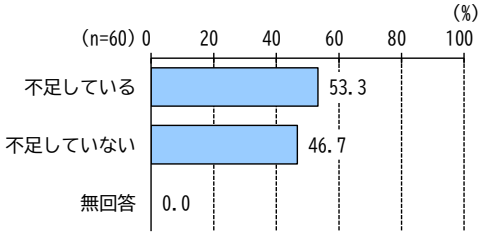
【話し相手】



（９）買物

【全体】
○　「不足している」が 53.3%、「不足していない」が 46.7%となっています。

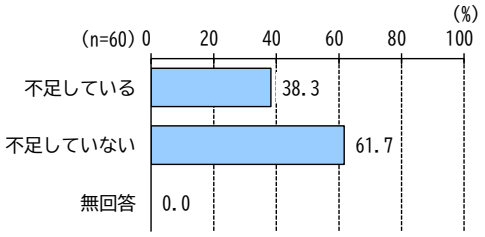
【買物】



（10）配食サービス

【全体】
○　「不足している」が 38.3%、「不足していない」が 61.7%となっています。

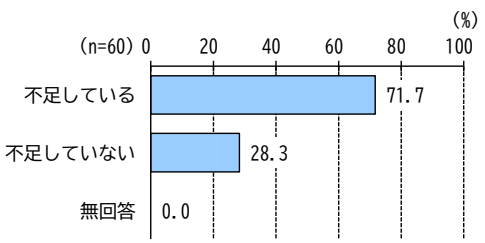
【配食サービス】



（11）外出時の付き添い（通院等）

【全体】
○　「不足している」が 71.7%、「不足していない」が 28.3%となっています。

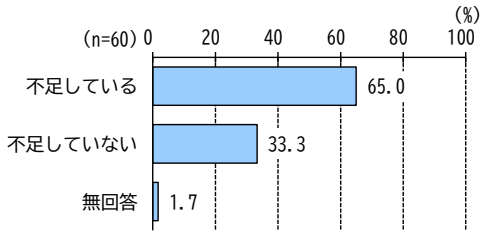
【外出時の付き添い（通院等）】



（12）声かけ・見守り

【全体】
○　「不足している」が 65.0%、「不足していない」が 33.3%となっています。

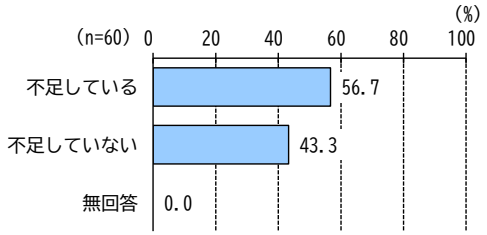
【声かけ・見守り】



（13）サロン・通いの場

【全体】
○　「不足している」が 56.7%、「不足していない」が 43.3%となっています。

【サロン・通いの場】

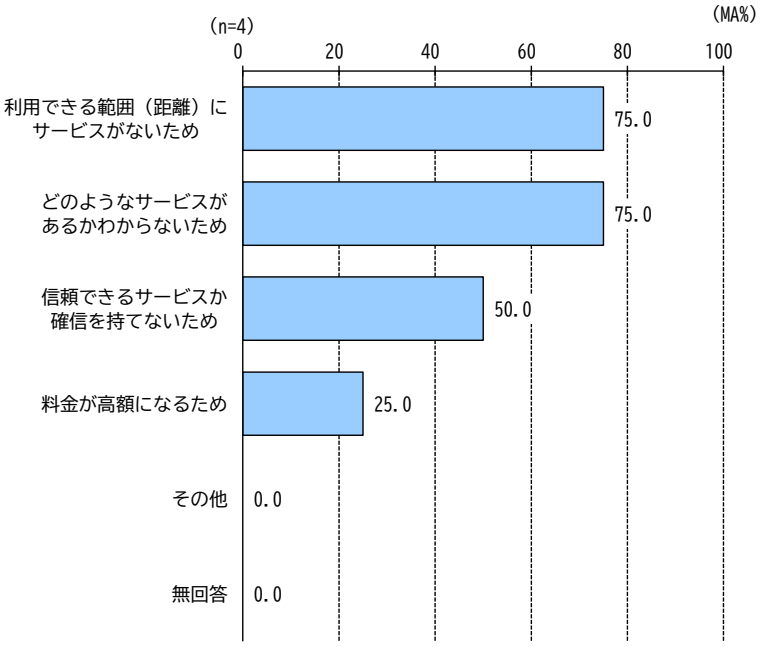


※問 20 で「２」と答えた方（位置付けたことがない方）のみ、お答えください。

問20－２　インフォーマルサービスをプランに位置付けたことがない理由は何ですか。（いくつでも）

【全体】
○　「利用できる範囲（距離）にサービスがないため」「どのようなサービスがあるかわからないため」が 75.0%で最も多く、次いで「信頼できるサービスか確信を持てないため」が 50.0%、「料金が高額になるため」が 25.0%となっています。

【インフォーマルサービスをケアプランに位置付けない理由】



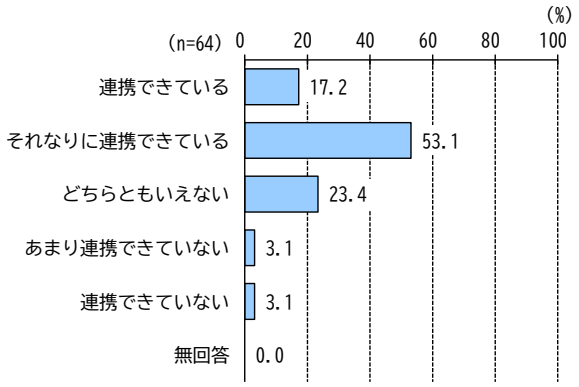
４．周囲との連携について

問21　あなたは、地域包括支援センターとどの程度連携ができていますか。（（１）～（６）それぞれ１つずつ）

（１）要支援者等の計画作成

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 53.1%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 23.4%、「連携できている」が 17.2%となっています。

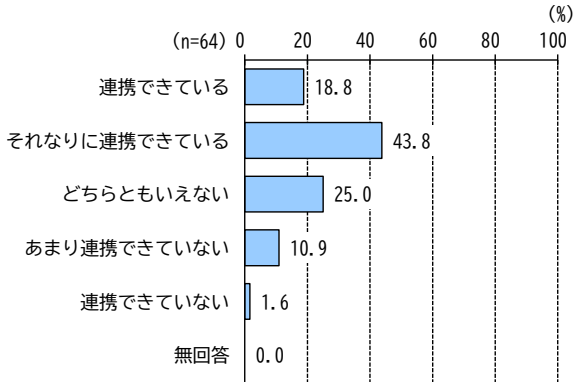
【要支援者等の計画作成】



（２）困難事例への対応

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 43.8%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 25.0%、「連携できている」が 18.8%となっています。

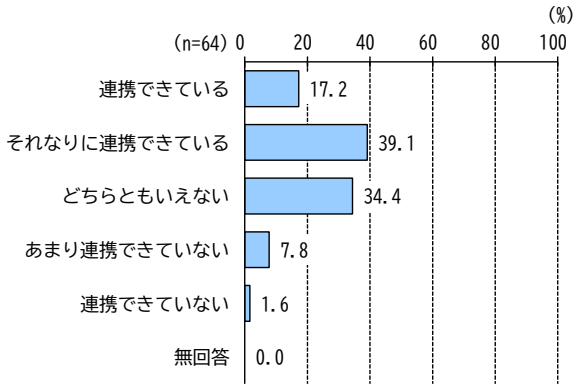
【困難事例への対応】



（３）虐待事例の早期発見と報告

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 39.1%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 34.4%、「連携できている」が 17.2%となっています。

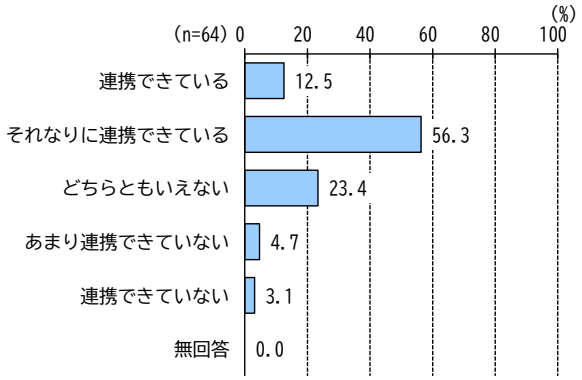
【虐待事例の早期発見と報告】



（４）資質向上に向けた研修

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 56.3%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 23.4%、「連携できている」が 12.5%となっています。

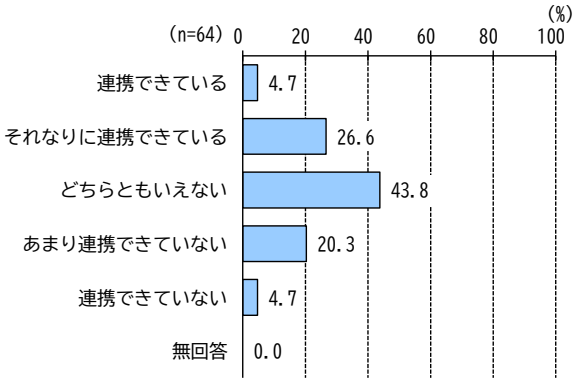
【資質向上に向けた研修】



（５）地域や関係機関との調整・ネットワークづくり

【全体】
○　「どちらともいえない」が 43.8%で最も多く、次いで「それなりに連携できている」が 26.6%、「あまり連携できていない」が 20.3%となっています。

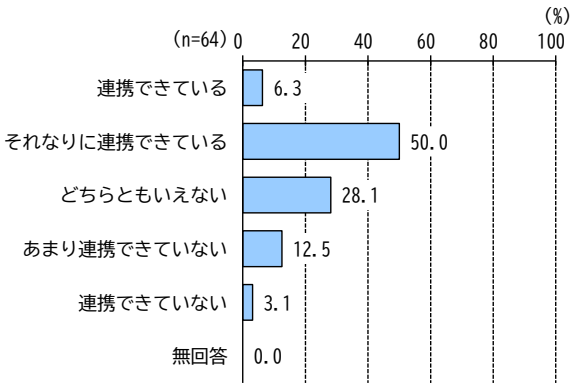
【地域や関係機関との調整・ネットワークづくり】



（６）医療機関との調整

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 50.0%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 28.1%、「あまり連携できていない」が 12.5%となっています。

【医療機関との調整】



問22 地域包括支援センターの役割について、あなたが日頃の業務を行う中で感じていることを、ご自由にお書きください。

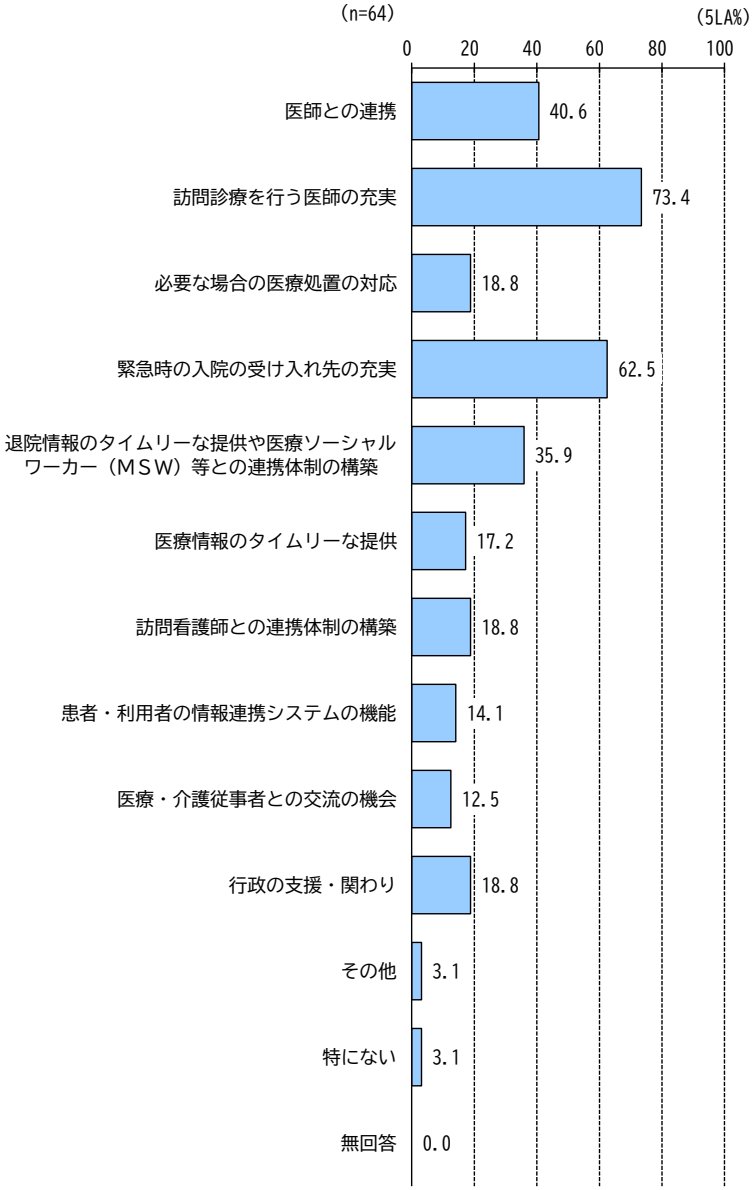
そこまで親身になってもらってはないイメージ。包括主催の研修もっとあればと思います。
困難事例の対応が曖昧な状態になっている。
包括支援業務を行う三職種のスキル、力量に不足を感じる。ケアマネがある程度は自身で考えた対応を超える方策の提案が見られない。また、三職種以外のプランナーの力量も不足を感じる。区分変更時などの業務引継ぎ時などは特に感じる。2030 年さらに 2040 年には現在よりもさらに高齢者福祉、介護保険制度を取り巻く環境は厳しいものとなり、複合的な対応困難事例が増えることは必至である。その対応策としては以下があると考える。 １．虐待など支援困難事案に対応できる業務経験が豊富な職員を配置することが必要である。 ２．地域包括の体制の見直し（設置数の増加、社協以外への委託、協力センターのあり方、基幹型と地域型の設置など）。 ３．介護予防事業（予防給付）の対応（予防給付の対応を続けるのか、しないのか）。 ４．予防給付のプラン作成料の増額（居宅が対応する件数が増えているが、業務量に見合っておらず居宅に負担増になっている。最低限、要介護１・２相当の報酬が必要である）。
行政の役割と地域包括支援センターの役割が明確でない印象があります。他市では自立支援型地域ケア会議は役割を終えたとして、開催を終了したという話も聞きます。センターだけでなく、委託事業の中でも個々の役割を明確化し、目標達成したものは終了していくなど、受託法人が限られた人材を適所に配置できるように地域包括支援センターの業務の見直しを行政が共に行なってはいかがでしょうか？
すぐにサービスに結びつけたり、結論を出し急ごうとされるので相談支援ではなく、問題解決を担っているのかと感じる事が多い。強引にケースに口を出されることで横槍になっていることに気づいておられないのが、戸惑う。
主たる支援者であるケアマネジャーに対する配慮が感じられない方が少数おられるように感じます。相談しても話が進まないと感じることがあります。あまり相談しようという気持ちにはなれません。
包括から紹介して下さった担当の利用者のことを気にかけて下さり、困ってたら助けて下さるので、とても感謝してます。
困難事例について一緒に動いていただき、ケアマネジャーの後方支援をしてくださると心強いです。
分からない事があれば直ぐに相談には行かせて頂いているので安心できる事もあります。
困難事例でも、結局自身で解決していきます。
連携とは具体的に何を意味しているかがわかりません。情報の行き来をしているだけです。医療機関との調整は地域包括支援センターとしたことはありません。自立支援型地域ケア会議もケアマネが事例提出希望しているわけではないのに無報酬、してもあまり意味がないのでそろそろやめて欲しいです。
虐待ケースや困難事例について、ケアマネ支援をする役割。
困難事例の対応が相談出来て助かっている。
困難事例の対応や相談にのってもらって助かっている。
地域包括支援センターに困難事例等の相談をしたら、一応、同行訪問はしてくれるが、解決につながらず、ただ情報を共有しただけになる。地域包括支援センター職員の質の向上を強く望みます。また支援の方で、困難な方は地域包括支援センターが担当すべきだと思います。
職種として様々、経験も様々な方々が、それぞれの、特色を生かして支援して下るのはありがたいと感じるが、近年特に、在宅介護そのものに詳しくない面々による「包括の仕事として決まっているからやっている」という雰囲気のレベルの低さを感じる。自立支援型の地域ケア会議や認知症の初期対応など、なんの意味も感じない。
地域包括支援センターの業務は、多岐にわたり、多忙を極めていると思うので、専門職員の導入や募集に関しても、支援が必要なのではと思います。
ケアマネジャーとして業務をする中では、地域包括支援センターの支援者支援の部分が非常に助かるところと感じており、高砂市においては 1 法人で行っていて、相談がしやすい機関になっていると思います。
相談援助業務を充実させて欲しい。

ちょっとしたことでも相談しやすいです。成年後見が必要な方が増えてくると思いますので、ケアマネに対しても定期的に研修をしていただけるとうれしいです。
困難事例に関しては、連携を取りながら支援をしていますが、介護保険と障がいが絡んだ案件の場合等は、障がいとの連携も取らなければならず負担が大きい。どこまでケアマネがしなければならないのかそのあたりの線引きが知りたい。希望としては、地域包括が主導権を持って動いてほしい。
地域包括支援センターの皆さん日々大変な中でお仕事されているかと思います。何かと頼りになる機関であり続けていただきたいと思います。
信頼の出来る人を増やしてほしい。
ケアマネが問題を抱え込まない様に共有し共に動いてくれる存在。

問23 あなたは、医療連携でどのような面を充実させるべきと感じていますか。（５つまで）

【全体】
○ 「訪問診療を行う医師の充実」が 73.4%で最も多く、次いで「緊急時の入院の受け入れ先の充実」が 62.5%、「医師との連携」が 40.6%となっています。

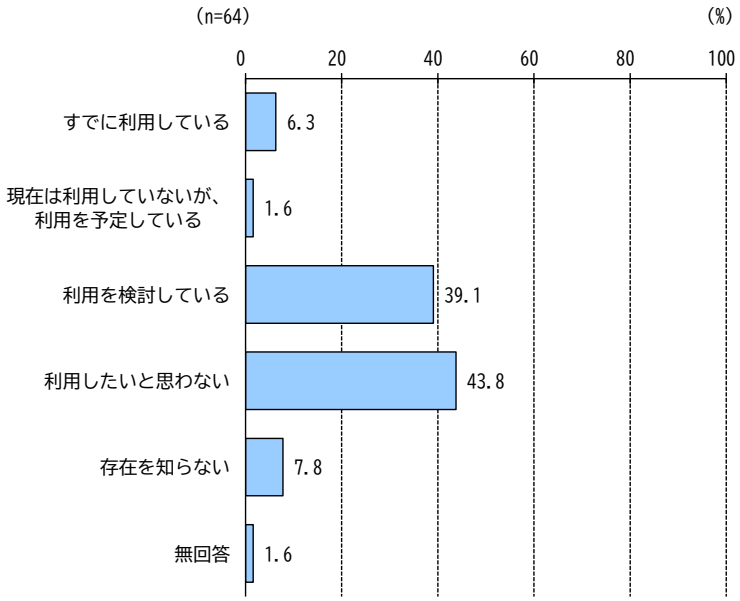
【医療連携で充実させるべき面】



問24　ケアプランデータ連携システム（令和５年４月開始）の利用状況についておたずねします。（１つだけ）

【全体】
○　「利用したいと思わない」が 43.8%で最も多く、次いで「利用を検討している」が 39.1%、「存在を知らない」が 7.8%となっています。

【ケアプランデータ連携システムの利用状況】

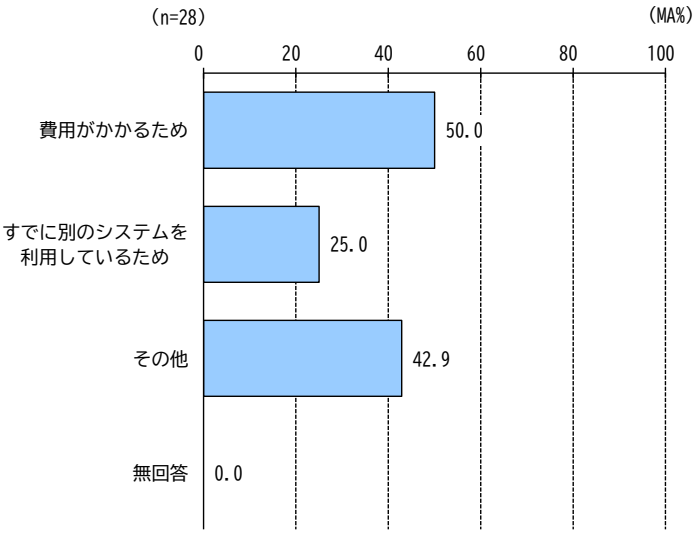


※問 24 で「４」と答えた方（利用したいと思わない方）のみ、お答えください。

問24－１　理由をお答えください。（いくつでも）

【全体】
○　「費用がかかるため」が 50.0%で最も多く、次いで「その他」が 42.9%、「すでに別のシステムを利用しているため」が 25.0%となっています。

【ケアプランデータ連携システムを利用したいと思わない理由】



5．ケアマネジャーとして感じること

問25　ケアマネジャーとして日頃の業務を行う中で感じていることを、ご自由にお書きください。

時間がない。業務に追われています。3 人に一人で予防の利用者をカウントしたり、担当件数の上限を増やしたりして、ブラック過ぎて、困る。新しいケアマネを新たにやってみたいと思う人が少ないのは納得です。ストレスが多過ぎる。
要支援が 2 人で 1 から 3 人で 1 になったことで、担当件数が大幅に増えていることもあり、以前より忙しさが増している。
毎日、記録等の書類に追われ、本来の仕事は何かと考えさせられる。働き方改革と言われているが、それに逆行して、業務量が膨大になり、大変である。
抱え込む事が多い、相談しても負担を分散する事が少ない。
１．業務に見合った報酬が得られていない。 ２．ケアマネジャーが行う本来業務の明確化、利用者・家族等への周知が必要。 ３．業務が複雑、多岐にわたる為、体力的にもそうであるが、心理的な負担がかなり大きい。
身寄りのない利用者に対してケアマネ業務以外で動くことがあり、もやもやすることがある。
業務外の相談を受けること。事務作業が多く、件数を増やせない。特定加算を取得しない事業所単体では、運営していても採算が合わないことに違和感がある。
仕事は好きですが、報酬も社会的地位も上がらず、その上、制度や報酬改正のたびに介護支援費の利用者負担が話題に上り、また、当たり前のようにサービス提供事業者や行政職員から便利使いをされる中、介護支援専門員としての矜持を保つことに疲れています。いつまで仕事に対するモチベーションが続くのかと限界を感じながら仕事をしています。
なんでもかんでもケアマネが担うわけではない。ケアマネ自身も自覚しながら専門職として動くべきだと考えます。そんな風土がもっと育たないと新しいケアマネさん方が潰れていってしまう。
業務外の頼まれごとが多いです。できないことを伝えると知り合いのケアマネジャーはしてくれたと言っていたのに、なぜあなたはしてくれないのかと言われることが多々あります。身寄りのない、頼れる方がいない利用者の入院時など、必要な手続きを求められるのは困ります。利用者からケアマネジャーに相談するように言われたと話を聞くことが多く、もちろん役割のことであればいいのですが、そうでない部分に関しては安易にそのように言われると対応に困ります。1 人暮らしで身寄りがなく、郵便物の管理が困難な方の被保険者証等の確認が難しいです。
ケアマネジャーの業務は多いように思う。検討会や会議など。準備だけでも大変。業務量が多いのに、給与に見合ってない為。やりがいを感じない。
ケアマネ以外の相談や支援が多い。高齢者の事はなんでもケアマネにというようになっているように思う。（例　マイナンバーやタクシーチケットの申請など）独居者も含めて本人で完結できる仕組みを充実させてほしい。
利用者や家族の思い通りにならないとイライラされたりとケアマネは困り事を全て解決してくれる便利屋だと思っている家族が多くてメンタル的に落ちてしまう事がある、利用者にも介護保険について勉強して欲しい。最低限ケアマネやサービス事業所が出来る事、出来ない事に対しては理解しているという事実確認をしてからサービスを開始する事でトラブルも減ると思います。
個人情報保護の観点から、物申す事が行政では強く､担当ケアマネとしての役割が出来にくい。担当者の個人情報は、開示して頂きたい。行政も､臨機応変さは必要である。
介護サービスを利用しないと無報酬、他制度の手続きや書類にサインしても無報酬、地域ケア会議事例提出も無報酬など、ケアマネとしての仕事をしているのに評価されないことが多すぎる。通所や訪問の頻回なリハビリ会議も無駄なだけで、リハビリ側は高い報酬を得てケアマネは時間取られるうえに交通費すらでない。現場の介護職との賃金格差も開くばかり。これでは仕事のモチベーションが保てない。ケアマネの将来を担う人がいなくなりそうな不安が常にある。
担当件数も多くなってきています。アセスメントや調整を中心に動きたいのですが、書類作成や記録にかける時間がかかりすぎます。本当に利用者の方を向いた支援ができているのかと反省の日々です。提出書類の簡素化、短期目標の延長などをお願いしたいです。
一人暮らしで経済的に厳しく、身寄りのない方が増えていっているように感じます。
精神疾患の利用者や家族が増加している。

一般的にまだケアマネの仕事内容を周知できていない。
精神疾患のある利用者や家族が増えてきたと感じます。
家で生活が難しくなった時の行き先を探すのが難しい。家族の協力を得られない時、ケアマネの負担が大きくなる。よくあることだか、やりきれない思いになることが多い。
色々と辛辣な意見を記載しましたが、高砂市さんは、これまで色々とケアマネの意見を取り入れてくださっている方ことには本当に感謝しています。この流れを変えず、ケアマネ不足の対策などにつながるように、今後もケアマネとの対話の機会を持っていただき、（ケアマネ協会なども存分にご活用いただき）より良い状況となることを願います。
現在の介護保険での支援は、支援する家族がいる事が前提となっており、独居や家族支援がない人は、結局、施設（高齢者住宅を含む）での生活となるが経済的に無理な人も多い。特に夫婦２人暮らしの場合、片方が施設に入ると経済的に破綻してしまい諦めざるを得ない。認知症な配偶者がいると大変。
とにかく時間がなく、いつも時間、書類に追われている。提出書類が多く精神的にも追われているが、他者には見えないため座っていると暇と思われるのか兼務を強いられ余計に時間がない。ケアマネの仕事を理解してほしい。
対応しているケースの中で、以前に比べて増えていると感じる問題点。 ①認知症になる方が増えている。 ②癌を患う方が増えている。 ③俗に言う８０５０ケースが増えている。 特に③は、ある程度、制度的にもフォロー体制が出来つつある①②と違い、困難化しやすい状況にあると思います。一例を挙げると、「８０歳代の母親と５０～６０歳代前後の精神障害をもつ息子の二人暮らしのケースで、息子へのフォローが何もないため、母親の支援にも大きく支障をきたす」ケースなど。近年は、発達障害の子供等への対応がなされているようですが、その概念がなかった上記世代の人をフォローする体制はとれないものでしょうか。それがひいては高齢者の生活や、その地域全体の安定につながるのではないでしょうか。
記録の多さ、訪問の必要性がない方への訪問。
ケアマネジャーの高齢化により居宅事業所が減少していくのではないかと思っています。若い介護職がケアマネを目指さないのは給料が少ないことが大きな原因だと思います。なんでもケアマネに、と言われるとケアマネがつぶれてしまいます。せめて行政だけでも「なんでもケアマネに」と言う風潮をさけてほしいと願います。
ケアマネの業務の、線引きがあるような無いような。曖昧な部分がたくさんあって、ボランティア的なこともせざるおえない現状。ご家族がいらっしゃらない場合は、お金があればお金で解決できるが、無い方も多く、そうなると動かざるおえない。時にはご家族がそのような感覚の方もいらっしゃるため、そこの説明からしなければならない事も多々ある。精神的にかなりしんどい仕事である。
書類作成がしんどく感じる時があります。その書類日付ひとつとっても正しいのはどれなんだという結局書類の中身より日付云々で翻弄され、指摘を受けて訂正するなど。ケアプランのチェックにおいてももっと納得いけるような中身のある事を知りたいです。
家族との連携が難しい。
「ケアマネが気づけ」となっている仕事の様に思う。気づいて利用者をより良く支援する....良い事の様に研修でもすり込まれるがいつも違和感がある。

Ⅴ　事業所調査の結果

1．事業所の概要について

回答事業所のサービス種別

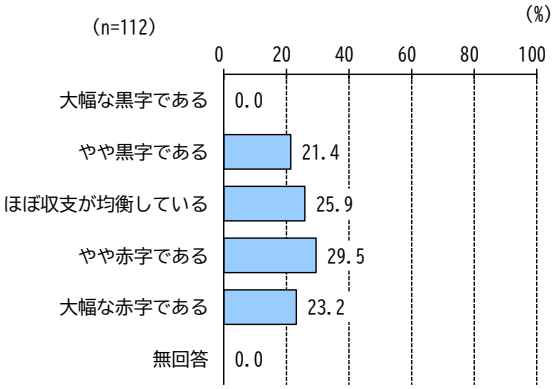
【全体】
○　「訪問介護」が 25.9%で最も多く、次いで「通所介護（定員 19 名以上）」が 22.3%、「地域密着型通所介護（定員 18 名以下）」が 13.4%となっています。

【サービス種別】

問１　令和６年度の介護事業収支はどのような状況ですか。（１つだけ）

【全体】
○　「やや赤字である」が 29.5%で最も多く、次いで「ほぼ収支が均衡している」が 25.9%、「大幅な赤字である」が 23.2%となっています。

【令和６年度の介護事業収支】

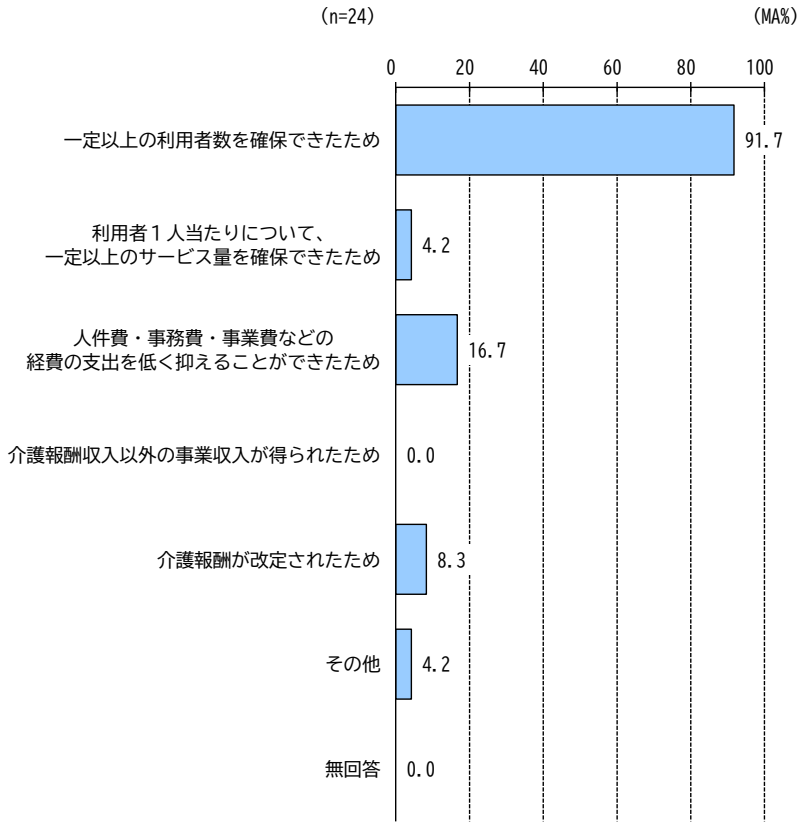


※問１で「１」又は「２」と答えた事業所（黒字の事業所）のみ、お答えください。

問１－１　その理由をどうお考えですか。（いくつでも）

【全体】
○　「一定以上の利用者数を確保できたため」が 91.7%で最も多く、次いで「人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため」が 16.7%、「介護報酬が改定されたため」が 8.3%となっています。

【黒字理由】

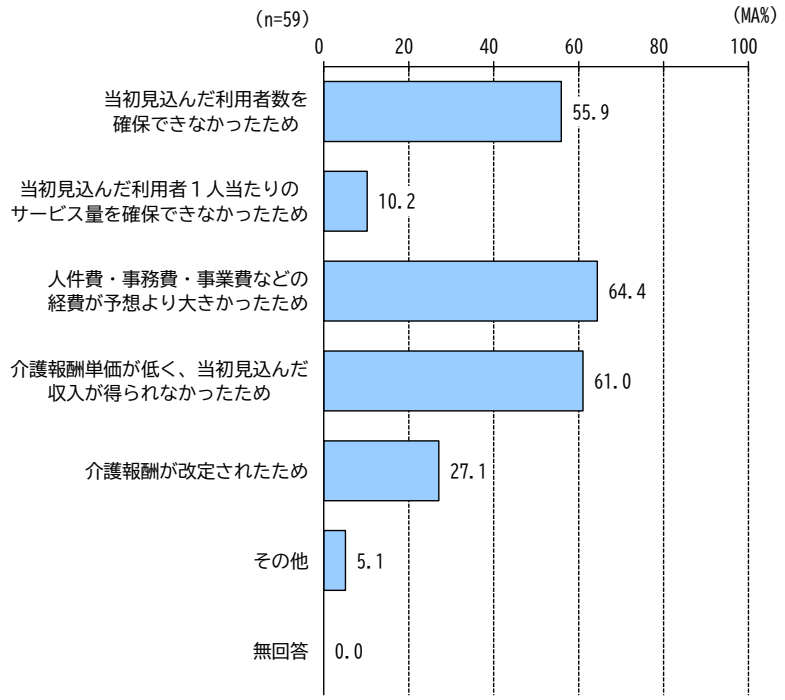


※問１で「４」又は「５」と答えた事業所（赤字の事業所）のみ、お答えください。

問１－２　その理由をどうお考えですか。（いくつでも）

【全体】
○　「人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため」が 64.4%で最も多く、次いで「介護報酬単価が低く、当初見込んだ収入が得られなかったため」が 61.0%、「当初見込んだ利用者数を確保できなかったため」が 55.9%となっています。

【赤字理由】

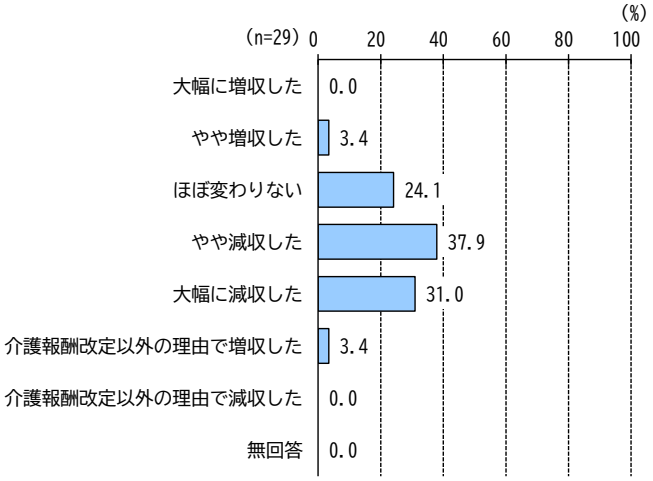


※訪問介護事業所におたずねします。

問２　令和６年度の介護報酬改定により介護事業会計の収支は改定前と比較してどのような状況ですか。介護報酬改定以外の理由で収入が増減した場合は「６」又は「７」を選択し、理由をご記入ください。（１つだけ）

【全体】
○　「やや減収した」が 37.9%で最も多く、次いで「大幅に減収した」が 31.0%、「ほぼ変わりない」が 24.1%となっています。

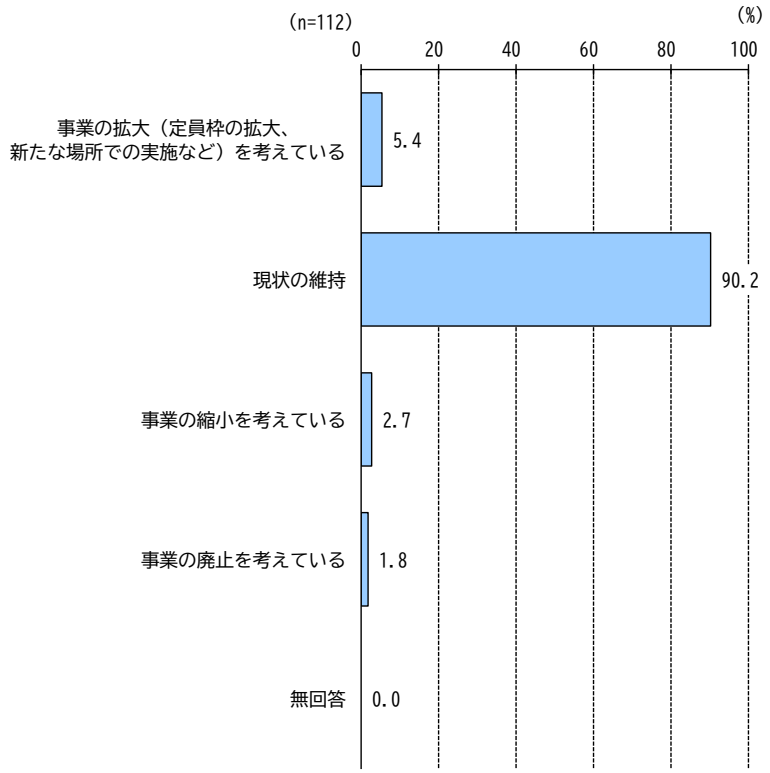
【介護事業会計収支の改定前との比較】



問３　高砂市内での今後の事業展開についてお答えください。（１つだけ）

【全体】
○　「現状の維持」が 90.2%で最も多く、次いで「事業の拡大（定員枠の拡大、新たな場所での実施など）を考えている」が 5.4%、「事業の縮小を考えている」が 2.7%となっています。

【今後の事業展開】



事業の拡大（定員枠の拡大、新たな場所での実施など）を考えているサービス種類

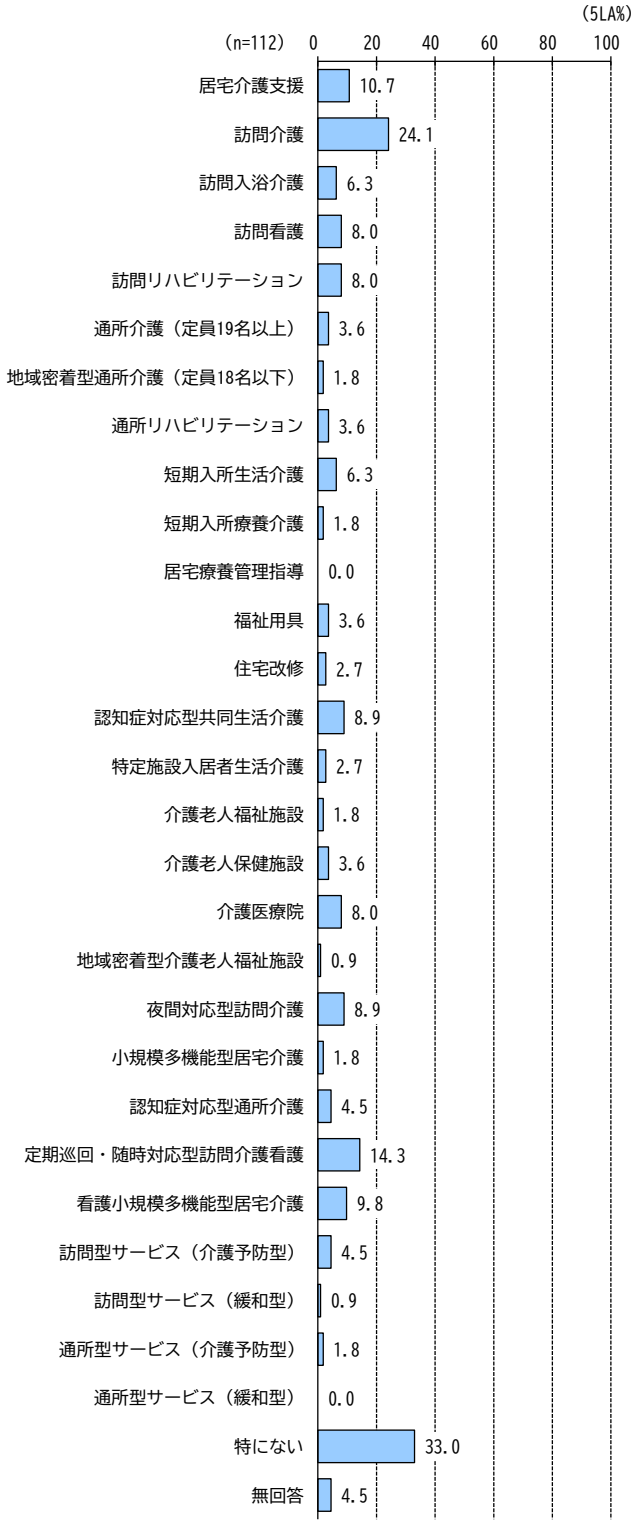
自費サービス。
通所介護、訪問介護、訪問看護。
通所リハビリテーション。
介護老人保健施設。
認知症対応型共同生活介護。

2．高砂市のサービスについて

問４　高砂市に充実が必要と思われるサービス（予防を含む）がありますか。（５つまで）

【全体】
○　「特にない」が 33.0%で最も多く、次いで「訪問介護」が 24.1%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 14.3%となっています。

【充実が必要と思われるサービス（予防含む）】



問５　高砂市に充足していると感じるサービス（予防含む）はありますか。（５つまで）

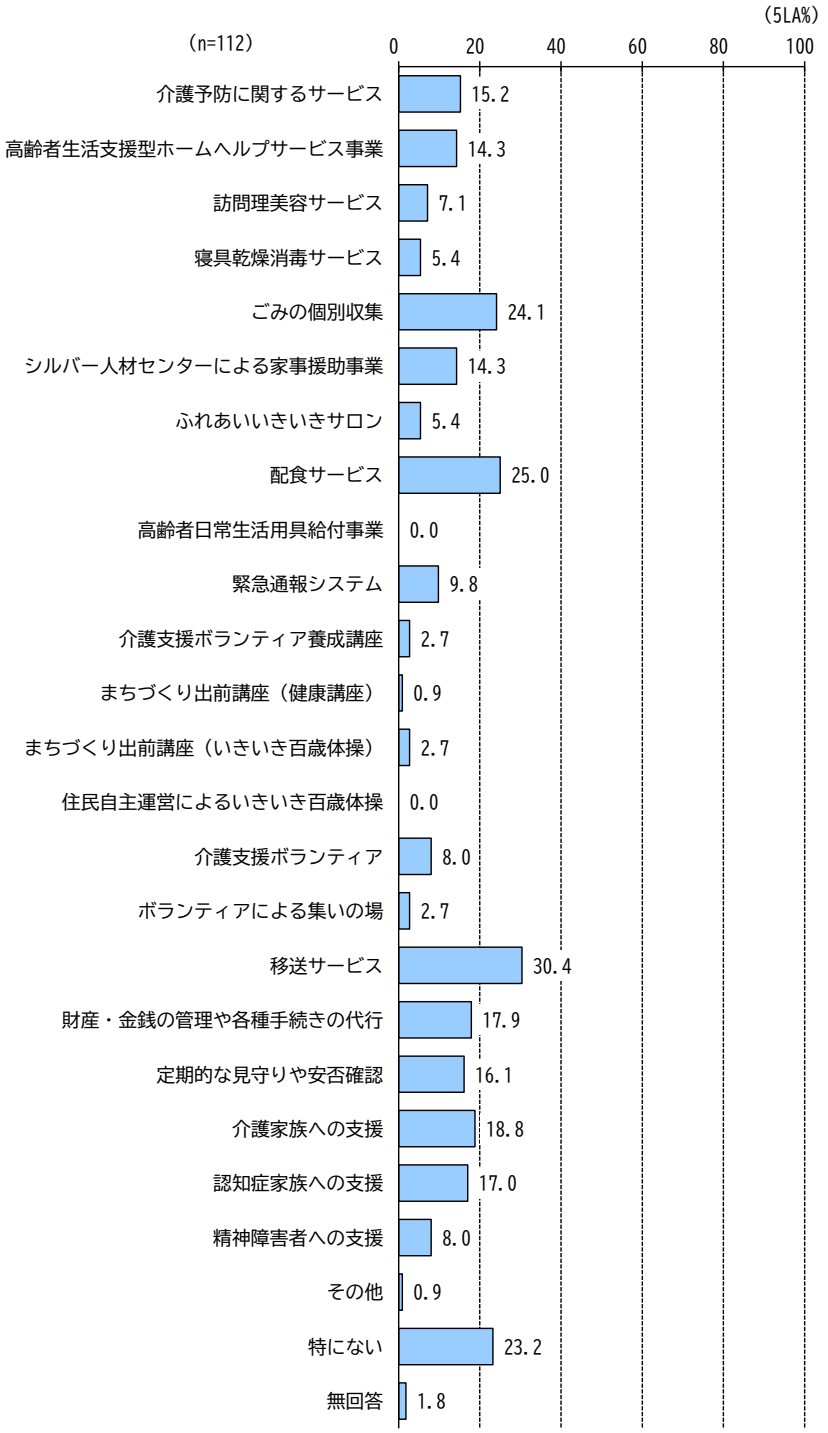
【全体】
○　「特にない」が 51.8%で最も多く、次いで「通所介護（定員 19 名以上)」が 14.3%、「訪問看護」が 13.4%となっています。

【充足していると感じるサービス（予防含む)】

問６　介護保険サービス以外の高砂市の高齢者保健福祉サービスや活動について、もっと充実すべき、あるいは新たに行うべきだと感じられるサービスはありますか。（５つまで）

【全体】
○　「移送サービス」が 30.4%で最も多く、次いで「配食サービス」が 25.0%、「ごみの個別収集」が 24.1%となっています。

【もっと充実すべき、あるいは新たに行うべきサービス】

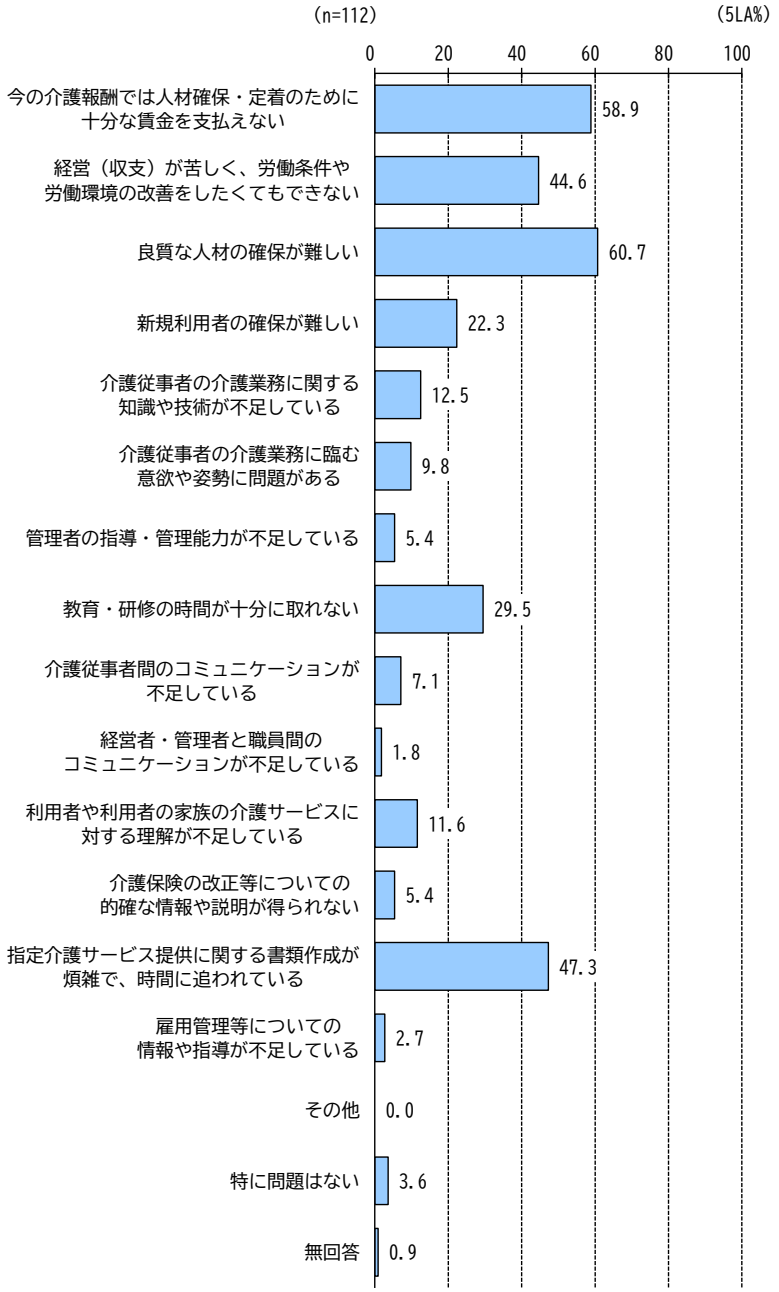


3．事業所の運営課題について

問７　事業を運営する上で問題等はありますか。（５つまで）

【全体】
○　「良質な人材の確保が難しい」が 60.7%で最も多く、次いで「今の介護報酬では人材確保・定着のために十分な賃金を支払えない」が 58.9%、「指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている」が 47.3%となっています。

【事業運営上の問題】

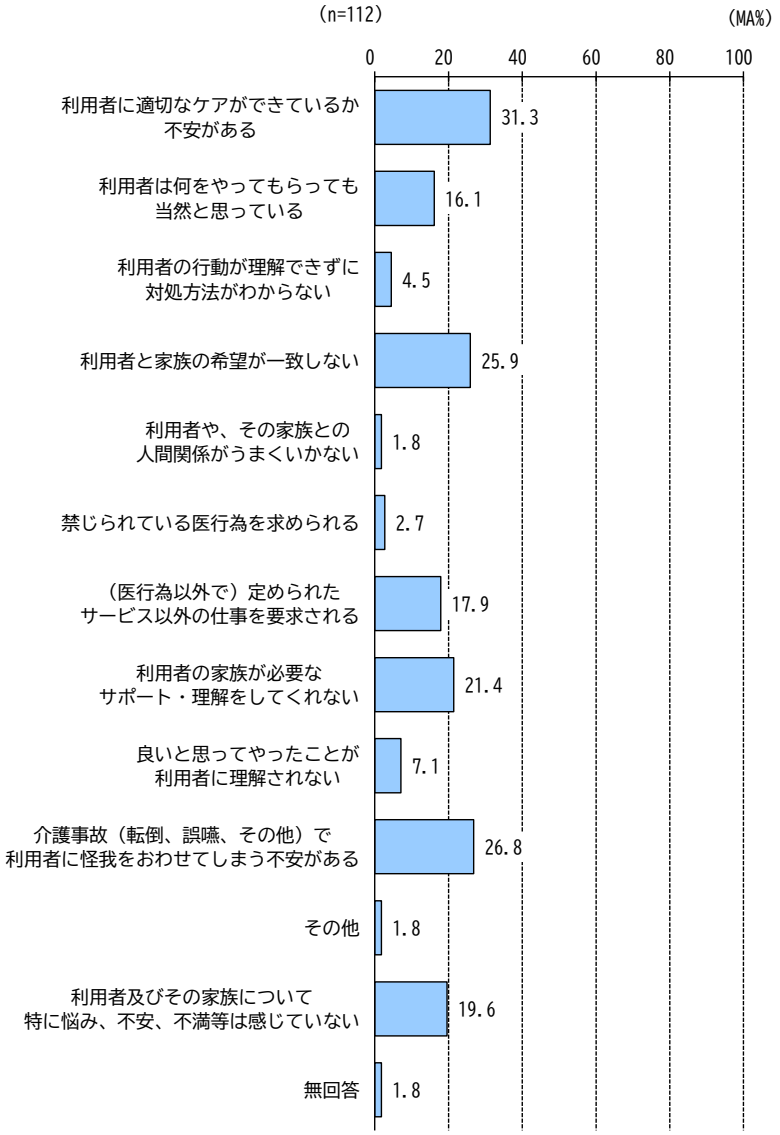


問８　サービスを提供するにあたっての悩みや不安、不満はありますか。（いくつでも）

【全体】

○　「利用者に適切なケアができているか不安がある」が 31.3%で最も多く、次いで「介護事故（転倒、誤嚥、その他）で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある」が 26.8%、「利用者と家族の希望が一致しない」が 25.9%となっています。

【サービス提供にあたっての悩みや不安、不満】



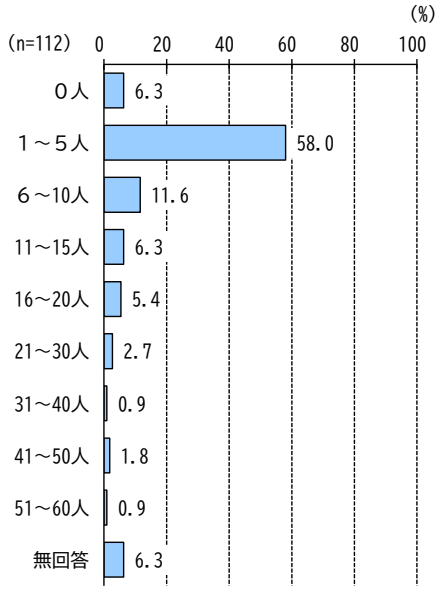
４．介護人材について

問９　貴事業所の従事者の総数を、ご記入ください【令和７年４月１日現在】。（数値を記入）

①介護職員　正規職員

【全体】
○　「１～５人」が58.0%で最も多く、次いで「６～10人」が11.6%、「０人」「11～15人」が6.3%となっています。

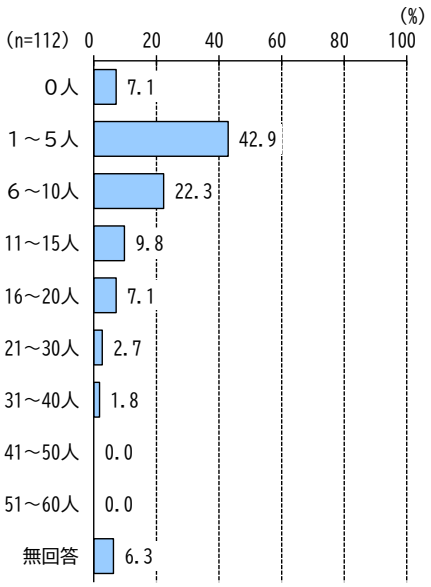
【①介護職員　正規職員】



①介護職員　非正規職員

【全体】
○　「１～５人」が 42.9%で最も多く、次いで「６～10 人」が 22.3%、「11～15 人」が 9.8%となっています。

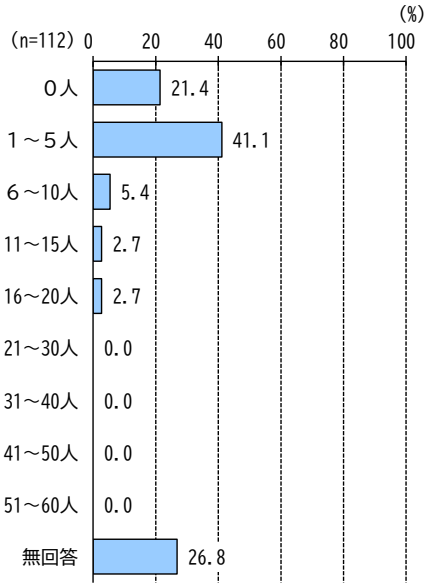
【①介護職員　非正規職員】



②その他職員　正規職員

【全体】
○　「１～５人」が 41.1%で最も多く、次いで「０人」が 21.4%、「６～10 人」が 5.4%となっています。

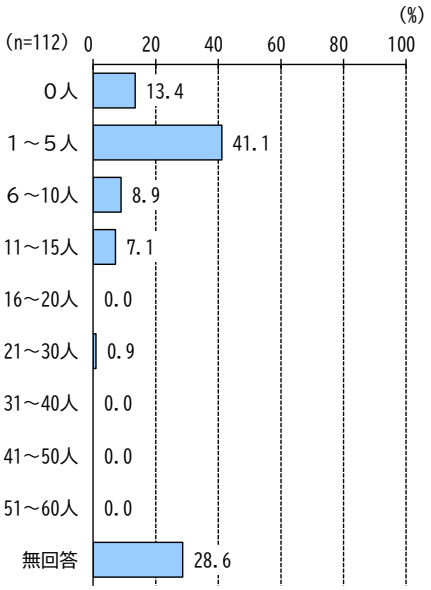
【②その他職員　正規職員】



②その他職員　非正規職員

【全体】
○　「１～５人」が 41.1%で最も多く、次いで「０人」が 13.4%、「６～10 人」が 8.9%となっています。

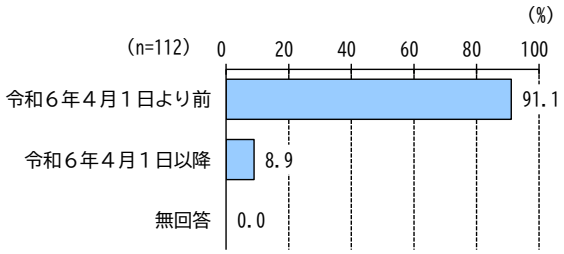
【②その他職員　非正規職員】



問10 貴事業所の開設は、いつですか。（１つだけ）

【全体】
○　「令和６年４月１日より前」が 91.1%、「令和６年４月１日以降」が 8.9%となっています。

【事業所の開設時期】



※問10で「１」と答えた事業所のみ、お答えください。

問10－１　令和６年度（令和6年4月１日～令和7年3月31日）の介護職員の採用者数と離職者数について、年齢別・正規・非正規の別をご記入ください。（数値を記入）

■採用者数

採用者の雇用形態は、「正規職員」で 146 人、「非正規職員」で 149 人となっています。年齢別にみると、正規職員・非正規職員ともに「50～59 歳」が最も多くなっています。

年齢（採用時）	採用者数						正規・非正規採用者構成比	
	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員
	n	%	n	%	n	%	%	%
20 歳未満	4	2.7	11	7.4	15	5.1	26.7	73.3
20～29 歳	35	24.0	5	3.4	40	13.6	87.5	12.5
30～39 歳	23	15.8	18	12.1	41	13.9	56.1	43.9
40～49 歳	36	24.7	31	20.8	67	22.7	53.7	46.3
50～59 歳	43	29.5	38	25.5	81	27.5	53.1	46.9
60～69 歳	1	0.7	37	24.8	38	12.9	2.6	97.4
70 歳以上	0	0.0	9	6.0	9	3.1	0.0	100.0
年齢不明	4	2.7	0	0.0	4	1.4	100.0	0.0
採用者数計	146	100.0	149	100.0	295	100.0	49.5	50.5

■離職者数

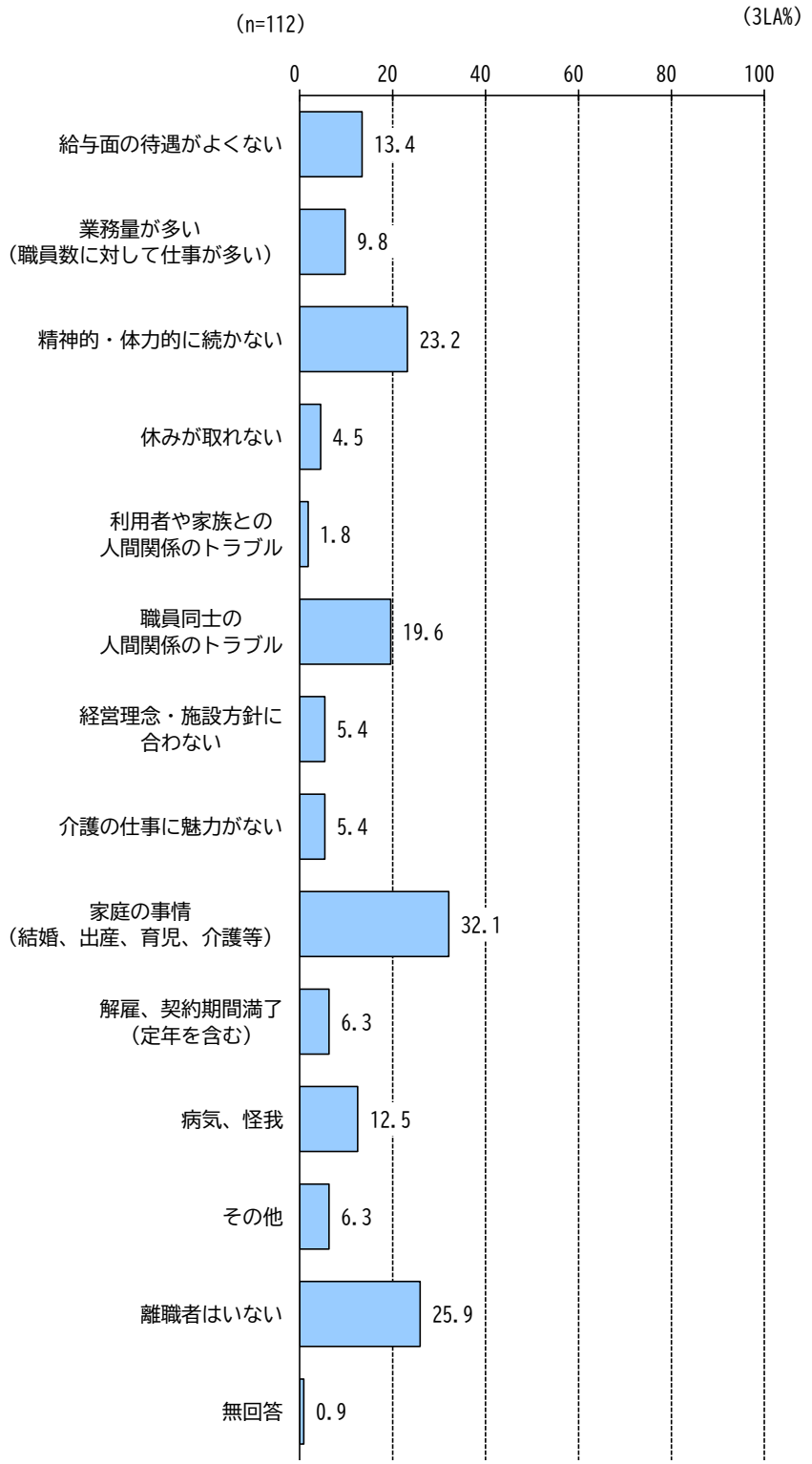
離職者の雇用形態は、「正規職員」で 80 人、「非正規職員」で 90 人となっています。年齢別にみると、正規職員・非正規職員ともに「50～59 歳」が最も多くなっています。

年齢（離職時）	離職者数						正規・非正規離職者構成比	
	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員
	n	%	n	%	n	%	%	%
20 歳未満	1	1.3	5	5.6	6	3.5	16.7	83.3
20～29 歳	13	16.3	6	6.7	19	11.2	68.4	31.6
30～39 歳	13	16.3	11	12.2	24	14.1	54.2	45.8
40～49 歳	17	21.3	15	16.7	32	18.8	53.1	46.9
50～59 歳	25	31.3	24	26.7	49	28.8	51.0	49.0
60～69 歳	6	7.5	20	22.2	26	15.3	23.1	76.9
70 歳以上	0	0.0	8	8.9	8	4.7	0.0	100.0
年齢不明	5	6.3	1	1.1	6	3.5	83.3	16.7
離職者数計	80	100.0	90	100.0	170	100.0	47.1	52.9

問11 貴事業所が認識している離職の主な理由をお答えください。（３つまで）

【全体】
○　「家庭の事情（結婚、出産、育児、介護等）」が 32.1%で最も多く、次いで「離職者はいない」が 25.9%、「精神的・体力的に続かない」が 23.2%となっています。

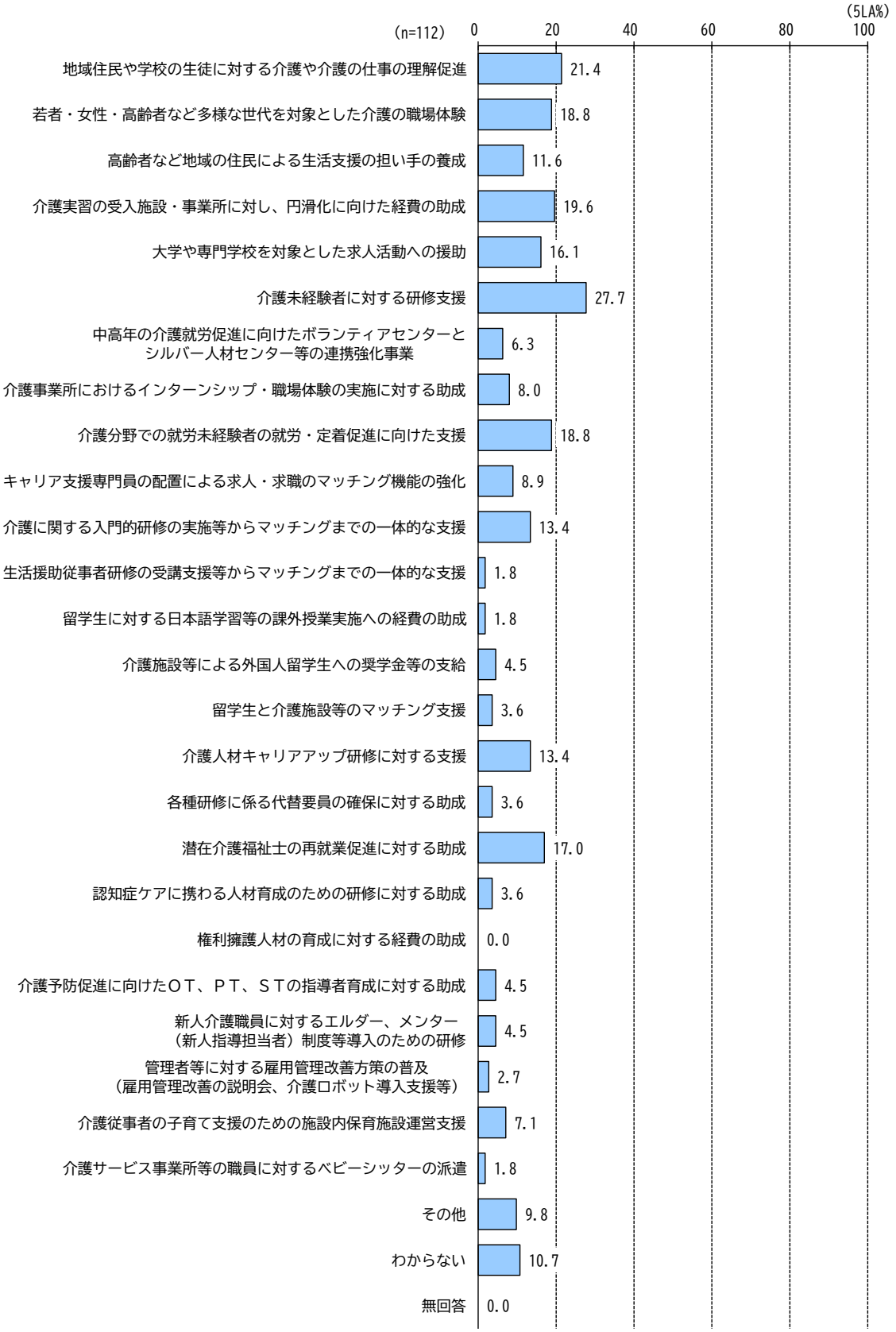
【離職の主な理由】



問12 介護人材確保・定着等に対する支援について、以下の中で効果が高いと思うものはありますか。（５つまで）

【全体】
○ 「介護未経験者に対する研修支援」が 27.7%で最も多く、次いで「地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進」が 21.4%、「介護実習の受入施設・事業所に対し、円滑化に向けた経費の助成」が 19.6%となっています。

【介護人材確保・定着等に対する支援で効果が高いと思うもの】



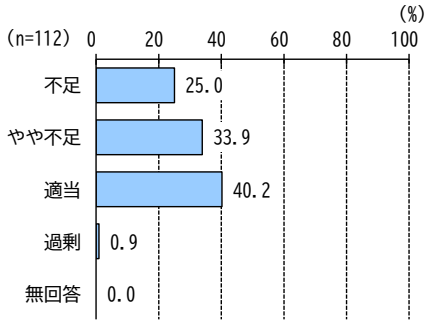
問13 介護人材確保のために有効と思われる制度や事業所が希望する取り組み、高砂市に対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

紹介会社経由での採用が多いがすぐ退職など高額な手数料を含めて、かなりトラブルが多い。ハローワークに掲載し続けているが、新聞折り込み共ほぼ紹介が来ない。学生求人は毎年ヒットがあるため実習に力を入れてる。
宅配食では作り立てをタイムリーに運ぶのは難しいでしょうか。電子レンジを使用できない利用者さんもおられ、美味しく頂けないので止めてしまうことが多いです。自分で料理すると栄養価のある物が作れません。家庭料理に近づけ美味しく食事が出来たら良いなと思います。
単純に処遇改善加算などより訪問単位数を増やし、会社の収入が上がるような法改正を希望する。あまりにも単価が安すぎる。
人材確保のための要件は多種多様と思いますが、やりがいが持てる職種であること。その為にはやはり処遇面の見直しであったり、介護の本質を学べる機会が必要と思います。　力ある職種であることの発信が必要。介護はしんどい、きたない、給料がやすいとマイナスイメージが浸透しているので。
労働力に見合った報酬体系（賃金）が必要。大変、きたない、給与が安い、他産業のほうが働きやすいとのことから積極的に介護業界に飛び込もうとは思わない。特に、年齢が上がれば体力的な負担が大きい為、転職を希望されやすい。人員確保し負担軽減を図りたいが、介護報酬とのバランスで賃金も上げにくく、人材募集しても応募がない為負担軽減は図れない。
生活援助、身体的援助の規定。認知症の利用者サービス実施している状況で生活援助 1 時間 220 が事業を行う上で、低単価である。せめて身体 1 生活 1 でしていただきたい。
事業所規模に応じた助成金等。
介護補助業務（洗い物、洗濯業務、リネン交換等）の無償ボランティアの人材育成や事業所とのマッチングに関わる取り組み。 地域住民によるお話しボランティア等、利用者や入居者と関わる人材の育成や希望者と事業所のマッチング支援に関する取り組み。
基本給の定期な昇給に繋がる仕組みを作るのはどうすれば良いか、事業所の運営が円滑かつ職員に支給できるのか…。
求人フェアを行っても来られる方は少数です。ですが、その少数の方々をうまく採用までに繋ぐタイミングが求められています。今は、全てがネットでとても早い時に決まってしまうので、こちらも迅速対応を心がけています。フェアなどのきっかけを作っていただけるともしかしたらと期待してしまう事もあります。
現在、特定技能実習生も採用していますが、それでも適正人数まで思うような採用に繋がっていないのが現状です。介護サービスの種別毎に就職フェアの開催を行うことで、採用後も安定的に職務に従事する人材（財）を確保することが出来るのではないでしょうか。すでに実施されておられるのでありましたら申し訳ございません。将来的には、外国籍の方々が管理をされる時代きてもおかしくはないので、しっかりと指導・育成をしていけたらとおもいます。
合同就職面接会の開催。
労働がきつい割に他職種と比べ賃金が低いので、どうしても人材が集め難い。事業所としても良い条件を出したいが、介護報酬が低い為出せないのが現状です。処遇改善で対処しているがそれだけでは無理がある。運営経費が上がる一方で事業所は苦しさが増すのみである。

問14 貴事業所では、従事者の過不足の状況はどうですか。（１つだけ）

【全体】
○ 「適当」が 40.2%で最も多く、次いで「やや不足」が 33.9%、「不足」が 25.0%となっています。

【従事者の過不足状況】

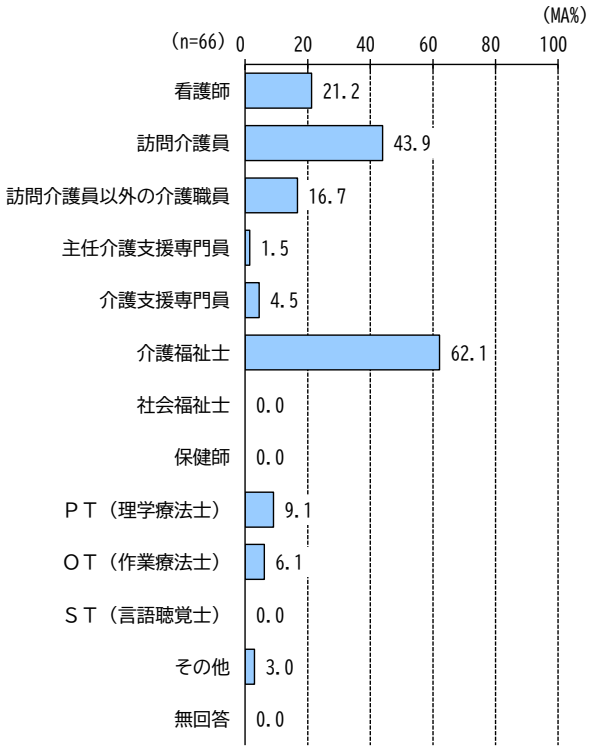


※問 14 で「１」又は「２」と答えた事業所（従事者が不足している事業所）のみ、お答えください。

問14－１ 不足している人材の職種は、次のうちどれですか。（いくつでも）

【全体】
○ 「介護福祉士」が 62.1%で最も多く、次いで「訪問介護員」が 43.9%、「看護師」が 21.2%となっています。

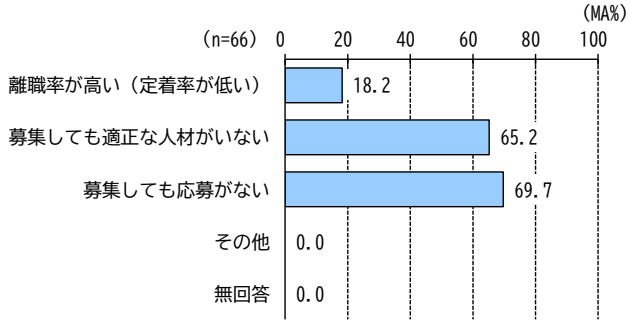
【不足している人材の職種】



問14－２　不足している理由をお答えください。（いくつでも）

【全体】
○　「募集しても応募がない」が 69.7%で最も多く、次いで「募集しても適正な人材がいない」が 65.2%、「離職率が高い（定着率が低い）」が 18.2%となっています。

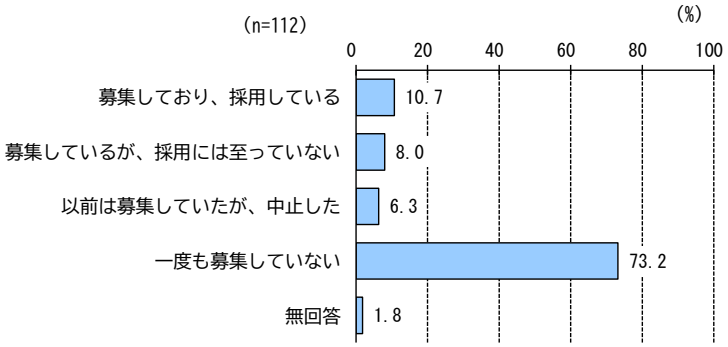
【不足している理由】



問15 外国人介護人材の募集・採用についてお答えください。（１つだけ）

【全体】
○　「一度も募集していない」が 73.2%で最も多く、次いで「募集しており、採用している」が 10.7%、「募集しているが、採用には至っていない」が 8.0%となっています。

【外国人介護人材の募集・採用について】

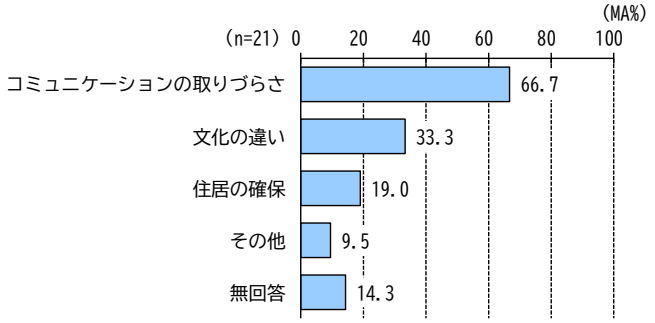


※問 15 で「１」又は「２」と答えた事業所（外国人介護人材を募集している事業所）のみ、お答えください。

問15-１　外国人介護人材を募集・採用する上での課題についてお答えください。（いくつでも）

【全体】
○　「コミュニケーションの取りづらさ」が 66.7%で最も多く、次いで「文化の違い」が 33.3%、「住居の確保」が 19.0%となっています。

【外国人介護人材を募集・採用する上での課題】

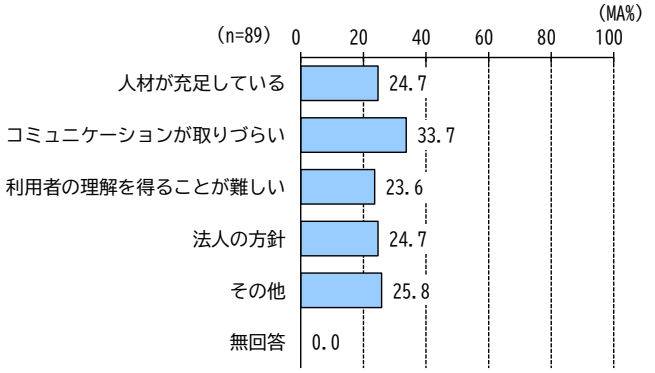


※問 15 で「３」又は「４」と答えた事業所（外国人介護人材を募集していない事業所）のみ、お答えください。

問15－２　その理由についてお答えください。（いくつでも）

【全体】
○　「コミュニケーションが取りづらい」が 33.7%で最も多く、次いで「その他」が 25.8%、「人材が充足している」「法人の方針」が 24.7%となっています。

【外国人介護人材を募集していない理由】



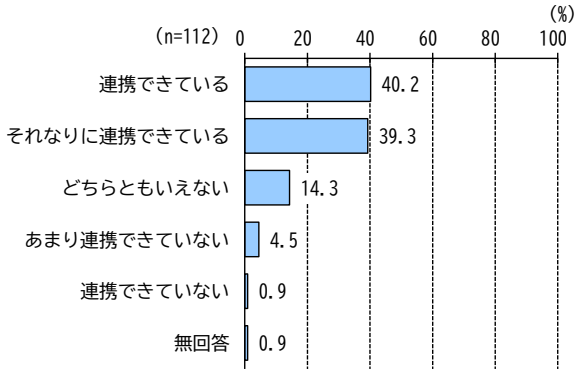
5．周囲との連携について

問16　貴事業所では、地域包括支援センターとどの程度連携できていますか。((１)～(６)それぞれ１つずつ)

（１）要支援者等の計画作成

【全体】
○　「連携できている」が 40.2%で最も多く、次いで「それなりに連携できている」が 39.3%、「どちらともいえない」が 14.3%となっています。

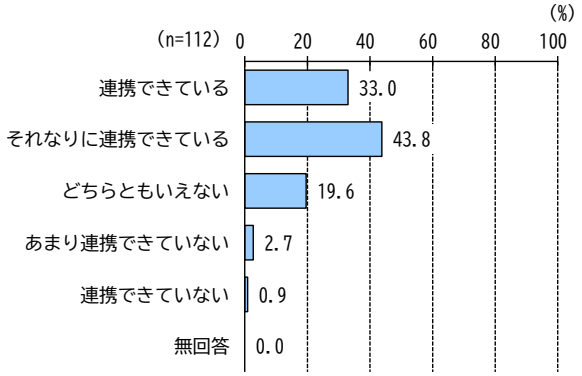
【要支援者等の計画作成】



（２）困難事例への対応

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 43.8%で最も多く、次いで「連携できている」が 33.0%、「どちらともいえない」が 19.6%となっています。

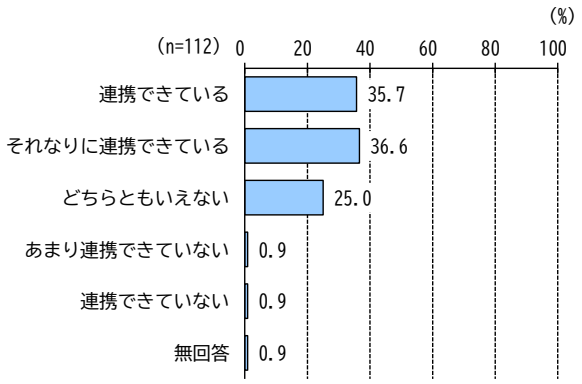
【困難事例への対応】



（３）虐待事例の早期発見と報告

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 36.6%で最も多く、次いで「連携できている」が 35.7%、「どちらともいえない」が 25.0%となっています。

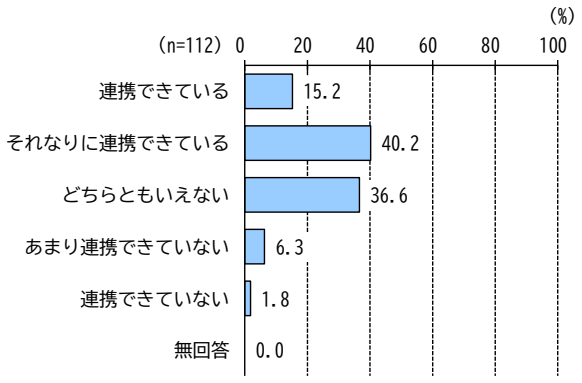
【虐待事例の早期発見と報告】



（４）資質向上に向けた研修

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 40.2%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 36.6%、「連携できている」が 15.2%となっています。

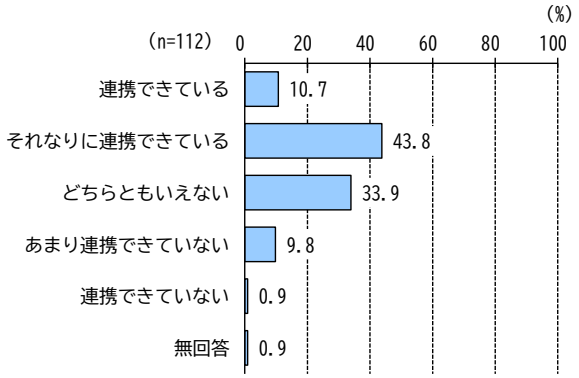
【資質向上に向けた研修】



（５）地域や関係機関との調整・ネットワークづくり

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 43.8%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 33.9%、「連携できている」が 10.7%となっています。

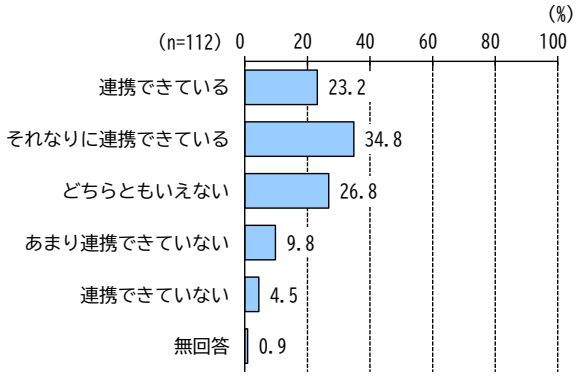
【地域や関係機関との調整・ネットワークづくり】



（６）医療機関との調整

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 34.8%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 26.8%、「連携できている」が 23.2%となっています。

【医療機関との調整】



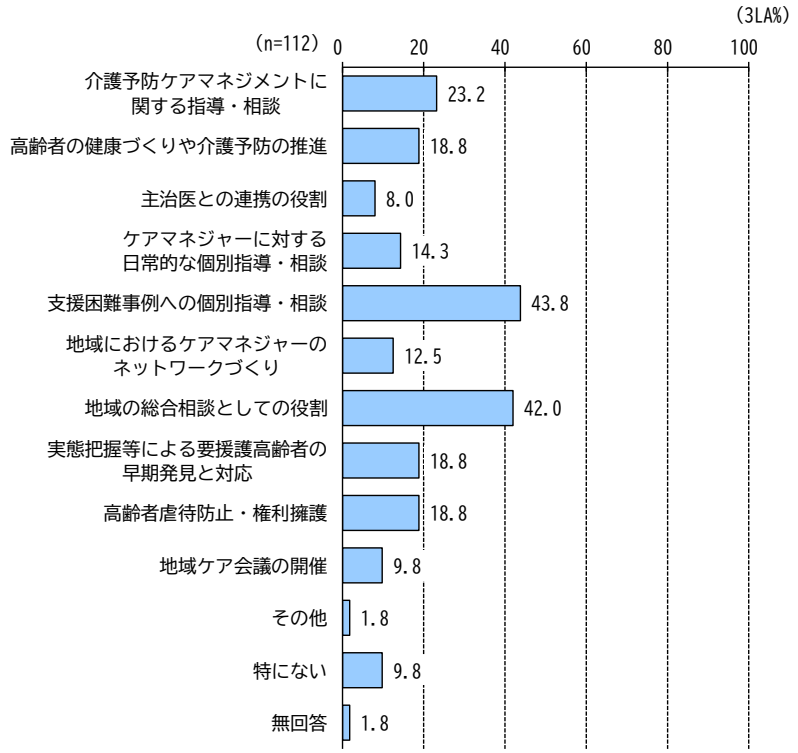
問17 地域包括支援センターの役割について、貴事業所が日頃の業務を行う中で感じていることを、ご自由にお書きください。

近年急増している独居の方・身寄りのない方について、地域全体で早急に考えなおす必要があると感じ、現在高砂地域包括支援センターへ投げかけており返答待ちである。
要支援者の困り事を吸い上げて早急に対応してくださってると思います。
要支援だけでなく、事業対象者となる方々に向けてのアプローチも積極的にやっていただきたい。
地域支援事業への関心の低さ。包括職員間での情報共有の無さ。
相談事があっても、適切に対応してくださり、大変助かっている。
いつも大変お世話になっております。ありがとうございます。
ケアマネジャーさんによって対応が不明瞭な方がいらっしゃり、利用者様からもご不満の声をいただくことがある。
定期的な研修ありがとうございます。
対応も迅速で有り難い。利用者様に寄り添ってくれる、同じ熱量の介護感を持ってくれているので助かっている。
新規利用依頼元。困難案件相談先。訪問介護におきましては、サービス利用、依頼基準の精査が必要に感じております。
ハラスメント的な利用者への対応時に包括に関わってもらうタイミングや、支援を拒否する利用者への対応など、もう少し踏み込んでもいい所を感じる場面がある。
予防介護を必要とされている方々と知り合うきっかけを作ってくださり、感謝いたしております。いろんな形で関わってくださっており、学びになります。
事業所と連携する上で、お互いの情報をしっかりと理解して利用者に取り組んでいきたい。

問18 地域包括支援センターについて、特に期待する取り組み（役割）は何ですか。（３つまで）

【全体】
○　「支援困難事例への個別指導・相談」が 43.8%で最も多く、次いで「地域の総合相談としての役割」が 42.0%、「介護予防ケアマネジメントに関する指導・相談」が 23.2%となっています。

【地域包括支援センターに特に期待する取り組み（役割）】

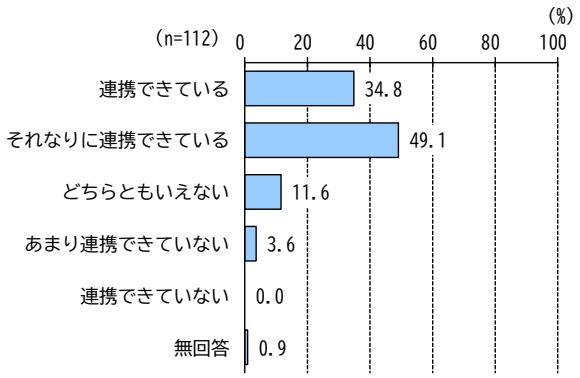


問19 貴事業所では、業務を実施する上で、次の関係者とどの程度連携できていると思いますか。((１)～(５)それぞれ１つずつ)

（１）サービス提供事業所

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 49.1%で最も多く、次いで「連携できている」が 34.8%、「どちらともいえない」が 11.6%となっています。

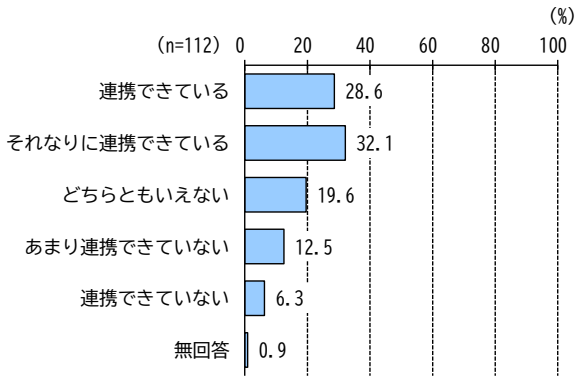
【サービス提供事業所】



（２）医療機関（主治医）

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 32.1％で最も多く、次いで「連携できている」が 28.6％、「どちらともいえない」が 19.6％となっています。

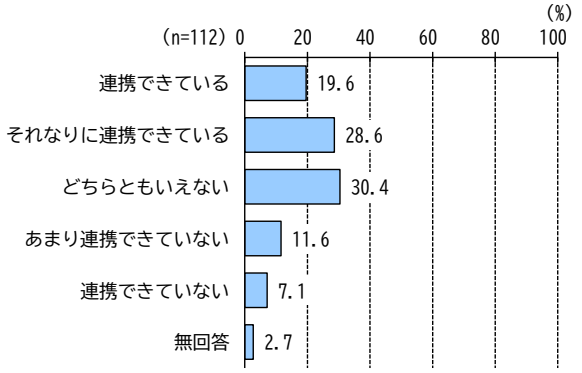
【医療機関（主治医）】



（３）医療機関（MSW）

【全体】
○　「どちらともいえない」が 30.4％で最も多く、次いで「それなりに連携できている」が 28.6％、「連携できている」が 19.6％となっています。

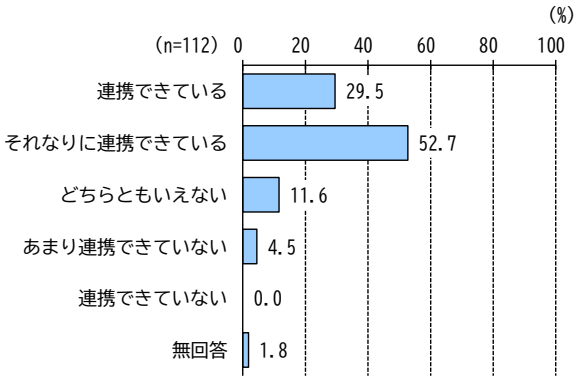
【医療機関（MSW）】



（４）地域包括支援センター

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 52.7%で最も多く、次いで「連携できている」が 29.5%、「どちらともいえない」が 11.6%となっています。

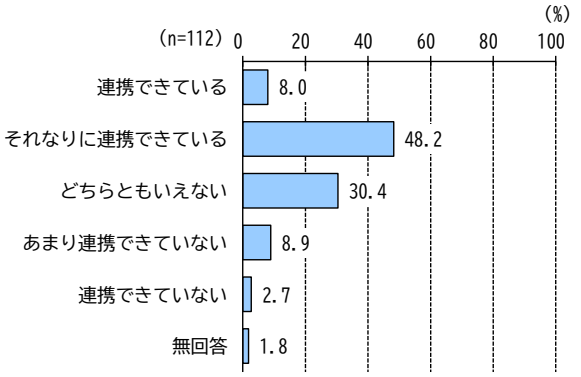
【地域包括支援センター】



（５）役所・役場

【全体】
○　「それなりに連携できている」が 48.2%で最も多く、次いで「どちらともいえない」が 30.4%、「あまり連携できていない」が 8.9%となっています。

【役所・役場】

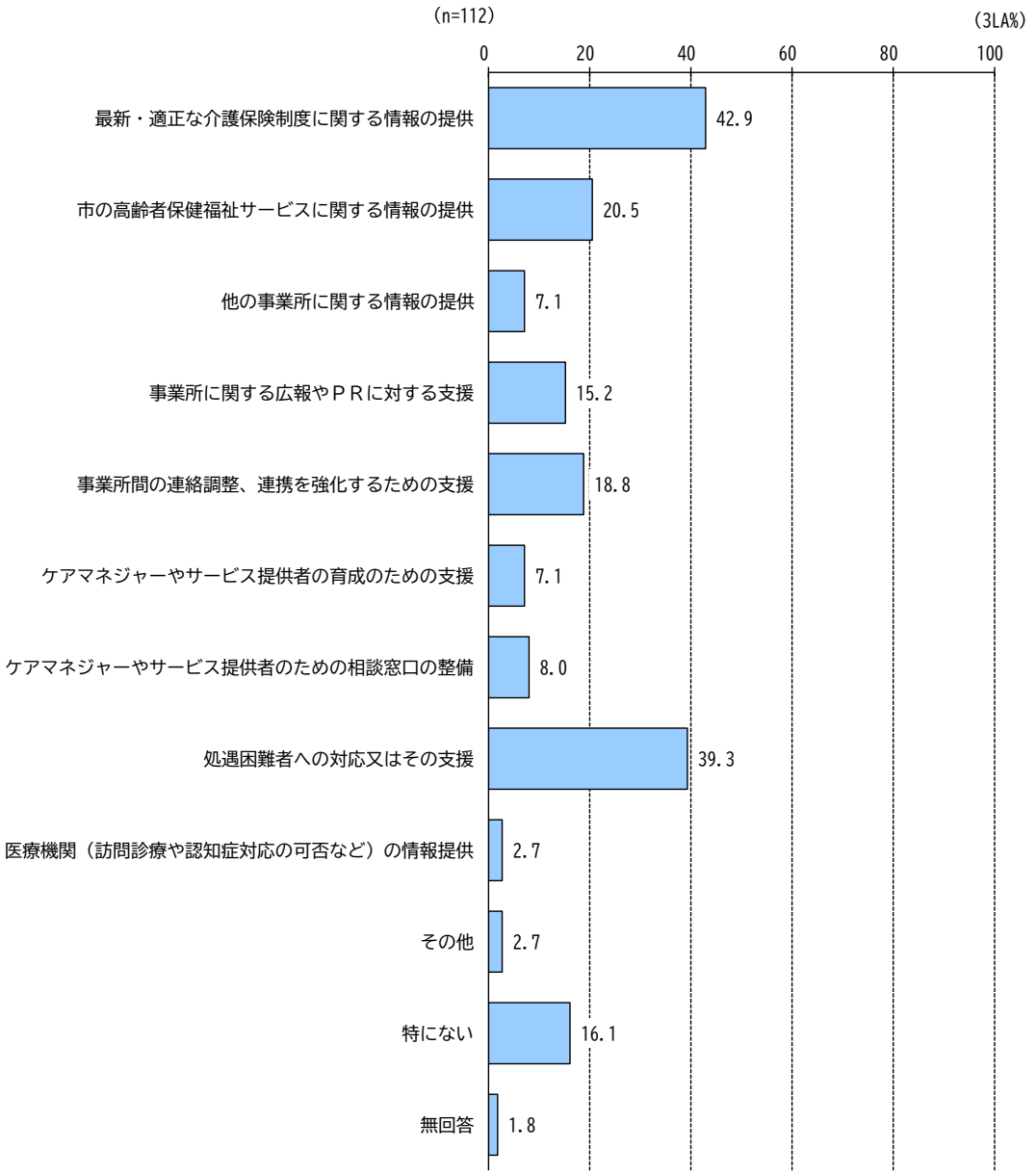


6．その他

問20　事業を行う上で、高砂市に対する要望はありますか。（３つまで）

【全体】
○　「最新・適正な介護保険制度に関する情報の提供」が 42.9%で最も多く、次いで「処遇困難者への対応又はその支援」が 39.3%、「市の高齢者保健福祉サービスに関する情報の提供」が 20.5%となっています。

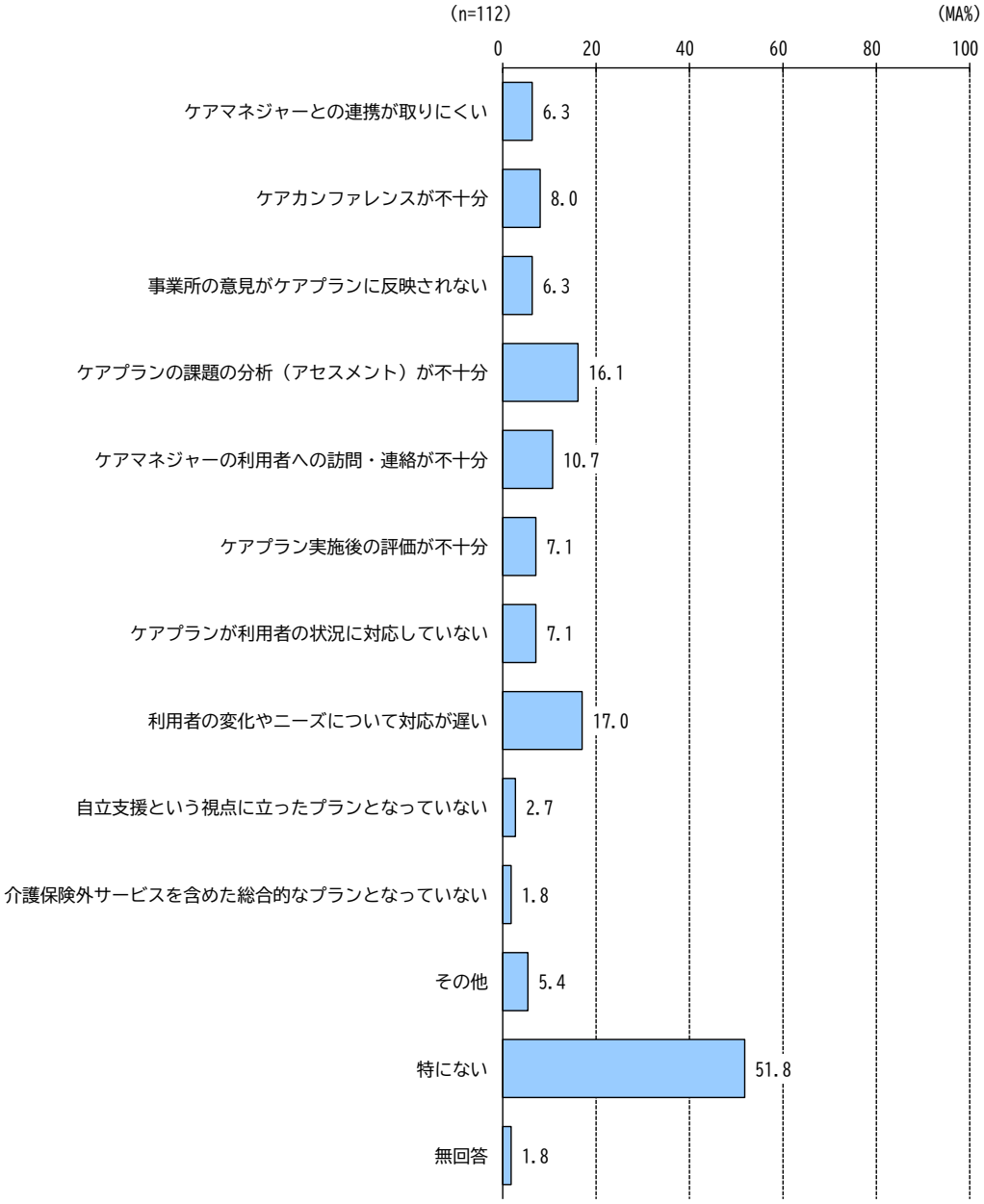
【事業を行う上での要望】



問21 貴事業所において、ケアマネジャーとの連携やケアプランについて、課題と感じることはありますか。（いくつでも）

【全体】
○ 「特にない」が 51.8%で最も多く、次いで「利用者の変化やニーズについて対応が遅い」が 17.0%、「ケアプランの課題の分析（アセスメント）が不十分」が 16.1%となっています。

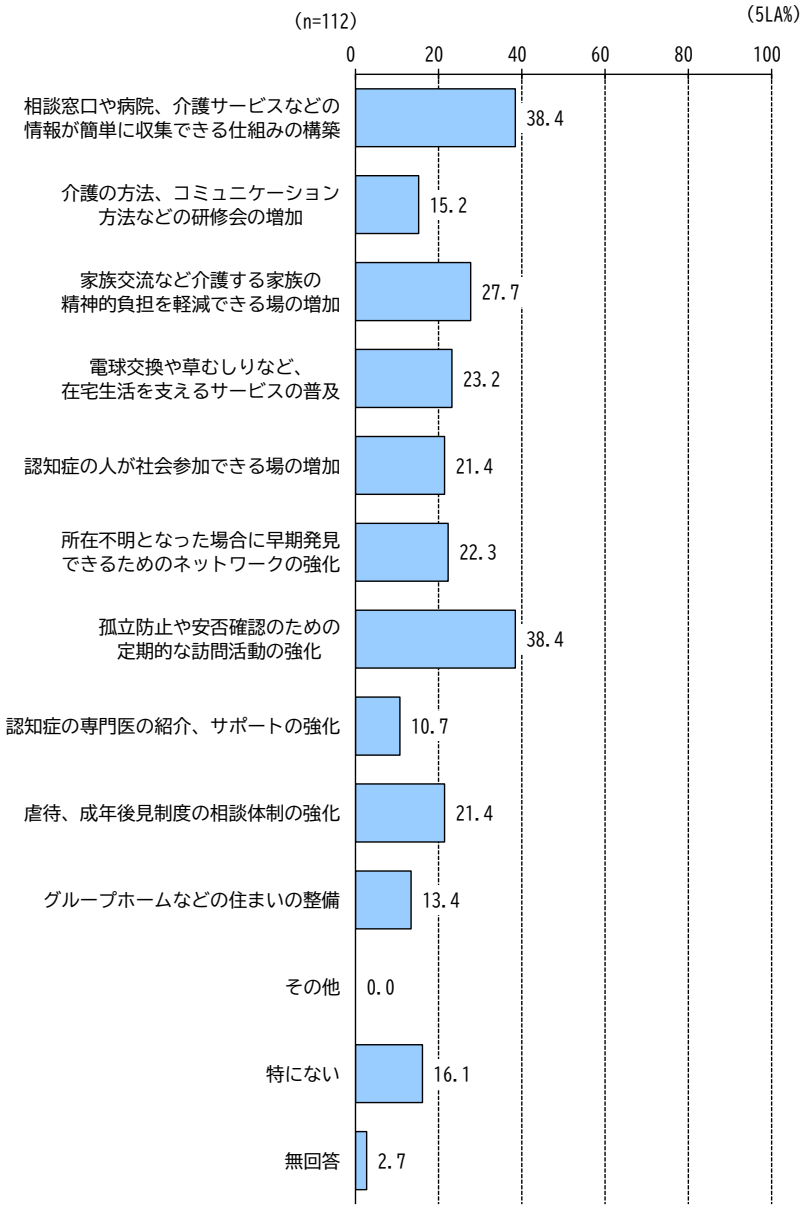
【ケアマネジャーとの連携やケアプランの課題】



問22 貴事業所が考える、高砂市の認知症施策に必要と思うことは何ですか。（５つまで）

【全体】
○ 「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組みの構築」「孤立防止や安否確認のための定期的な訪問活動の強化」が 38.4%で最も多く、次いで「家族交流など介護する家族の精神的負担を軽減できる場の増加」が 27.7%、「電球交換や草むしりなど、在宅生活を支えるサービスの普及」が 23.2%となっています。

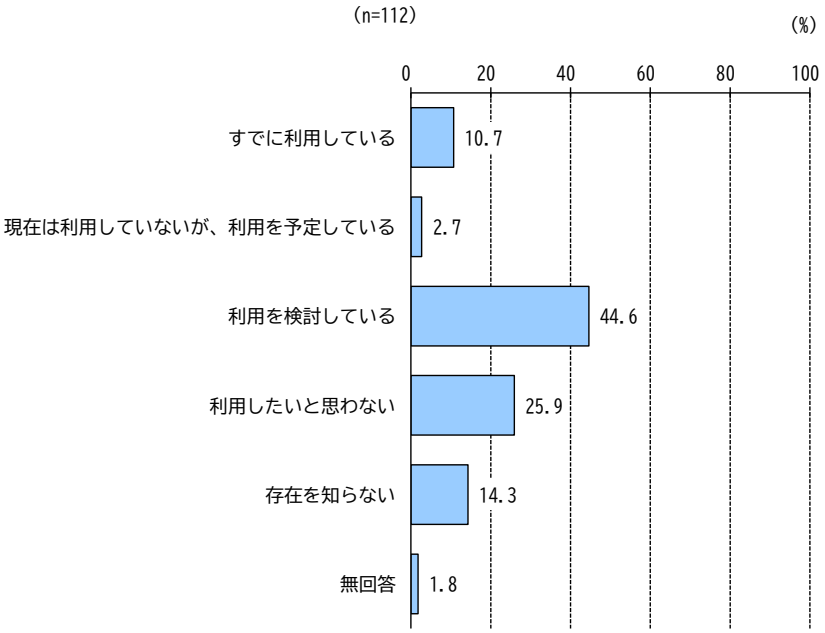
【高砂市の認知症施策に必要と思うこと】



問23　ケアプランデータ連携システム（令和５年４月開始）の利用状況についておたずねします。（１つだけ）

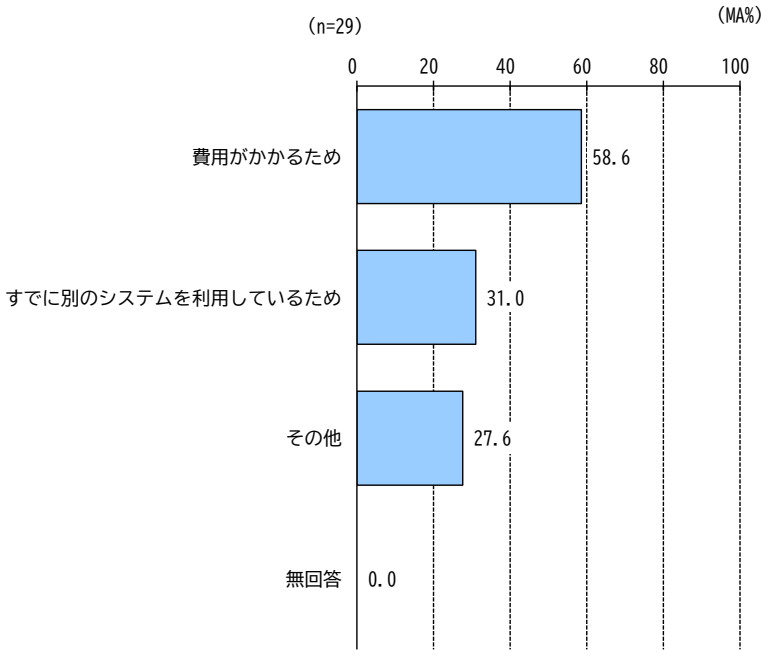
【全体】
○　「利用を検討している」が 44.6%で最も多く、次いで「利用したいと思わない」が 25.9%、「存在を知らない」が 14.3%となっています。

【ケアプランデータ連携システムの利用状況】



※問23で「４」と答えた方（利用したいと思わない方）のみ、お答えください。

問23－１　理由をお答えください。（いくつでも）

【全体】
○　「費用がかかるため」が 58.6%で最も多く、次いで「すでに別のシステムを利用しているため」が 31.0%、「その他」が 27.6%となっています。

【ケアプランデータ連携システムを利用したいと思わない理由】